

町田市  
男女平等参画に関するアンケート調査  
報告書

2022年3月

町田市



# 目次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	1
1. 調査実施の目的 .....	3
2. 調査方法と回収状況 .....	3
3. 調査項目 .....	3
4. 報告書の見方 .....	4
<b>第2章 調査結果の詳細</b> .....	5
1. ご自身のことについて .....	7
(1) 性別 .....	7
(2) 年齢 .....	7
(3) 婚姻の有無 .....	7
(4) 夫婦の働き方 .....	8
(5) 世帯構成 .....	9
2. 家庭内の役割分担について .....	10
(1) 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についての意識 .....	10
(2) 家庭での役割分担 .....	14
3. 家庭生活と社会生活の両立について .....	17
(1) 生活の中での優先度（希望） .....	17
(2) 生活の中での優先度（現実） .....	19
(3) 男女が家事等を積極的に担うために必要なこと .....	22
4. 子育てや教育について .....	24
(1) 女の子・男の子にどのように育ててほしいか .....	24
(2) 学校教育で特に力を入れるべきこと .....	25
5. 介護について .....	27
(1) 介護が必要な家族の有無 .....	27
(2) 家庭内で主に介護を行っている人 .....	28
(3) 自身が高齢になった時に介護をしてほしい人 .....	29
(4) 家庭内での介護は女性が担いがちであることに対する考え .....	30
6. 就労・職場について .....	32
(1) 現在の職業 .....	32
(2) 在宅ワークの有無 .....	34
(3) 職場での男女差 .....	35
(4) 女性が職業を持つことについての考え方 .....	37
(5) 女性が働き続けるために必要なこと .....	40
(6) 女性が再就職や起業にチャレンジするために必要なこと .....	41
(7) 育児休業制度や介護休業制度を利用することへの意識 .....	43
(8) 男性が育児休業を取得することへの意識 .....	47

7. 人権について	49
(1) 「セクシュアル・ハラスメント」を受けた経験	49
(2) 「セクシュアル・ハラスメント」を受けた場所	51
(3) 暴力に対する考え方	52
(4) 暴力を受けた経験	54
(5) 被害の相談の有無	58
(6) 相談先	59
(7) 相談しなかった理由	60
(8) DVに対する支援や援助で充実すべきもの	61
8. 性の多様性について	63
(1) 性的マイノリティ（性的少数者）という言葉の認知状況	63
(2) 身近な人から同性愛者等であると打ち明けられた場合の接し方	64
(3) 自分の性別や恋愛対象となる性別について悩んだ経験	65
9. 地域活動・社会活動について	66
(1) 地域活動や社会活動への参加状況	66
(2) 参加していない理由	68
(3) 災害時に備えた男女双方の視点を取り入れた防災対策で重要なこと	70
10. 女性活躍について	71
(1) 女性の委員比率の考え	71
(2) 女性の参画を促すのに必要な支援	73
(3) 女性リーダーを増やす際の障害	74
11. 男女平等について	75
(1) 男女の平等感	75
(2) 男女平等に関する法律や用語の認知度	90
(3) 男女平等参画に向けて町田市が力を入れるべきこと	93
(4) 町田市男女平等推進センターの認知度	95
(5) 町田市男女平等推進センターで今後重点的に力を入れるべき事業	96
自由記述	97

<b>第3章 調査票</b>	<b>105</b>
----------------	------------

<b>第4章 集計表</b>	<b>115</b>
----------------	------------

# 第1章 調査の概要



## 1. 調査実施の目的

本調査は、「男女平等参画社会」の実現に向けた様々な取り組みを更に充実させ、今後の施策の参考とするため、現状の市民意識や実態、要望等の情報を整理・分析し、課題を明らかにすることを目的に実施しました。

## 2. 調査方法と回収状況

調査地域：町田市全域

調査対象者：市内在住の満20歳以上の男女個人3,000人  
(女性1,500人、男性1,500人)

抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出

調査期間：2021年4月28日（水）～5月19日（水）

調査方法：郵送配布・郵送回収

<回収状況>

	全 体				
	女性	男性	その他	無回答	
配布数	3,000票	1,500票	1,500票		
有効回収数	1,286票	758票	516票	3票	9票
有効回収率	42.9%	50.5%	34.4%		

## 3. 調査項目

1. ご自身のことについて
2. 家庭内の役割分担について
3. 家庭生活と社会生活の両立について
4. 子育てや教育について
5. 介護について
6. 就労・職場について
7. 人権について
8. 性の多様性について
9. 地域活動・社会活動について
10. 女性活躍について
11. 男女平等について

## 4. 報告書の見方

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- ・百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100%にならない場合があります。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、％の合計が100%を超える場合があります。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。
- ・性別の選択肢「その他」の回答数が「3」であったため、報告書中の性別に係るグラフ集計においては、全体数には計上されていますが、「その他」としての掲載は、「1. ご自身のことについて（1）性別」の箇所以外では行っていません。これは回答の傾向をみるにあたり、十分な母数に達さなかったためです。
- ・比較として掲載した前回調査とは、2016年に実施した「町田市男女平等参画に関するアンケート調査」、前々回調査とは、2010年に実施した「町田市男女平等参画に関するアンケート調査」を表しています。また、国の調査とは、内閣府が2019年に実施した「男女共同参画社会に関する世論調査」、東京都の調査とは、東京都生活文化局が2020年に実施した「男女平等参画に関する世論調査」を表しています。
- ・問27「女性の参画を促すのに必要な支援」の選択肢7「保育・介護の支援などの公的サービス」については、調査票上で誤記がありました。本報告書の第2章「調査結果の詳細」及び第4章「集計表」では訂正して表示しています。



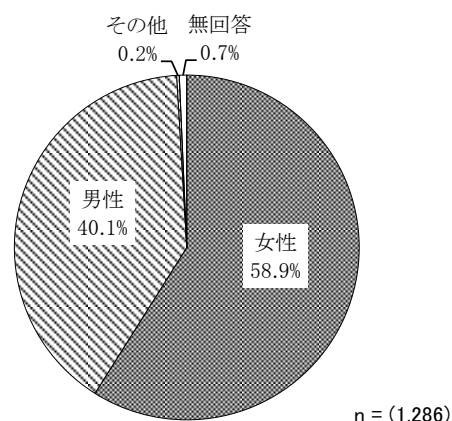
## 第2章 調査結果の詳細



## 1. ご自身のことについて

### (1) 性別

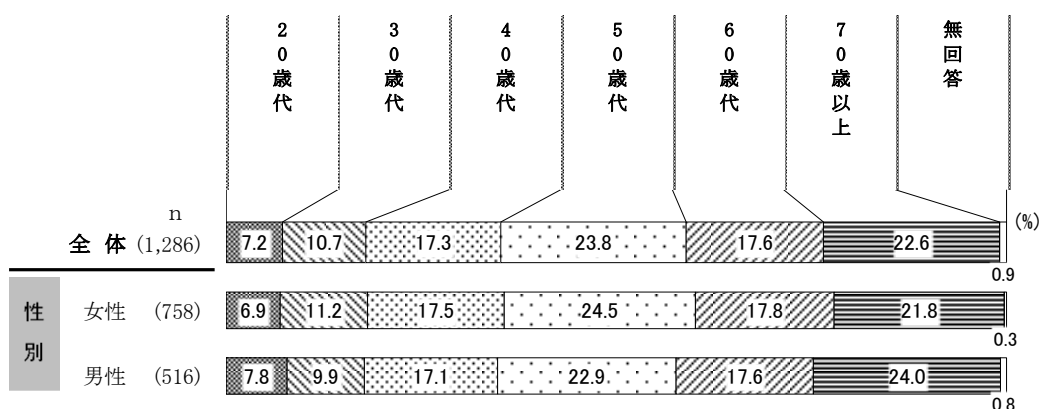
性別についてみると、「女性」が58.9%で最も高く、次いで、「男性」(40.1%)、「その他」(0.2%)となっている。



### (2) 年齢

年齢についてみると、「50歳代」が23.8%で最も高く、次いで、「70歳以上」(22.6%)、「60歳代」(17.6%)、「40歳代」(17.3%)となっている。

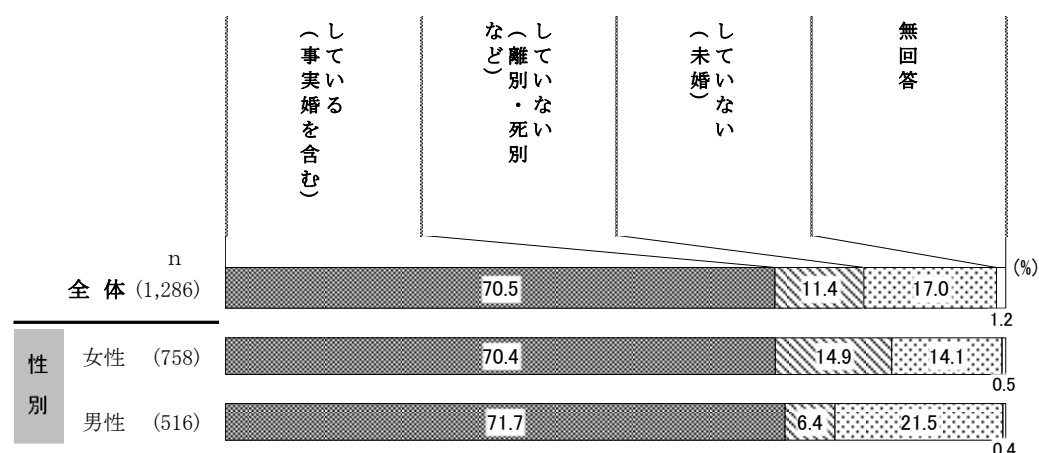
性別にみると、男女間に大きな違いはみられない。



### (3) 婚姻の有無

婚姻の有無についてみると、「している(事実婚を含む)」が70.5%で最も高く、次いで、「していない(未婚)」(17.0%)、「していない(離別・死別など)」(11.4%)となっている。

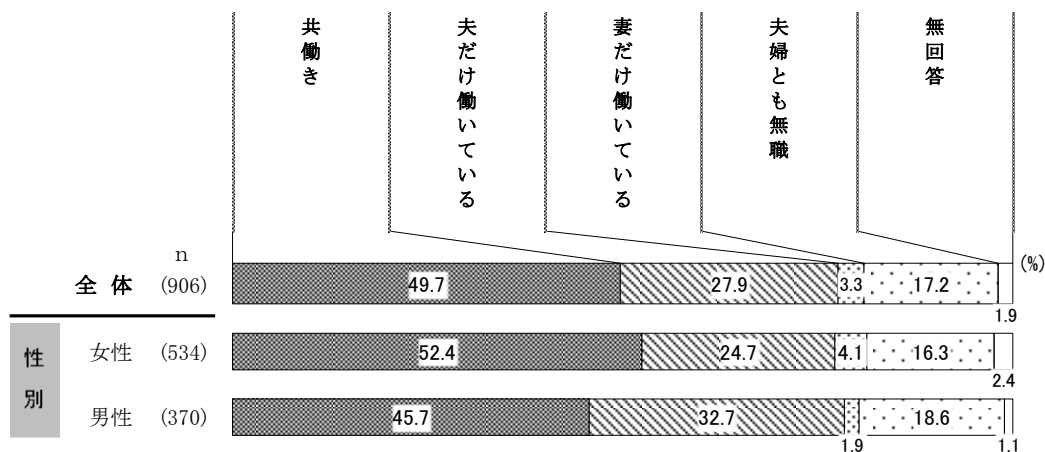
性別にみると、男女ともに「している(事実婚を含む)」が7割以上で最も高くなっている。女性は「していない(離別・死別など)」(14.9%)と「していない(未婚)」(14.1%)が同程度となっており、男性は次いで「していない(未婚)」(21.5%)が高くなっている。



### (4) 夫婦の働き方

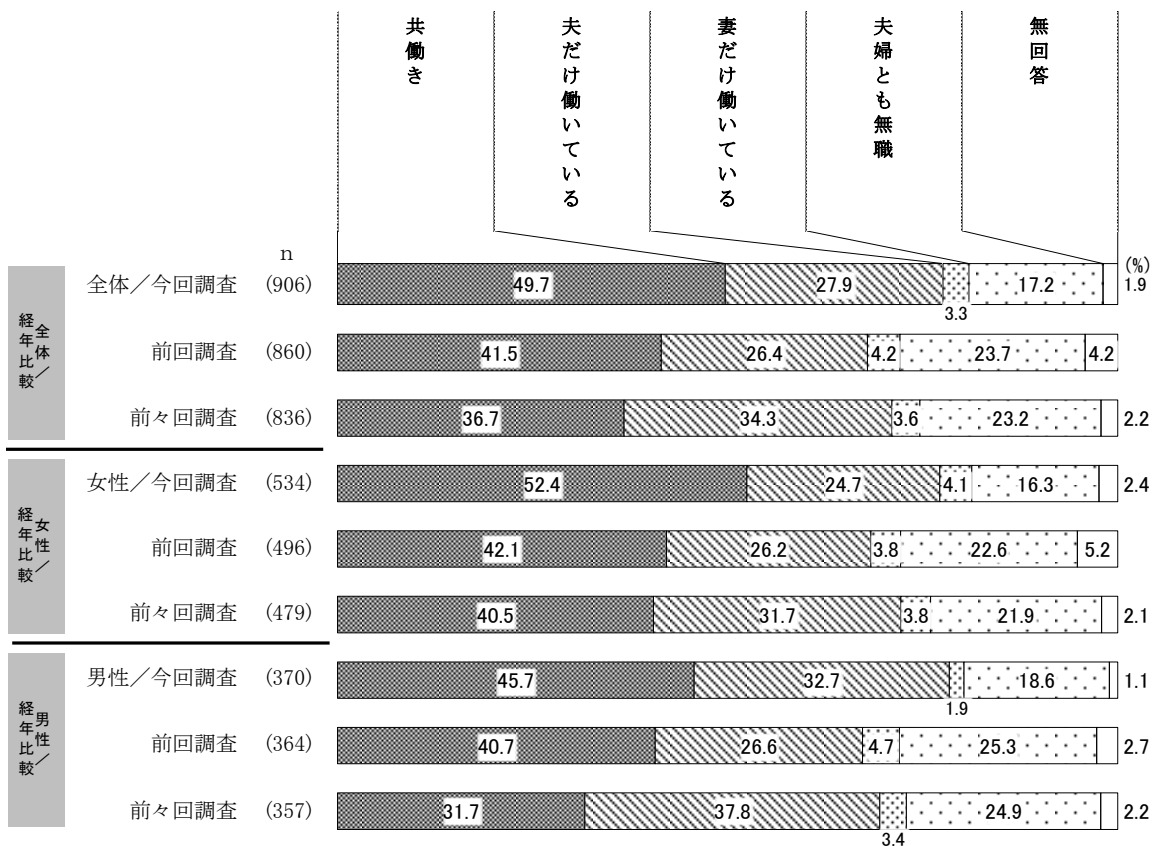
夫婦の働き方についてみると、「共働き」が49.7%で最も高く、次いで、「夫だけ働いている」(27.9%)、「夫婦とも無職」(17.2%)となっている。

性別にみると、男女ともに「共働き」が最も高くなっているが、女性(52.4%)が男性(45.7%)より6.7ポイント高くなっている。また、「夫だけ働いている」は男性(32.7%)が女性(24.7%)より8ポイント高くなっている。



### ■経年比較

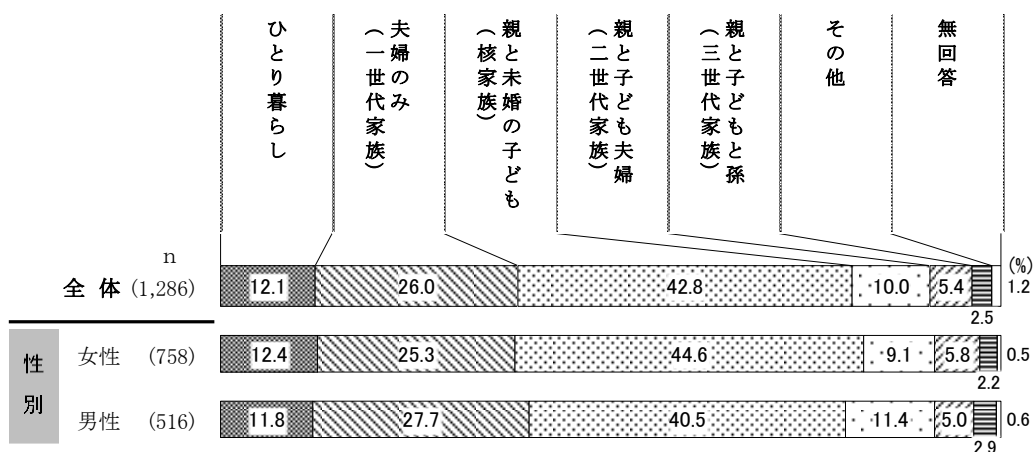
経年比較をみると、前々回調査から今回調査にかけて「共働き」が増加しており、前回調査から8.2ポイント増加している。



### (5) 世帯構成

世帯構成についてみると、「親と未婚の子ども（核家族）」が42.8%で最も高く、次いで、「夫婦のみ（一世代家族）」(26.0%)、「ひとり暮らし」(12.1%)、「親と子ども夫婦（二世世代家族）」(10.0%) となっている。

性別にみると、男女間に大きな違いはみられない。



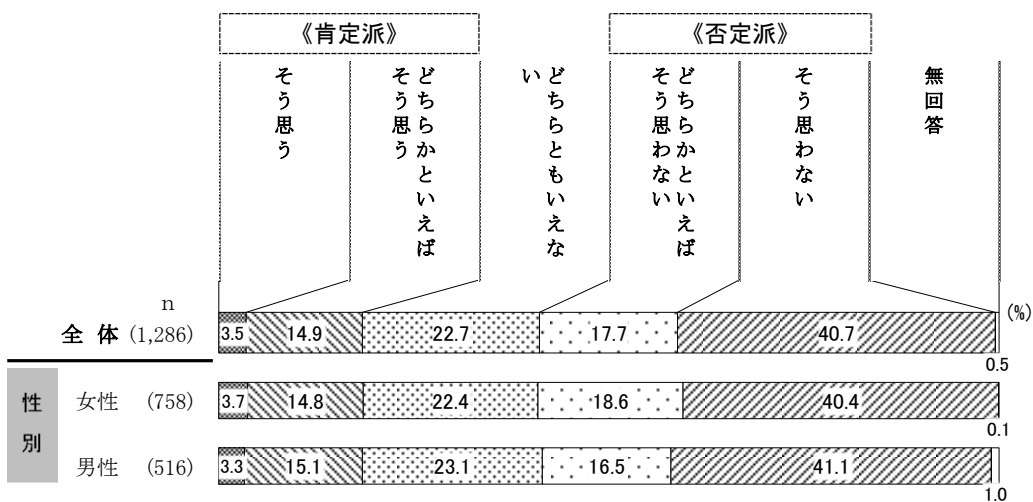
## 2. 家庭内の役割分担について

### (1) 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についての意識

問1 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。  
(○は1つ)

「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についての意識についてみると、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた《否定派》が58.4%、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた《肯定派》が18.4%となっており、《否定派》が《肯定派》を上回っている。

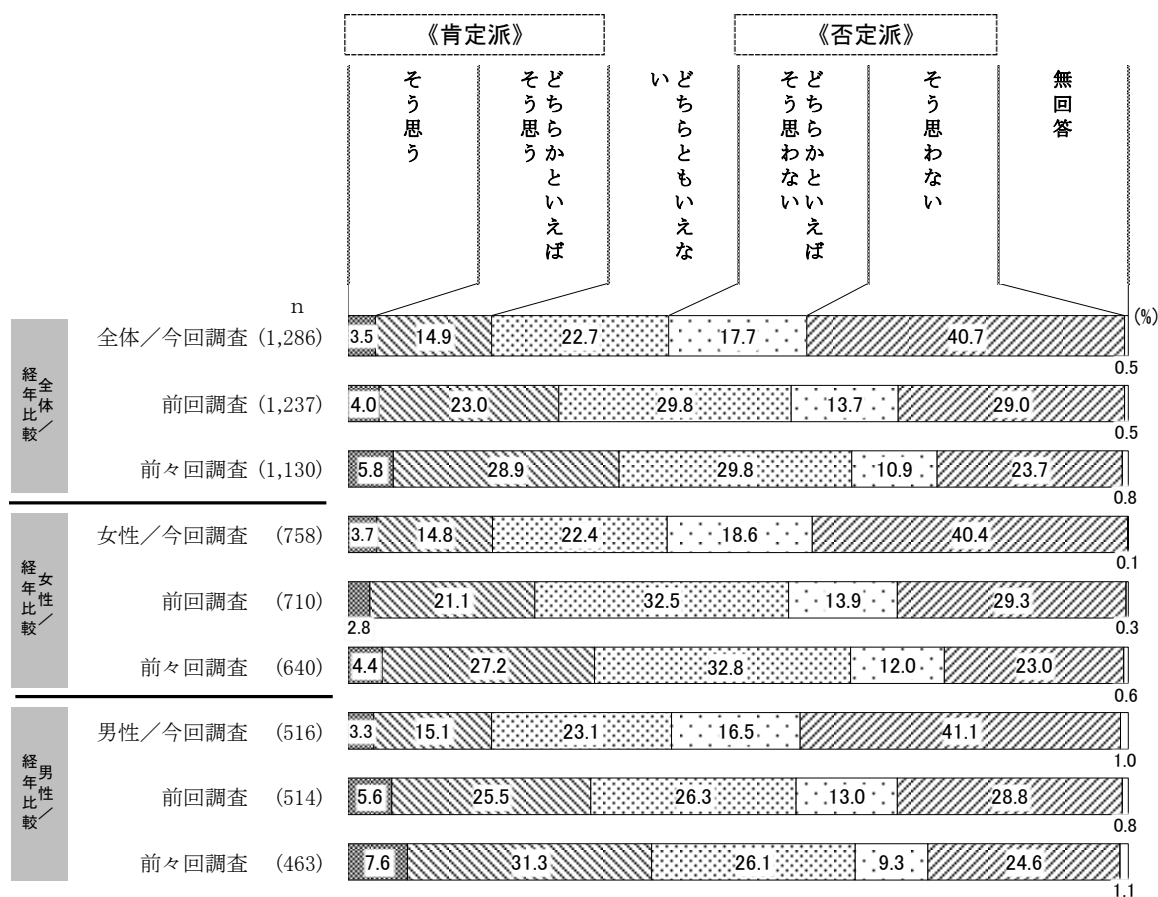
性別にみても同様の傾向がうかがえ、男女間に大きな違いはみられない。



■経年比較

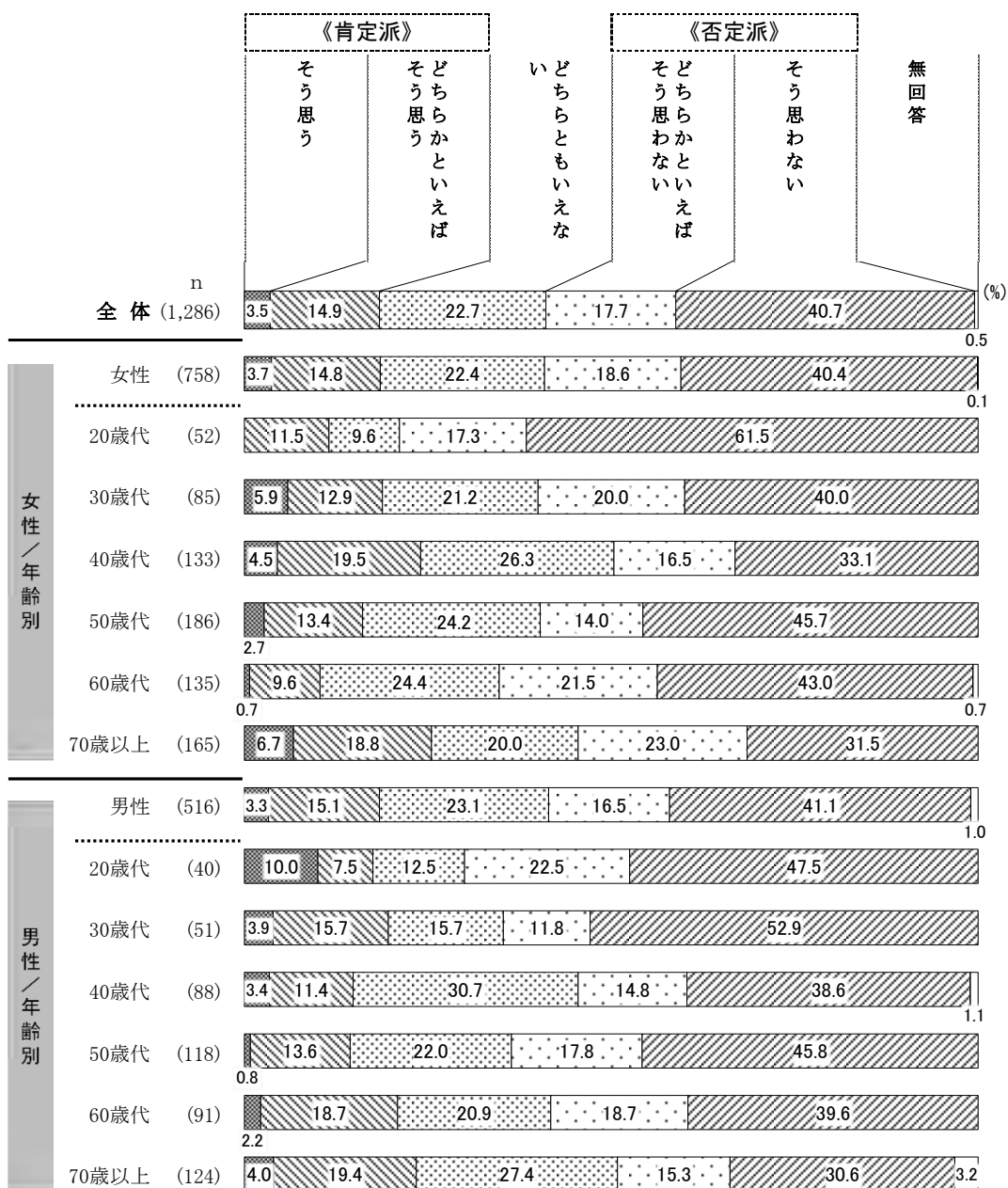
経年比較をみると、前々回調査から今回調査にかけて《肯定派》は減少しており、前回調査から8.6ポイント減少している。また、《否定派》は増加しており、前回調査から15.7ポイント増加している。

性別にみても同様の傾向がうかがえ、前回調査から男女ともに《否定派》が15ポイント以上増加し、男性で《肯定派》が12.7ポイント減少している。



■性年齢別

性年齢別にみると、20歳代では《否定派》が女性で約8割（78.8%）、男性で7割（70.0%）と他の年代より高くなっている。《肯定派》が男女ともに70歳以上、女性の40歳代と男性の60歳代で2割以上となっている。

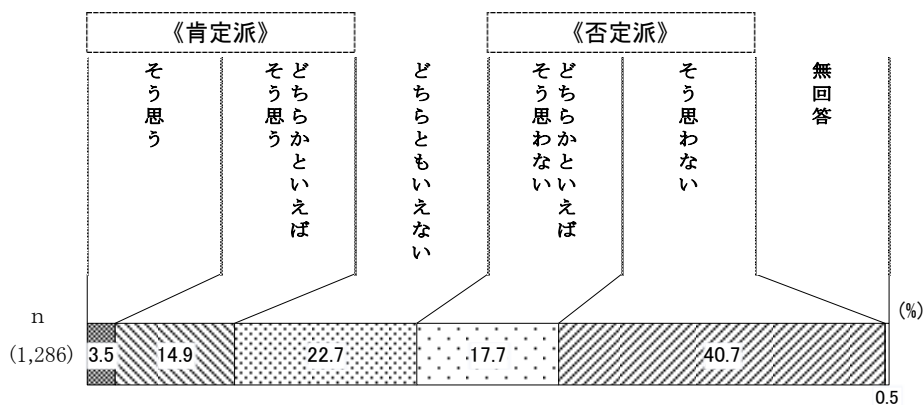




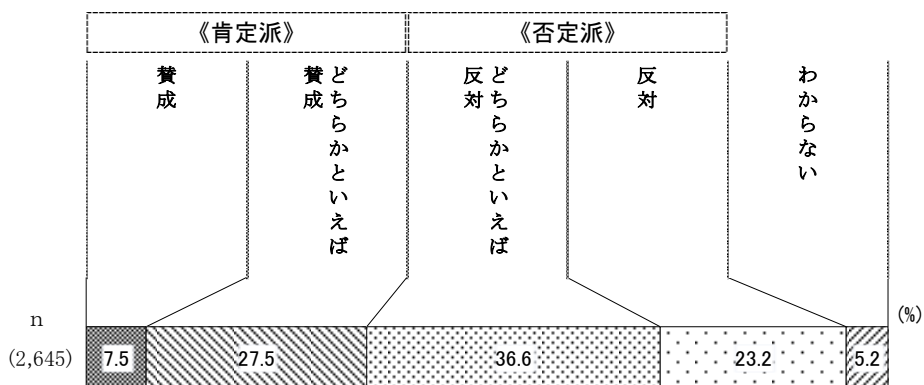
■国比較

内閣府が2019年に実施した「男女共同参画社会に関する世論調査」とは文章表現や選択肢が異なることを考慮する必要があるが、参考として内閣府の調査と比較すると、町田市で「そう思わない」、国で「どちらかといえば反対」が最も高くなっている。また、町田市の「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた《否定派》（58.4%）と、国の「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた《否定派》（59.8%）は、ともに過半数を占めている。

【町田市】



【国】

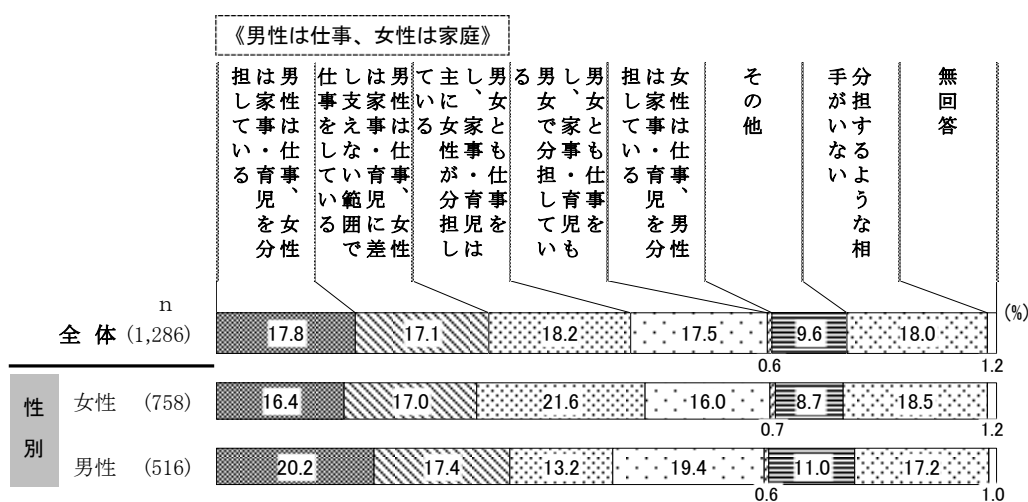


(2) 家庭での役割分担

問2 あなたのご家庭での役割分担はどうなっていますか。最も近いものを1つお選びください。(○は1つ)

家庭での役割分担についてみると、「男性は仕事、女性は家事・育児を分担している」、「男性は仕事、女性は家事・育児に差し支えのない範囲で仕事をしている」、「男女とも仕事をし、家事・育児は主に女性が分担している」を合わせた《男性は仕事、女性は家庭》が53.1%となっている。また、「男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担している」は17.5%となっている。

性別にみると、「男女とも仕事をし、家事・育児は主に女性が分担している」は女性(21.6%)が男性(13.2%)より8.4ポイント高くなっている。



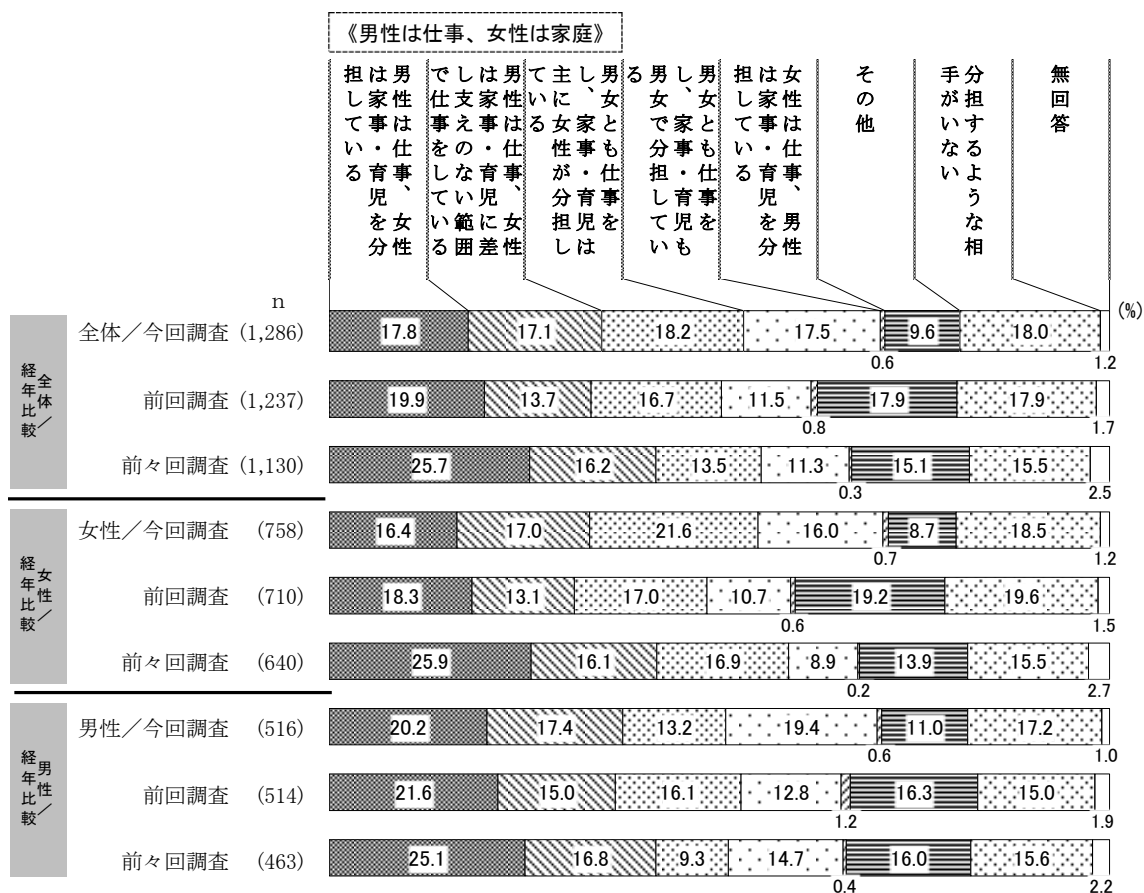
■主な「その他」の回答

<b>現在、無職 (33件)</b>
・後期高齢者なので男が家事の一部を分担。
・夫はリタイア後、できる範囲の家事をしている。私は、パートをしながら、夫が出来ない家事(主に食事作り)をしている。
・退職に依り現在は家事を分担している。
・男女とも仕事はもうしていないが、家事は分担している。
・男女共退職後の為、家事等は協力し合っている
<b>特に役割分担は決まっていない (20件)</b>
・家事はできる人がやる。又、育児に男女は関係ない。
・役割分担はない。
・自営業なので、それぞれが協力しあっている。
・高齢なため、特に分担は決めていないが、協力出来る範囲で行っている。

■経年比較

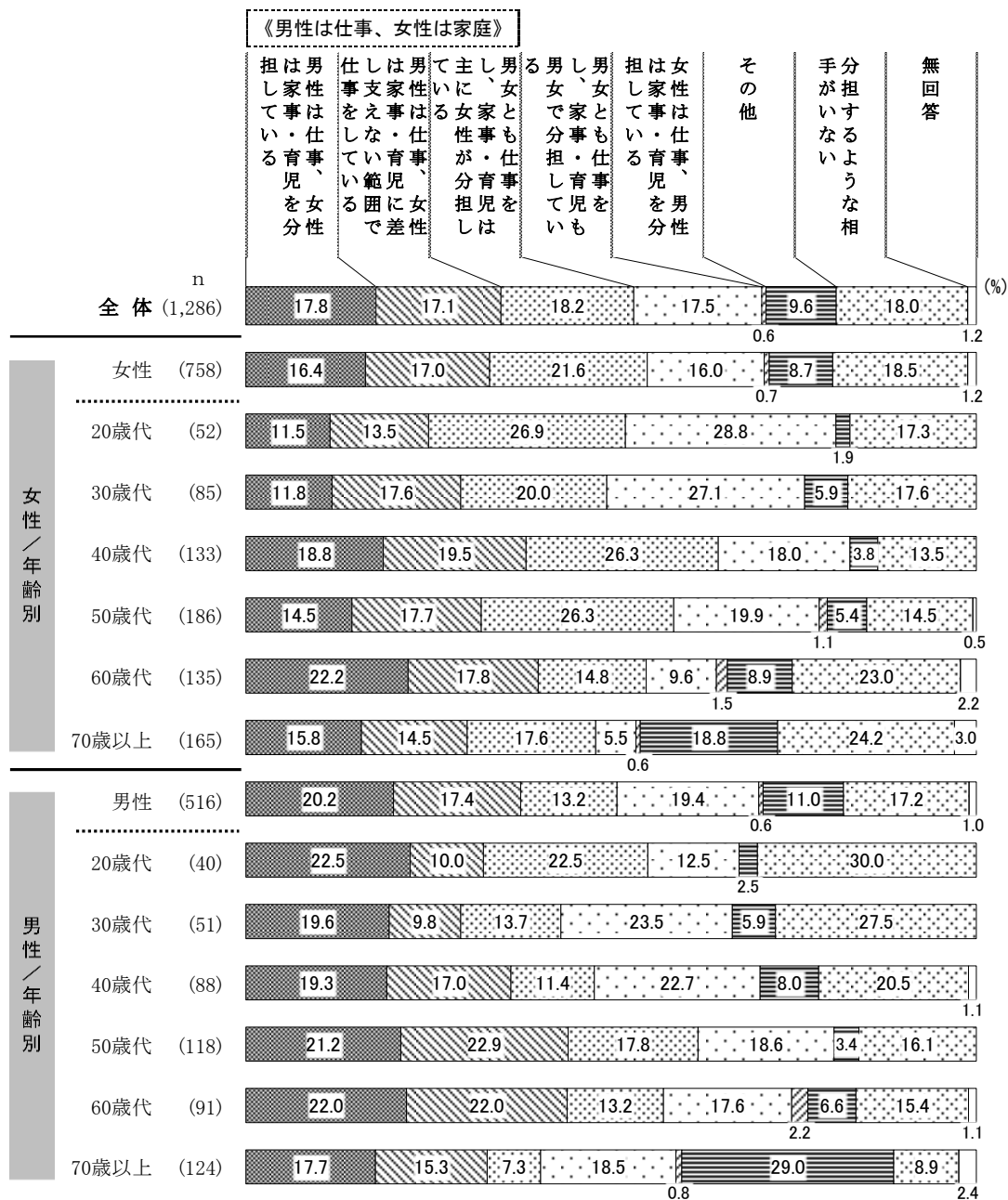
経年比較をみると、前々回調査から今回調査にかけて「男性は仕事、女性は家事・育児を分担している」は減少していることがうかがえる。前回調査と比較すると、「男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担している」が6ポイント増加している。

性別にみると、男女ともに「男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担している」が増加している。一方で、女性で《男性は仕事、女性は家庭》が6.6ポイント増加している。



■性年齢別

性年齢別にみると、「男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担している」が女性の20歳代、30歳代で約3割、男性の30歳代、40歳代で2割以上と、他の年代より高くなっている。女性では、「男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担している」が20歳代、30歳代で約3割、40歳代、50歳代で約2割、60歳代、70歳以上で1割未満と、年代が上がるほど低くなる傾向がうかがえる。《男性は仕事、女性は家庭》が女性の40歳代、男性の50歳代で6割以上、女性の50歳代、60歳代で約6割と、他の年代より高くなっている。



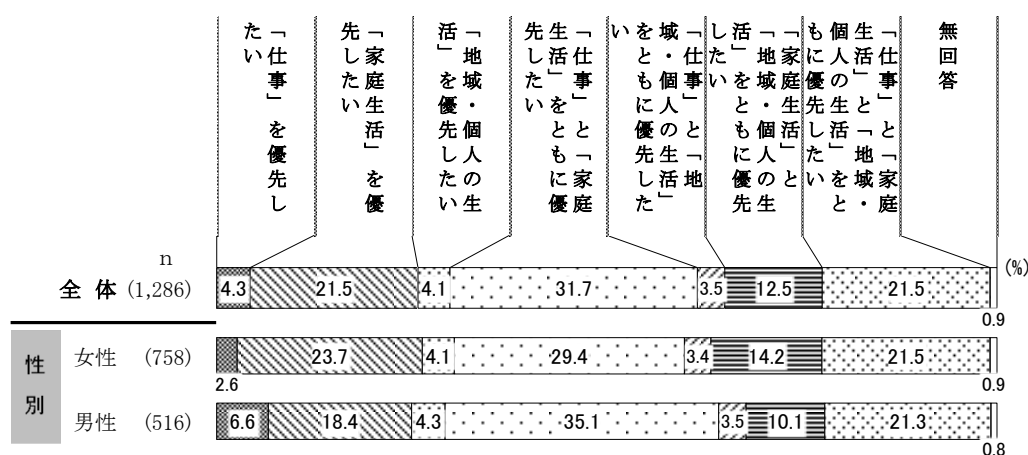
### 3. 家庭生活と社会生活の両立について

#### (1) 生活の中での優先度（希望）

問3 あなたの生活の中で「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度についておたずねします。あなたの希望に最も近いものを1つだけお選びください。(〇は1つ)

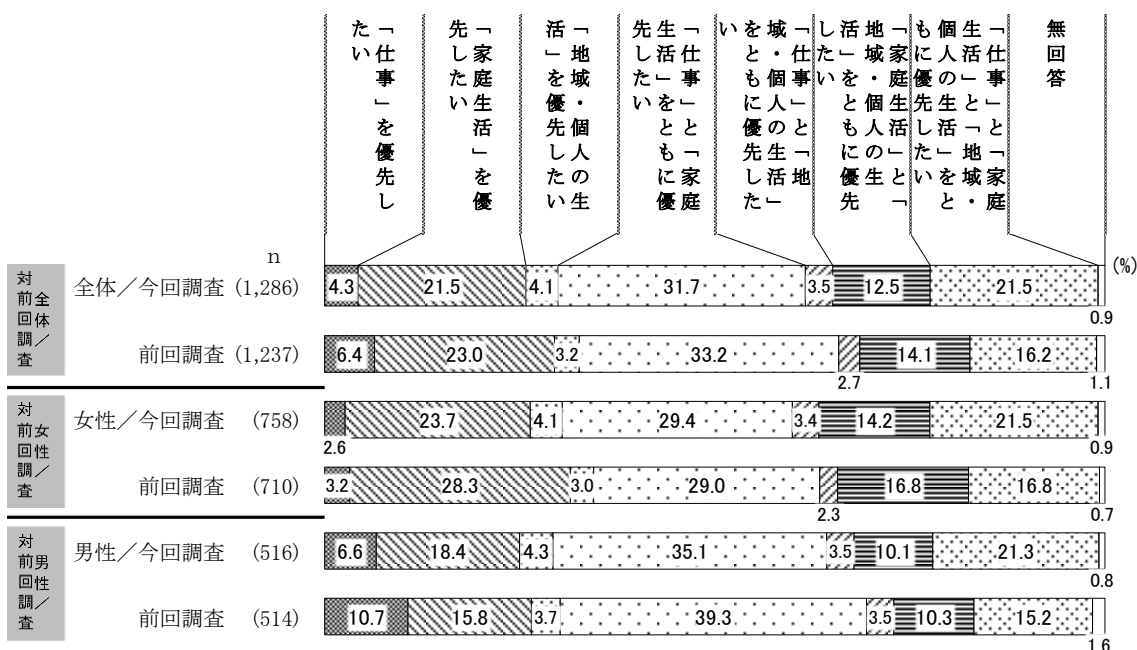
生活の中での優先度（希望）についてみると、「『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」が31.7%で最も高く、次いで、「『家庭生活』を優先したい」、「『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先したい」が同値（21.5%）となっている。

性別にみると、男女ともに「『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」が最も高くなっている。「『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」は男性（35.1%）が女性（29.4%）より5.7ポイント高くなっている。一方で、「『家庭生活』を優先したい」は女性（23.7%）が男性（18.4%）より5.3ポイント高くなっている。



#### ■経年比較

前回調査と比較すると、男女ともに「『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先したい」が増加している。

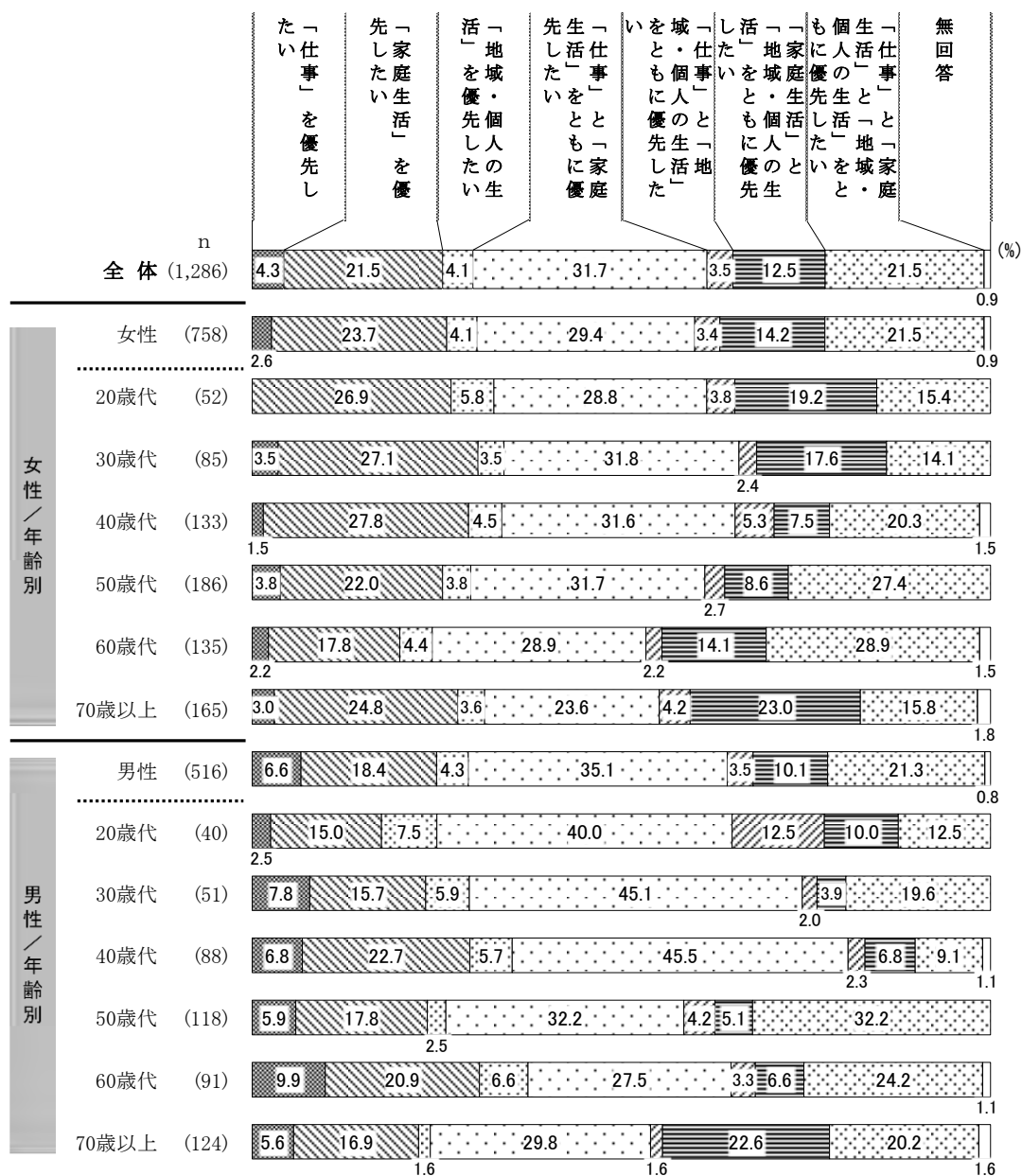


■性年齢別

性年齢別にみると、『仕事』と『家庭生活』をともに優先したいが男性の20歳代～40歳代で4割以上と、他の年代より高くなっている。

また、『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先したいが男女ともに70歳以上で2割以上を占めているが、女性の20歳代、30歳代でも約2割と、他の年代よりも高くなっている。

女性は70歳以上を除くすべての年代で『仕事』と『家庭生活』をともに優先したいが最も高くなっているが、20歳代～40歳代で『家庭生活』を優先したいが約3割と次いで高くなっている。

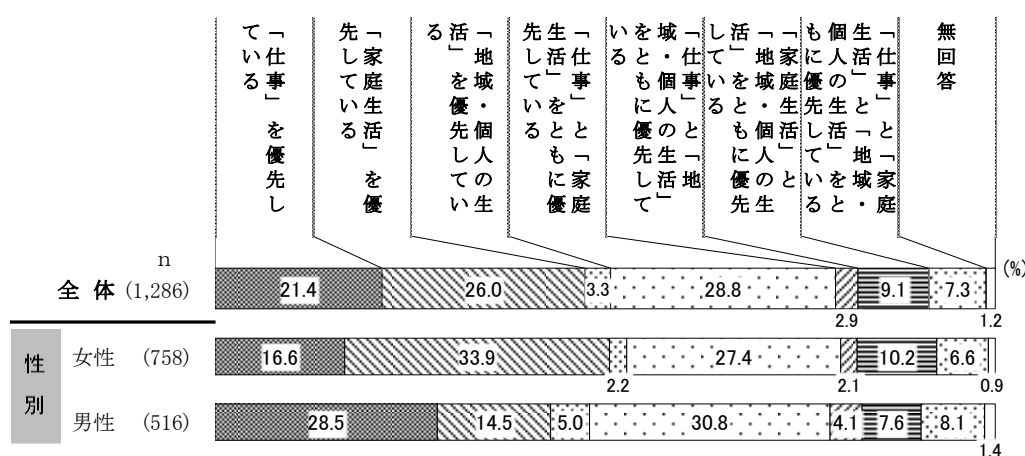


(2) 生活の中での優先度（現実）

問4 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」について、あなたの現実（現状）に最も近いものを1つだけお選びください。（○は1つ）

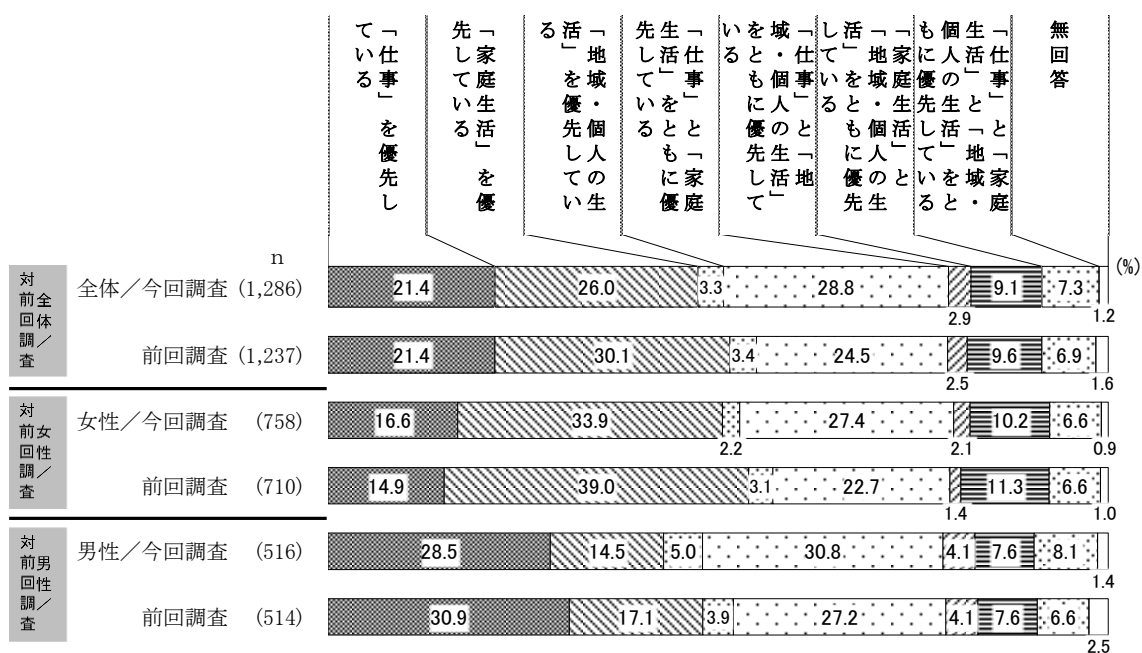
生活の中での優先度（現実）についてみると、「『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」が28.8%で最も高く、次いで、「『家庭生活』を優先している」（26.0%）、「『仕事』を優先している」（21.4%）となっている。

性別にみると、女性で「『家庭生活』を優先している」が33.9%と最も高く、男性（14.5%）より19.4ポイント高くなっている。一方、男性で「『仕事』を優先している」が28.5%と最も高く、女性（16.6%）より11.9ポイント高くなっている。



■経年比較

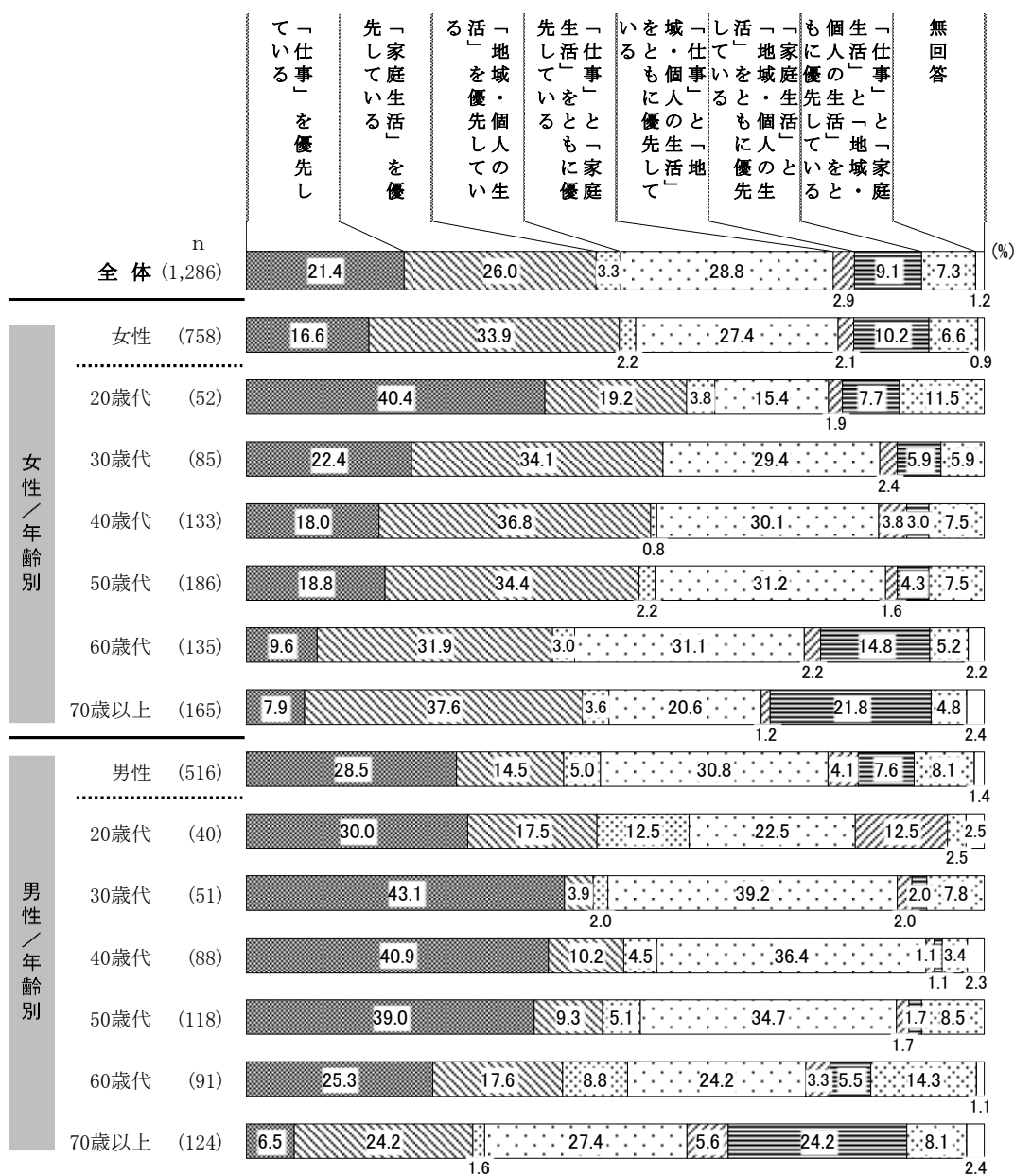
前回調査と比較すると、女性で「『家庭生活』を優先している」が5.1ポイント減少し、「『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」が4.7ポイント増加している。



■性年齢別

性年齢別にみると、『仕事』を優先している」は女性の20歳代、男性の30歳代～50歳代で4割前後と、他の年代より高くなっている。また、女性は20歳代を除くすべての年代で『家庭生活』を優先している」が最も高くなっているが、30歳代～60歳代で『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」が3割前後と高くなっている。

男性は『仕事』を優先している」が70歳以上を除くすべての年代で最も高くなっているが、30歳代、40歳代で『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」が約4割と高くなっている。





■現状の生活優先度（問4）ごとにみる、希望の生活優先度（問3）

希望の生活優先度を、現状の生活優先度別にみると、現状で「『家庭生活』を優先している」や「『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」、「『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先している」、「『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先している」では、現状と希望の生活優先度が一致している人は半数を超えているものの、現状で「『仕事』を優先している」と回答した人の希望の生活優先度は、「『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」が約4割となっている。また、現状で「『仕事』と『地域・個人の生活』をともに優先している」と回答した人は、希望の生活優先度で「『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先したい」も3割以上と同程度となっている。

		調査数	希望の生活優先度（問3）							無回答
			「仕事」を優先したい	「家庭生活」を優先したい	優先したい「地域・個人の生活」を	「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	優先したい「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	
現状の生活優先度（問4）	「仕事」を優先している	275	12.4	14.2	4.0	38.9	6.5	5.5	18.2	0.4
	「家庭生活」を優先している	334	2.1	50.9	3.3	19.5	0.6	14.1	9.0	0.6
	「地域・個人の生活」を優先している	43	2.3	7.0	34.9	18.6	11.6	11.6	14.0	-
	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	371	1.3	14.0	1.6	56.6	1.1	3.5	21.8	-
	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	37	8.1	-	5.4	10.8	35.1	8.1	32.4	-
	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	117	1.7	6.0	6.0	4.3	0.9	59.8	21.4	-
	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	94	2.1	4.3	-	7.4	2.1	7.4	76.6	-

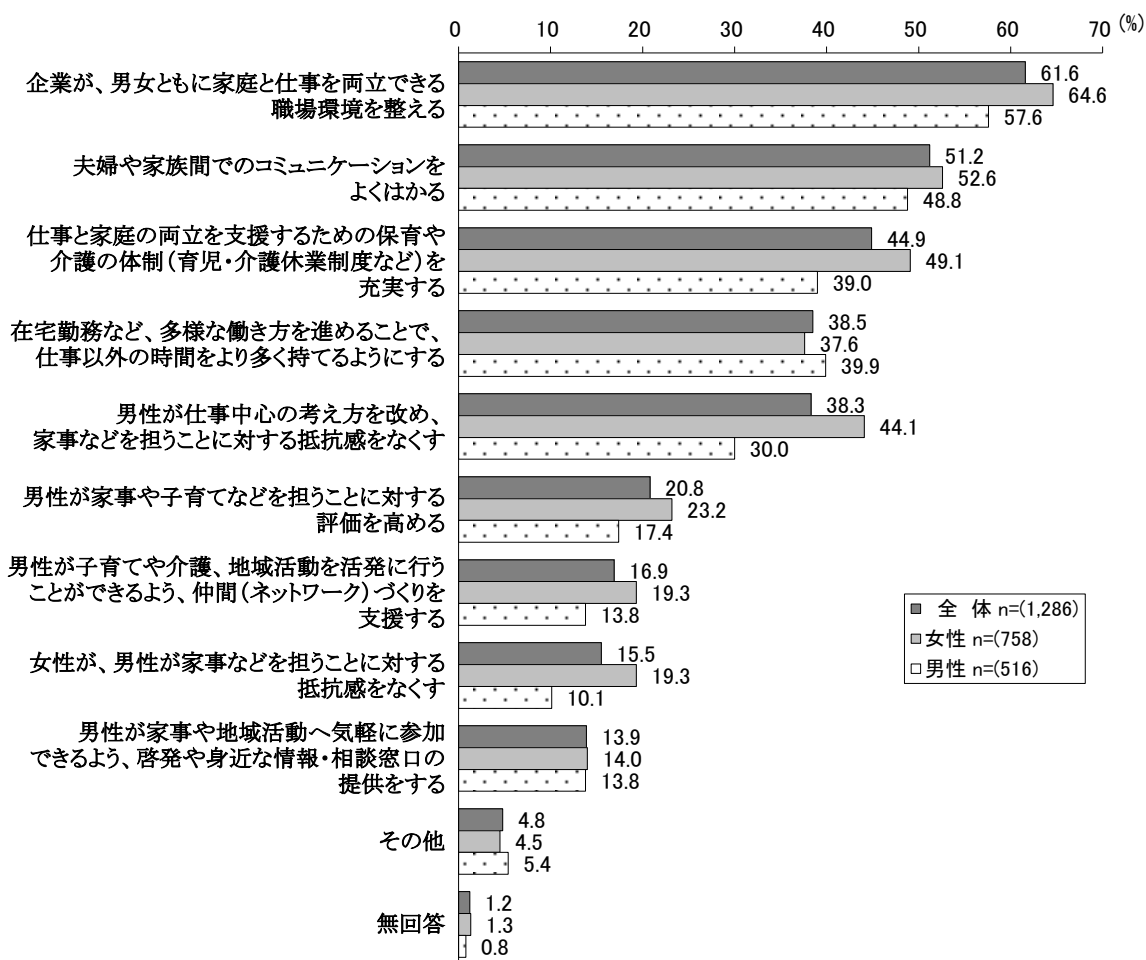
現状と希望の優先度が一致

(3) 男女が家事等を積極的に担うために必要なこと

問5 男性と女性がともに家事、子育て、介護、地域活動を積極的に担うためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

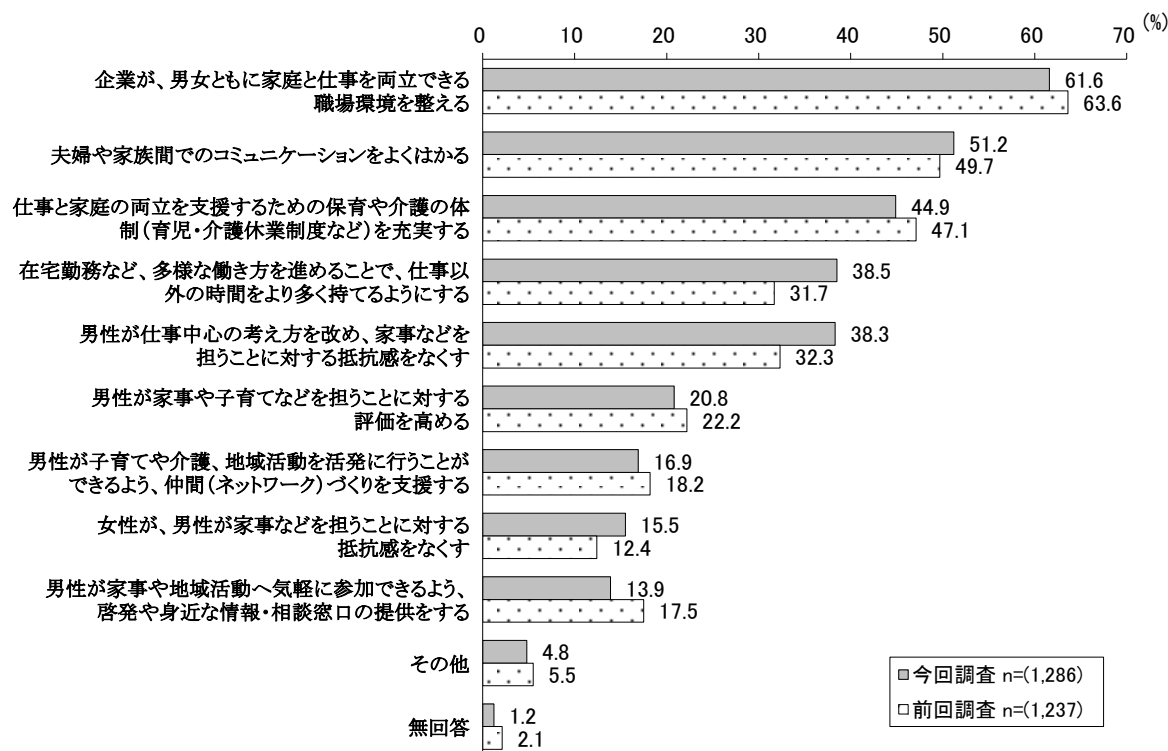
男女が家事等を積極的に担うために必要なことについてみると、「企業が、男女ともに家庭と仕事を両立できる職場環境を整える」が61.6%で最も高く、次いで、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる」(51.2%)、「仕事と家庭の両立を支援するための保育や介護の体制(育児・介護休業制度など)を充実する」(44.9%)となっている。

性別にみると、「男性が仕事中心の考え方を改め、家事などを担うことに対する抵抗感をなくす」は女性(44.1%)が男性(30.0%)より14.1ポイント、「仕事と家庭の両立を支援するための保育や介護の体制(育児・介護休業制度など)を充実する」は女性(49.1%)が男性(39.0%)より10.1ポイント高くなっている。



■経年比較

前回調査と比較すると、「在宅勤務など、多様な働き方を進めることで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする」が6.8ポイント、「男性が仕事中心の考え方を改め、家事などを担うことに対する抵抗感をなくす」が6ポイント増加している。



## 4. 子育てや教育について

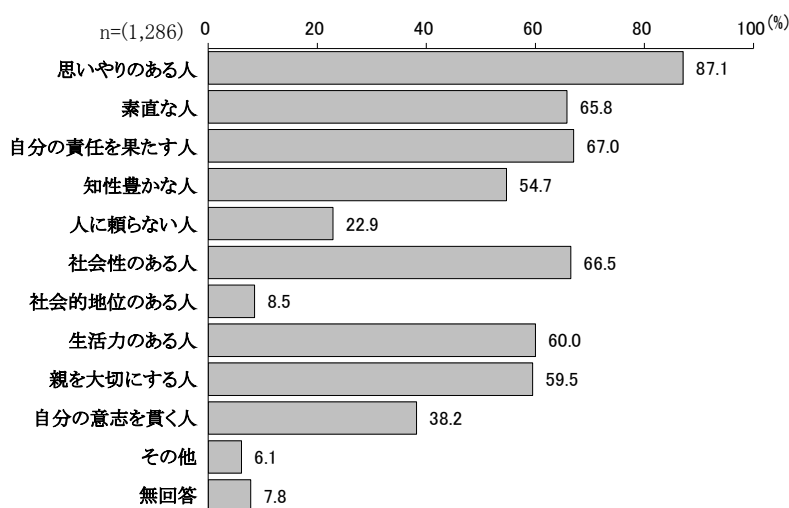
### (1) 女の子・男の子にどのように育ってほしいか

問6 あなたは、子どもにはどのように育って欲しいと思いますか。以下の（ア）～（サ）について女の子・男の子それぞれあてはまるものすべてをお選びください。（〇はそれぞれいくつでも）

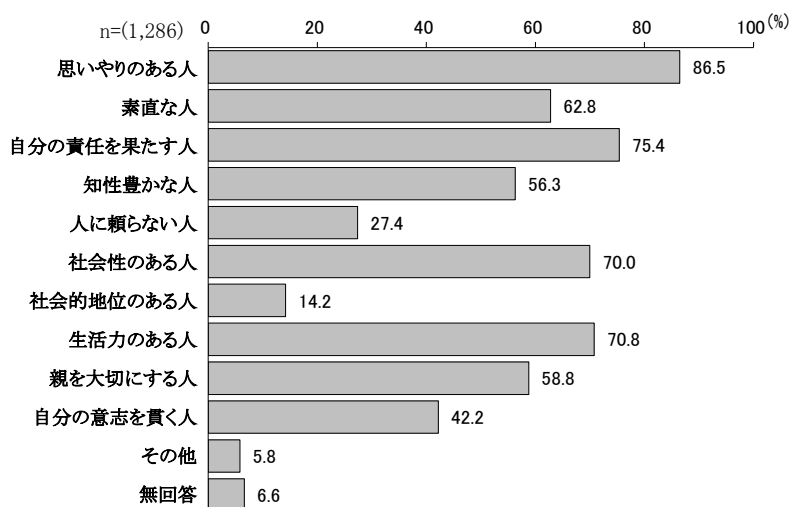
女の子にどのように育ってほしいかについてみると、「思いやりのある人」が87.1%で最も高く、次いで、「自分の責任を果たす人」（67.0%）、「社会性のある人」（66.5%）となっている。

男の子にどのように育ってほしいかについてみると、「思いやりのある人」が86.5%で最も高く、次いで、「自分の責任を果たす人」（75.4%）、「生活力のある人」（70.8%）となっている。

#### 【女の子にどのように育ってほしいか】



#### 【男の子にどのように育ってほしいか】

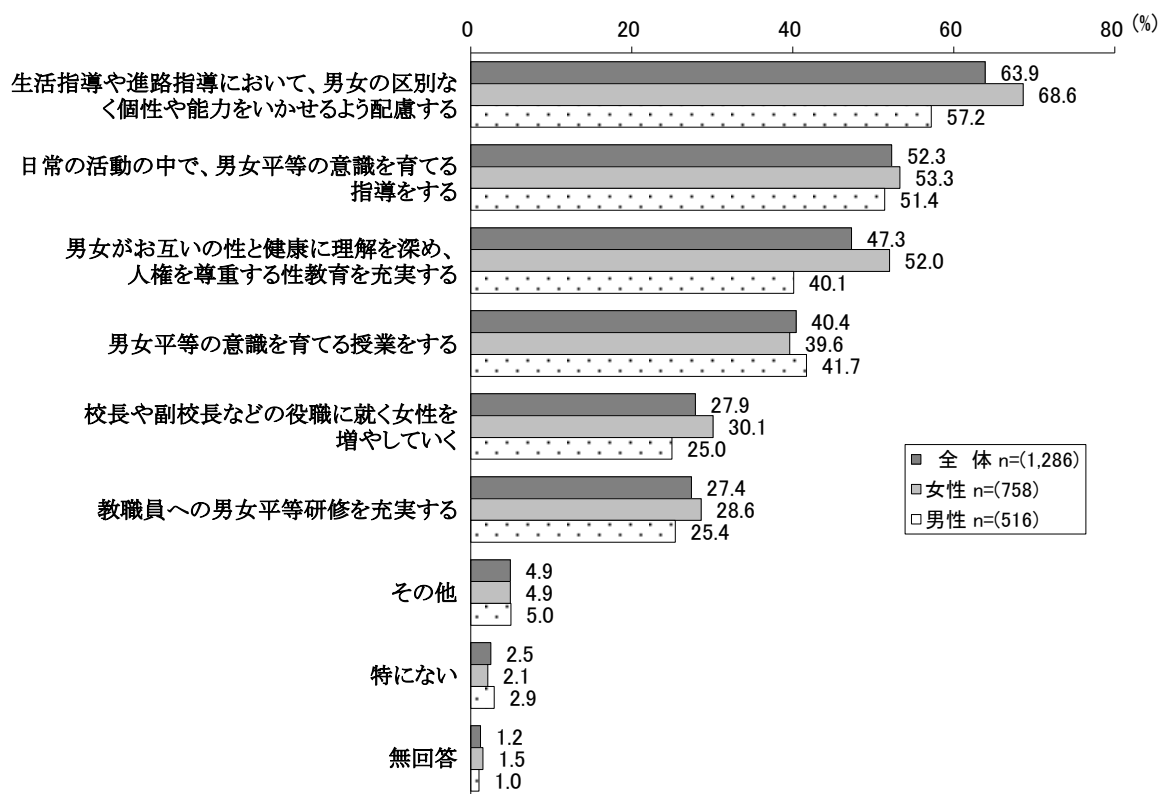


(2) 学校教育で特に力を入れるべきこと

問7 あなたは、男女が対等に互いに助け合っていく社会をつくっていくために、学校教育の場では特にどのようなことに力を入れれば良いと思いますか。(〇はいくつでも)

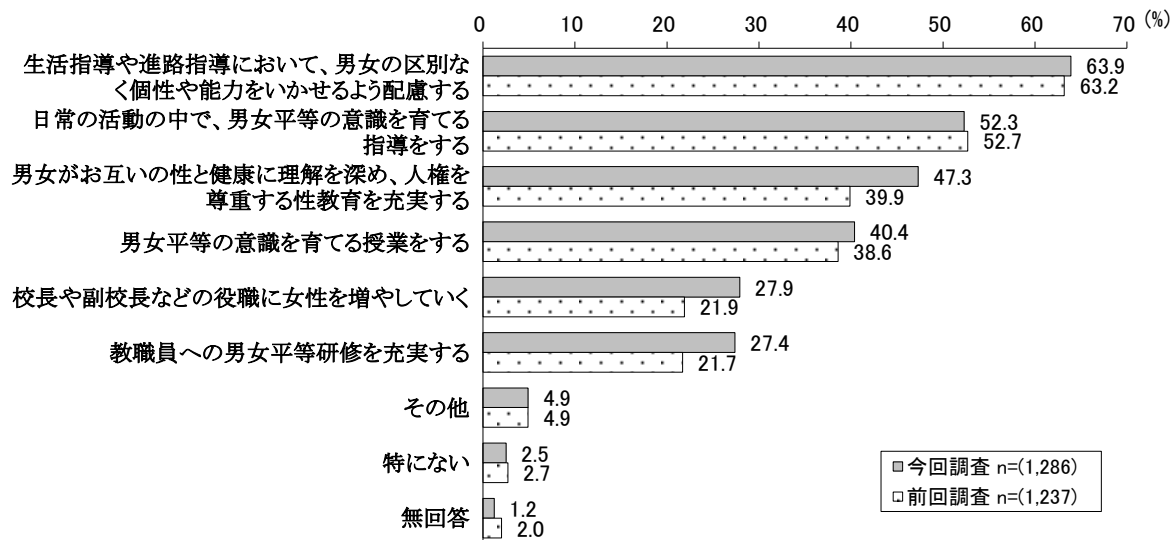
学校教育で特に力を入れるべきことについてみると、「生活指導や進路指導において、男女の区別なく個性や能力をいかせるよう配慮する」が63.9%で最も高く、次いで、「日常の活動の中で、男女平等の意識を育てる指導をする」(52.3%)、「男女がお互いの性と健康に理解を深め、人権を尊重する性教育を充実する」(47.3%)となっている。

性別にみると、「男女がお互いの性と健康に理解を深め、人権を尊重する性教育を充実する」は女性(52.0%)が男性(40.1%)より11.9ポイント、「生活指導や進路指導において、男女の区別なく個性や能力をいかせるよう配慮する」は女性(68.6%)が男性(57.2%)より11.4ポイント高くなっている。



■経年比較

前回調査と比較すると、「男女がお互いの性と健康に理解を深め、人権を尊重する性教育を充実する」が7.4ポイント、「校長や副校長などの役職に女性を増やしていく」が6ポイント、「教職員への男女平等研修を充実する」が5.7ポイント増加している。

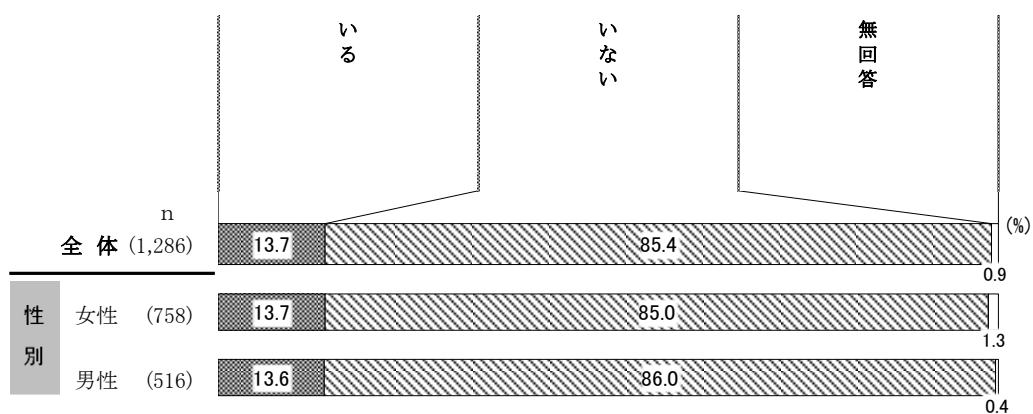


## 5. 介護について

## (1) 介護が必要な家族の有無

問8 あなたの家庭では、介護が必要な家族の方がいらっしゃいますか。(○は1つ)

介護が必要な家族の有無についてみると、「いない」が85.4%、「いる」が13.7%となっている。性別にみると、男女間に大きな違いはみられない。

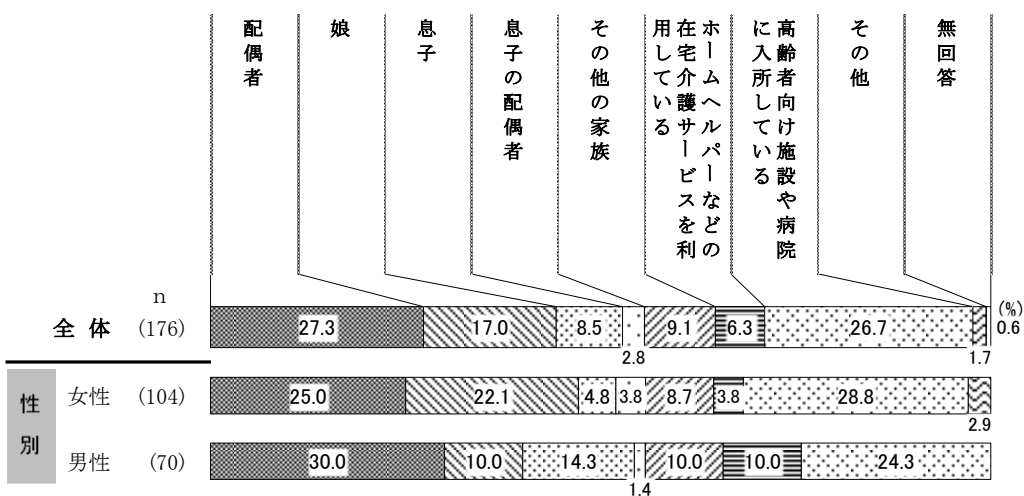


(2) 家庭内で主に介護を行っている人

(問8で「1. いる」とお答えの方に)  
 問8-1 あなたの家庭では、その方の介護は、主にどなたが行っていますか。(介護される方から見た続き柄をお選びください)(○は1つ)

家庭内で主に介護を行っている人についてみると、「配偶者」が27.3%で最も高く、次いで、「高齢者向け施設や病院に入所している」(26.7%)、「娘」(17.0%)となっている。

性別にみると、女性では「高齢者向け施設や病院に入所している」が28.8%と最も高く、次いで、「配偶者」(25.0%)となっている。男性では「配偶者」が30.0%と最も高く、次いで、「高齢者向け施設や病院に入所している」(24.3%)となっている。



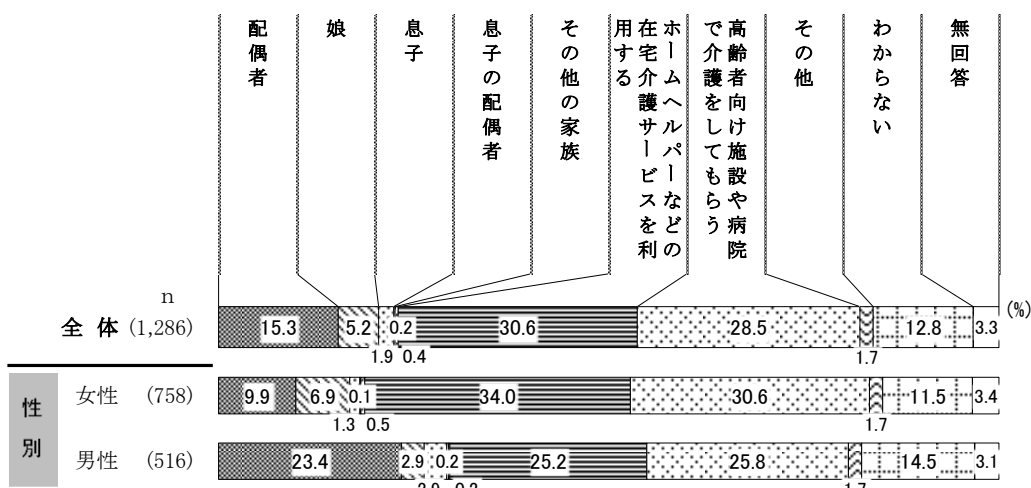


(3) 自身が高齢になった時に介護をしてほしい人

問9 あなたご自身が高齢になって介護が必要になったときは、主にどなたに介護をしてほしいと思いますか。または、どうしたいと思いますか。(〇は1つ)

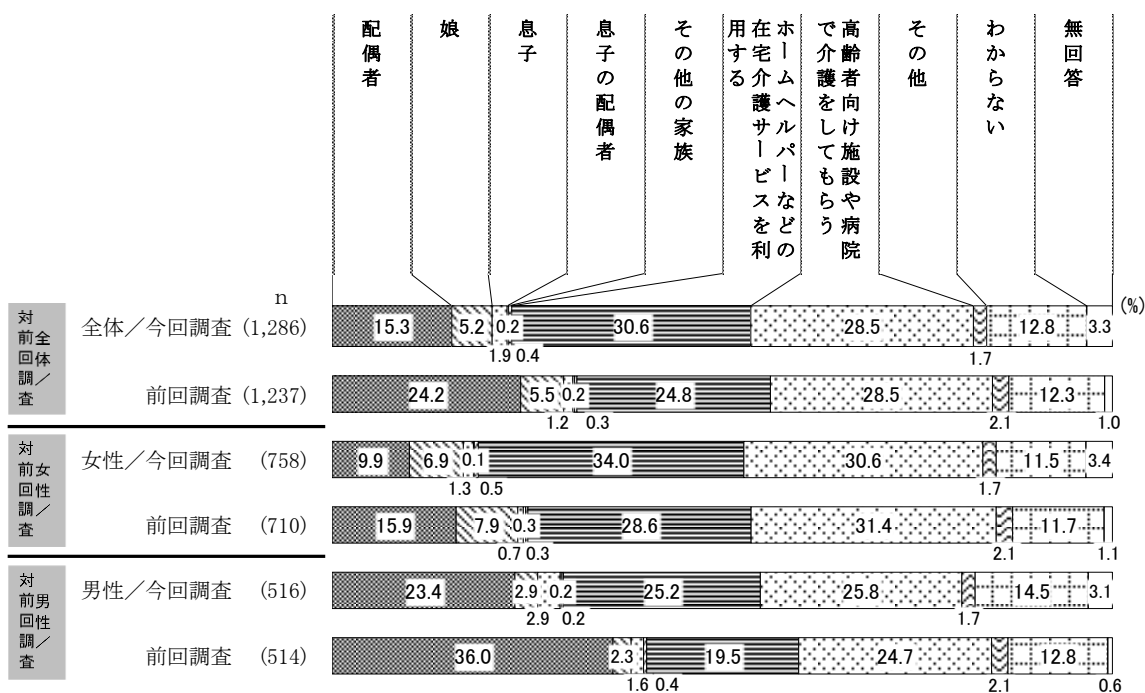
自身が高齢になった時に介護をしてほしい人についてみると、「ホームヘルパーなどの在宅介護サービスを利用する」が30.6%で最も高く、次いで、「高齢者向け施設や病院で介護をしてもらう」(28.5%)、「配偶者」(15.3%)、「娘」(5.2%)となっている。

性別にみると、女性では「ホームヘルパーなどの在宅介護サービスを利用する」(34.0%)が最も高く、男性(25.2%)より8.8ポイント高くなっている。また、男性では「高齢者向け施設や病院で介護をしてもらう」(25.8%)が最も高くなっているが、「ホームヘルパーなどの在宅介護サービスを利用する」(25.2%)も同程度となっている。「配偶者」は男性(23.4%)が女性(9.9%)より13.5ポイント高くなっている。



■経年比較

前回調査と比較すると、男女ともに「配偶者」が減少し、「ホームヘルパーなどの在宅介護サービスを利用する」が増加している。



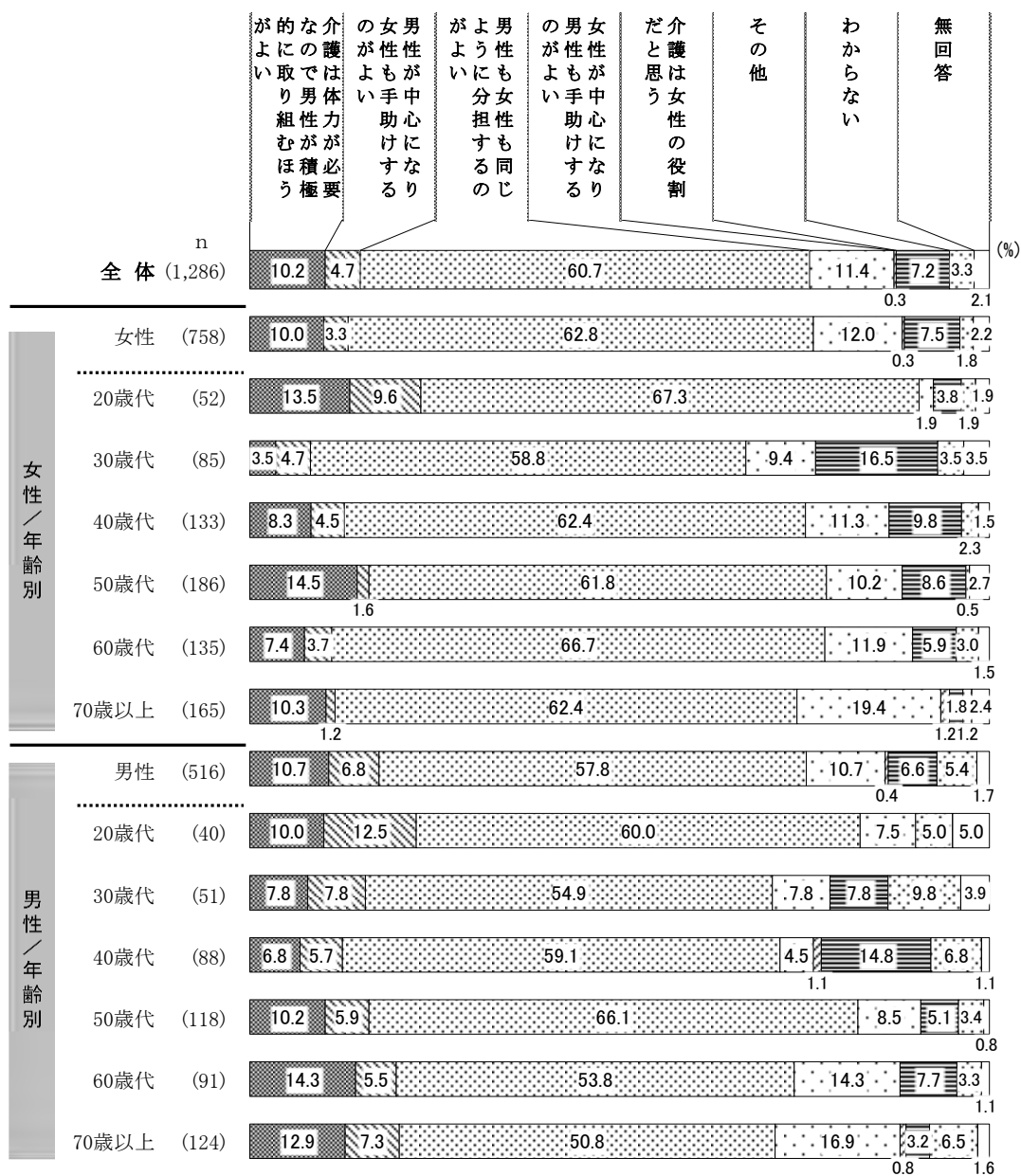
(4) 家庭内での介護は女性が担いがちであることに対する考え

問10 家庭での高齢者や病人の介護は、現実には女性が担いがちですが、あなたはごどう思いますか。(〇は1つ)

家庭内での介護は女性が担いがちであることに対する考えについてみると、「男性も女性も同じように分担するのがよい」が60.7%で最も高く、次いで、「女性が中心になり男性も手助けするのがよい」(11.4%)、「介護は体力が必要なので男性が積極的に取り組むほうがよい」(10.2%)となっている。

性別にみると、「男性も女性も同じように分担するのがよい」は女性(62.8%)が男性(57.8%)より5ポイント高くなっている。

性年齢別にみると、「女性が中心になり男性も手助けするのがよい」が女性の70歳以上、男性の60歳代、70歳以上で他の年代より高くなっており、20歳代と60歳代を除く年代で女性が男性を上回り、特に40歳代で6.8ポイント高くなっている。

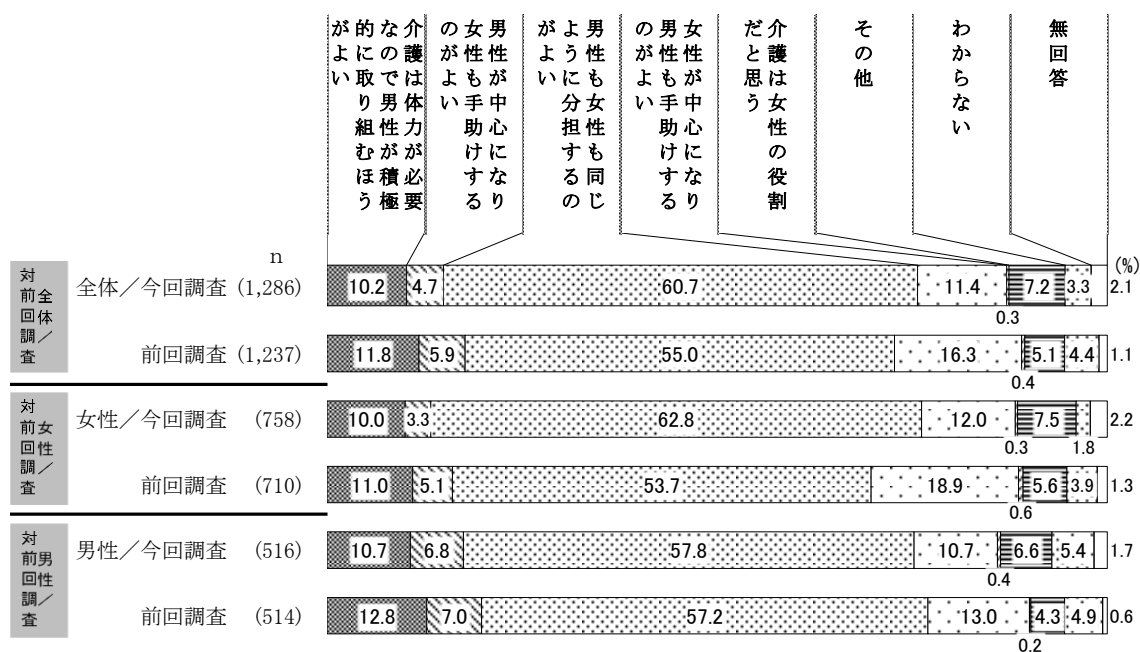


■主な「その他」の回答

<b>男女に関わらず、適任（時間、力量）者がするのがよい（28件）</b>
・性別の問題でなく、時間のある方。
・男女に関わらず、その時に出来る状況にある者が担えば良いのでは。
・能力に応じて性別とわず担った方がよい。
・性別に関わらず、適任者がすればいいと思います。
・男性女性関係ない。その状況になった時にその家庭関係において、誰がキーパーソンになれば良いのかその適任者が分かるはず。
<b>福祉サービスによる支援、利用（21件）</b>
・介護への家族の負担が大きすぎる。介護を家族内の問題として閉じ込めていることが問題である。
・男女問わず公的サービス等を有効に使うべき。
・どちらも負担にならないように何らかの介護サービスを利用するのが良いと思う。
・家族が介護するという考えを改め、国で介護施設やスタッフを増やすと、家族ももっと仕事が出来ると思います。
・外部（専門家）に委託すべきだと思う。家庭任せにすべきではない。
<b>夫婦や家族で協力するのがよい（15件）</b>
・特に性別分担ではなく家族（社会構成員）として必要な事を分担すべき。
・家庭の状況によりことなると思うが、皆で協力すべきだと思う。専門家の力を借りる。
・全員の仕事です。

■経年比較

前回調査と比較すると、女性で「男性も女性も同じように分担するのがよい」が9.1ポイント増加、「女性が中心になり男性も手助けするのがよい」が6.9ポイント減少している。男性で大きな変化はみられない。



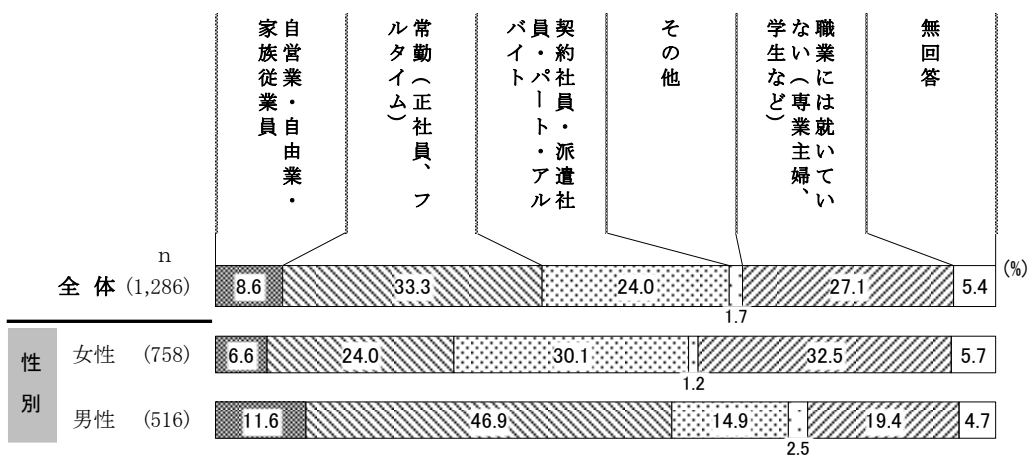
## 6. 就労・職場について

### (1) 現在の職業

問11 あなたは現在、収入のある職業に就いていますか。2つ以上の仕事に就いている方は、主なものを1つだけお選びください。(出産休暇や育児・介護休暇中の方も働いているとお考えください。)(○は1つ)

現在の職業についてみると、「常勤（正社員、フルタイム）」が33.3%で最も高く、次いで、「職業には就いていない（専業主婦、学生など）」(27.1%)、「契約社員・派遣社員・パート・アルバイト」(24.0%)となっている。

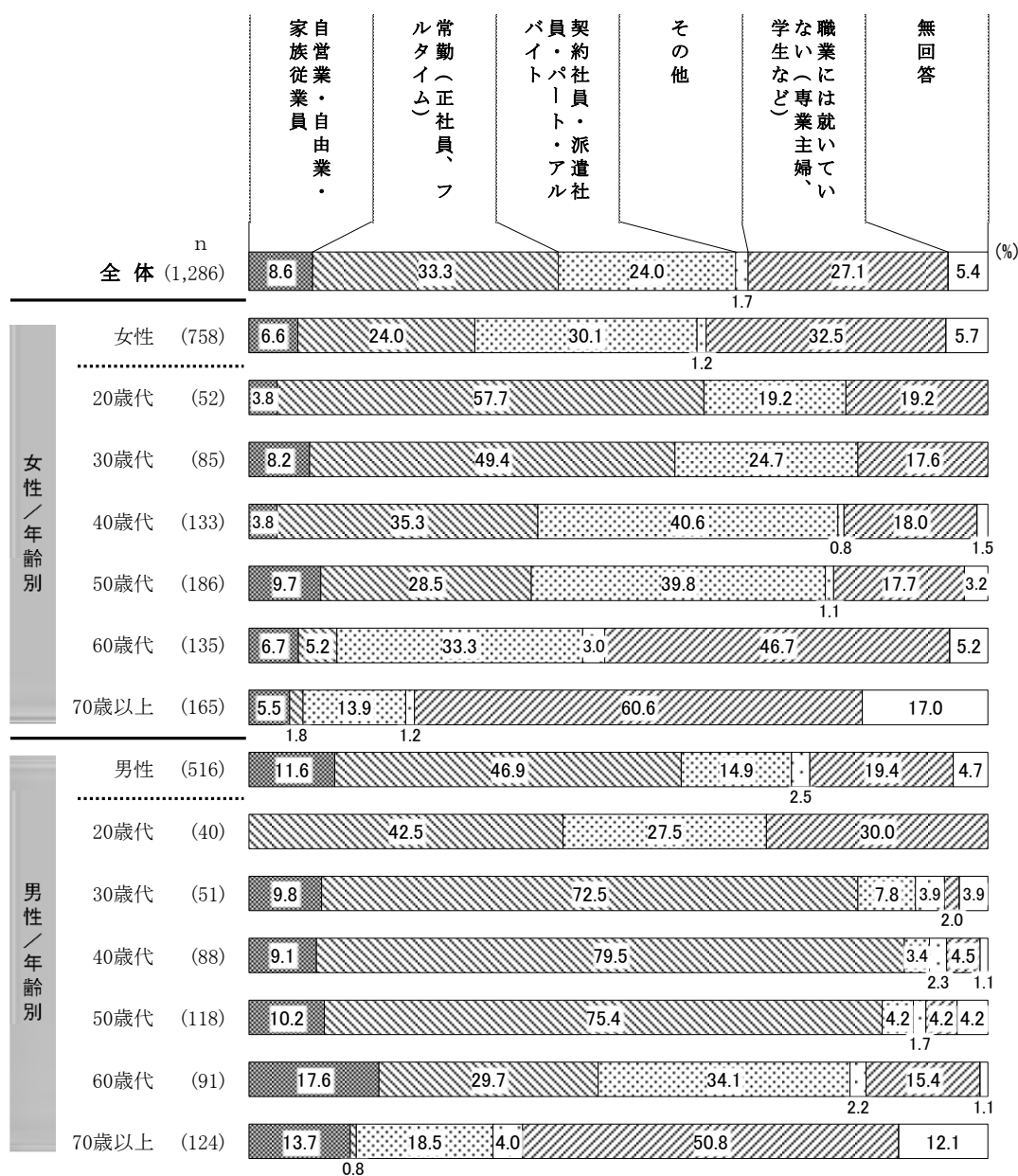
性別にみると、女性では「職業には就いていない（専業主婦、学生など）」が32.5%、男性では「常勤（正社員、フルタイム）」が46.9%と最も高くなっている。



■性年齢別

性年齢別にみると、女性の20歳代、30歳代で「常勤（正社員、フルタイム）」、40歳代、50歳代で「契約社員・派遣社員・パート・アルバイト」、60歳代、70歳以上で「職業にはついていない（専業主婦、学生など）」が最も高くなっている。40歳代、50歳代で「契約社員・派遣社員・パート・アルバイト」が4割前後と高くなっているが、「常勤（正社員、フルタイム）」も40歳代で約4割、50歳代で約3割と次いで高くなっている。

男性では、20歳代～50歳代までで「常勤（正社員、フルタイム）」が最も高く、特に40歳代、50歳代で約8割、30歳代で7割以上となっている。60歳代で「契約社員・派遣社員・パート・アルバイト」、70歳以上で「職業にはついていない（専業主婦、学生など）」が最も高くなっている。

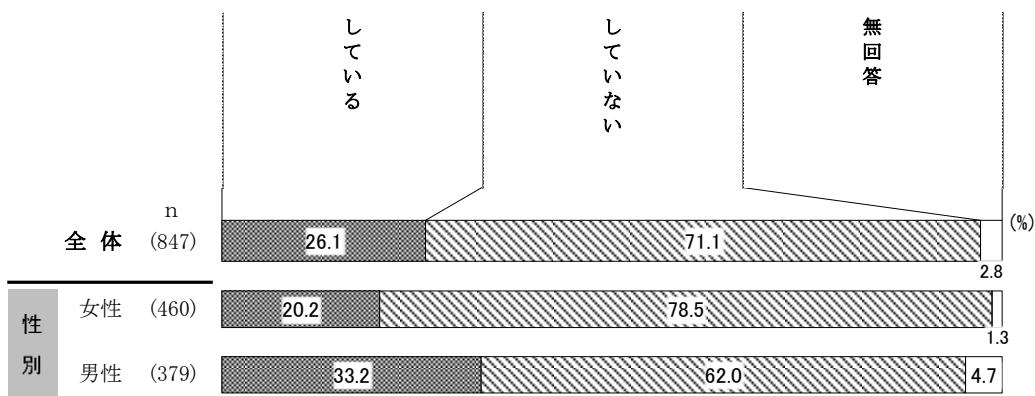


(2) 在宅ワークの有無

(問11で「1. 自営業・自由業・家族従業員」「2. 常勤(正社員、フルタイム)」「3. 契約社員・派遣社員・パート・アルバイト」とお答えの方に)  
 問11-1 在宅ワークをしていますか。(○は1つ)

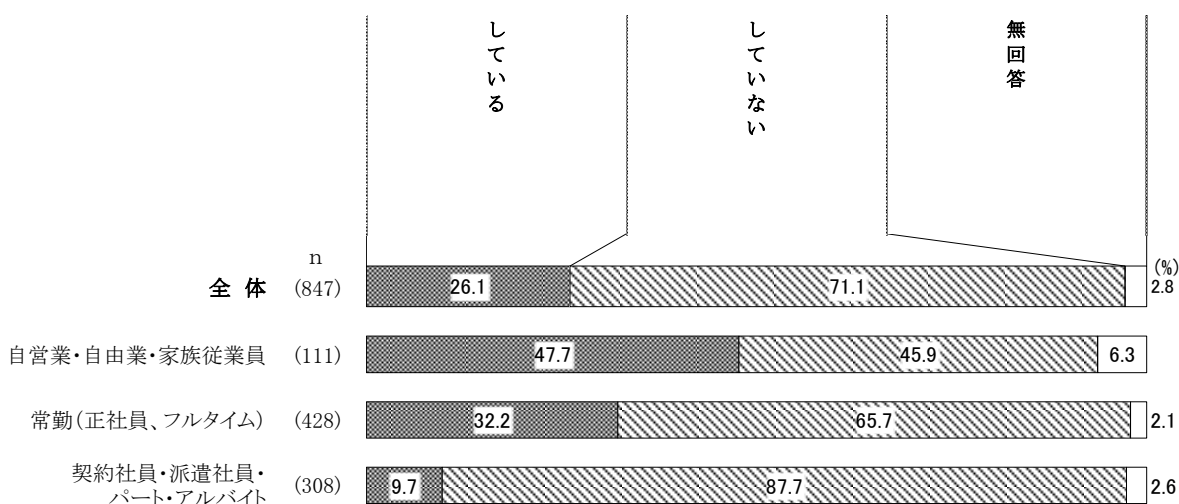
在宅ワークの有無についてみると、「していない」が71.1%、「している」が26.1%となっている。

性別にみると、「している」は女性(20.2%)で2割以上、男性(33.2%)で3割以上となっている。



■職業別

職業別にみると、「自営業・自由業・家族従業員」で「している」(47.7%)が約5割と最も高くなっているが、「常勤(正社員・フルタイム)」(32.2%)では3割以上、「契約社員・派遣社員・パート・アルバイト」(9.7%)では1割未満となっている。



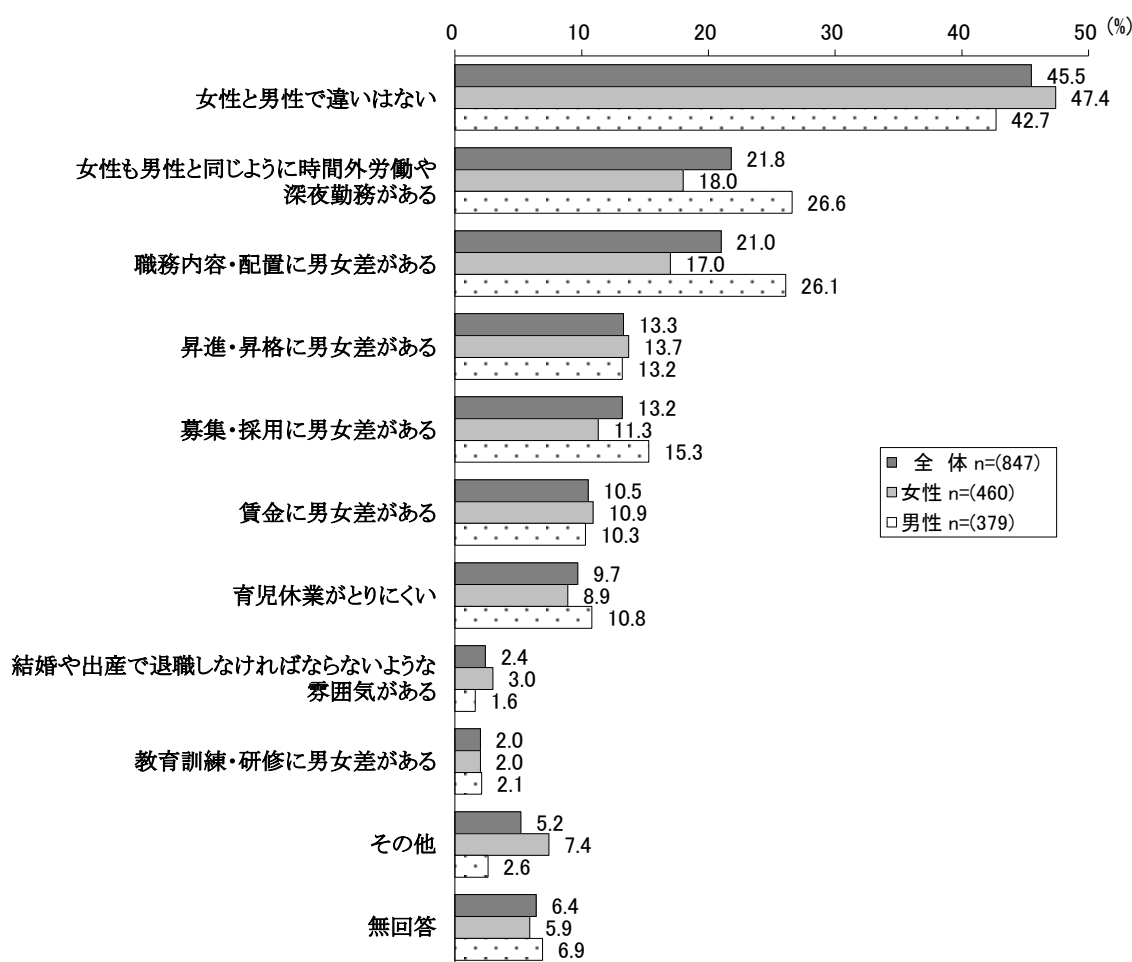
### (3) 職場での男女差

(問11で「1. 自営業・自由業・家族従業員」「2. 常勤(正社員、フルタイム)」「3. 契約社員・派遣社員・パート・アルバイト」とお答えの方に)

問11-2 あなたの職場では、次のようなことがありますか。(〇はいくつでも)

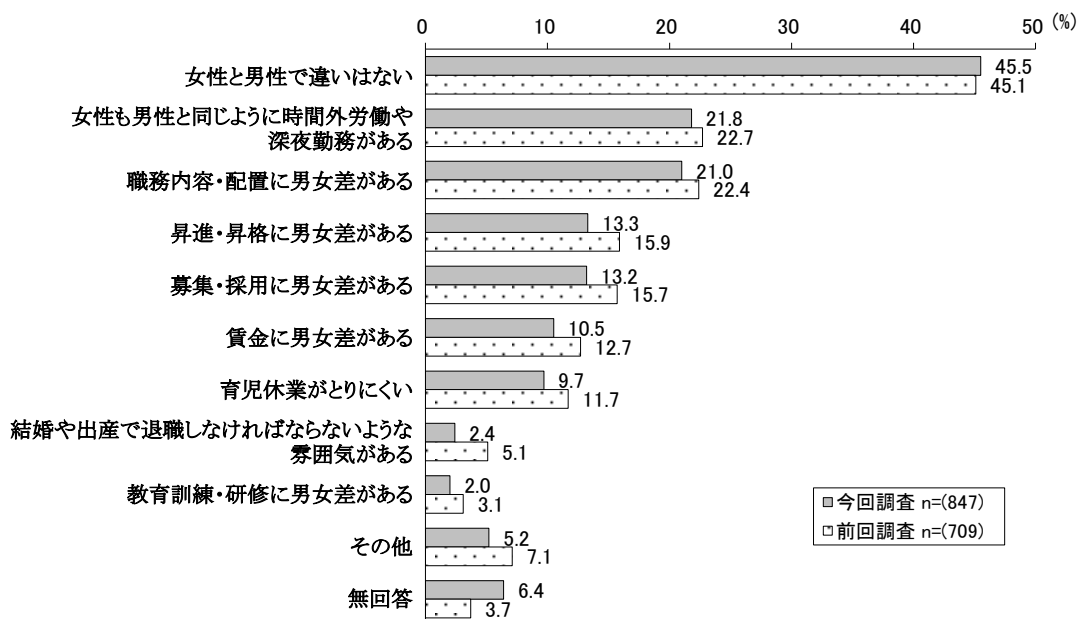
職場での男女差についてみると、「女性と男性で違いはない」が45.5%で最も高くなっている。職場で感じる男女差としては、「女性も男性と同じように時間外労働や深夜勤務がある」(21.8%)が最も高く、次いで、「職務内容・配置に男女差がある」(21.0%)、「昇進・昇格に男女差がある」(13.3%)となっている。

性別にみると、「職務内容・配置に男女差がある」は男性(26.1%)が女性(17.0%)より9.1ポイント、「女性も男性と同じように時間外労働や深夜勤務がある」は男性(26.6%)が女性(18.0%)より8.6ポイント高くなっている。



■経年比較

前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。



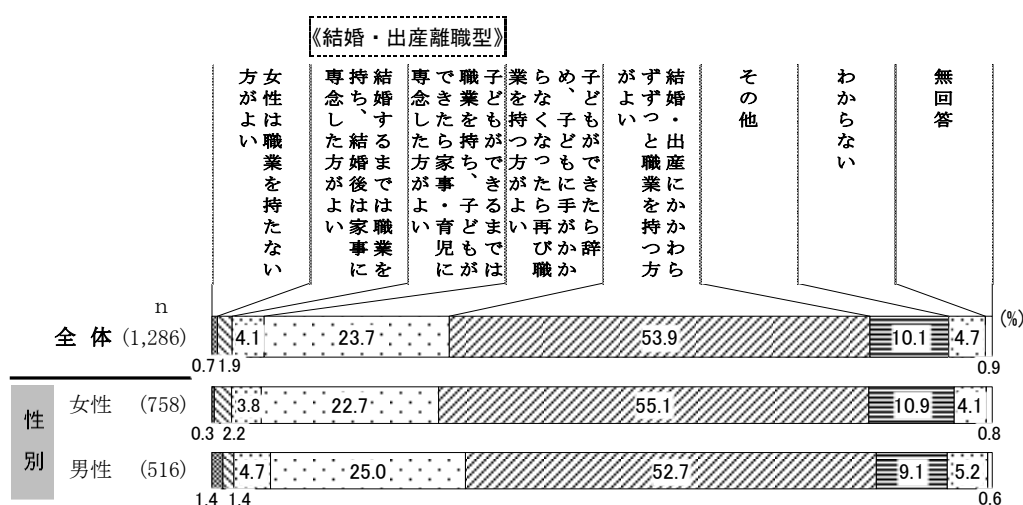


(4) 女性が職業を持つことについての考え方

問12 あなたは、女性が職業を持つことについてどうお考えですか。(〇は1つ)

女性が職業を持つことについての考え方についてみると、「結婚・出産にかかわらずずっと職業を持つ方がよい」が53.9%で最も高く、次いで、「子どもができたなら辞め、子どもに手がかからなくなったら再び職業を持つ方がよい」(23.7%)となっている。「結婚するまでは職業を持ち、結婚後は家事に専念した方がよい」と「子どもができるまでは職業を持ち、子どもができたなら家事・育児に専念した方がよい」を合わせた《結婚・出産離職型》は6.0%となっている。

性別にみても同様の傾向がうかがえ、男女間に大きな違いはみられない。



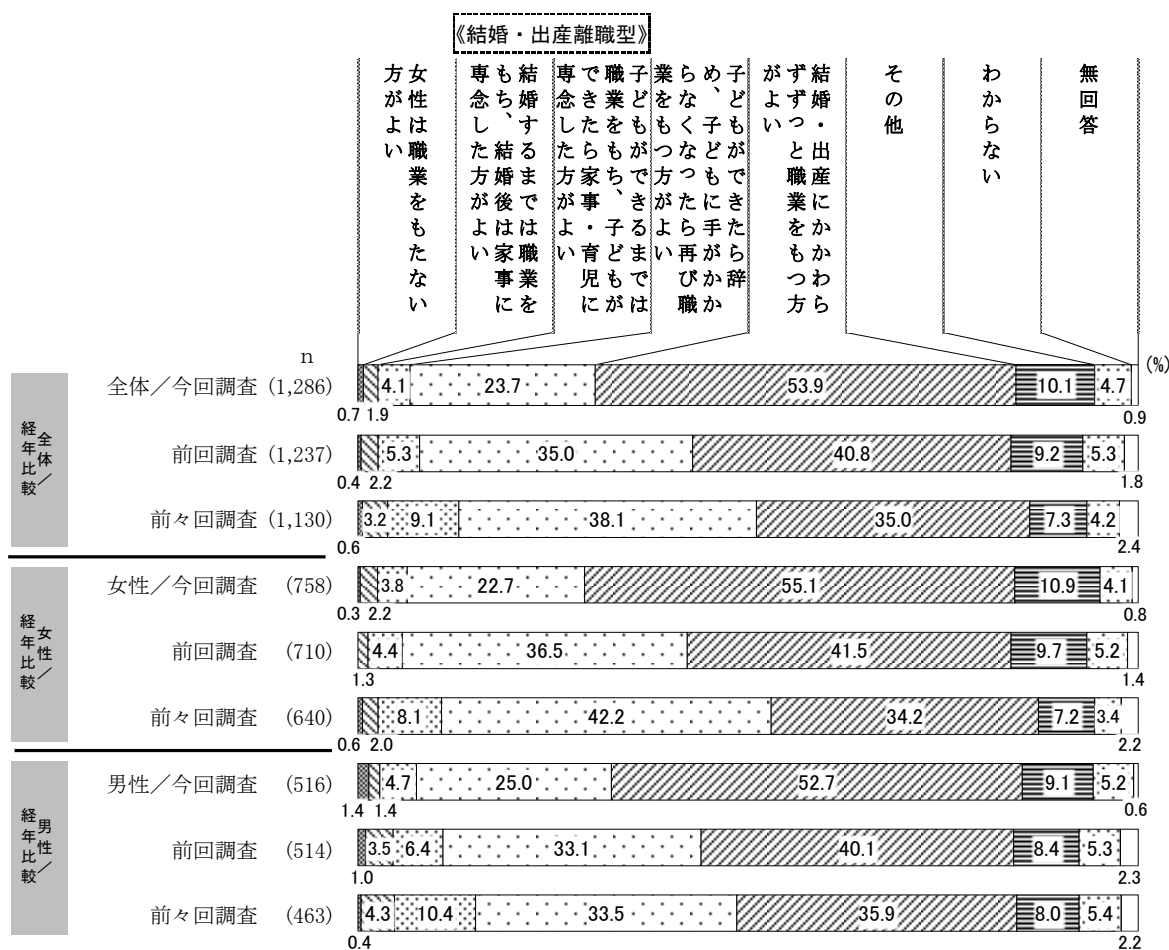
■主な「その他」の回答

本人の意思を尊重／本人の自由 (70件)	
・	結婚・出産にかかわらず、職業を持つ持たないは自由でよい
・	その人の考えでいいと思うので、どちらがいいと決めつけることではないと思う。
・	職業を持つことは良いと思う。結婚、出産後続けるかどうかは本人の意志。
・	性別にかかわらず、その人がやりたいようにできれば良いと思います。
・	女性かどうかでなく、どうしても続けたいものがあるのなら状況に関係なく続けられれば良いと思う。
・	その女性の希望が叶うのが良い。
・	その女性が選択した答えを尊重するのが良い。
家庭の状況や生活環境に応じて (29件)	
・	家庭や仕事の事情に応じて選択すれば良い。
・	その家庭に合った働き方、家庭のあり方を作れば良い。
・	配偶者の収入や就労状況による。
・	家族で話し合いおのおのの家庭に合う方針がよい。

■経年比較

経年比較をみると、前々回調査から今回調査にかけて「結婚・出産にかかわらずずっと職業をもつ方がよい」が増加しており、前回調査から13.1ポイント増加している。また、「子どもができたなら辞め、子どもに手がかからなくなったら再び職業をもつ方がよい」は減少しており、前回調査から11.3ポイント減少している。

性別にみると、男女ともに「結婚・出産にかかわらずずっと職業をもつ方がよい」が10ポイント以上増加している。また、男女ともに「子どもができたなら辞め、子どもに手がかからなくなったら再び職業をもつ方がよい」が減少しており、特に女性で13.8ポイント減少している。



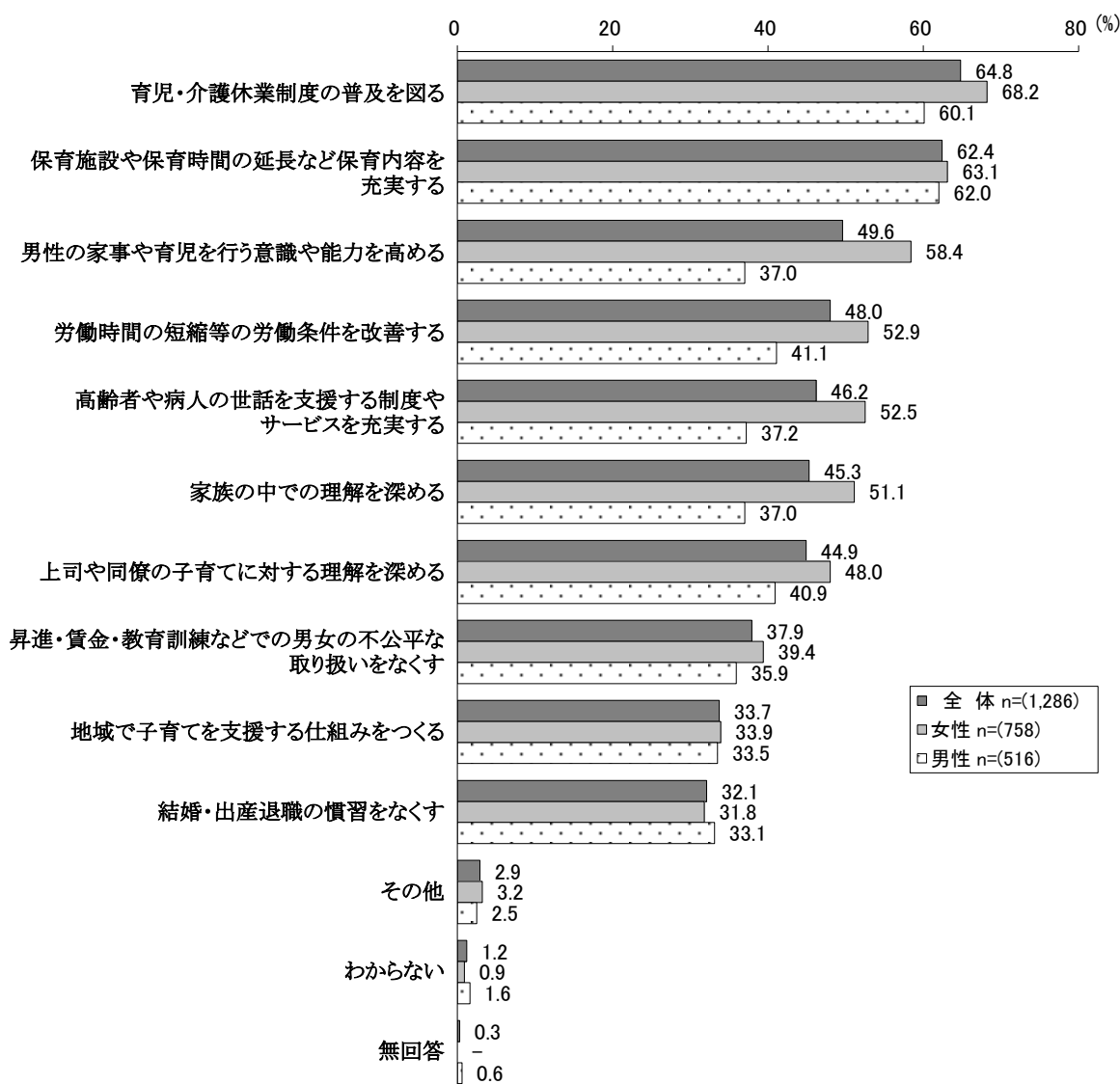


(5) 女性が働き続けるために必要なこと

問13 女性が働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

女性が働き続けるために必要なことについてみると、「育児・介護休業制度の普及を図る」が64.8%で最も高く、次いで、「保育施設や保育時間の延長など保育内容を充実する」(62.4%)、「男性の家事や育児を行う意識や能力を高める」(49.6%)、「労働時間の短縮等の労働条件を改善する」(48.0%)となっている。

性別にみると、「男性の家事や育児を行う意識や能力を高める」は女性が男性より20ポイント以上、「高齢者や病人の世話を支援する制度やサービスを充実する」、「家族の中での理解を深める」、「労働時間の短縮等の労働条件を改善する」は女性が男性より10ポイント以上高くなっている。

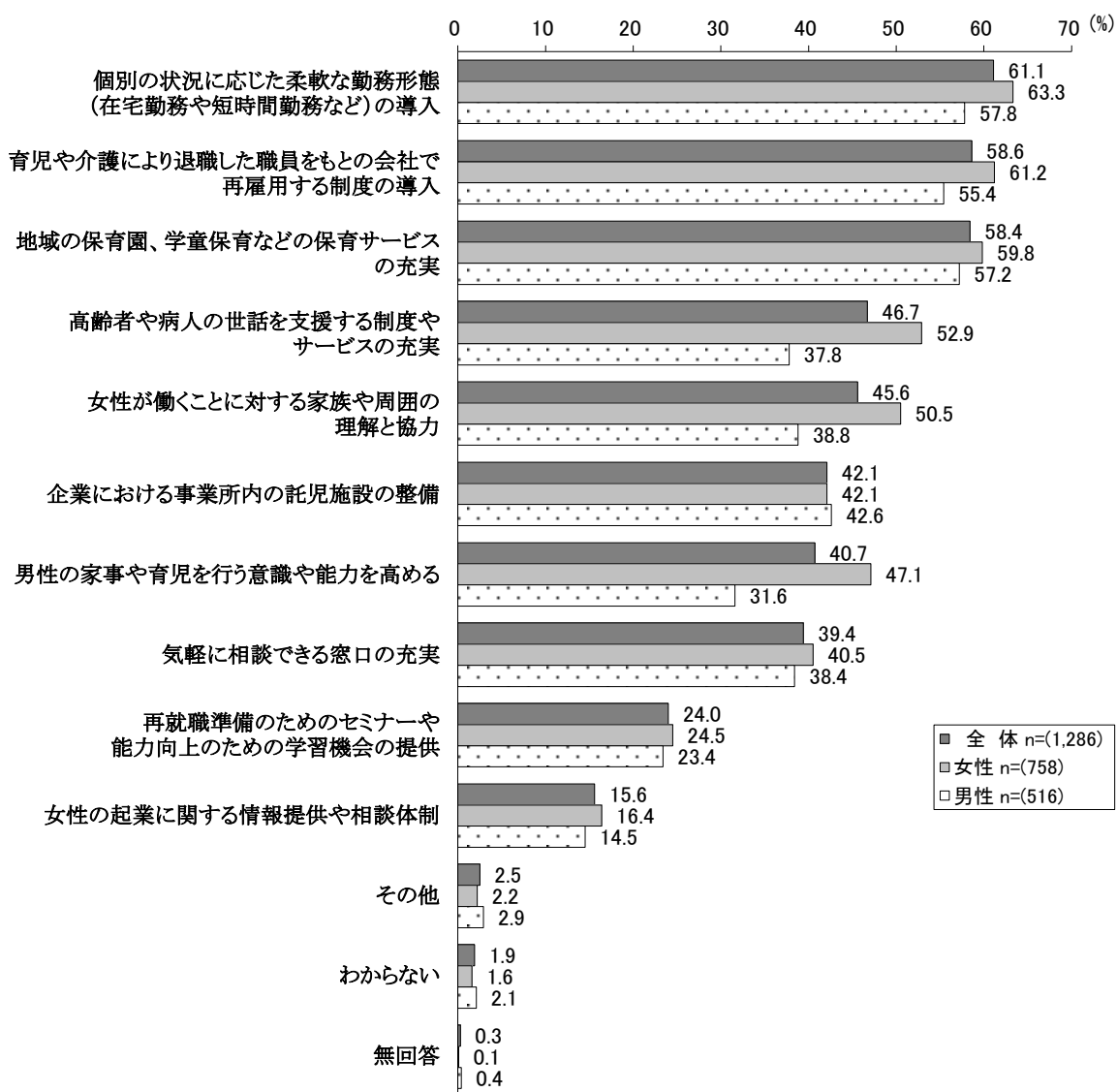


(6) 女性が再就職や起業にチャレンジするために必要なこと

問14 子育てや介護によりいったん離職した女性が再就職や起業にチャレンジするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

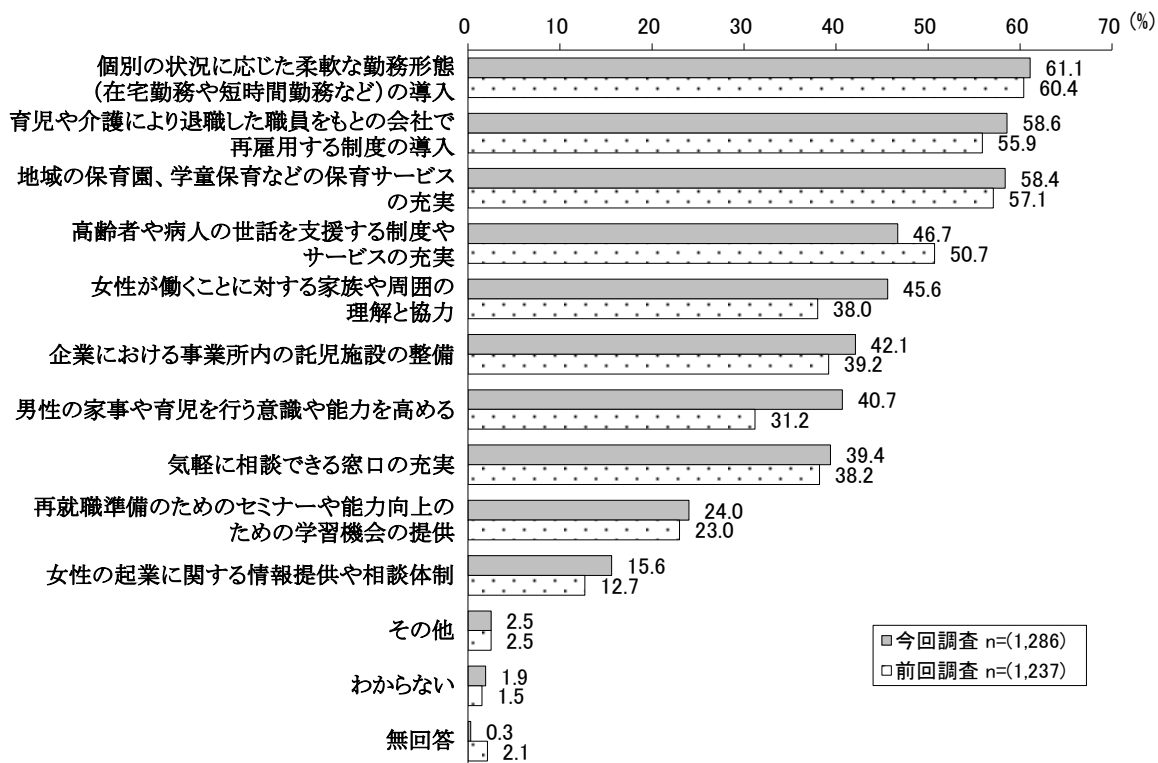
女性が再就職や起業にチャレンジするために必要なことについてみると、「個別の状況に応じた柔軟な勤務形態（在宅勤務や短時間勤務など）の導入」が61.1%で最も高く、次いで、「育児や介護により退職した職員をもとの会社で再雇用する制度の導入」（58.6%）、「地域の保育園、学童保育などの保育サービスの充実」（58.4%）となっている。

性別にみると、「男性の家事や育児を行う意識や能力を高める」や「高齢者や病人の世話を支援する制度やサービスの充実」、「女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力」は女性が男性より10ポイント以上高くなっている。



■経年比較

前回調査と比較すると、「男性の家事や育児を行う意識や能力を高める」が9.5ポイント、「女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力」が7.6ポイント増加している。



(7) 育児休業制度や介護休業制度を利用することへの意識

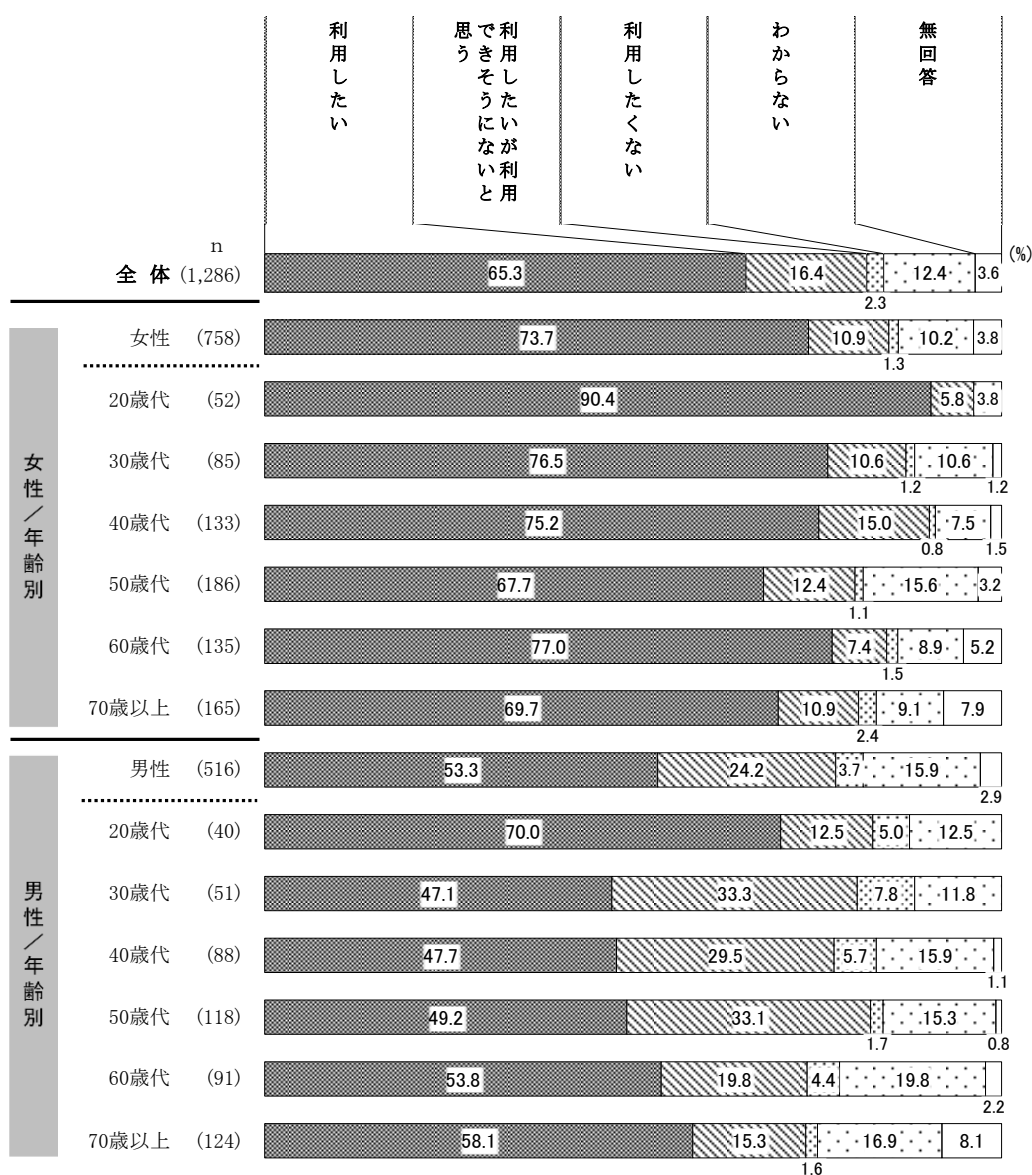
問15 育児や家族介護を行うために、法律に基づき男女ともに育児休業や介護休業を取得できる制度があります。あなたは、自分自身が「育児休業制度」や「介護休業制度」を利用することについてどう思いますか。現在、必要のない方も必要になった場合を想定してお答えください。(〇は1つ)

【育児休業制度について】

育児休業制度を利用することへの意識についてみると、「利用したい」が65.3%で最も高く、次いで、「利用したいが利用できそうにないと思う」(16.4%)となっている。

性別にみると、「利用したい」は女性(73.7%)が男性(53.3%)より20.4ポイント高くなっている。一方、「利用したいが利用できそうにないと思う」は男性(24.2%)が女性(10.9%)より13.3ポイント高くなっている。

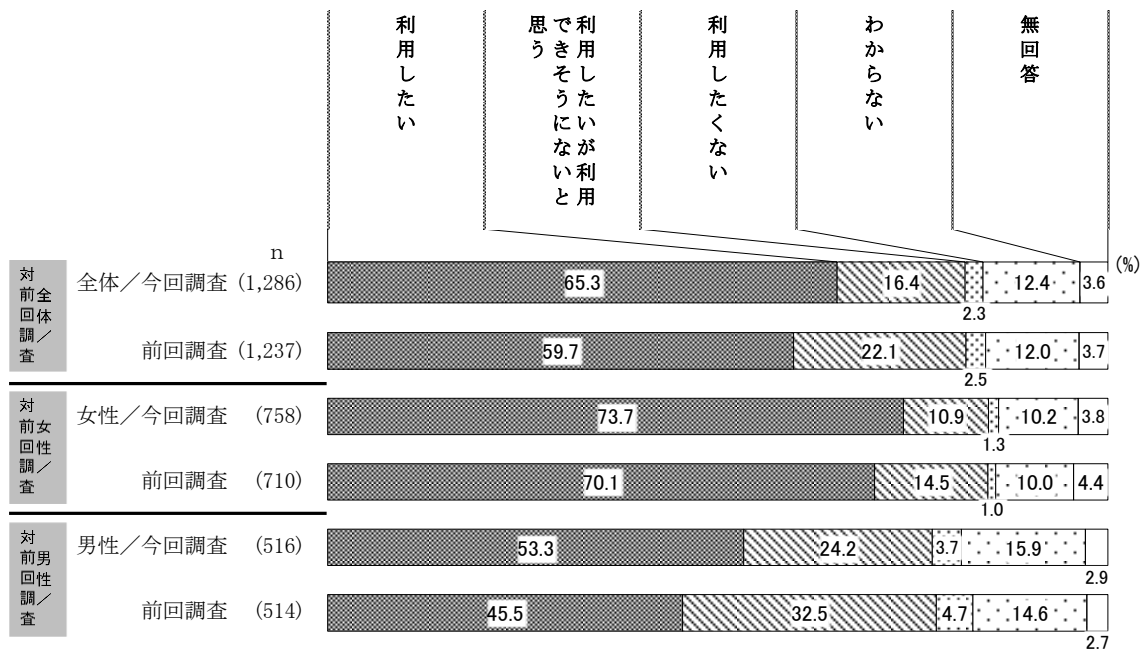
性年齢別にみると、男女ともにすべての年代で「利用したい」が最も高くなっているが、男性は女性に比べて割合が低く、30歳代~50歳代で5割未満となっている。男性の30歳代~50歳代で「利用したいが利用できそうにないと思う」が3割前後となっている。



## 第2章 調査結果の詳細

### ■経年比較

前回調査と比較すると、男女ともに「利用したい」が増加しており、特に男性で7.8ポイント増加している。



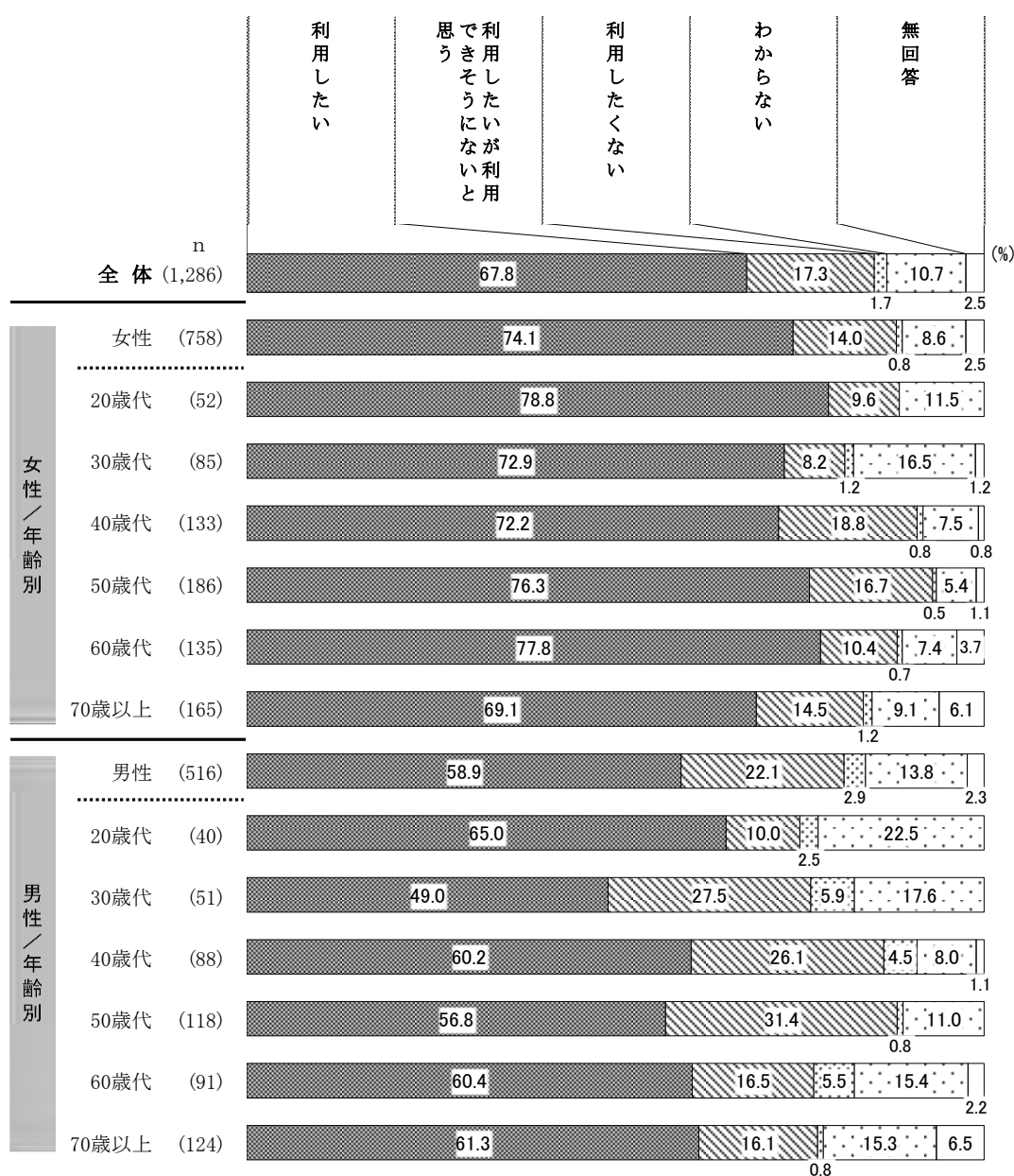


【介護休業制度について】

介護休業制度を利用することへの意識についてみると、「利用したい」が67.8%で最も高く、次いで、「利用したいが利用できそうにないと思う」(17.3%)となっている。

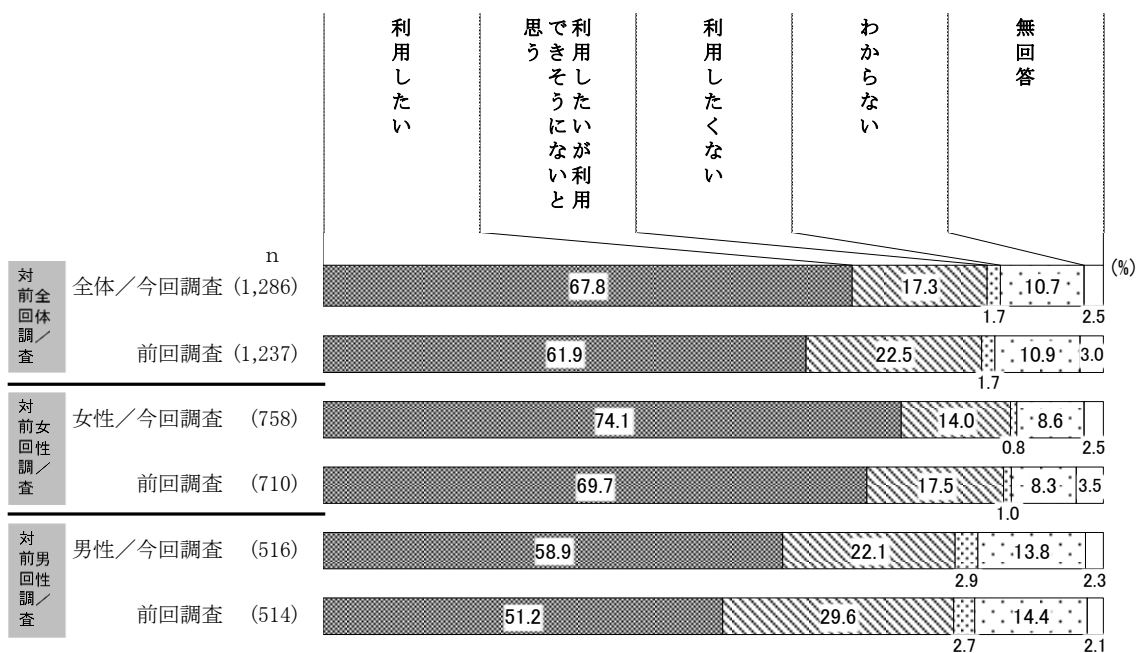
性別にみると、「利用したい」は女性(74.1%)が男性(58.9%)より15.2ポイント高くなっている。一方、「利用したいが利用できそうにないと思う」は男性(22.1%)が女性(14.0%)より8.1ポイント高くなっている。

性年齢別にみると、男女ともに「利用したい」が最も高くなっているが、男性は女性に比べて割合が低く、30歳代で5割未満となっている。男性の30歳代~50歳代で「利用したいが利用できそうにないと思う」が3割前後と他の年代より高くなっている。



■経年比較

前回調査と比較すると、男女ともに「利用したい」が増加しており、特に男性で7.7ポイント増加している。



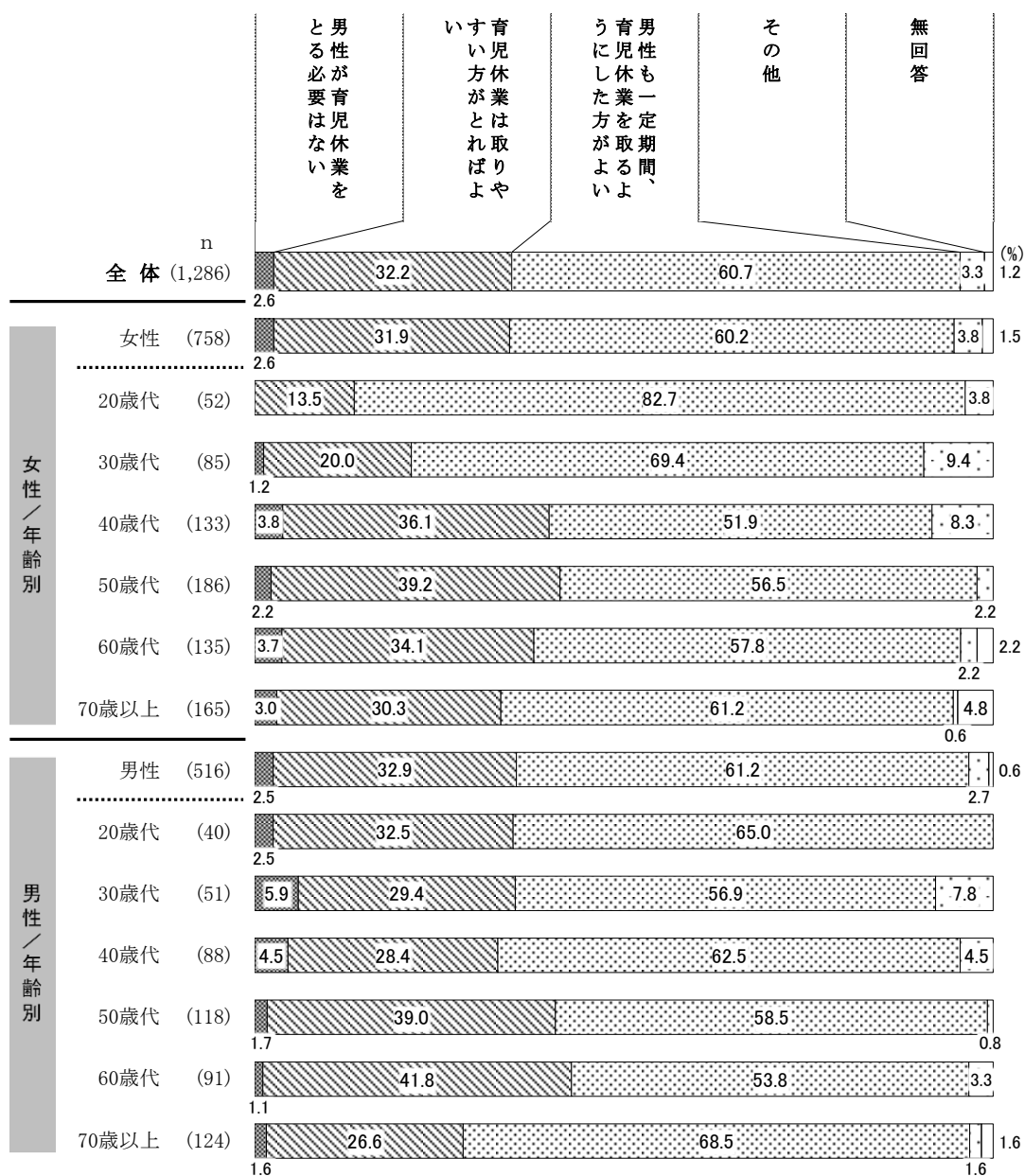
(8) 男性が育児休業を取得することへの意識

問16 男性が育児休業をとることについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

男性が育児休業を取得することへの意識についてみると、「男性も一定期間、育児休業を取るようになった方がよい」が60.7%で最も高く、次いで、「育児休業は取りやすい方がとればよい」(32.2%)となっている。

性別にみると、男女間に大きな違いはみられない。

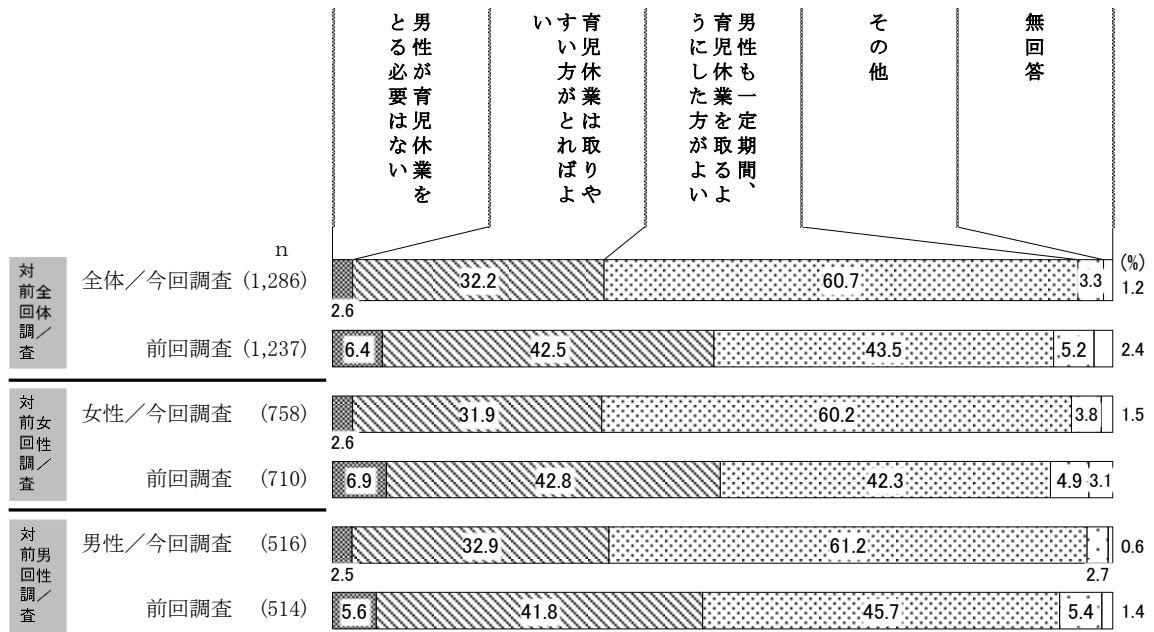
性年齢別にみると、男女ともにすべての年代で「男性も一定期間、育児休業を取るようになった方がよい」が過半数を占めており、女性の20歳代で8割以上、女性の30歳代、男性の70歳以上で約7割と他の年代より高くなっている。また、男性の50歳代、60歳代で「育児休業は取りやすい方がとればよい」が4割前後となっており、男性の他の年代より高くなっている。



## 第2章 調査結果の詳細

### ■経年比較

前回調査と比較すると、男女ともに「男性も一定期間、育児休業を取るようにした方がよい」が約20ポイント増加している。



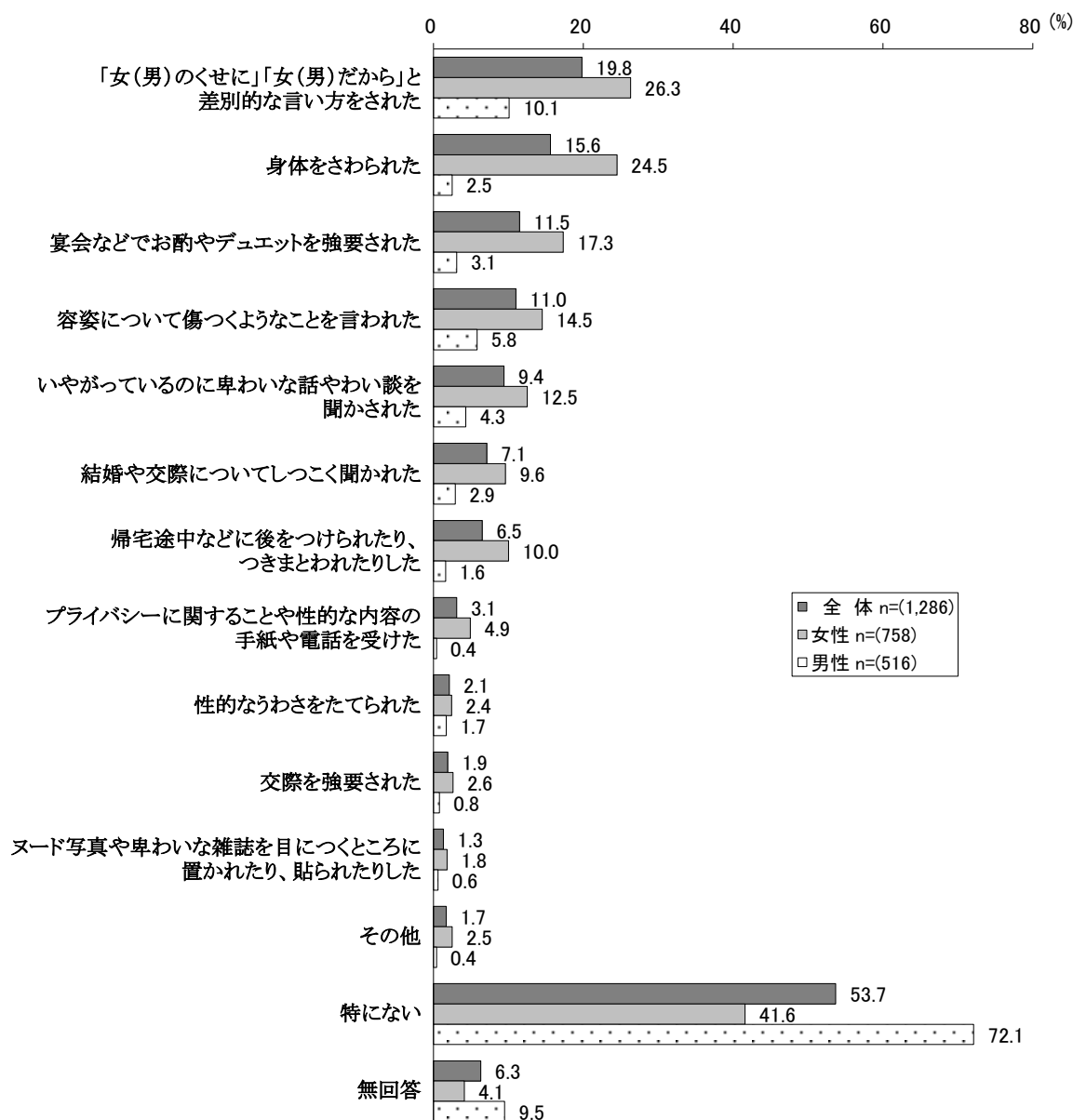
## 7. 人権について

### (1) 「セクシュアル・ハラスメント」を受けた経験

問17 あなたは、これまでに次のような「セクシュアル・ハラスメント」を受けた経験がありますか。(〇はいくつでも)

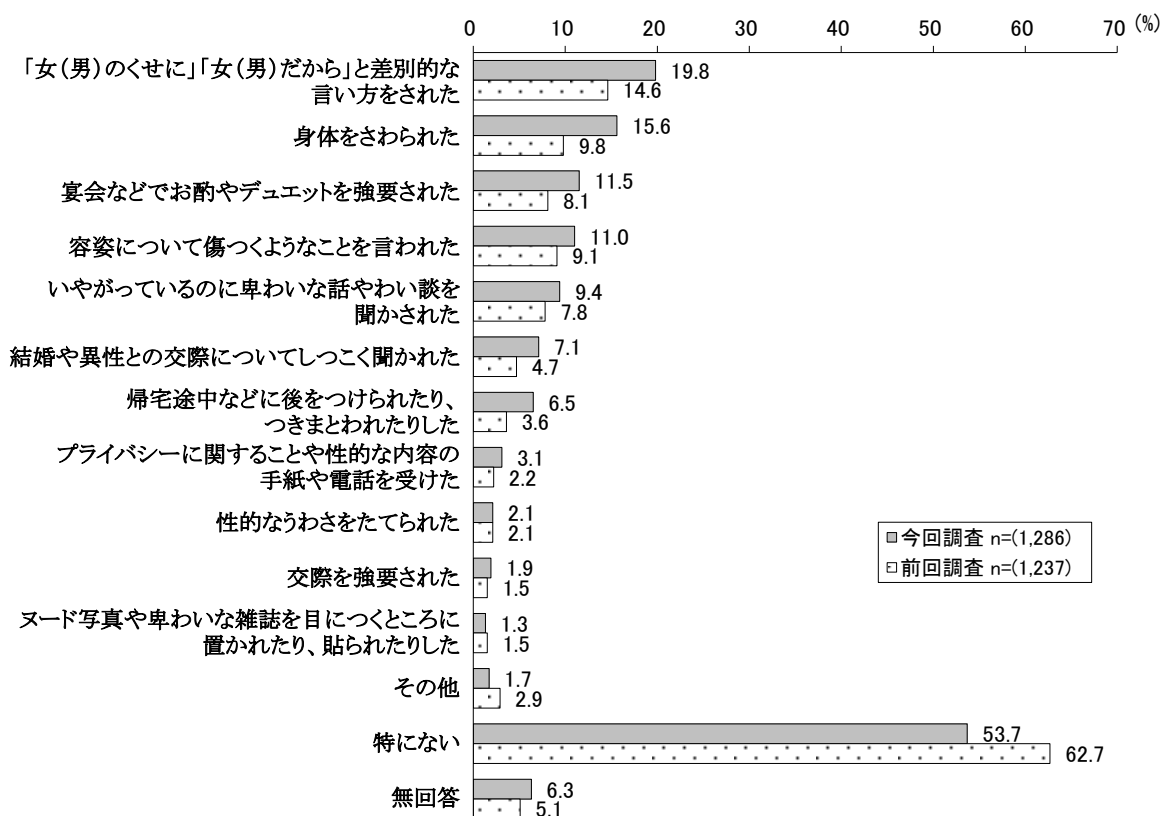
「セクシュアル・ハラスメント」を受けた経験についてみると、「特にない」が53.7%を占めている。受けた「セクシュアル・ハラスメント」については、『女(男)のくせに』『女(男)だから』と差別的な言い方をされた(19.8%)が最も高く、次いで、「身体をさわられた」(15.6%)、「宴会などでお酌やデュエットを強要された」(11.5%)、「容姿について傷つくようなことを言われた」(11.0%)となっている。

性別にみると、男女ともに「特にない」が最も高いが、男性(72.1%)が女性(41.6%)より30.5ポイント高くなっている。受けた「セクシュアル・ハラスメント」については、すべての項目で女性が男性を上回っている。



■経年比較

前回調査と比較すると、「特にない」が9ポイント減少している。また、「身体をさわられた」が5.8ポイント、「『女（男）のくせに』『女（男）だから』と差別的な言い方をされた」が5.2ポイント増加している。



## (2) 「セクシュアル・ハラスメント」を受けた場所

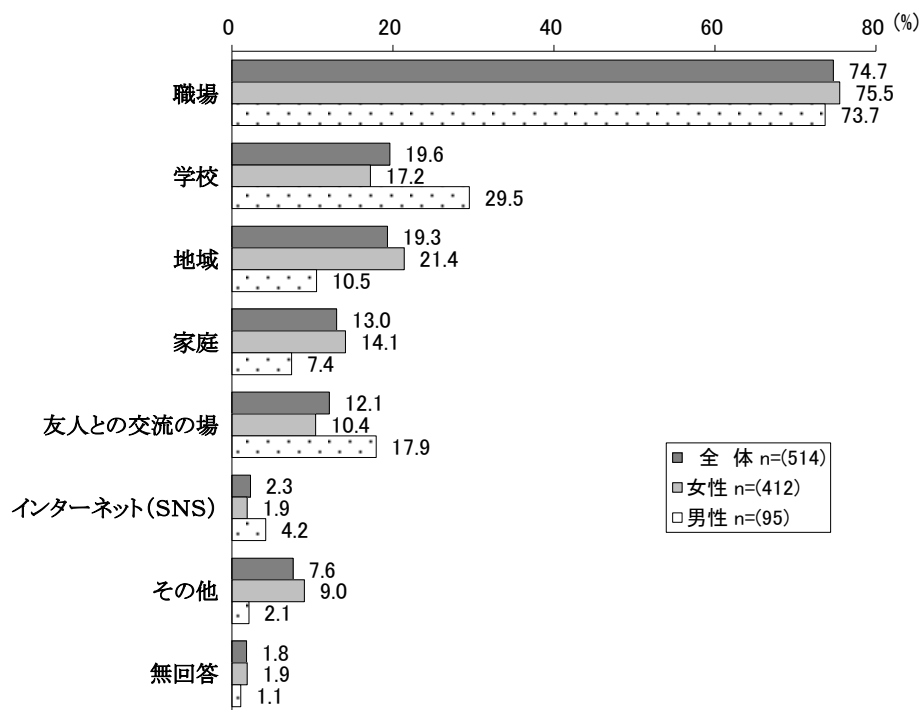
(問17で「1」～「12」のうち1つでもお答えの方に)

問17-1 どのような場所で「セクシュアル・ハラスメント」を受けたことがありますか。

(○はいくつでも)

「セクシュアル・ハラスメント」を受けた場所についてみると、「職場」が74.7%で最も高く、次いで、「学校」(19.6%)、「地域」(19.3%)、「家庭」(13.0%)となっている。

性別にみると、「地域」は女性(21.4%)が男性(10.5%)より10.9ポイント、「家庭」は女性(14.1%)が男性(7.4%)より6.7ポイント高くなっている。一方、「学校」は男性(29.5%)が女性(17.2%)より12.3ポイント、「友人との交流の場」は男性(17.9%)が女性(10.4%)より7.5ポイント高くなっている。

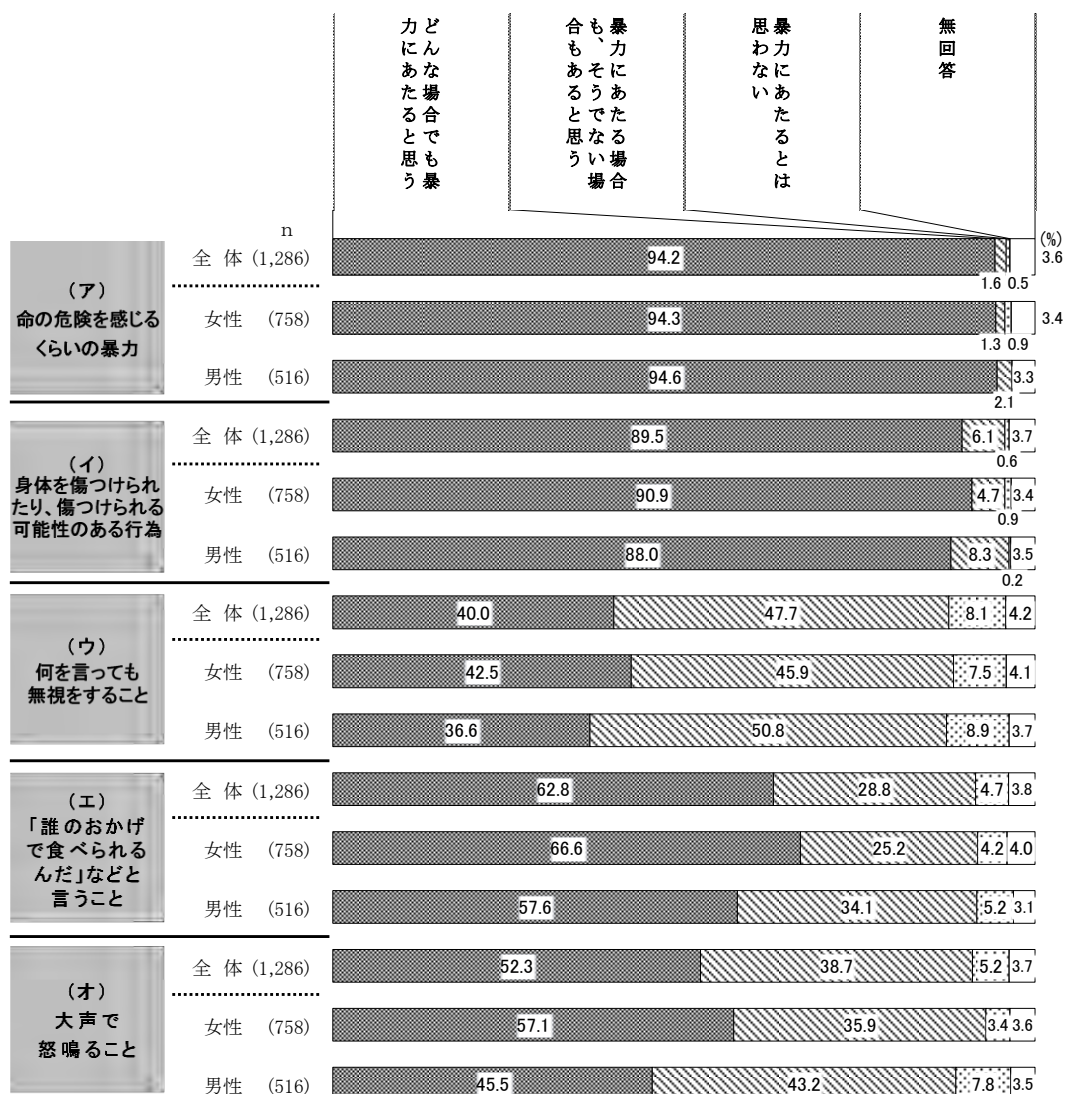


(3) 暴力に対する考え方

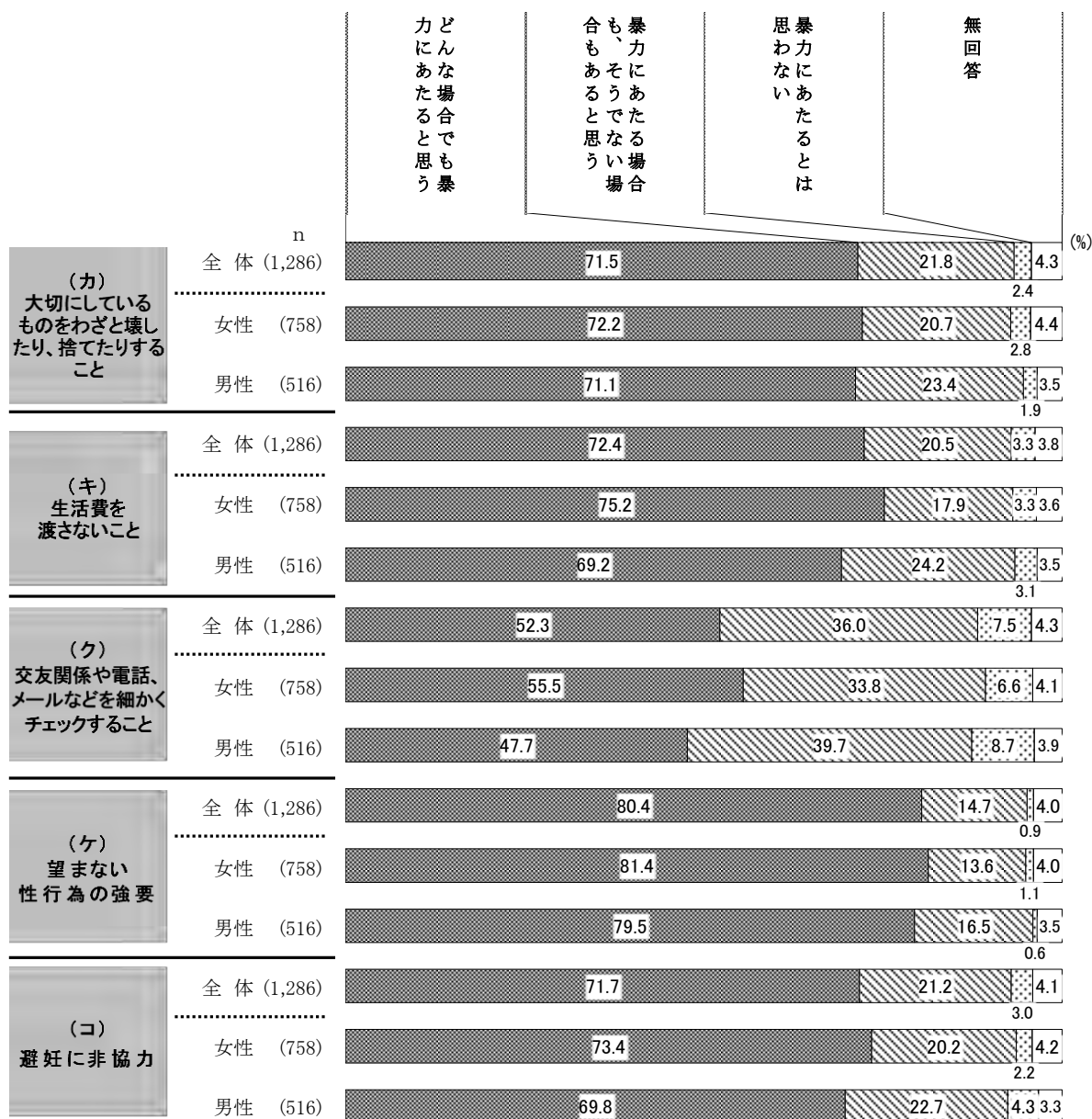
問18 あなたは、次のようなことが配偶者（事実婚や別居、離別を含む）やパートナー・恋人の間で行われた場合、それを暴力だと思えますか。（ア）～（オ）のそれぞれについて、「1」～「3」のうちあなたの考えに近い番号に○をつけてください。（それぞれは1つずつ）

暴力に対する考え方についてみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が、「(ア) 命の危険を感じるくらいの暴力を受ける」と「(イ) 身体を傷つけられたり、傷つけられる可能性のある行為を受ける」の《身体的暴力》で9割前後と高く、「(ケ) 望まない性行為の強要」でも8割以上となっている。一方で、「(ウ) 何を言っても無視をすること」で「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が47.7%となっており、「どんな場合でも暴力にあたると思う」を上回っている。

性別にみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」は「(ア) 命の危険を感じるくらいの暴力を受ける」以外のすべての項目で女性が男性を上回っており、特に「(オ) 大声で怒鳴ること」で女性（57.1%）が男性（45.5%）より11.6ポイント高くなっている。一方で、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」はすべての項目で男性が女性より高くなっている。

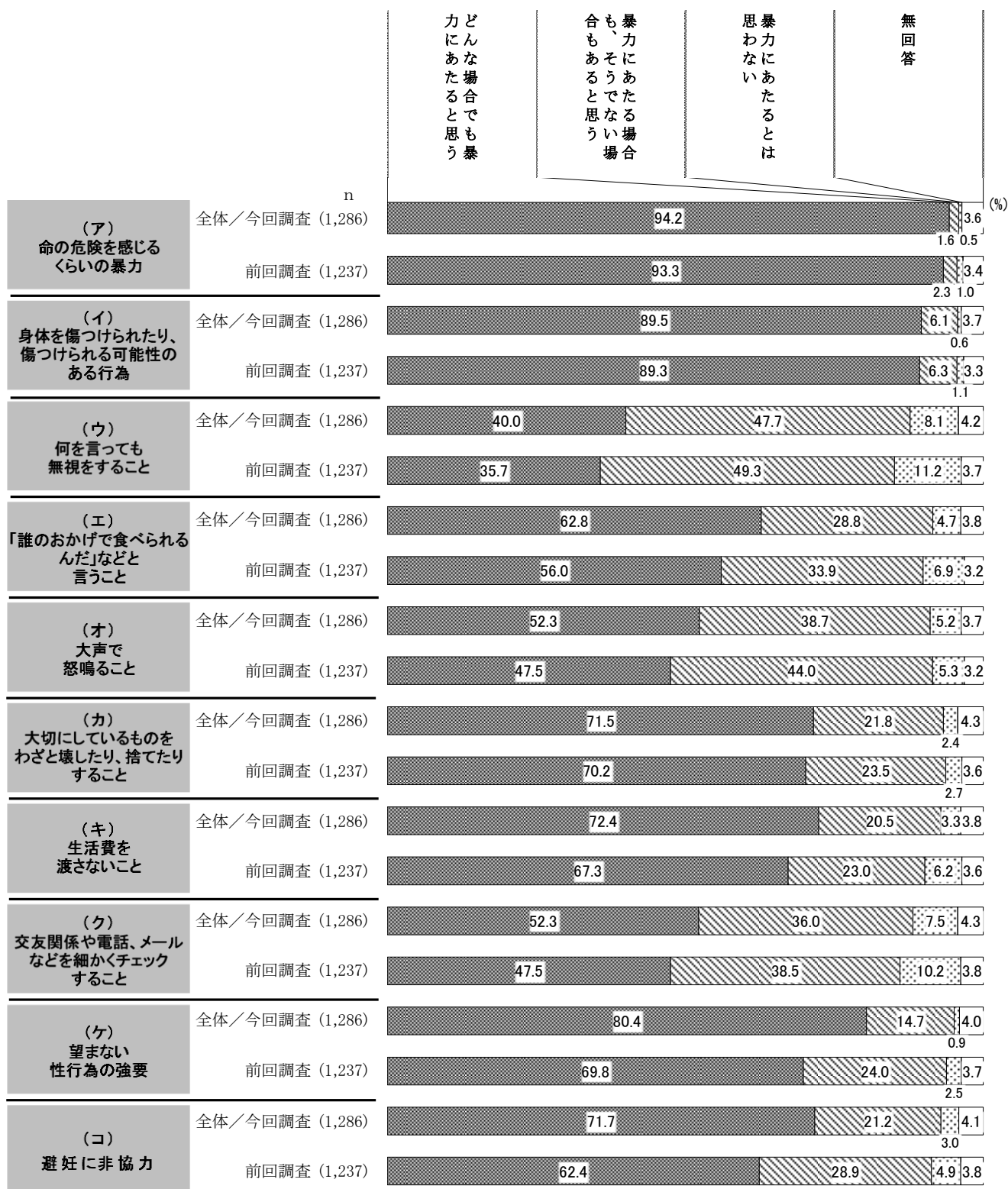






■経年比較

前回調査と比較すると、すべての項目で「どんな場合でも暴力にあたると思う」が増加しており、特に「(ケ) 望まない性行為の強要」で10.6ポイント、「(コ) 避妊に非協力」で9.3ポイント増加している。

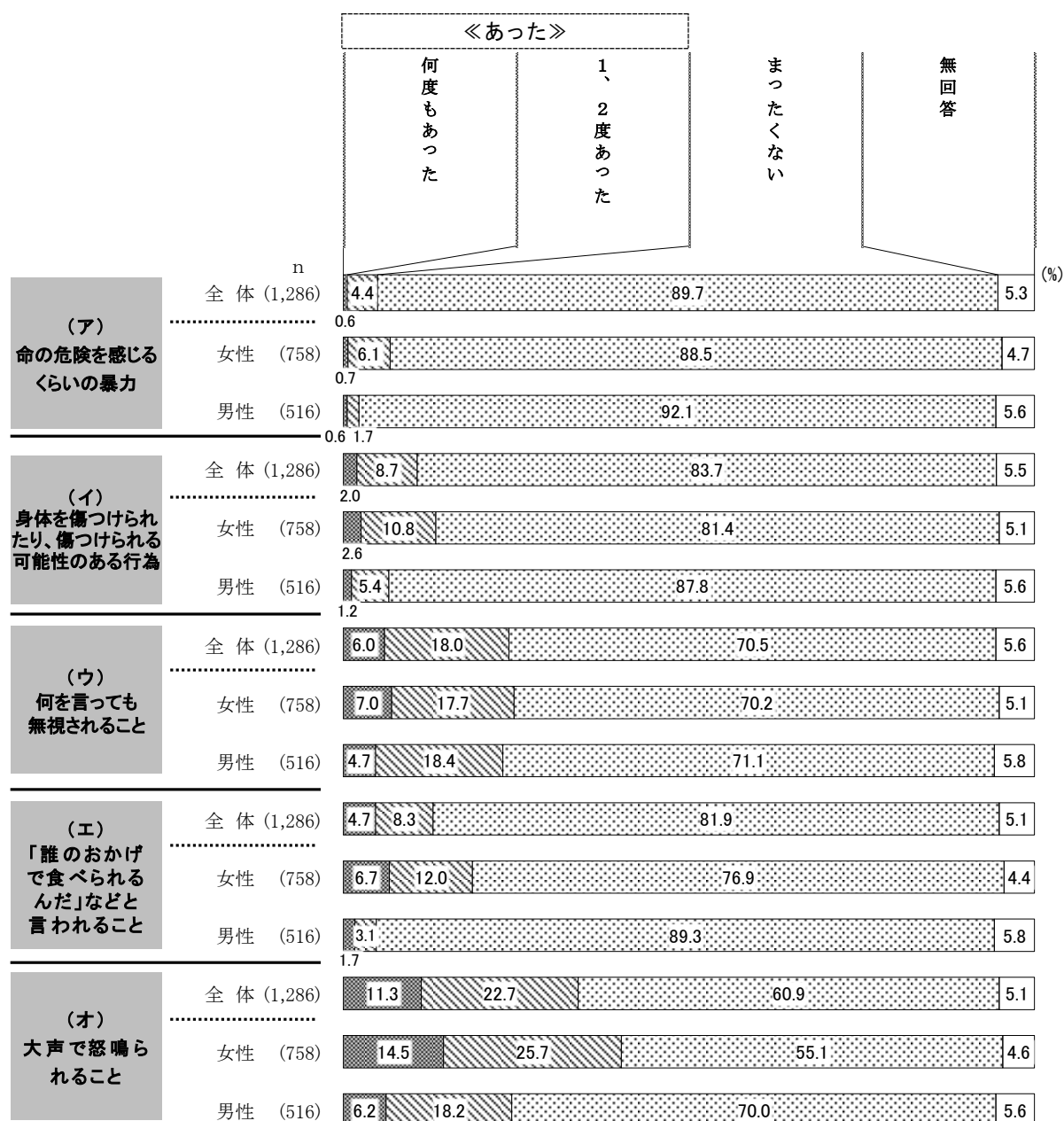


(4) 暴力を受けた経験

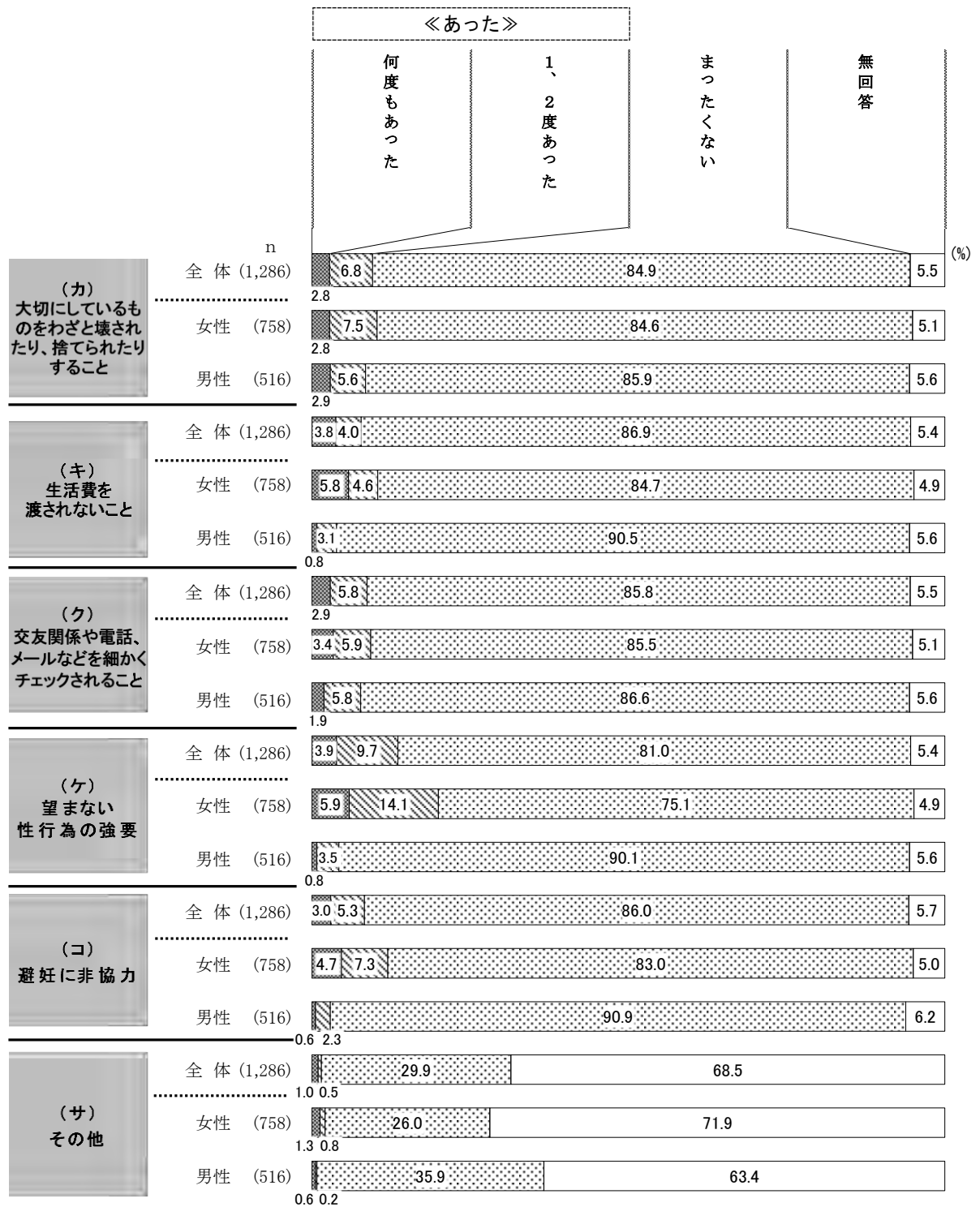
問19 あなたは、今までに配偶者（事実婚や別居、離別を含む）やパートナー・恋人などから以下の（ア）～（オ）のような行為を受けたことがありますか。（それぞれ○は1つつつ）

暴力を受けた経験についてみると、「何度もあった」と「1、2度あった」を合わせた《あった》が「(オ) 大声で怒鳴られること」で34.0%と最も高く、「(ウ) 何を言っても無視されること」で2割以上、「(ケ) 望まない性行為の強要」、「(エ) 『誰のおかげで食べられるんだ』などと言われること」、「(イ) 身体を傷つけられたり、傷つけられる可能性のある行為」でも1割以上となっている。

性別にみると、《あった》はすべての項目で女性が男性を上回っており、「(オ) 大声で怒鳴られること」、「(ケ) 望まない性行為の強要」、「(エ) 『誰のおかげで食べられるんだ』などと言われること」で女性が男性より10ポイント以上高くなっている。



第2章 調査結果の詳細



### ■暴力の経験（問19）ごとにみる、暴力に対する考え

暴力に対する考えについて、暴力の経験回数ごとにみると、身体的暴力、経済的暴力、性的暴力では、暴力の経験回数にかかわらず、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が最も高くなっている。一方、精神的暴力のうち、「(ウ) 何を言っても無視されること」について、「1、2度あった」、「まったくない」と回答した人は、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が最も高くなっている。また、「(オ) 大声で怒鳴られること」について、「1、2度あった」と回答した人は、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」と「どんな場合でも暴力にあたると思う」と同程度となっている。

		調査数	思暴 うど んな 場合 でも	場も、 暴力 にあ たる 場合	思暴 わな い にあ たる とは	無 回 答		
身 体 的 暴 力	(ア) 命の危険を感じる くらいの暴力	全 体	1,286	94.2	1.6	0.5	3.6	
		何度もあった	8	100.0	-	-	-	
		1、2度あった	56	92.9	7.1	-	-	
		まったくない	1,154	97.4	1.5	0.6	0.5	
	(イ) 身体を傷つけ られたり、傷つけら れる可能性のある行 為	全 体	1,286	89.5	6.1	0.6	3.7	
		何度もあった	26	92.3	7.7	-	-	
		1、2度あった	112	90.2	9.8	-	-	
		まったくない	1,077	93.0	5.8	0.7	0.5	
精 神 的 暴 力	(ウ) 何を言っても 無視されること	全 体	1,286	40.0	47.7	8.1	4.2	
		何度もあった	77	55.8	39.0	5.2	-	
		1、2度あった	231	33.3	56.3	10.0	0.4	
		まったくない	906	42.1	48.8	8.1	1.1	
	(エ) 「誰のおかげ で食べられるんだ」 などと言われること	全 体	1,286	62.8	28.8	4.7	3.8	
		何度もあった	61	65.6	29.5	4.9	-	
		1、2度あった	107	61.7	32.7	5.6	-	
		まったくない	1,053	65.0	29.5	4.7	0.8	
	(オ) 大声で怒鳴ら れること	全 体	1,286	52.3	38.7	5.2	3.7	
		何度もあった	145	60.0	32.4	6.9	0.7	
		1、2度あった	292	45.5	46.6	7.5	0.3	
		まったくない	783	55.8	39.1	4.3	0.8	
	(カ) 大切にしてい るものをわざと壊さ れたり、捨てられた りすること	全 体	1,286	71.5	21.8	2.4	4.3	
		何度もあった	36	83.3	16.7	-	-	
		1、2度あった	87	65.5	31.0	2.3	1.1	
		まったくない	1,092	74.4	22.2	2.7	0.8	
	(ク) 交友関係や電 話、メールなどを細 かくチェックされる こと	全 体	1,286	52.3	36.0	7.5	4.3	
		何度もあった	37	56.8	35.1	8.1	-	
		1、2度あった	75	48.0	41.3	9.3	1.3	
		まったくない	1,103	54.2	37.2	7.7	0.9	
	経 済 的 暴 力	(キ) 生活費を渡さ れないこと	全 体	1,286	72.4	20.5	3.3	3.8
			何度もあった	49	81.6	14.3	4.1	-
			1、2度あった	51	74.5	21.6	3.9	-
			まったくない	1,117	74.6	21.7	3.2	0.5
性 的 暴 力	(ケ) 望まない性行 為の強要	全 体	1,286	80.4	14.7	0.9	4.0	
		何度もあった	50	88.0	10.0	2.0	-	
		1、2度あった	125	77.6	22.4	-	-	
		まったくない	1,042	83.7	14.8	0.9	0.7	
	(コ) 避妊に非協力	全 体	1,286	71.7	21.2	3.0	4.1	
		何度もあった	39	89.7	7.7	2.6	-	
		1、2度あった	68	66.2	27.9	4.4	1.5	
		まったくない	1,106	74.1	22.2	3.1	0.5	

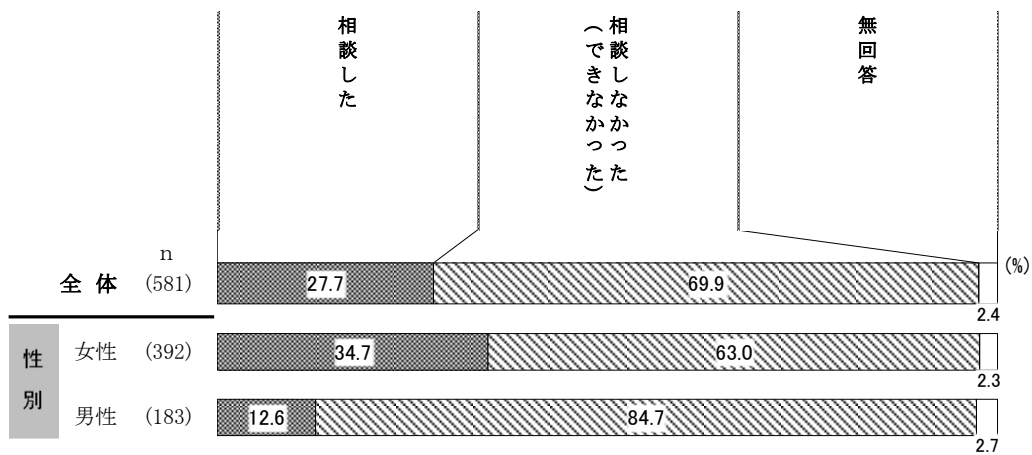
1番目に高い

(5) 被害の相談の有無

(問19 (ア) ~ (サ) のうち1つでも「1. 何度もあった」「2. 1、2度あった」とお答えした方に)  
 問19-1 あなたはこれまでに相手から受けた行為について誰かに伝えたり、相談したりしましたか。(〇は1つ)

被害の相談の有無についてみると、「相談しなかった(できなかった)」が69.9%、「相談した」が27.7%となっている。

性別にみると、男女ともに「相談しなかった(できなかった)」が最も高くなっているが、男性(84.7%)が女性(63.0%)より21.7ポイント高くなっている。

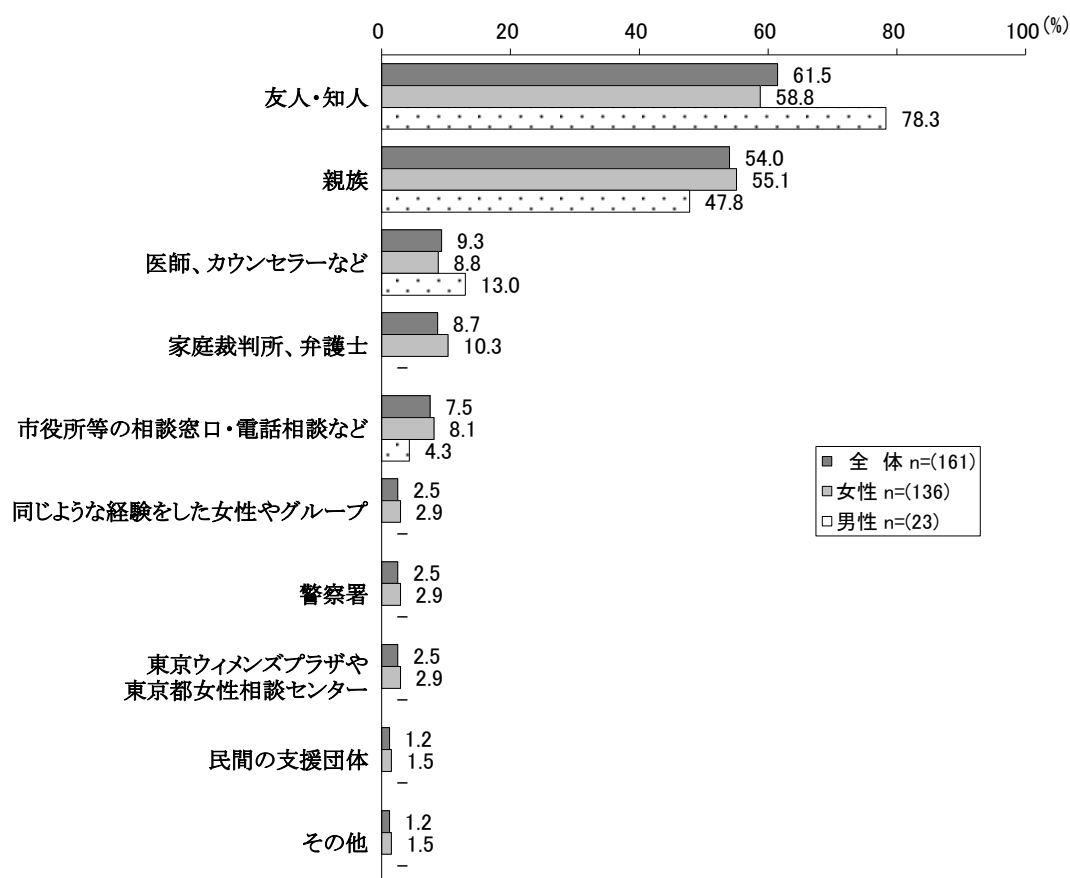


(6) 相談先

(問19-1で「1. 相談した」とお答えした方に)  
 問19-1-1 誰(どこ)に相談しましたか。(〇はいくつでも)

相談先についてみると、「友人・知人」が61.5%で最も高く、次いで、「親族」(54.0%)、「医師、カウンセラーなど」(9.3%)となっている。

性別にみると、女性はすべての項目で回答が見られたが、男性は「友人・知人」、「親族」、「医師、カウンセラーなど」、「市役所等の相談窓口・電話相談など」にのみ回答があった。

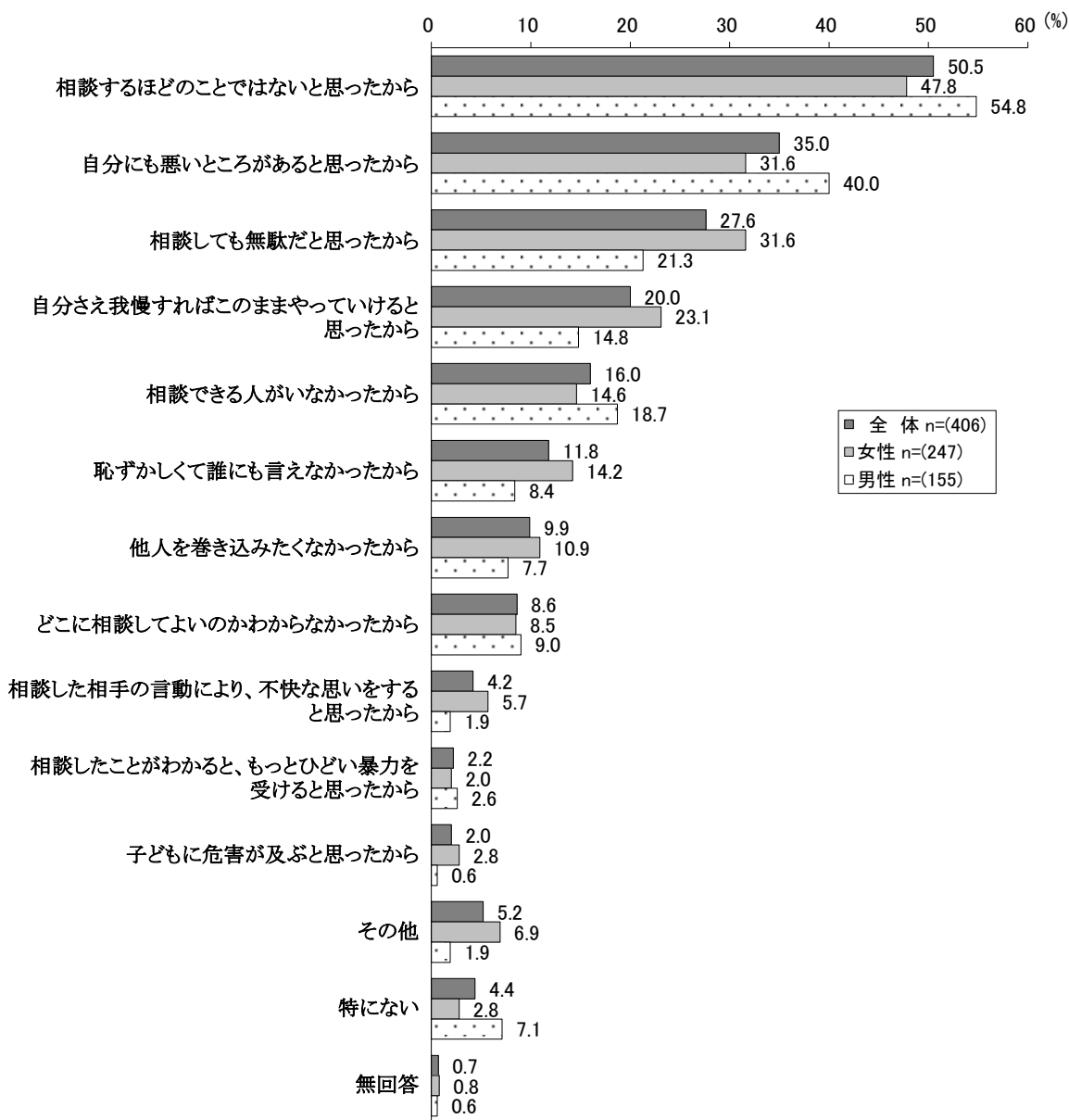


(7) 相談しなかった理由

(問19-1で「2. 相談しなかった(できなかった)」とお答えした方  
 問19-1-2 誰にも相談しなかった(できなかった)理由は何ですか。(〇はいくつでも)

相談しなかった理由についてみると、「相談するほどのことではないと思ったから」が50.5%で最も高く、次いで、「自分にも悪いところがあると思ったから」(35.0%)、「相談しても無駄だと思ったから」(27.6%)となっている。

性別にみると、「相談しても無駄だと思ったから」は女性(31.6%)が男性(21.3%)より10.3ポイント高くなっている。一方、「自分にも悪いところがあると思ったから」は男性(40.0%)が女性(31.6%)より8.4ポイント、「相談するほどのことではないと思ったから」は男性(54.8%)が女性(47.8%)より7.0ポイント高くなっている。



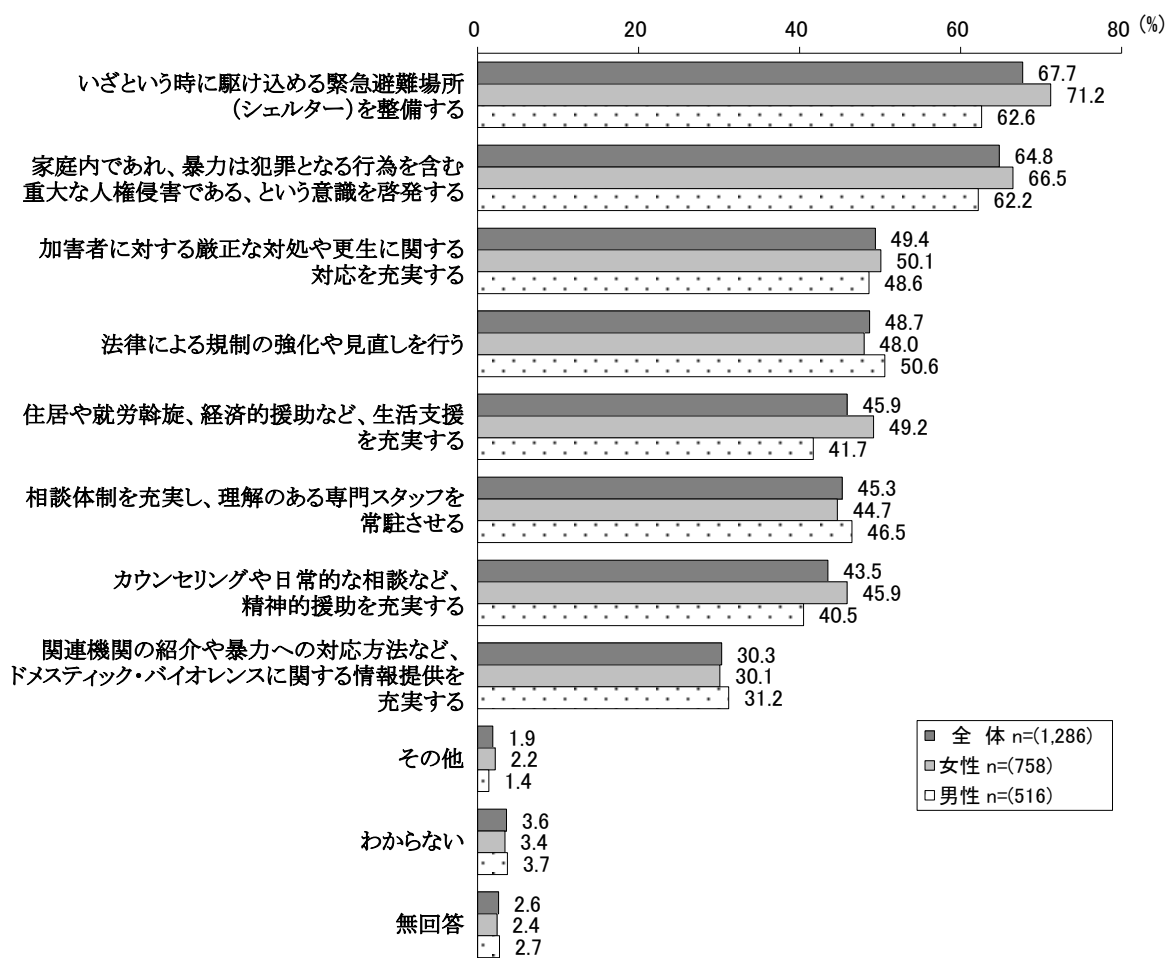


## (8) DVに対する支援や援助で充実すべきもの

問20 あなたは、「ドメスティック・バイオレンス（DV）（※）」に対する対策や援助として、特にどのようなものを充実すべきだと思いますか。（〇はいくつでも）

DVに対する支援や援助で充実すべきものについてみると、「いざという時に駆け込める緊急避難場所（シェルター）を整備する」が67.7%で最も高く、次いで、「家庭内であれ、暴力は犯罪となる行為を含む重大な人権侵害である、という意識を啓発する」（64.8%）、「加害者に対する厳正な対処や更生に関する対応を充実する」（49.4%）となっている。

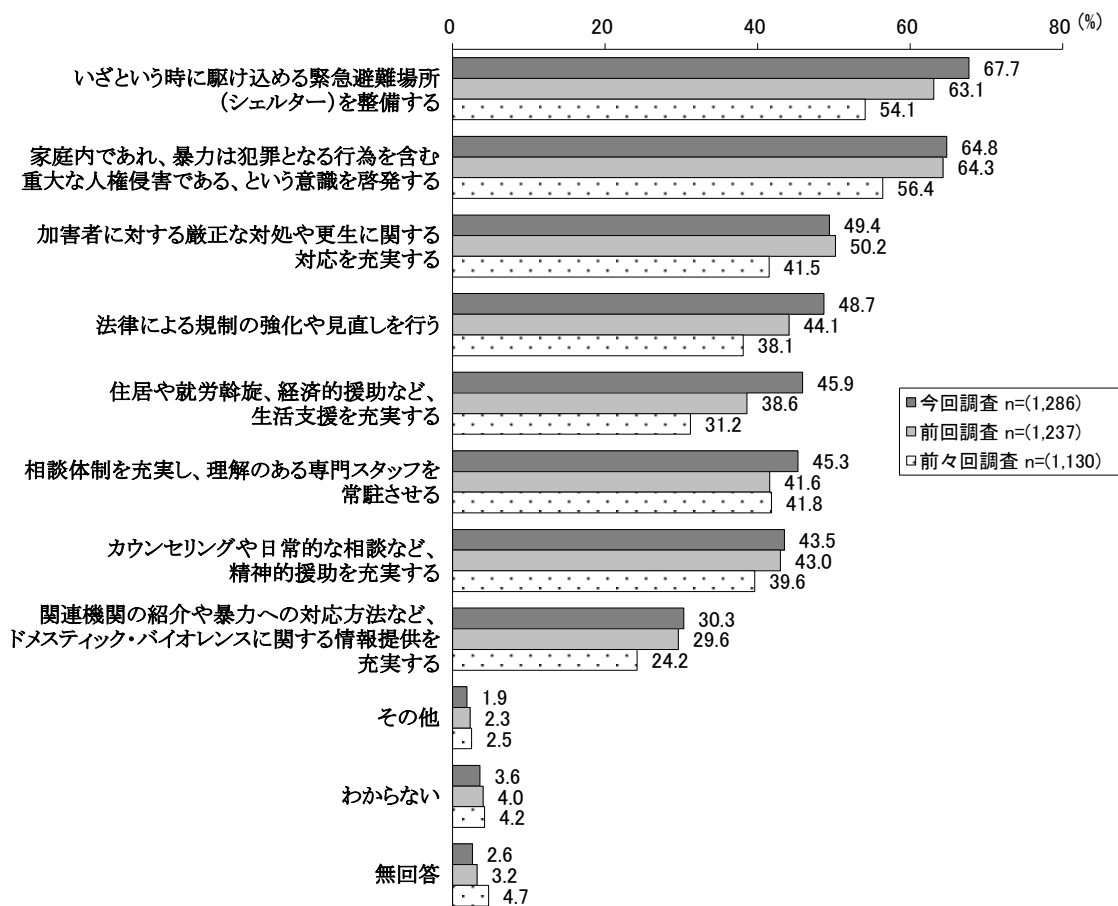
性別にみると、「いざという時に駆け込める緊急避難場所（シェルター）を整備する」は女性（71.2%）が男性（62.6%）より8.6ポイント、「住居や就労斡旋、経済的援助など、生活支援を充実する」は女性（49.2%）が男性（41.7%）より7.5ポイント高くなっている。



※『ドメスティック・バイオレンス（DV）』とは、配偶者や恋人など親密な関係にある、または過去にあった人からふるわれる暴力（身体的・心理的・性的）、という意味で使われています。

■経年比較

経年比較をみると、前々回調査から今回調査にかけて「いざという時に駆け込める緊急避難場所（シェルター）を整備する」、「法律による規制の強化や見直しを行う」、「住居や就労斡旋、経済的援助など、生活支援を充実する」が特に増加しており、前回調査から「住居や就労斡旋、経済的援助など、生活支援を充実する」が7.3ポイント、「いざという時に駆け込める緊急避難場所（シェルター）を整備する」、「法律による規制の強化や見直しを行う」が4.6ポイント増加している。



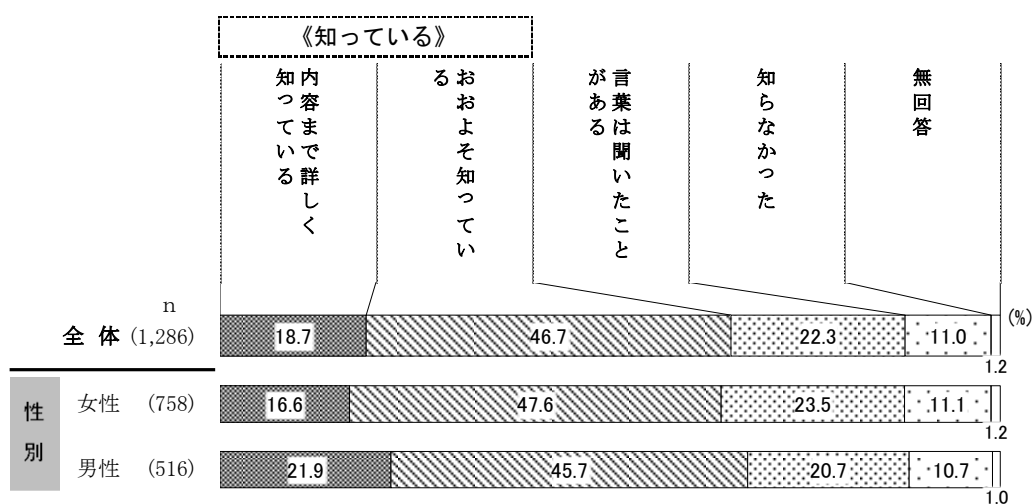
## 8. 性の多様性について

### (1) 性的マイノリティ（性的少数者）という言葉の認知状況

問21 あなたは、性的マイノリティ（性的少数者）という言葉を知っていますか。（〇は1つ）

性的マイノリティ（性的少数者）という言葉の認知状況についてみると、「おおよそ知っている」が46.7%で最も高く、次いで、「言葉は聞いたことがある」（22.3%）、「内容まで詳しく知っている」（18.7%）、「知らなかった」（11.0%）となっている。「内容まで詳しく知っている」と「おおよそ知っている」を合わせた《知っている》は65.4%となっている。

性別にみると、男女ともに「おおよそ知っている」が最も高くなっているが、女性は次いで「知らなかった」（23.5%）が高く、男性は「内容まで詳しく知っている」（21.9%）が高くなっている。

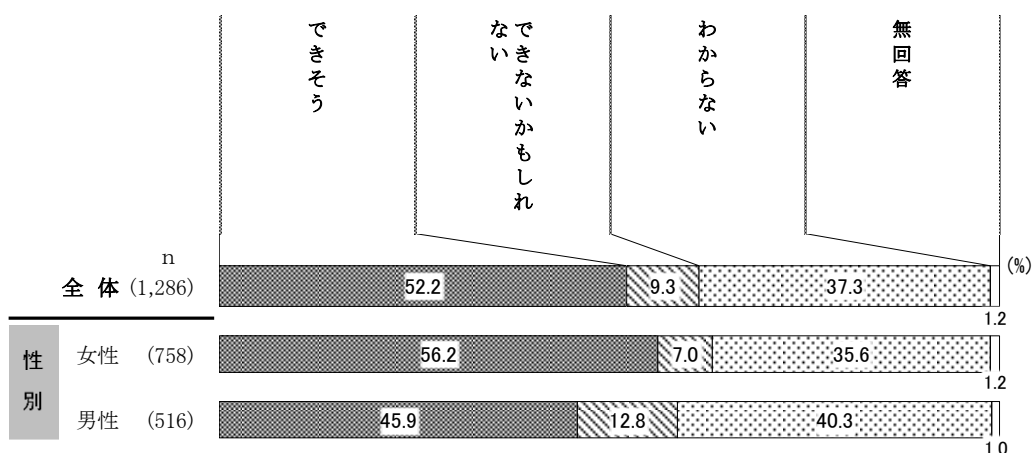


(2) 身近な人から同性愛者等であると打ち明けられた場合の接し方

問22 あなたは、身近な人から同性愛者やトランスジェンダーなどであると打ち明けられた場合、これまでと変わりなく接することができそうですか。(〇は1つ)

身近な人から同性愛者等であると打ち明けられた場合の接し方についてみると、「できそう」が52.2%で最も高く、次いで、「わからない」(37.3%)、「できないかもしれない」(9.3%)となっている。

性別にみると、男女ともに「できそう」が最も高くなっているが、女性(56.2%)が男性(45.9%)より10.3ポイント高くなっている。一方、「できないかもしれない」は男性(12.8%)が女性(7.0%)より5.8ポイント高くなっている。

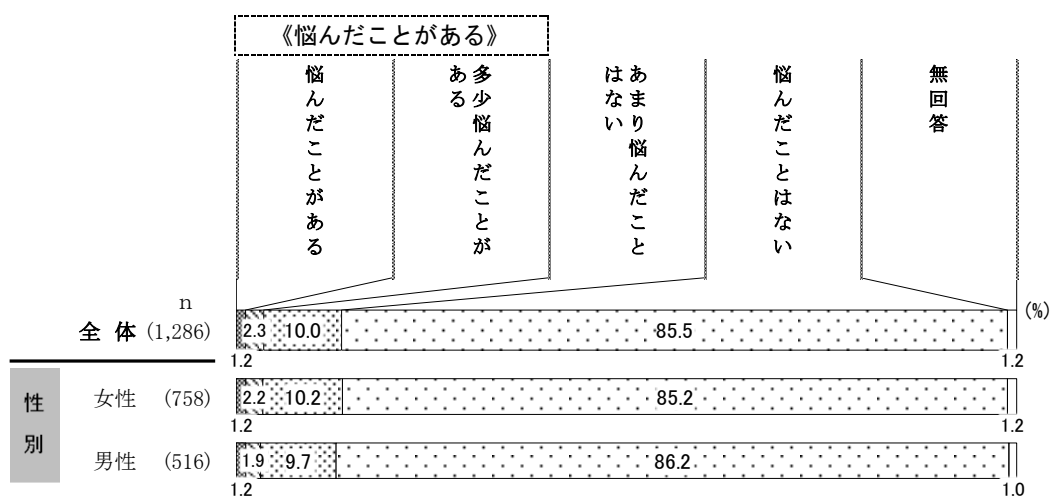


(3) 自分の性別や恋愛対象となる性別について悩んだ経験

問23 あなたは、今まで自分の性別や恋愛対象となる性別などについて悩んだことはありますか。(〇は1つ)

自分の性別や恋愛対象となる性別について悩んだ経験についてみると、「悩んだことはない」が85.5%で最も高く、次いで、「あまり悩んだことはない」(10.0%)となっている。「多少悩んだことがある」と「悩んだことがある」を合わせた《悩んだことがある》は3.5%となっている。

性別にみても同様の傾向がうかがえ、男女間に大きな違いはみられない。



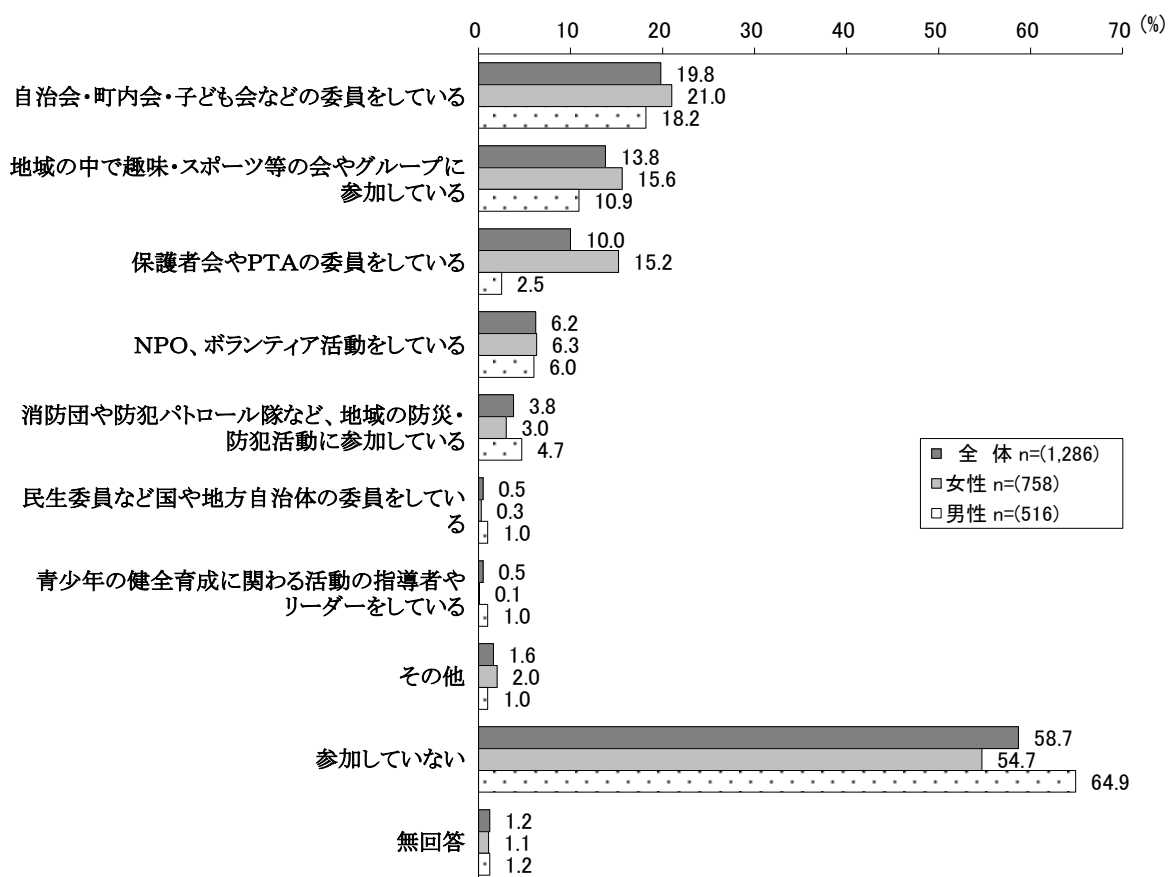
## 9. 地域活動・社会活動について

### (1) 地域活動や社会活動への参加状況

問24 あなたは、地域活動や社会活動などに参加していますか。(〇はいくつでも)

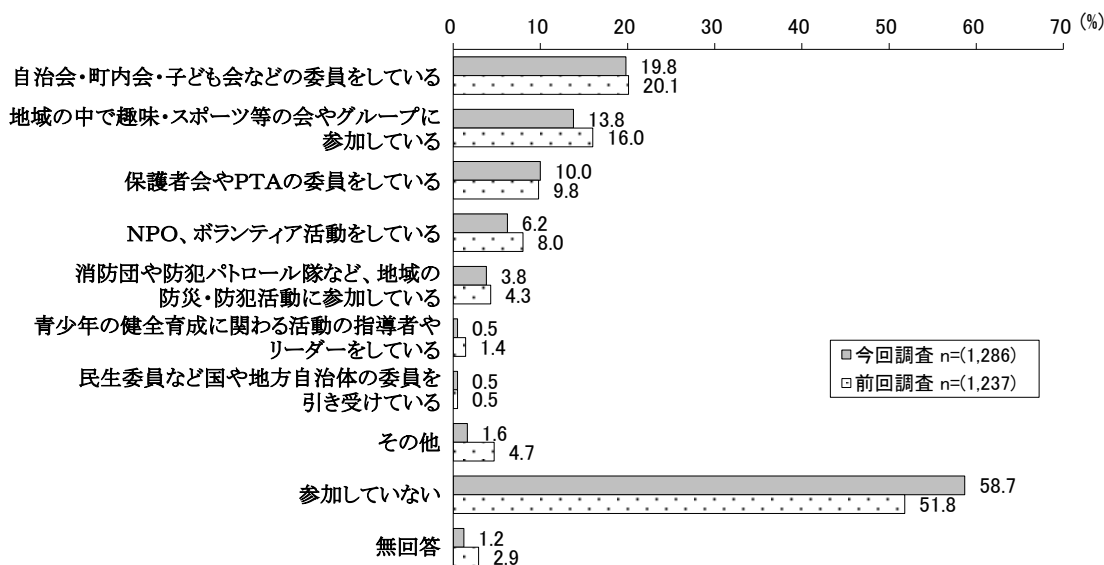
地域活動や社会活動への参加状況についてみると、「参加していない」が58.7%を占めている。参加している活動については、「自治会・町内会・子ども会などの委員をしている」(19.8%)が最も高く、次いで、「地域の中で趣味・スポーツ等の会やグループに参加している」(13.8%)、「保護者会やPTAの委員をしている」(10.0%)となっている。

性別にみると、「保護者会やPTAの委員をしている」は女性(15.2%)が男性(2.5%)より12.7ポイント高くなっている。一方、「参加していない」は男性(64.9%)が女性(54.7%)より10.2ポイント高くなっている。



■経年比較

前回調査と比較すると、「参加していない」が6.9ポイント増加している。参加している活動については、大きな変化は見られない。



■性年齢別

性年齢別にみると、すべての年代で「参加していない」が最も高く、特に女性の20歳代、男性の20歳代、30歳代の若年層で約9割となっている。参加している活動については、「保護者会やPTAの委員をしている」が女性40歳代で3割以上、女性30歳代、50歳代で2割前後となっているが、男性ではすべての年代で1割未満となっている。「地域の中で趣味・スポーツ等の会やグループに参加している」は、男女ともに年代が上がるほど割合が高くなっている。また、「自治会・町内会・子ども会などの委員をしている」は、男性の70歳以上で3割以上と他の年代より高くなっている。

	調査数	調査項目										
		自治会・町内会・子ども会などの委員をしている	民生委員など国や地方自治体の委員を引き受けている	保護者会やPTAの委員をしている	青少年の健全育成に関わる活動の指導者やリーダーをしている	ボランティア活動をしている	NPO、ボランティア活動をしている	消防団や防犯パトロール隊など、地域の防災・防犯活動に参加している	地域の中で趣味・スポーツ等の会やグループに参加している	その他	参加していない	無回答
女性	20歳代	52	1.9	-	5.8	-	1.9	1.9	-	-	88.5	1.9
	30歳代	85	7.1	-	17.6	-	1.2	-	5.9	-	72.9	-
	40歳代	133	21.1	-	32.3	-	3.8	1.5	6.0	0.8	54.1	-
	50歳代	186	26.3	-	20.4	-	6.5	3.8	12.4	2.2	51.1	1.1
	60歳代	135	25.9	-	8.1	-	5.9	3.0	21.5	5.9	44.4	1.5
	70歳以上	165	23.6	1.2	3.0	0.6	12.7	5.5	32.1	1.2	47.9	1.8
男性	20歳代	40	-	-	-	2.5	10.0	2.5	2.5	-	85.0	-
	30歳代	51	5.9	-	2.0	-	2.0	-	2.0	-	88.2	-
	40歳代	88	12.5	-	4.5	-	6.8	3.4	5.7	2.3	73.9	-
	50歳代	118	13.6	0.8	3.4	0.8	2.5	3.4	6.8	1.7	70.3	1.7
	60歳代	91	22.0	2.2	-	1.1	7.7	6.6	15.4	1.1	59.3	-
	70歳以上	124	33.9	1.6	2.4	1.6	8.1	7.3	21.0	-	41.9	3.2

1 番目に高い

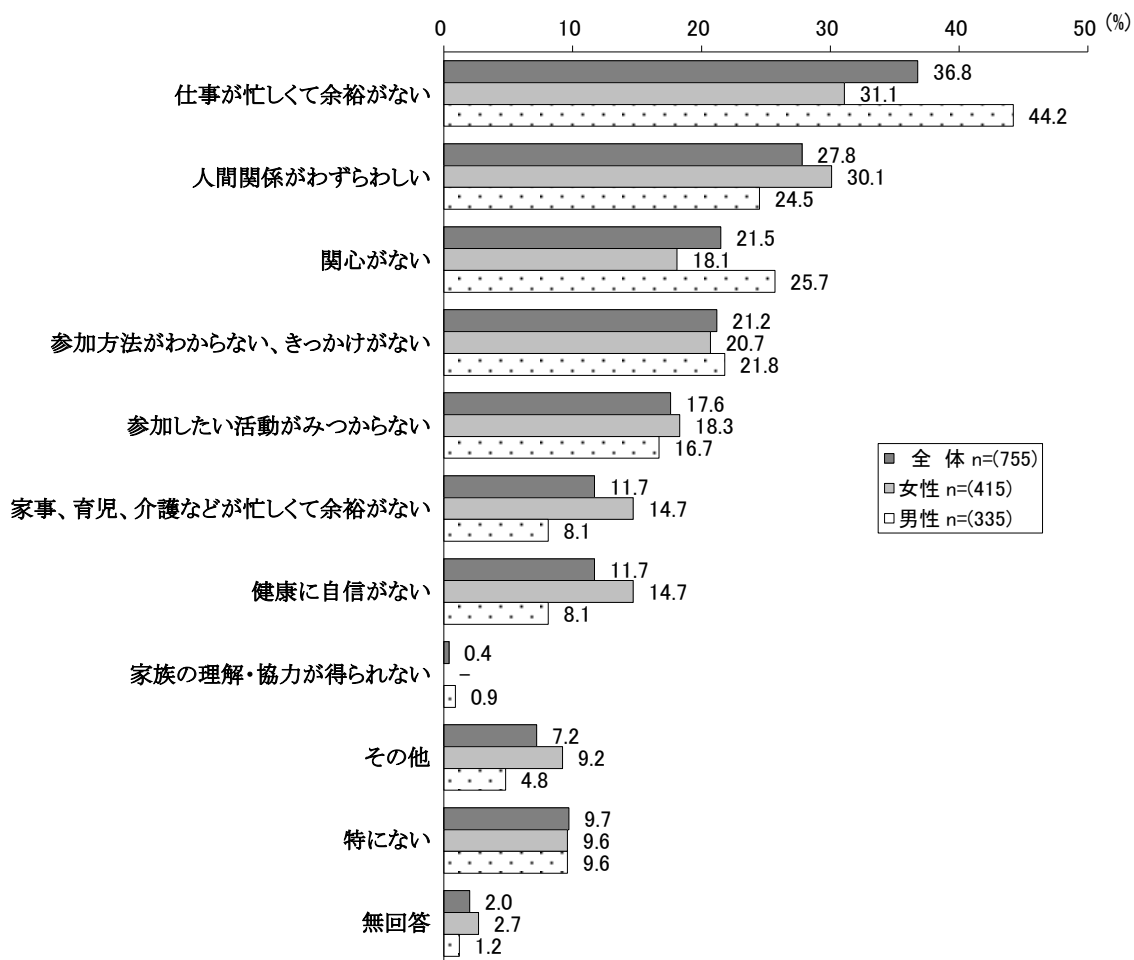
2 番目に高い

(2) 参加していない理由

問24で「9. 参加していない」とお答えの方に)  
 問24-1 地域活動や社会活動に参加していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

参加していない理由についてみると、「仕事が忙しくて余裕がない」が36.8%で最も高く、次いで、「人間関係がわずらわしい」(27.8%)、「関心がない」(21.5%)、「参加方法がわからない、きっかけがない」(21.2%)となっている。

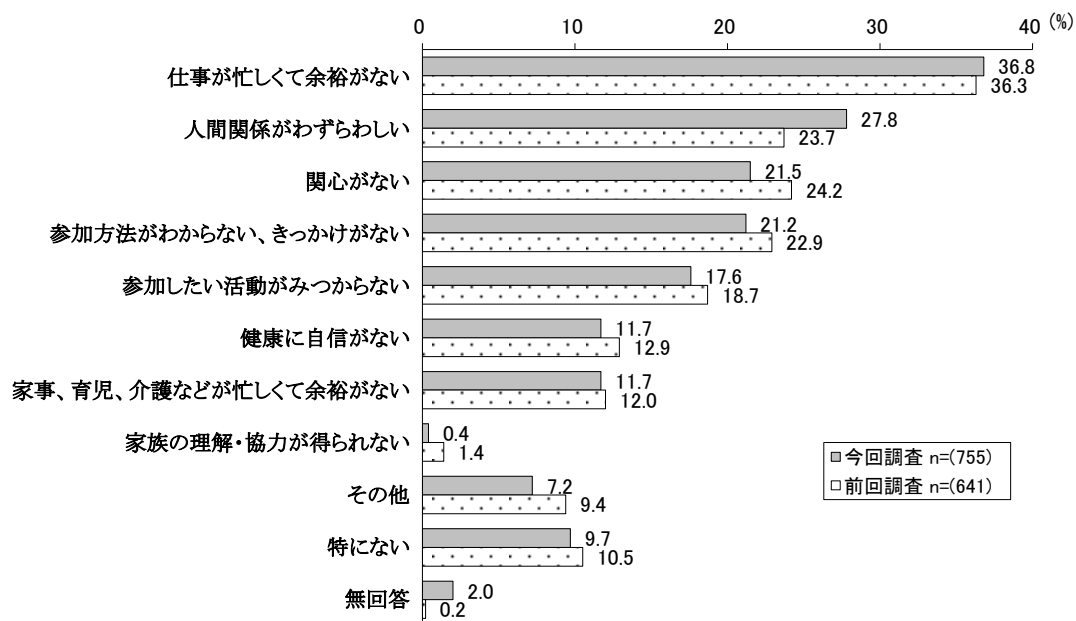
性別にみると、男女ともに「仕事が忙しくて余裕がない」が最も高くなっているが、男性(44.2%)が女性(31.1%)より13.1ポイント高くなっている。また、「関心がない」は男性(25.7%)が女性(18.1%)より7.6ポイント高くなっている。一方で、「家事、育児、介護などが忙しくて余裕がない」、「健康に自信がない」、「人間関係がわずらわしい」は女性が男性より6ポイント程度高くなっている。





■経年比較

前回調査と比較すると、「人間関係がわずらわしい」が4.1ポイント増加している。

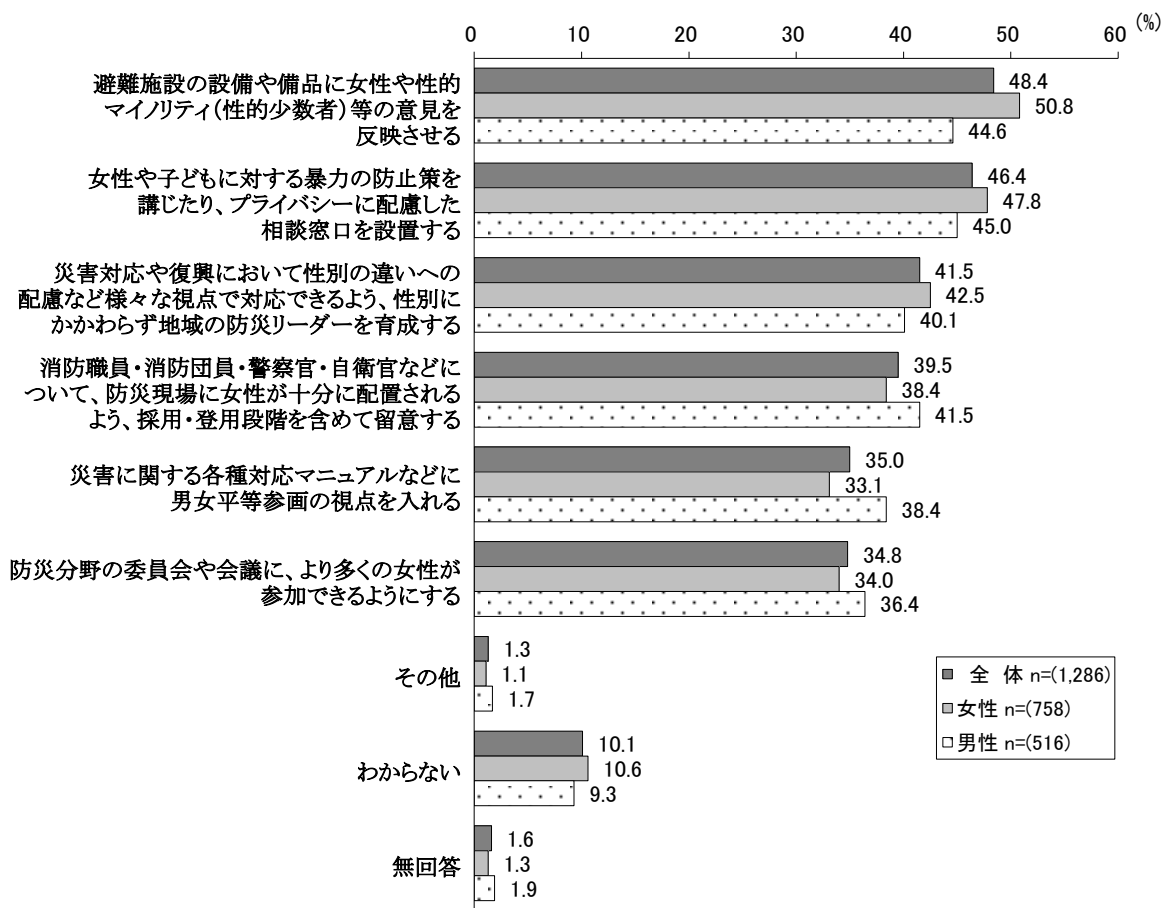


(3) 災害時に備えた男女双方の視点を取り入れた防災対策で重要なこと

問25 災害時に備えた男女双方の視点を取り入れた防災対応として、どのようなことが重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

災害時に備えた男女双方の視点を取り入れた防災対策で重要なことについてみると、「避難施設の設備や備品に女性や性的マイノリティ（性的少数者）等の意見を反映させる」が48.4%で最も高く、次いで、「女性や子どもに対する暴力の防止策を講じたり、プライバシーに配慮した相談窓口を設置する」（46.4%）、「災害対応や復興において性別の違いへの配慮など様々な視点で対応できるよう、性別にかかわらず地域の防災リーダーを育成する」（41.5%）となっている。

性別にみると、女性は「避難施設の設備や備品に女性や性的マイノリティ（性的少数者）等の意見を反映させる」、男性は「女性や子どもに対する暴力の防止策を講じたり、プライバシーに配慮した相談窓口を設置する」が最も高くなっている。「避難施設の設備や備品に女性や性的マイノリティ（性的少数者）等の意見を反映させる」は女性（50.8%）が男性（44.6%）より6.2ポイント高くなっている一方、「災害に関する各種対応マニュアルなどに男女平等参画の視点を入れる」は男性（38.4%）が女性（33.1%）より5.3ポイント高くなっている。



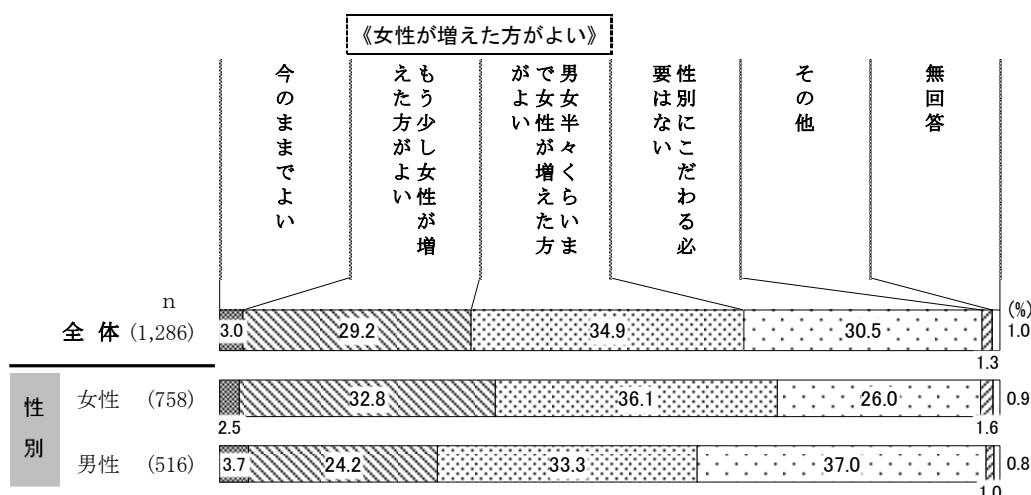
## 10. 女性活躍について

### (1) 女性の委員比率の考え

問26 まちづくりや福祉など、市のこれからの政策や方針を決定する場の一つに審議会があります。町田市では、市で設けている審議会などの女性委員の比率は27.9%です（2020年4月1日現在）。このことについて、あなたはどのように思いますか。（〇は1つ）

女性の委員比率の考えについてみると、「もう少し女性が増えた方がよい」と「男女半々くらいまで女性が増えた方がよい」を合わせた《女性が増えた方がよい》が64.1%と6割以上を占めており、その内訳をみると「男女半々くらいまで女性が増えた方がよい」が34.9%となっている。また、「性別にこだわる必要はない」（30.5%）は3割以上となっている。

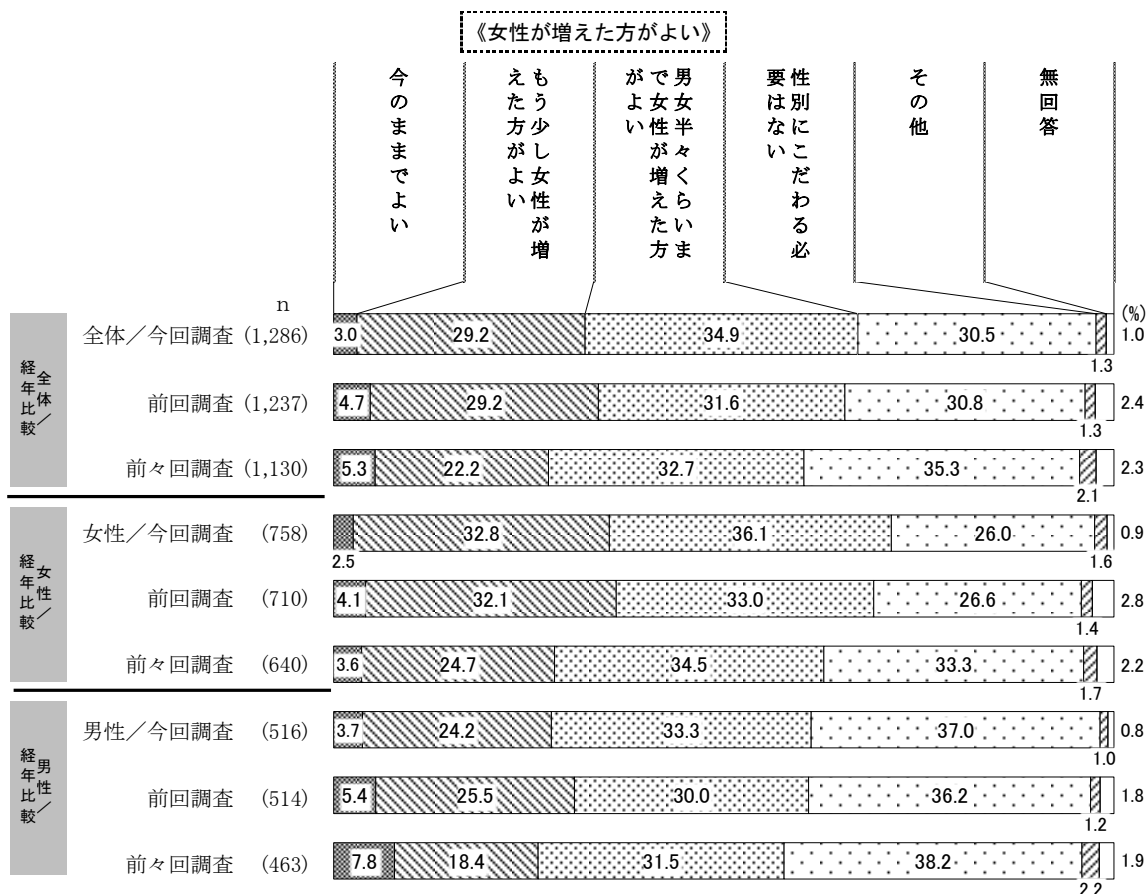
性別にみると、《女性が増えた方がよい》は女性（68.9%）が男性（57.5%）を11.4ポイント上回っている一方で、「性別にこだわる必要はない」は男性（37.0%）が女性（26.0%）より11.0ポイント高くなっている。



■経年比較

経年比較をみると、前々回調査から今回調査にかけて「もう少し女性が増えた方がよい」が増加しているが、前回調査からは大きな変化は見られない。

性別にみると、前々回調査から今回調査にかけて男女ともに「もう少し女性が増えた方がよい」が増加している。また、女性で「性別にこだわる必要はない」が減少している。全体と同様、前回調査からは大きな変化は見られない。

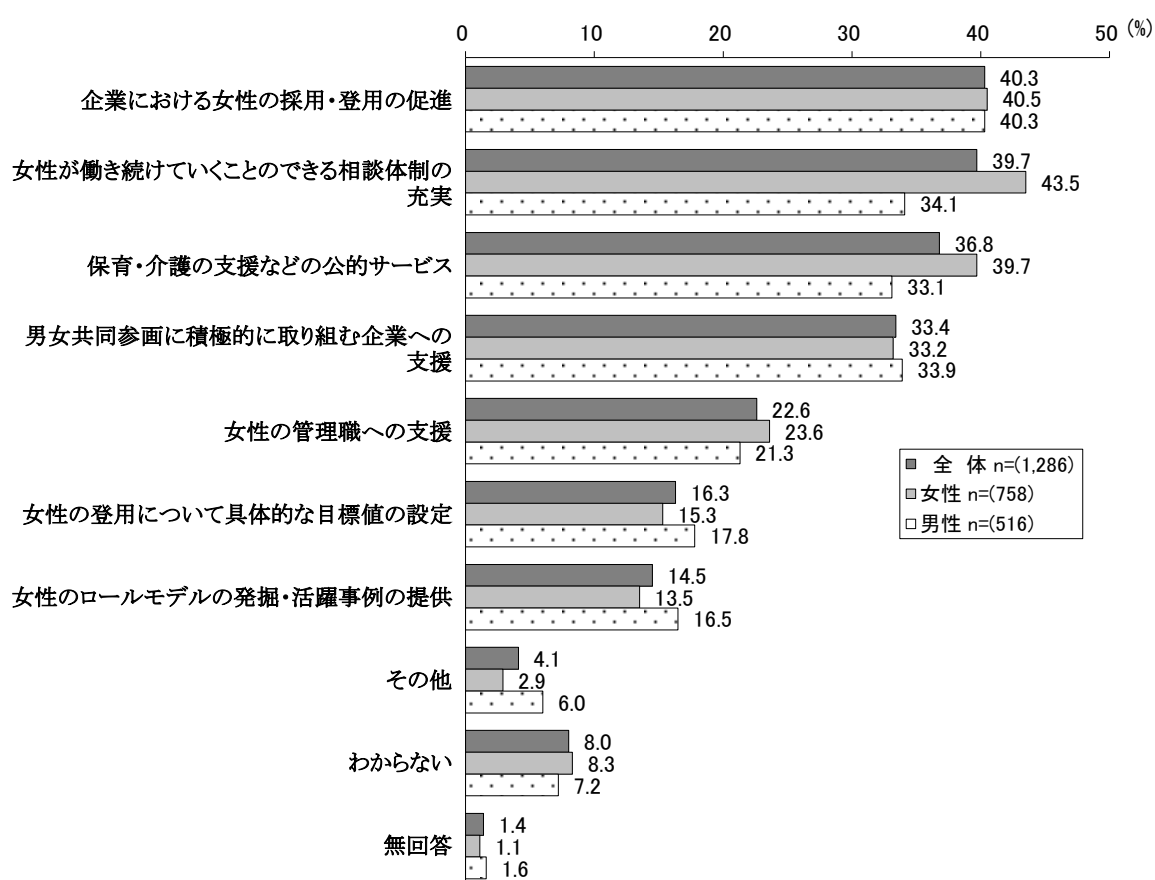


## (2) 女性の参画を促すのに必要な支援

問27 働く場における女性の管理職への登用など、女性の参画を促すには、どのような支援が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

女性の参画を促すのに必要な支援についてみると、「企業における女性の採用・登用の促進」が40.3%で最も高く、次いで、「女性が働き続けていくことのできる相談体制の充実」(39.7%)、「保育・介護の支援などの公的サービス」(36.8%)となっている。

性別にみると、女性は「女性が働き続けていくことのできる相談体制の充実」(43.5%)が最も高く、男性(34.1%)より9.4ポイント高くなっている。また、「保育・介護の支援などの公的サービス」は女性(39.7%)が男性(33.1%)より6.6ポイント高くなっている。

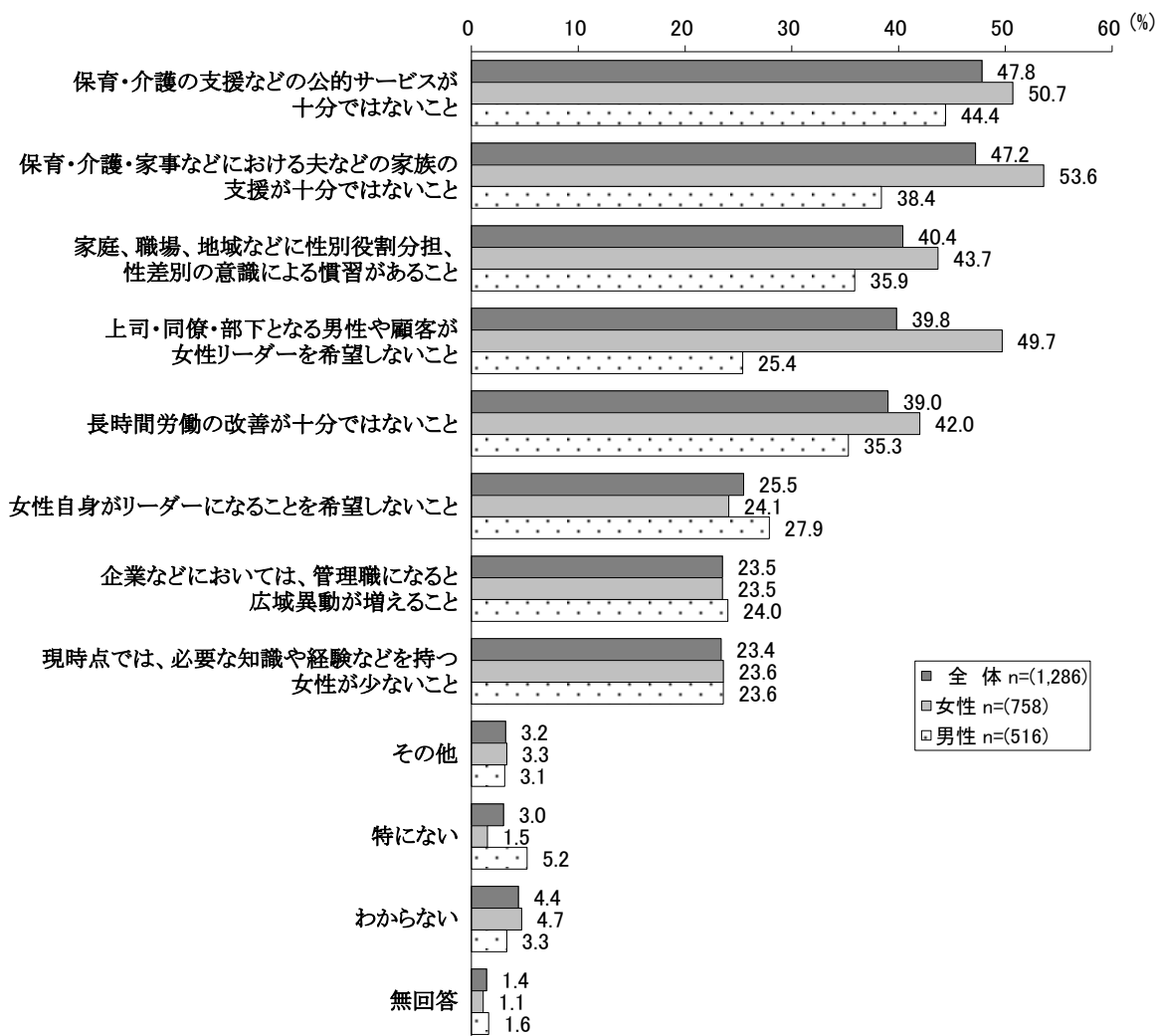


(3) 女性リーダーを増やす際の障害

問28 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

女性リーダーを増やす際の障害についてみると、「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」が47.8%で最も高く、次いで、「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」(47.2%)、「家庭、職場、地域などに性別役割分担、性差別の意識による慣習があること」(40.4%)、「上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと」(39.8%)となっている。

性別にみると、女性で「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」(53.6%)、男性で「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」(44.4%)が最も高くなっている。「上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと」は女性(49.7%)が男性(25.4%)より24.3ポイント、「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」は女性(53.6%)が男性(38.4%)より15.2ポイント高くなっている。

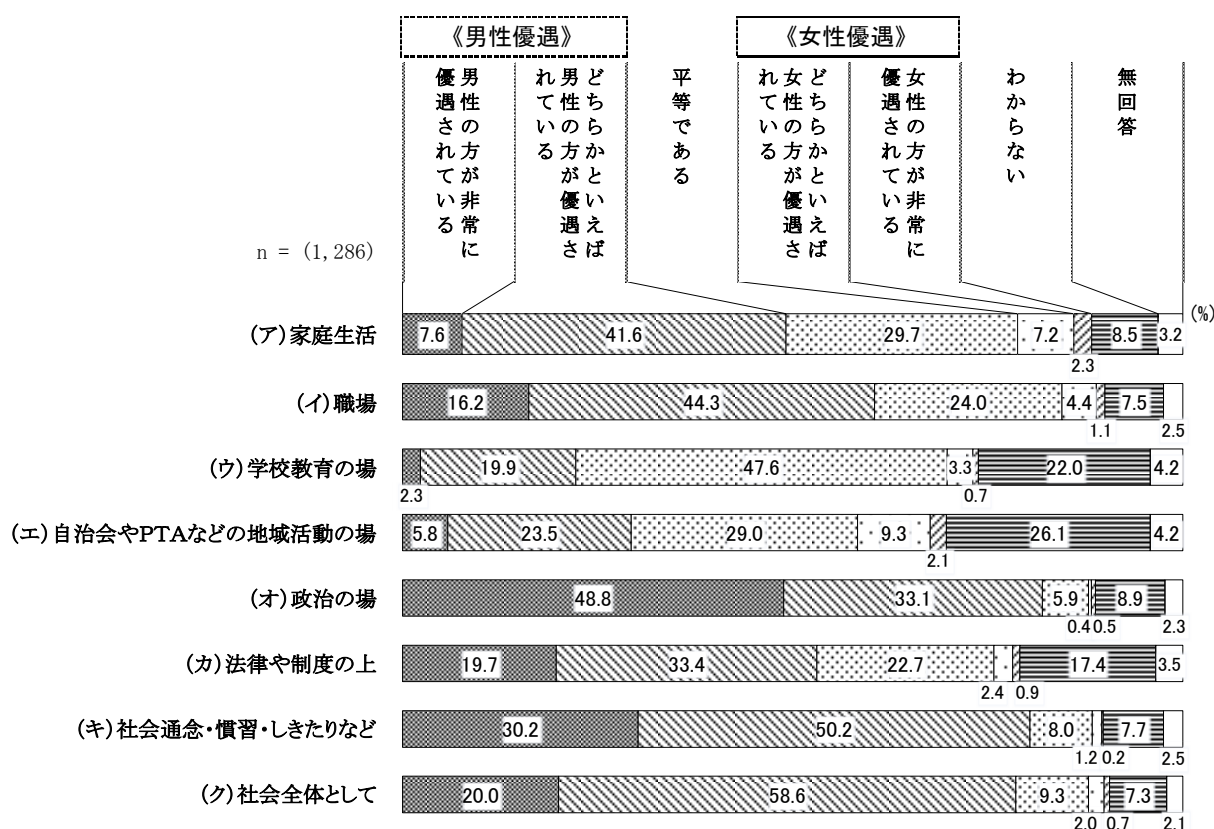


## 1.1. 男女平等について

### (1) 男女の平等感

問29 あなたは、次にあげる分野において女性と男性が平等になっていると思いますか。  
 (ア)～(ク)について、あなたの感じ方に近いものをお選びください。(〇はそれぞれ1つずつ)

男女の平等感についてみると、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた《男性優遇》が「(オ) 政治の場」(81.9%)、「(キ) 社会通念・慣習・しきたりなど」(80.4%)、「(ク) 社会全体として」(78.6%)で8割前後と高くなっている。「平等である」は「(ウ) 学校教育の場」(47.6%)で約5割と高くなっている。また、「(エ) 自治会やPTAなどの地域活動の場」で、《男性優遇》(29.3%)と「平等である」(29.0%)が同程度となっている。

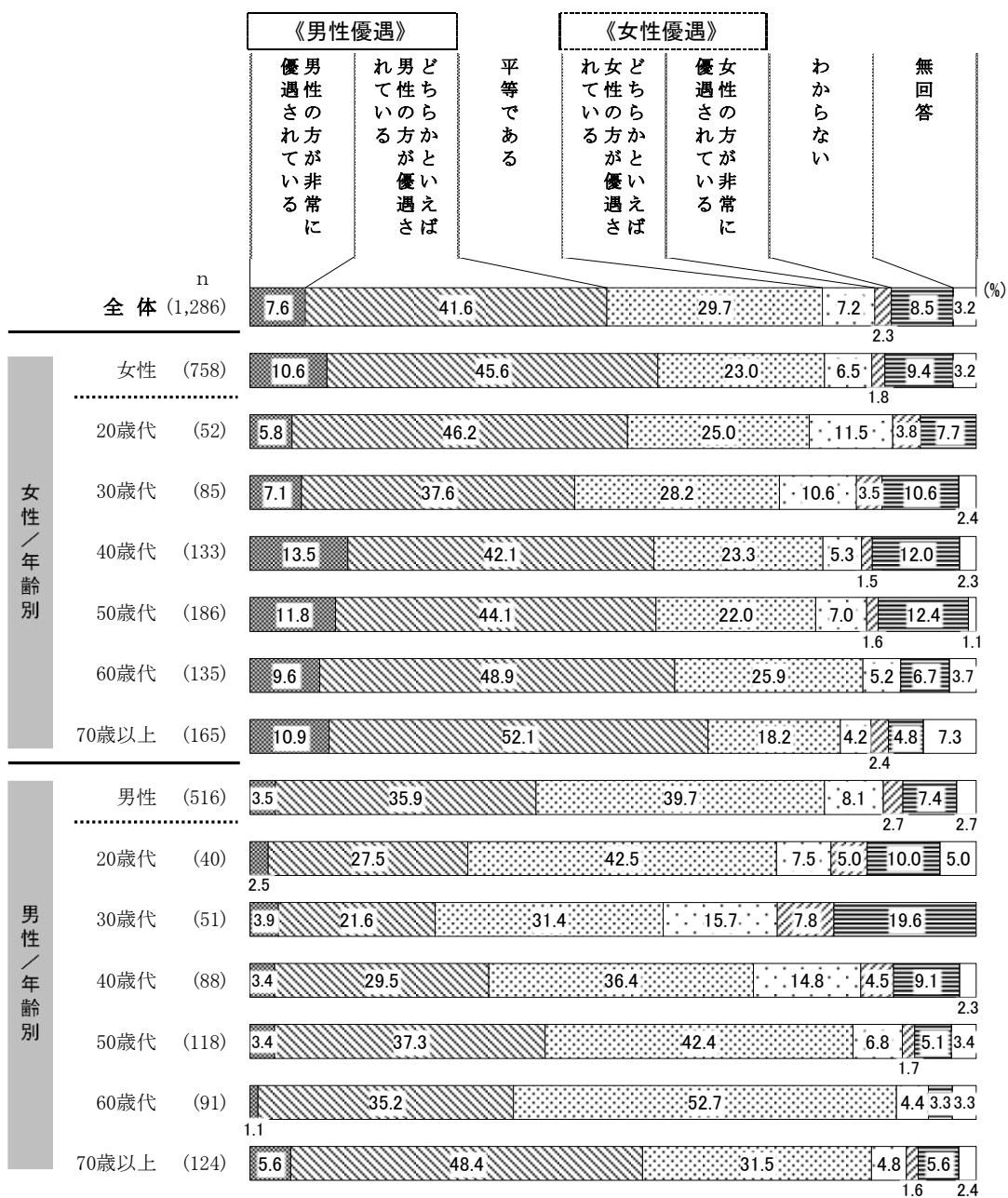


■性別・性年齢別

(ア) 家庭生活

家庭生活における男女の平等感について、性別にみると、女性で《男性優遇》（56.2%）が約6割となっており、男性では「平等である」（39.7%）と《男性優遇》（39.4%）が同程度となっている。

性年齢別にみると、女性は30歳代を除くすべての年代で《男性優遇》が過半数を占めており、すべての年代で男性を上回っている。また、男性の30歳代、40歳代で「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」を合わせた《女性優遇》が2割前後と男女を通じて他の年代より高くなっている。

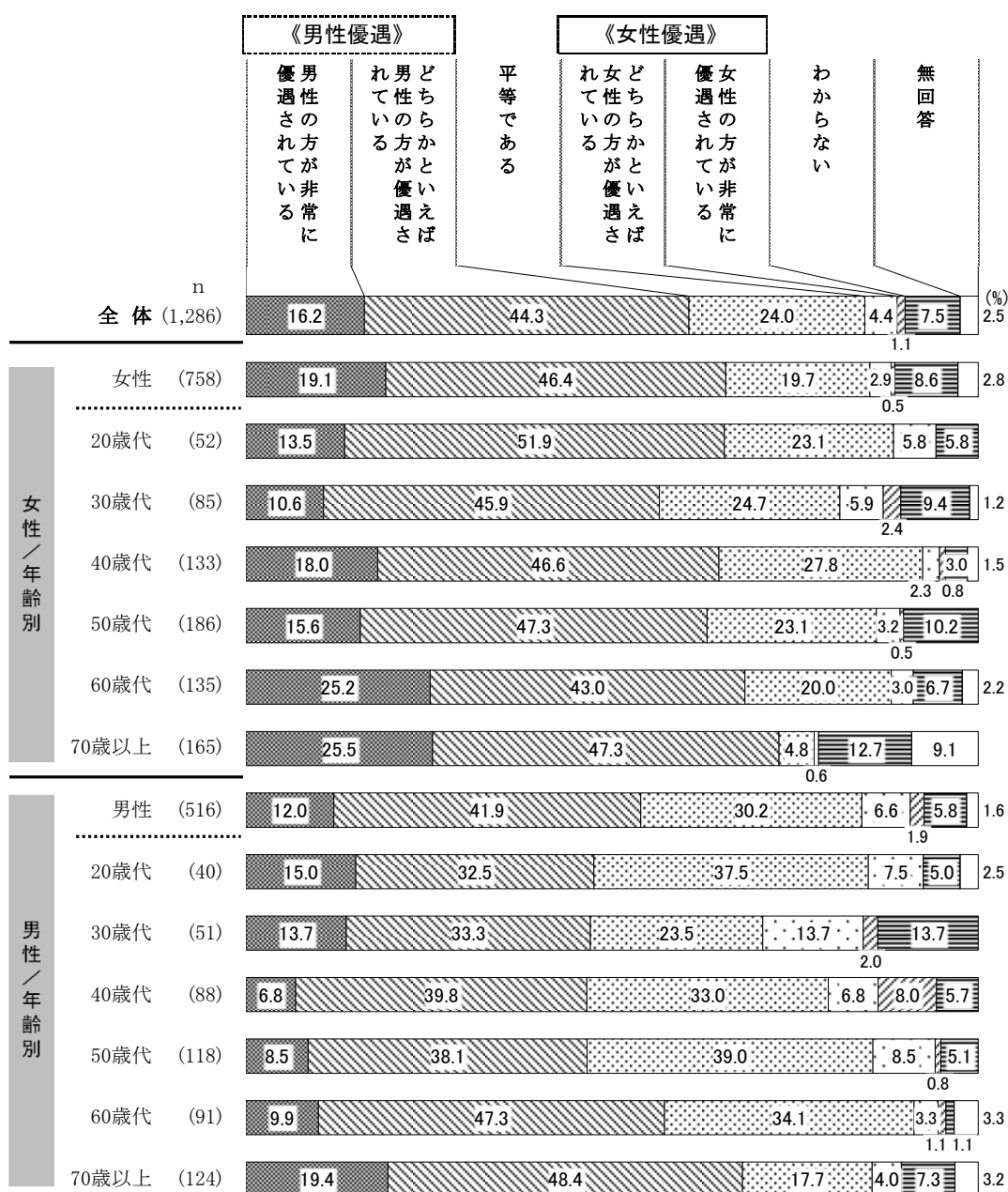




(イ) 職場

職場における男女の平等感について、性別にみると、男女ともに《男性優遇》が過半数を占めているが、女性（65.5%）が男性（53.9%）より11.6ポイント高くなっている。

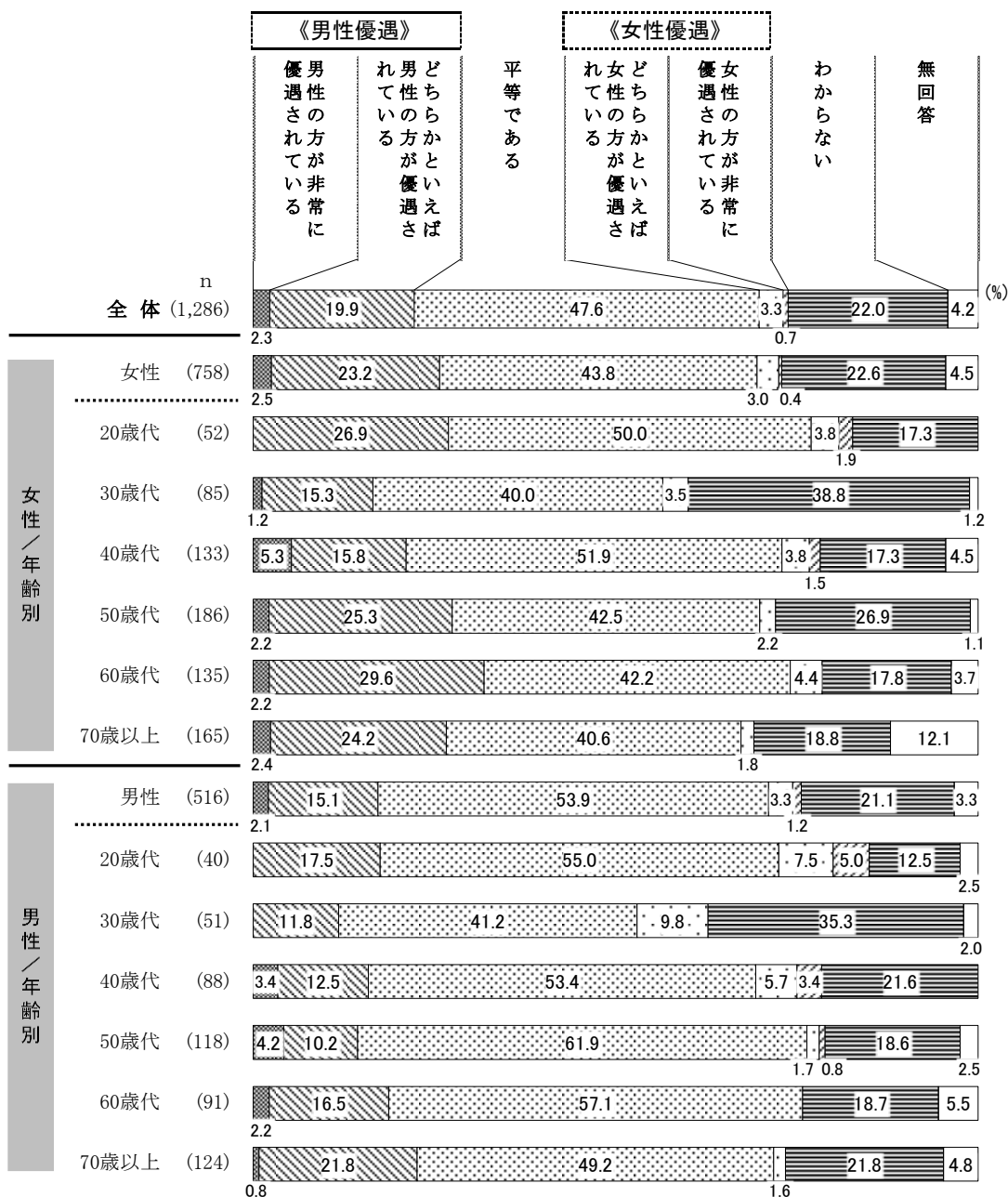
性年齢別にみると、《男性優遇》は女性のすべての年代で過半数を占めており、すべての年代で女性が男性を上回っている。一方、「平等である」は30歳代を除くすべての年代で男性が女性より高く、男性の20歳代、50歳代で約4割となっている。



(ウ) 学校教育の場

学校教育の場における男女の平等感について、性別にみると、男女ともに「平等である」が最も高くなっているが、男性（53.9%）が女性（43.8%）を10.1ポイント上回っている。

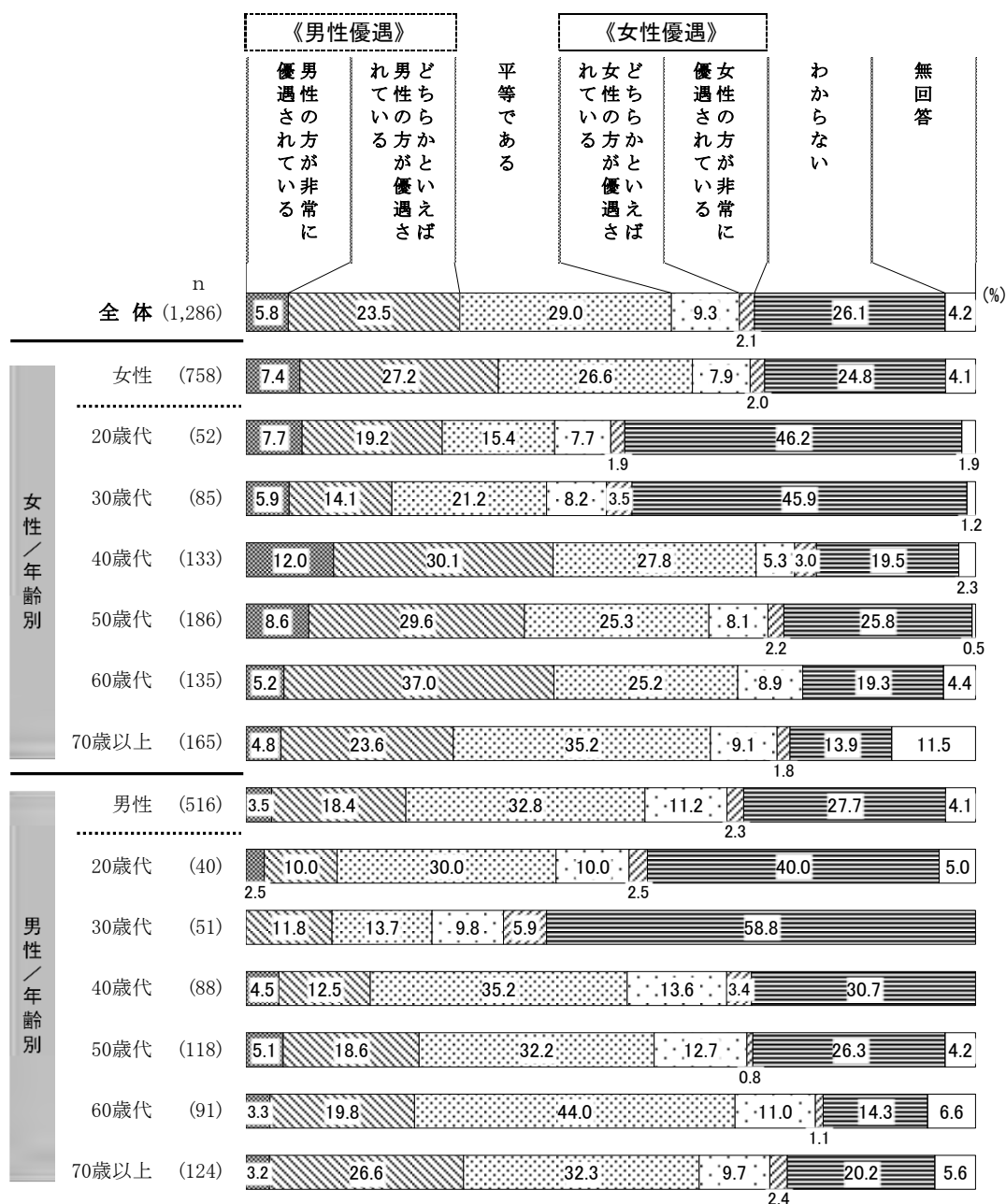
性年齢別にみると、男女ともにすべての年代で「平等である」が最も高くなっているが、すべての年代で男性が女性を上回っており、特に50歳代で19.4ポイント、60歳代で14.9ポイント高くなっている。



(エ) 自治会やPTAなどの地域活動の場

自治会やPTAなどの地域活動の場における男女の平等感について、性別にみると、女性は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(27.2%)、男性は「平等である」(32.8%)が最も高くなっている。《男性優遇》は、女性(34.6%)が男性(21.9%)より12.7ポイント高くなっている。

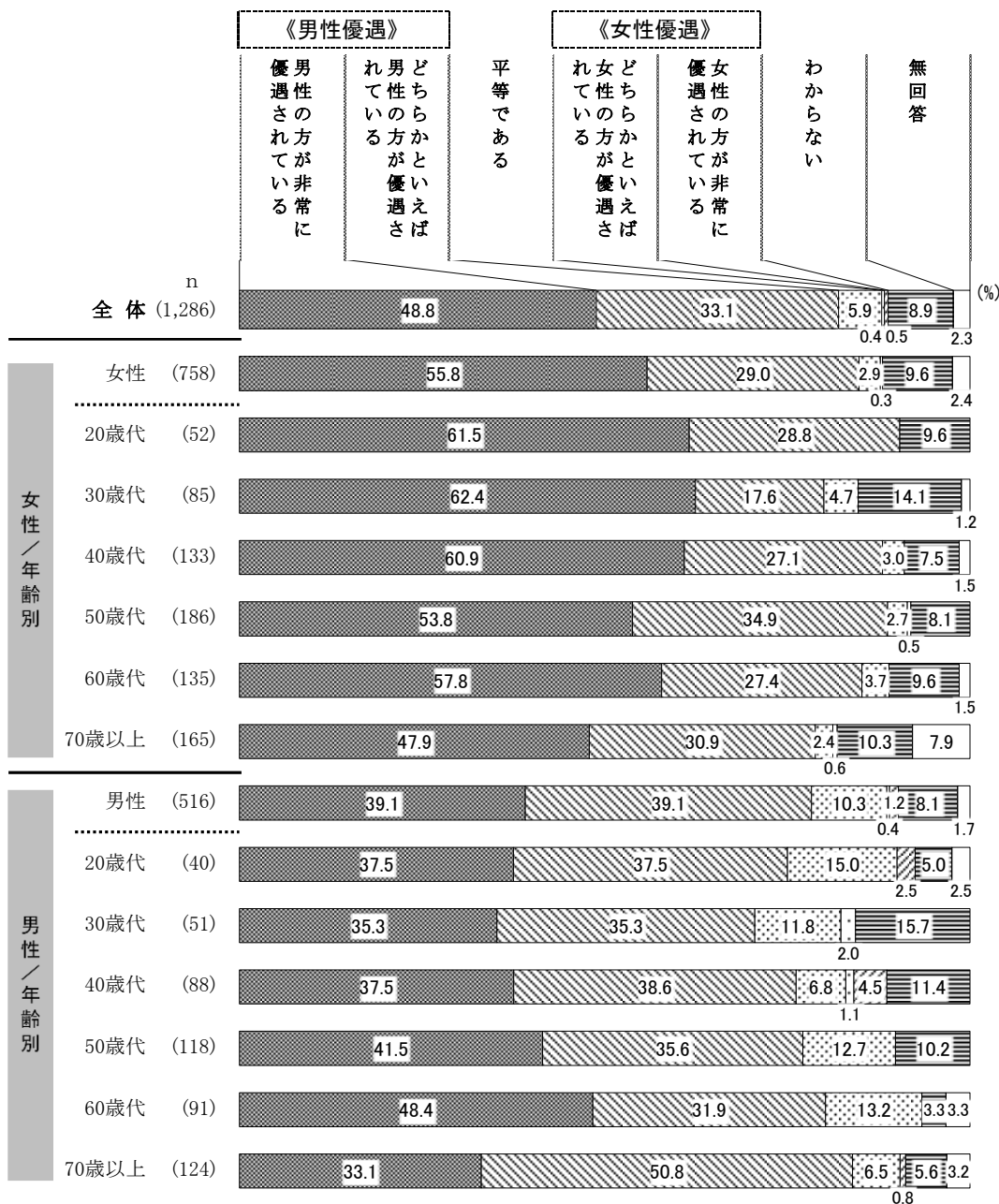
性年齢別にみると、女性の40歳代~60歳代で《男性優遇》が4割前後と男女を通じて他の年代より高くなっている。また、「平等である」は、60歳代で男性が女性より18.8ポイント、20歳代で14.6ポイント以上高くなっている。



(オ) 政治の場

政治の場における男女の平等感について、性別にみると、《男性優遇》が女性（84.8%）で8割以上、男性（78.2%）で約8割となっている。「平等である」は男性（10.3%）が女性（2.9%）より7.4ポイント高くなっている。

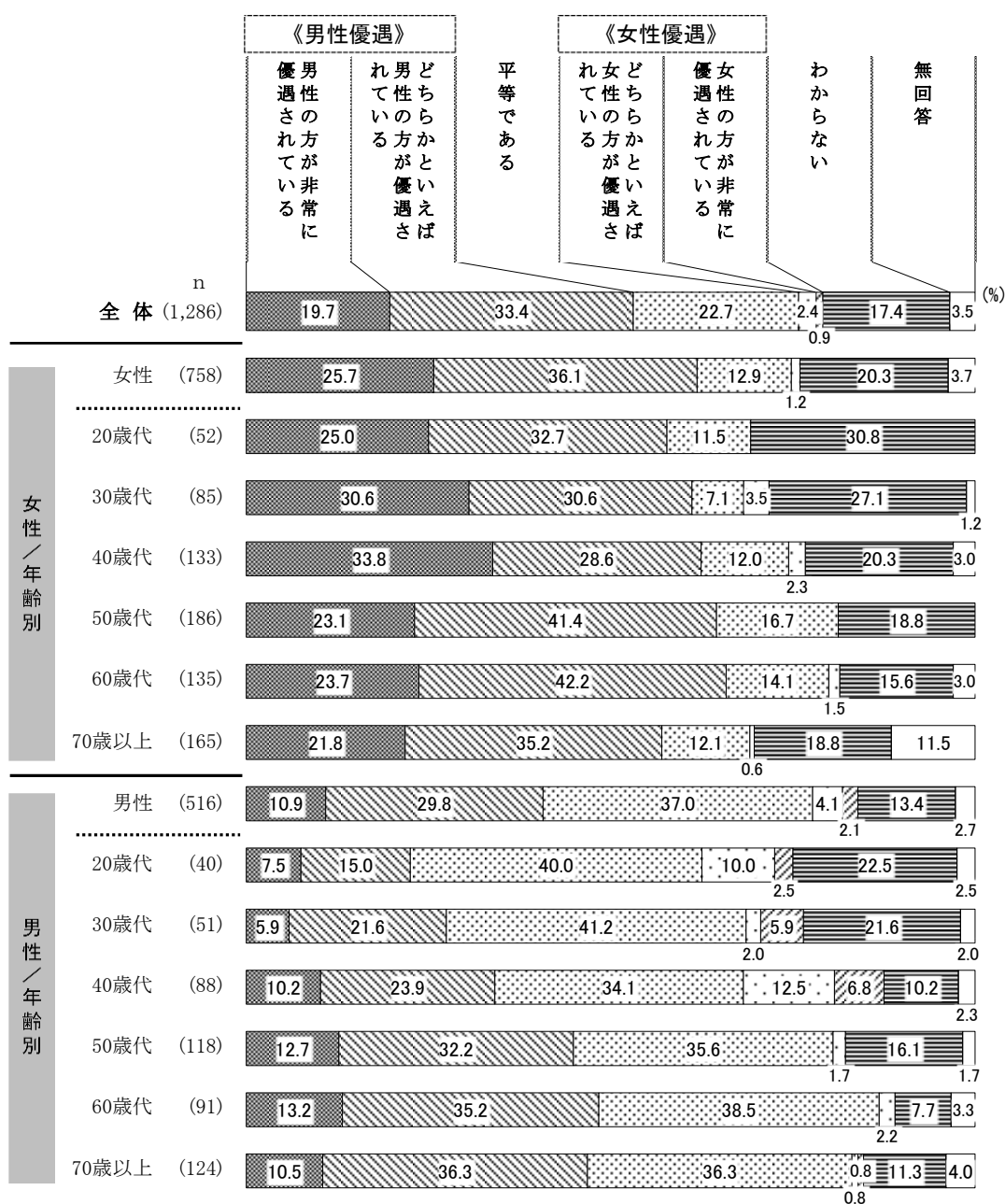
性年齢別にみると、男女ともにすべての年代で《男性優遇》が7割以上を占め、特に女性の20歳代で9割以上となっており、「平等である」という回答は見られなかった。また、女性の20歳代～40歳代で「男性の方が非常に優遇されている」が6割以上と男女を通じて他の年代より高くなっている。



(カ) 法律や制度の上

法律や制度の上における男女の平等感について、性別にみると、《男性優遇》が女性（61.8%）で6割以上、男性（40.7%）で4割以上となっている。「平等である」は男性（37.0%）が女性（12.9%）より24.1ポイント高くなっている。

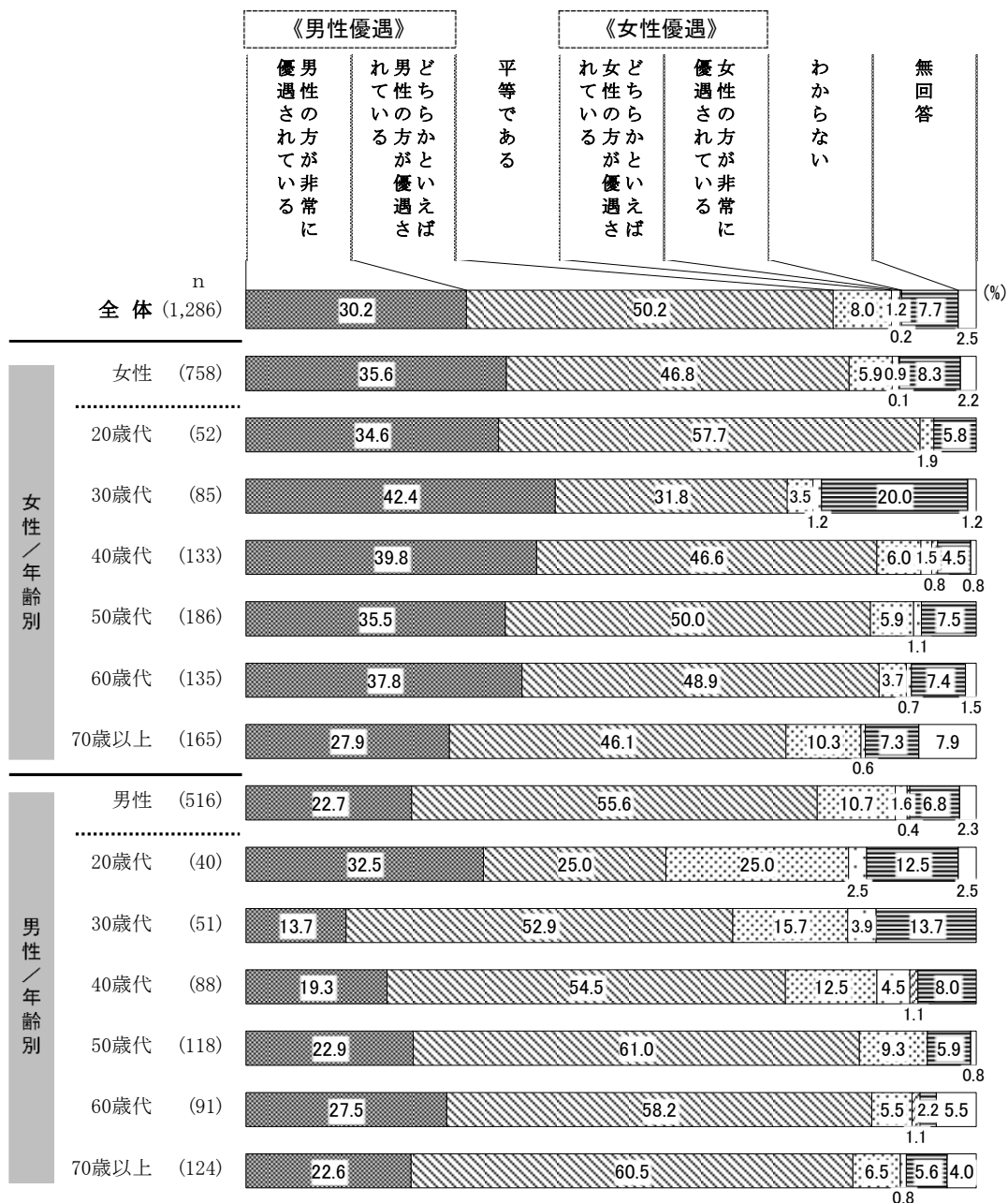
性年齢別にみると、「平等である」はすべての年代で男性が女性を上回っており、男性の20歳代、30歳代で「平等である」が4割以上と最も高くなっている一方で、40歳代で《男性優遇》と「平等である」が同値（34.1%）となっている。女性の40歳代で「男性の方が非常に優遇されている」（33.8%）が最も高くなっており、30歳代では「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が同値（30.6%）となっている。



(キ) 社会通念・習慣・しきたりなど

社会通念・習慣・しきたりなどにおける男女の平等感について、性別にみると、《男性優遇》は男女ともに8割前後となっている。

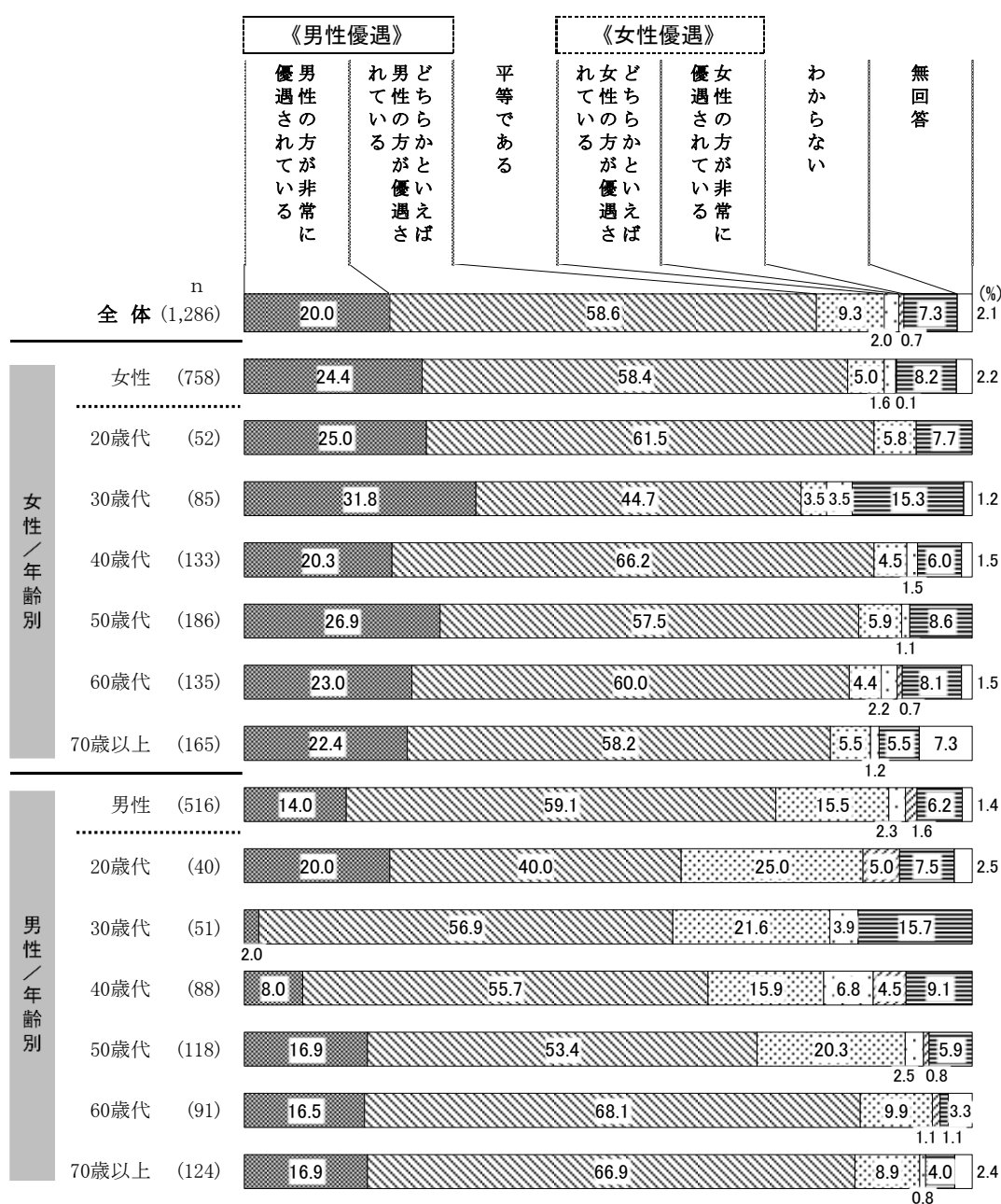
性年齢別にみると、男女ともにすべての年代で《男性優遇》が過半数を占めているが、男性の20歳代、30歳代で7割を下回っており、他の年代より低くなっている。「平等である」は70歳以上を除くすべての年代で男性が女性を上回っており、特に20歳代で20ポイント以上、30歳代で10ポイント以上高くなっている。



(ク) 社会全体として

社会全体における男女の平等感について、性別にみると、《男性優遇》が女性で8割以上、男性で7割以上と高くなっている。「平等である」は、男性（15.5%）が女性（5.0%）より10.5ポイント高くなっている。

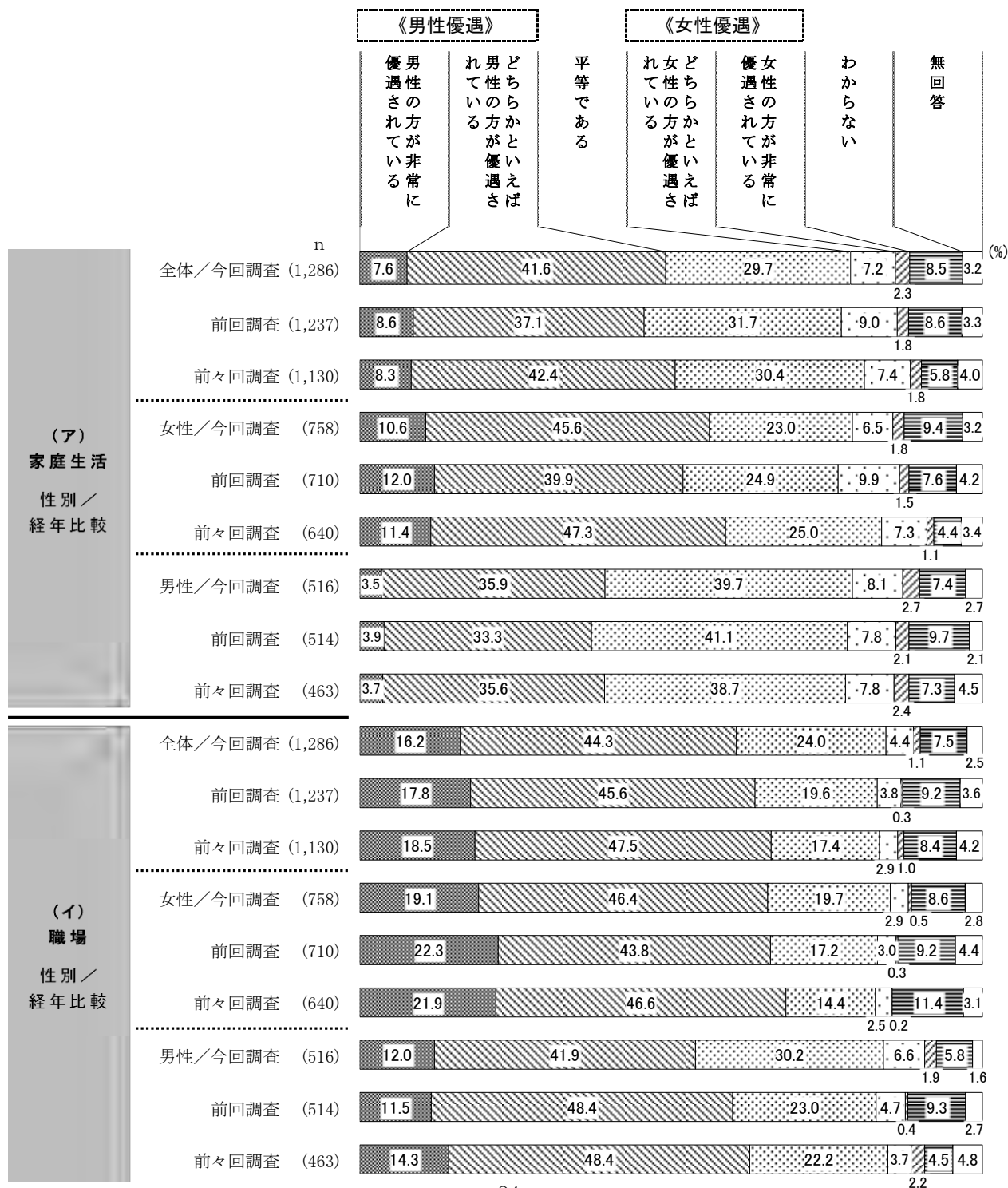
性年齢別にみると、「平等である」はすべての年代で男性が女性を上回っており、特に20歳代、30歳代で約20ポイント高くなっている。《男性優遇》は男性で年代が上がるほど高くなっている。



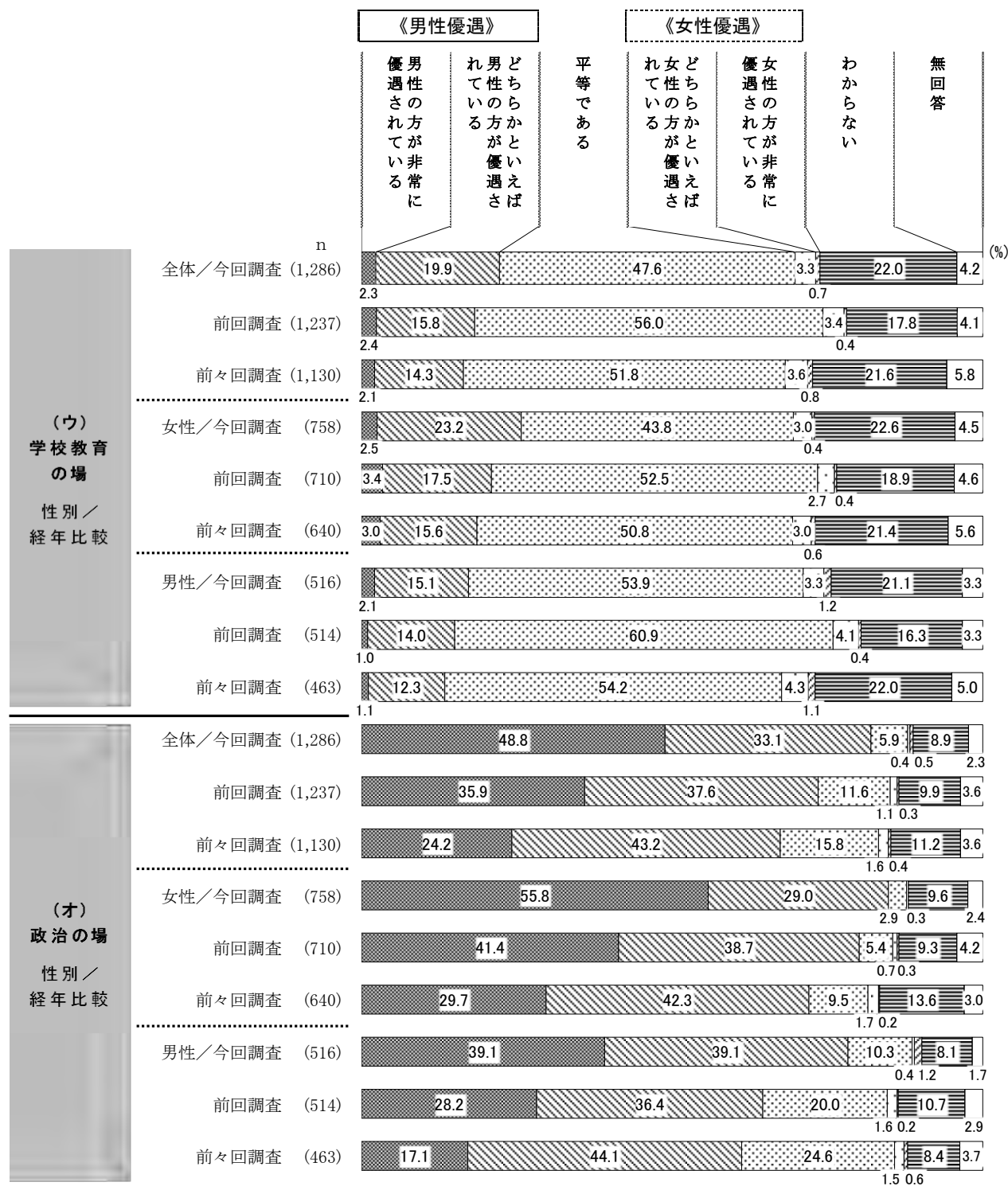
■経年比較

経年比較をみると、前々回調査から今回調査にかけて《男性優遇》が「(ア) 家庭生活」、「(イ) 職場」を除く項目で増加しており、前回調査と比較すると、「(オ) 政治の場」で8.4ポイント、「(カ) 法律や制度の上」で6.5ポイント、「(ク) 社会全体として」で6.2ポイント高くなっている。また、前回調査から「平等である」は「(イ) 職場」を除くすべての項目で減少している。

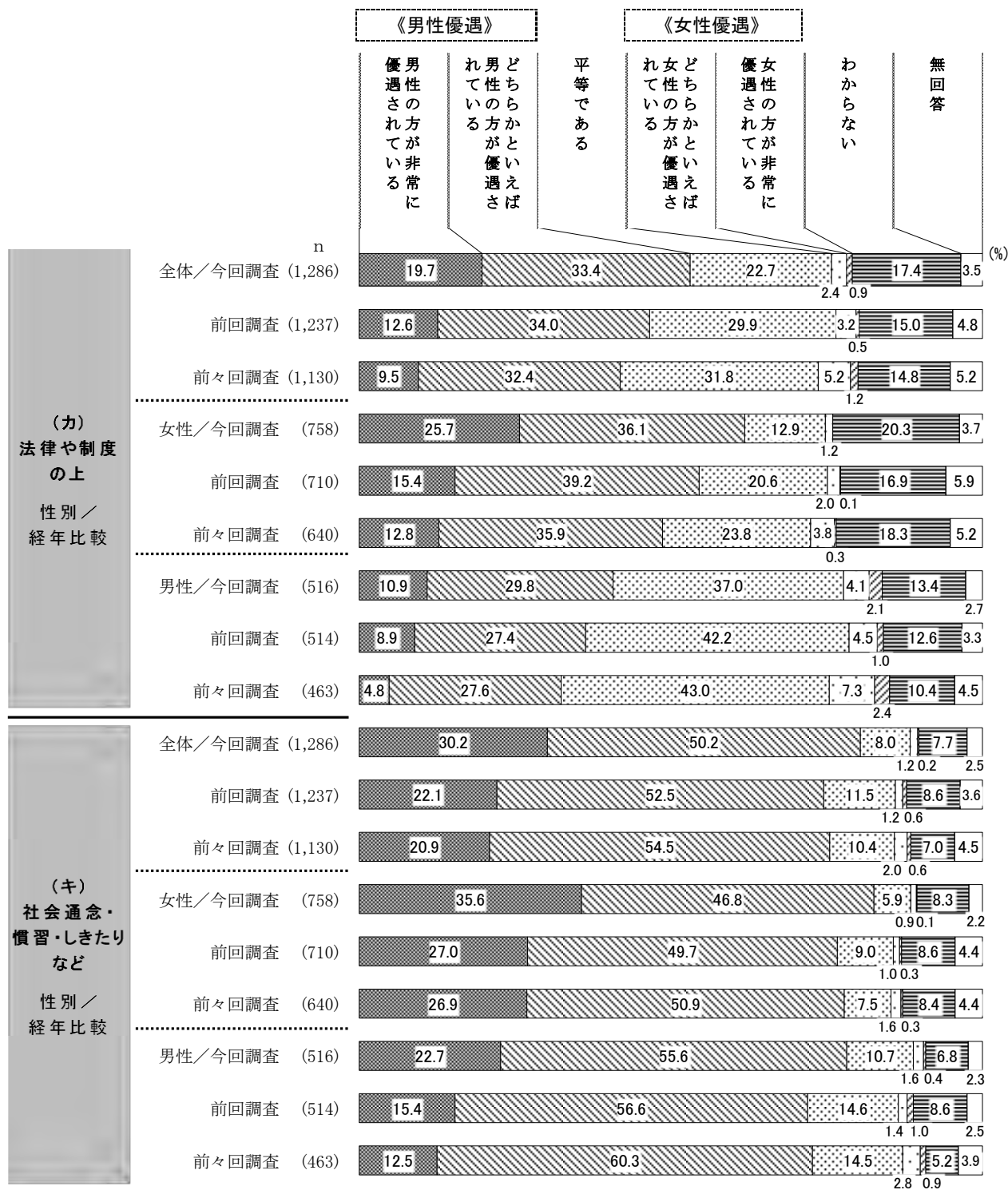
性別にみると、前々回調査から今回調査にかけて男女ともに「(オ) 政治の場」で「男性の方が非常に優遇されている」が増加しており、前回調査から10ポイント以上増加している。女性では「(カ) 法律や制度の上」で「男性の方が非常に優遇されている」が10ポイント以上増加しているが、男性では大きな変化は見られない。また、男性では「(イ) 職場」で「平等である」が7.2ポイント増加している。

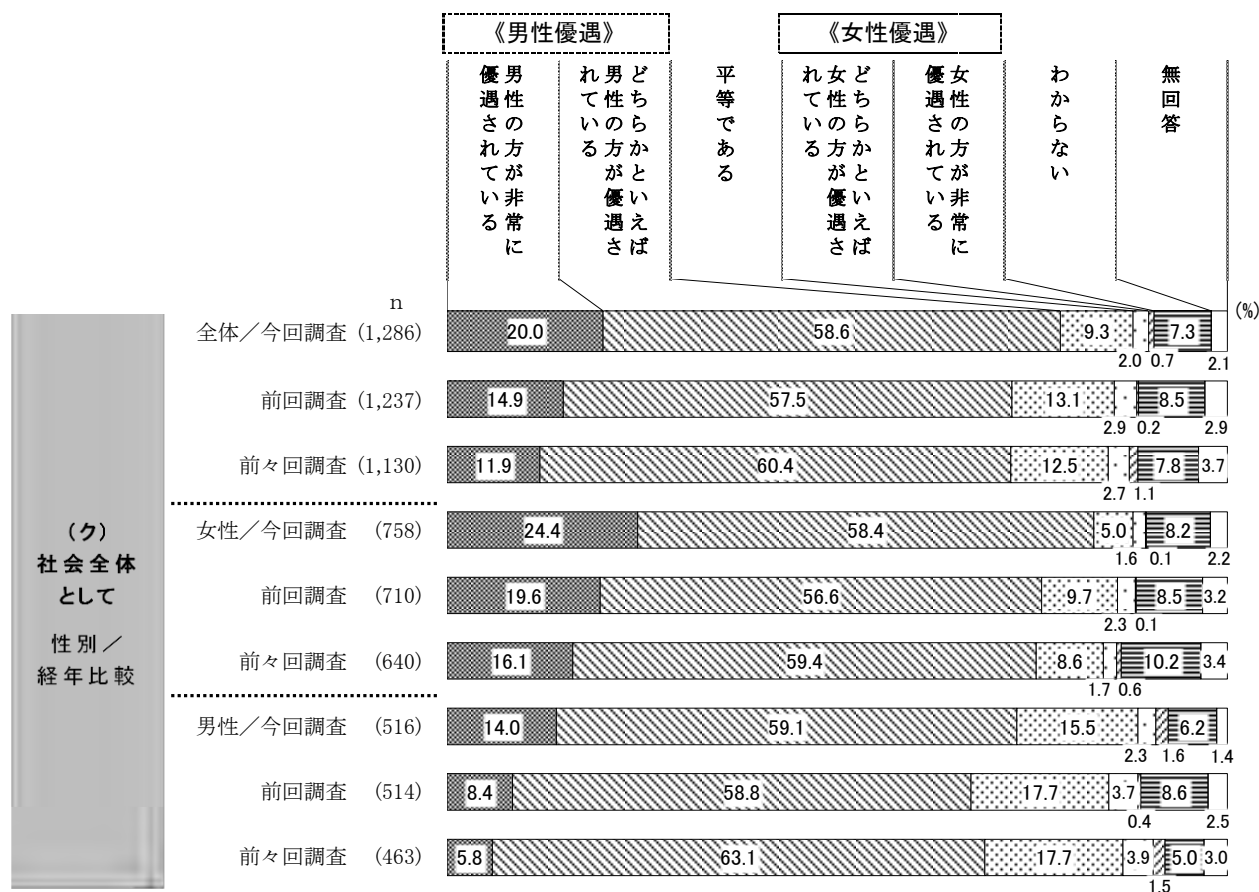






第2章 調査結果の詳細



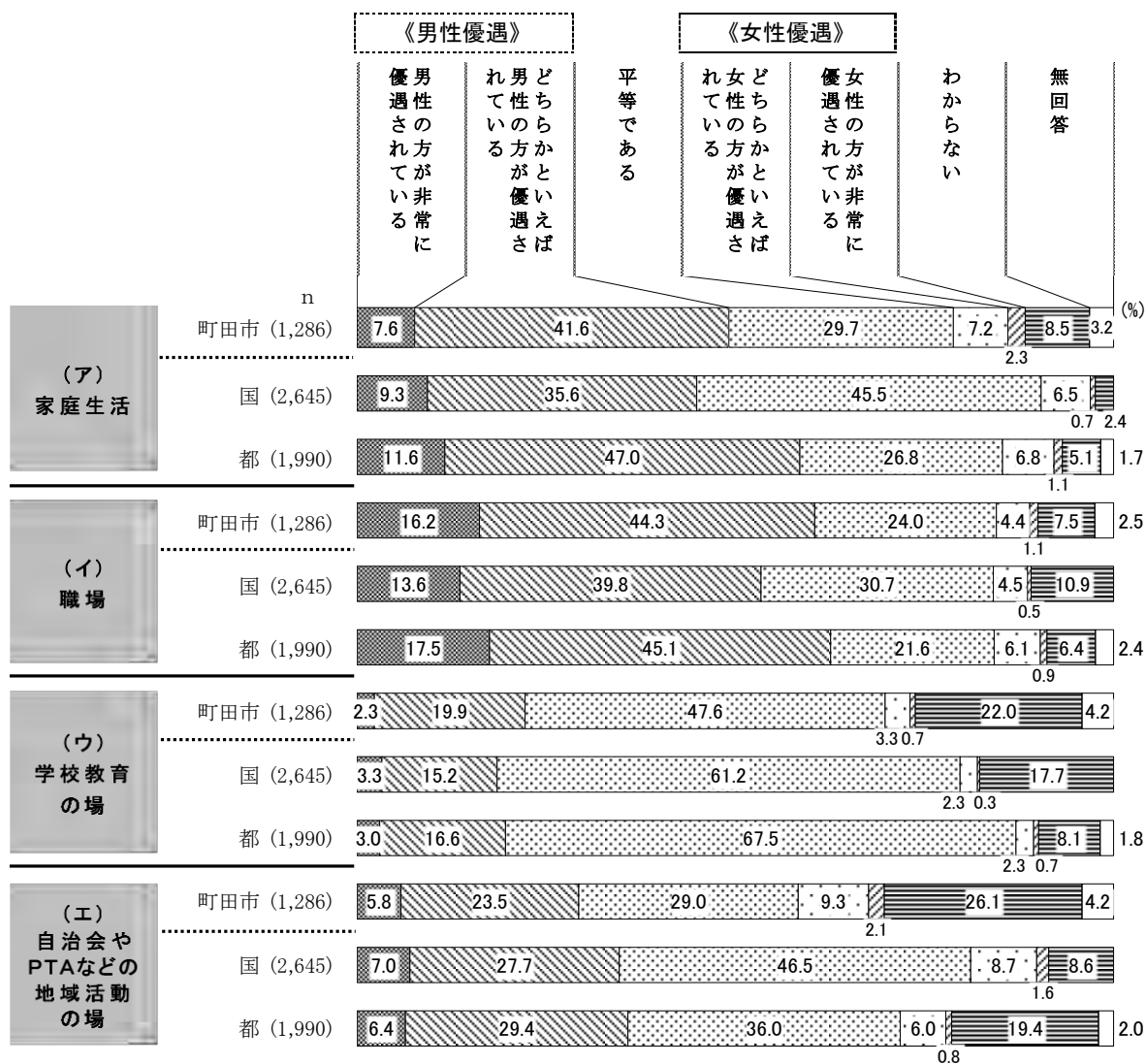


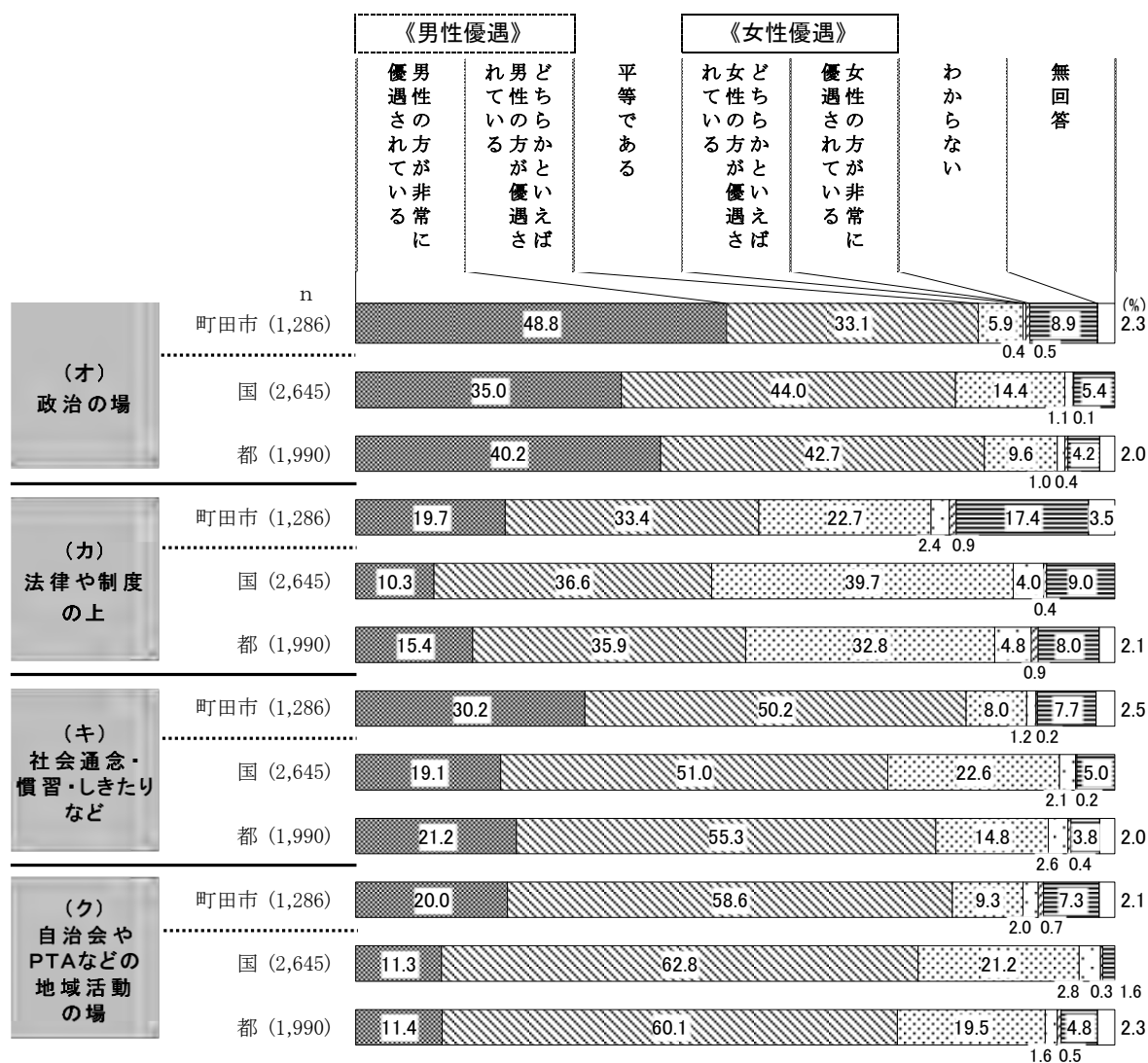
※ 「(エ) 自治会やPTAなどの地域活動の場」は前回調査の項目に含まれていないため、比較していない。

■国・都調査

国の調査と比較すると、すべての項目で「平等である」は市が国を下回っており、「(ア) 家庭生活」、「(ウ) 学校教育の場」、「(エ) 自治会やPTAなどの地域活動の場」、「(カ) 法律や制度の上」、「(キ) 社会通念・慣習・しきたりなど」、「(ク) 社会全体として」で10ポイント以上低くなっている。

都の調査と比較すると、「(ア) 家庭生活」、「(イ) 職場」を除くすべての項目で「平等である」は市が都を下回っており、「(ウ) 学校教育の場」、「(カ) 法律や制度の上」、「(ク) 社会全体として」で10ポイント以上低くなっている。



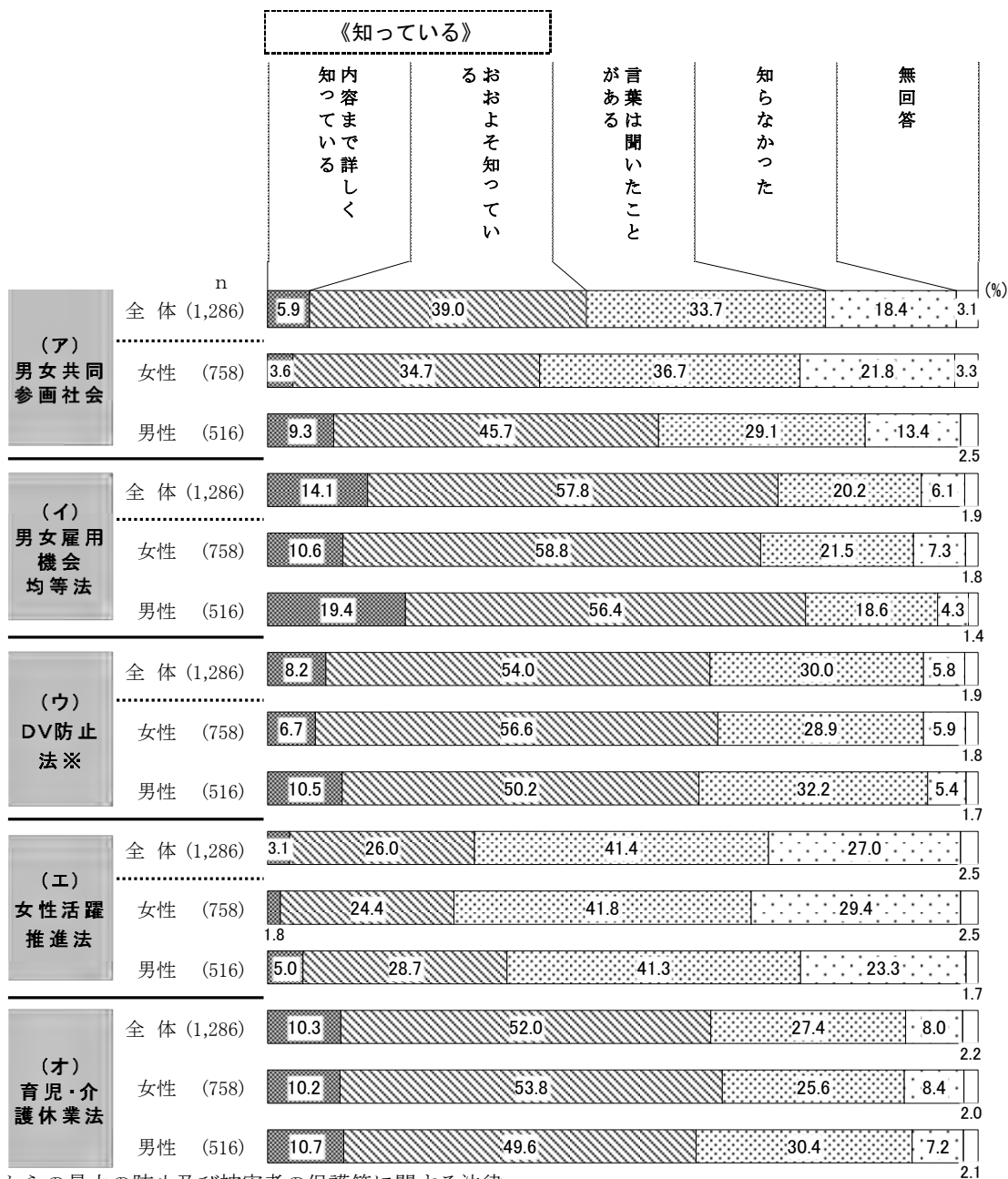


(2) 男女平等に関する法律や用語の認知度

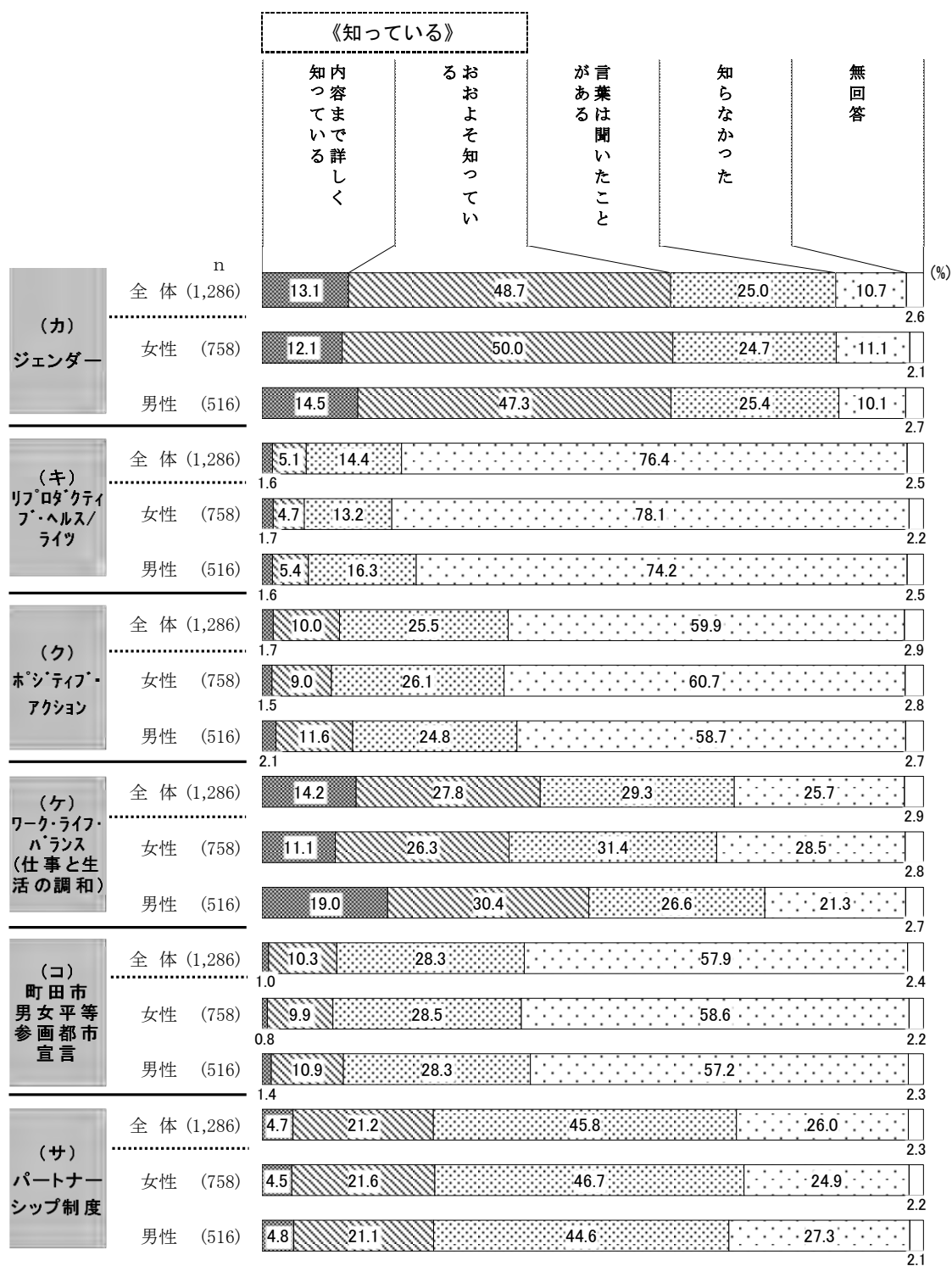
問30 あなたは、次の(ア)～(サ)の法律や言葉を知っていますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつお選びください。(〇はそれぞれ1つずつ)

男女平等に関する法律や用語の認知度についてみると、「内容まで詳しく知っている」と「おおよそ知っている」を合わせた《知っている》が、「(イ) 男女雇用機会均等法」(71.9%)で7割以上、「(オ) 育児・介護休業法」(62.3%)、「(ウ) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)」(62.2%)、「(カ) ジェンダー」(61.8%)で6割以上と高くなっている。一方で、「知らなかった」が、「(キ) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」(76.4%)で約8割、「(ク) ポジティブ・アクション」(59.9%)、「(コ) 町田市男女平等参画都市宣言」(57.9%)で約6割と高くなっている。

性別にみると、《知っている》が「(ア) 男女共同参画社会」、「(ケ) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」で男性が女性より10ポイント以上高くなっている。

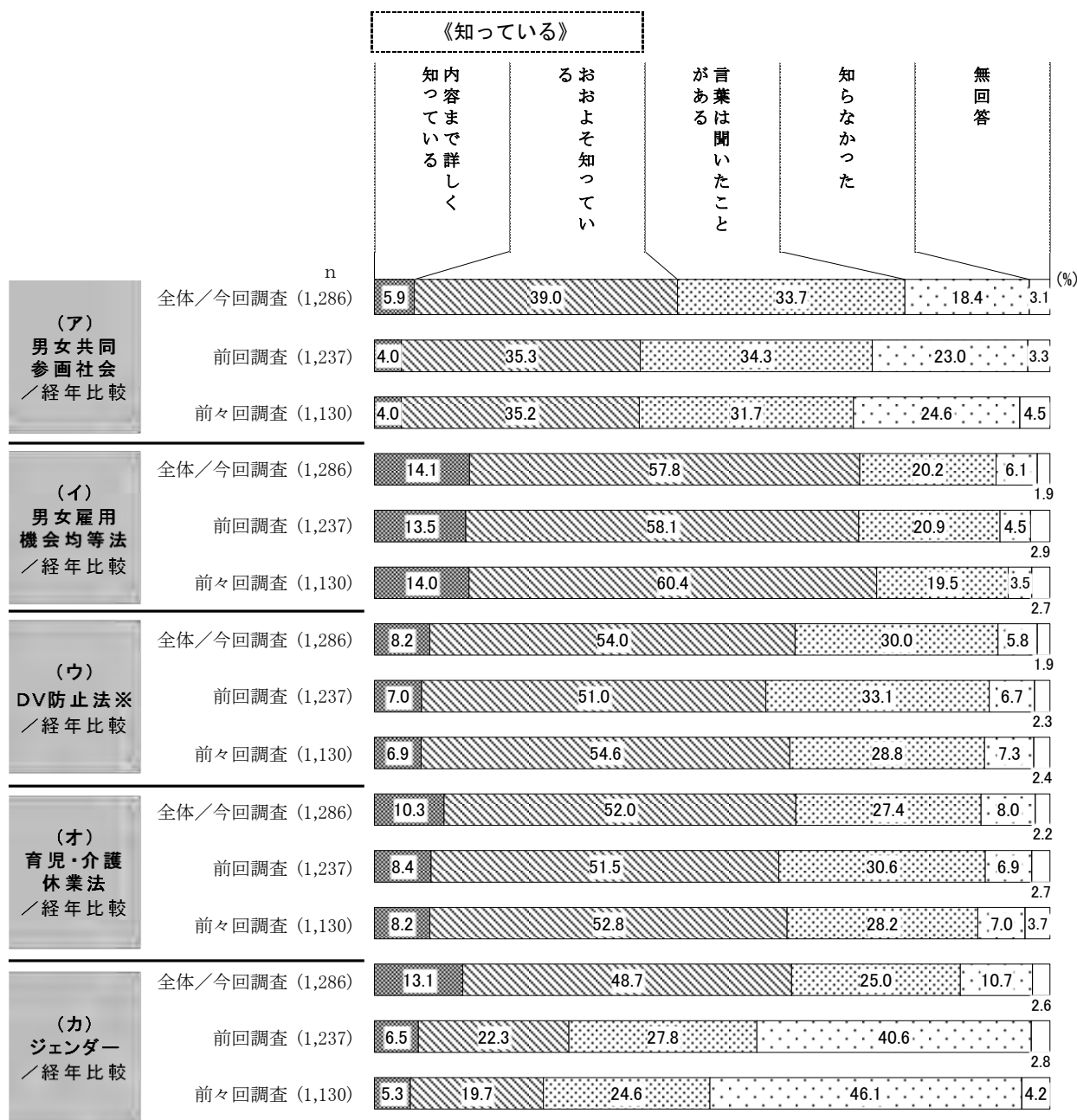


※配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律



■経年比較

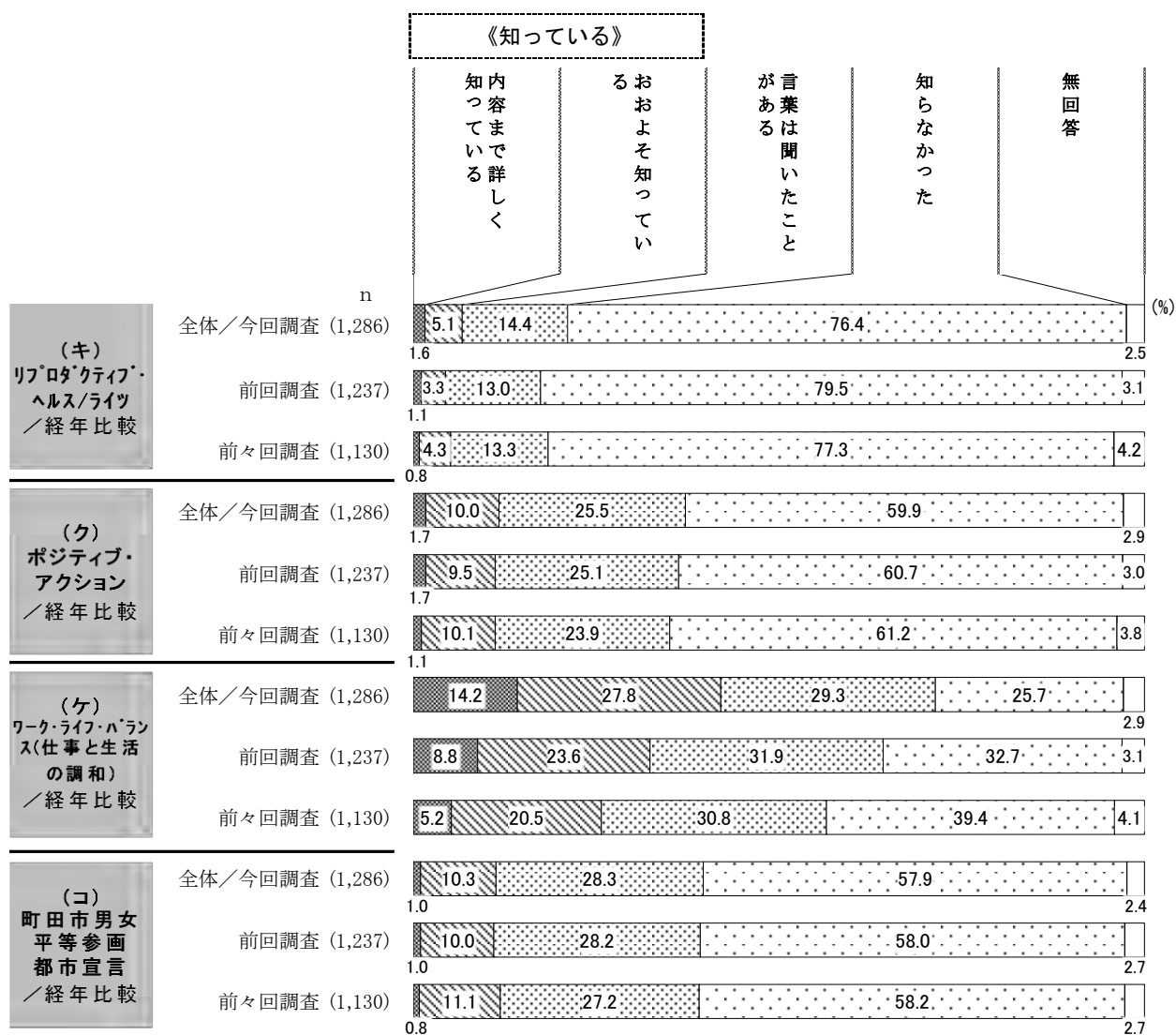
経年比較をみると、前回調査から「(カ) ジェンダー」で「おおよそ知っている」が26.4ポイント、「内容まで詳しく知っている」が6.6ポイント増加しており、《知っている》は前々回調査の2倍以上となっている。また、「(ケ) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」で《知っている》が9.6ポイント増加している。



※配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律

※「(エ) 女性活躍推進法」、「(サ) パートナーシップ制度」は前回調査の項目に含まれていないため、比較していない。



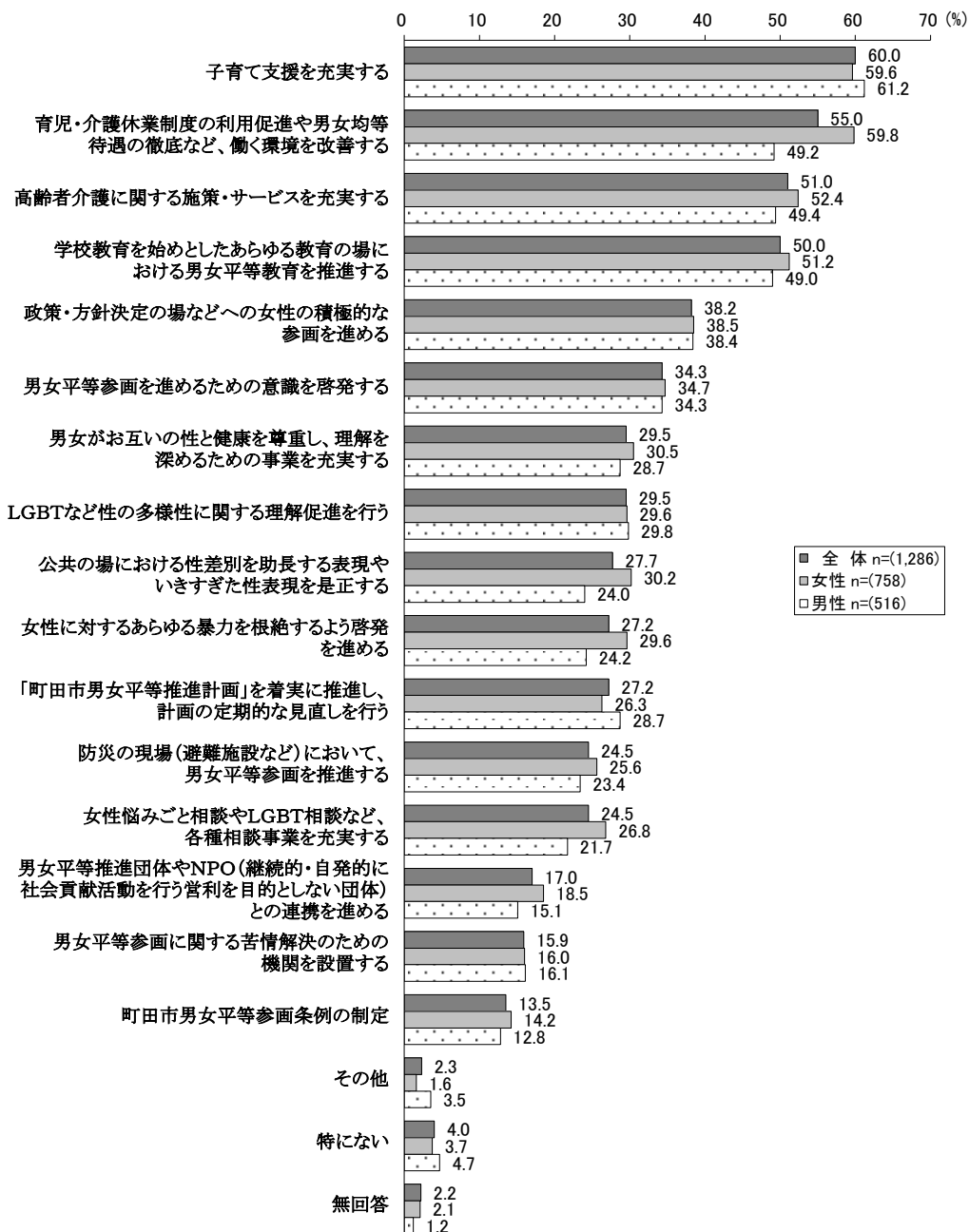


(3) 男女平等参画に向けて町田市が力を入れるべきこと

問31 あなたは、男女平等参画社会を実現していくために、今後、町田市はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(〇はいくつでも)

男女平等参画に向けて町田市が力を入れるべきことについてみると、「子育て支援を充実する」が60.0%で最も高く、次いで、「育児・介護休業制度の利用促進や男女均等待遇の徹底など、働く環境を改善する」(55.0%)、「高齢者介護に関する施策・サービスを充実する」(51.0%)、「学校教育を始めとしたあらゆる教育の場における男女平等教育を推進する」(50.0%)となっている。

性別にみると、「育児・介護休業制度の利用促進や男女均等待遇の徹底など、働く環境を改善する」は女性(59.8%)が男性(49.2%)より10.6ポイント、「公共の場における性差別を助長する表現やいきすぎた性表現を是正する」は女性(30.2%)が男性(24.0%)より6.2ポイント高くなっている。

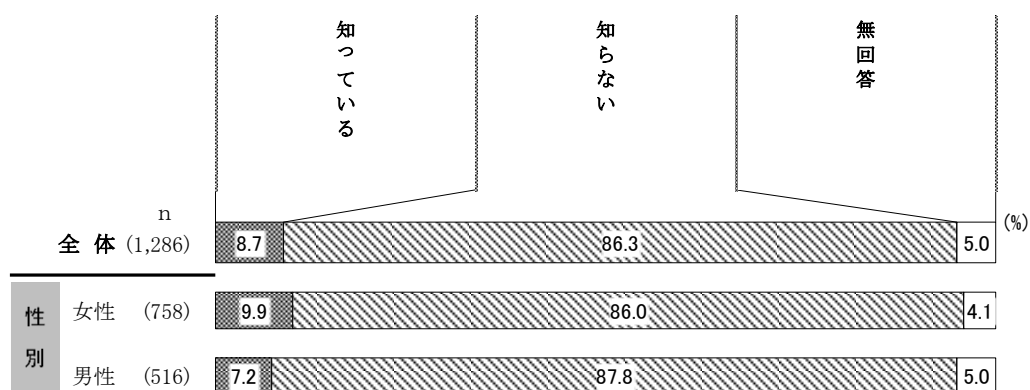


(4) 町田市男女平等推進センターの認知度

問32 あなたは、町田市男女平等推進センターを知っていますか。(〇は1つ)

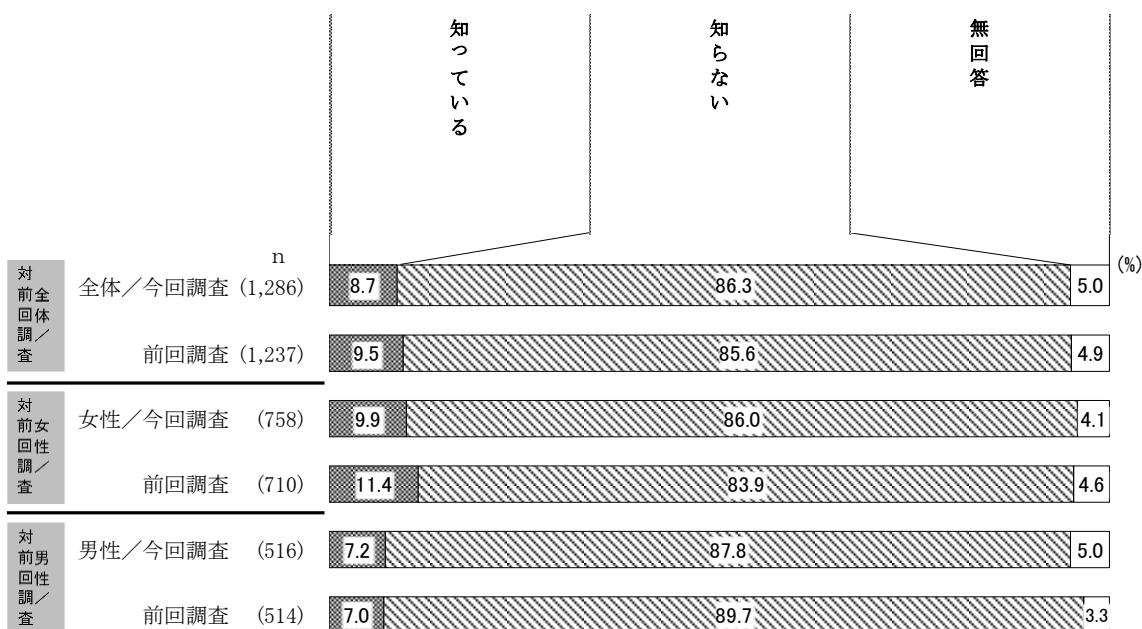
町田市男女平等推進センターの認知度についてみると、「知らない」が86.3%、「知っている」が8.7%となっている。

性別にみると、男女間に大きな違いはみられない。



■経年比較

前回調査と比較すると、大きな変化は見られない。

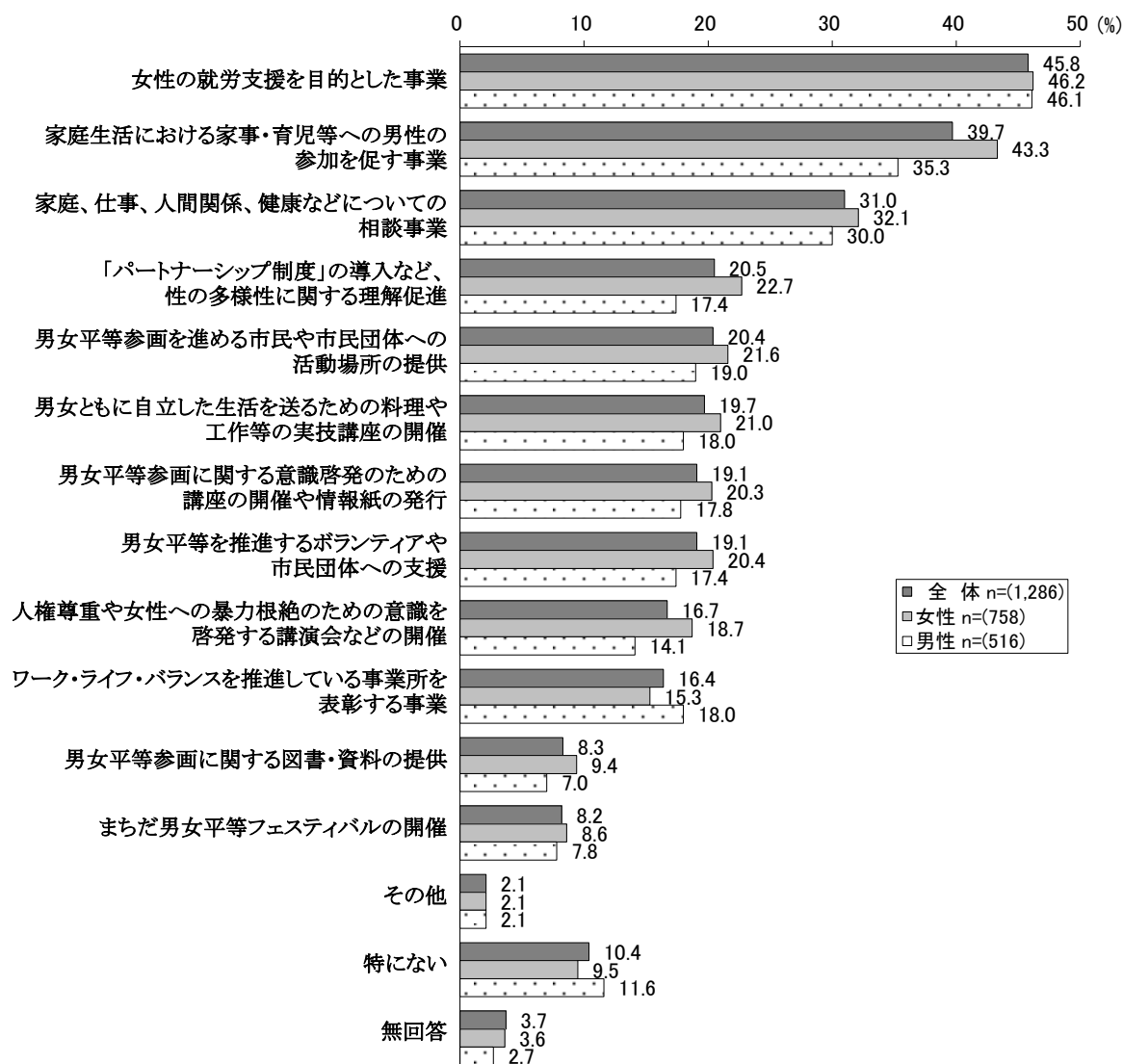


(5) 町田市男女平等推進センターで今後重点的に力を入れるべき事業

問33 町田市では、『男女平等推進センター（※）』を中心に以下のような事業展開をしています。この中で、今後特に重点的に行うべきだと思われる事業はどれでしょうか。（〇はいくつでも）

町田市男女平等推進センターで今後重点的に力を入れるべき事業についてみると、「女性の就労支援を目的とした事業」が45.8%で最も高く、次いで、「家庭生活における家事・育児等への男性の参加を促す事業」（39.7%）、「家庭、仕事、人間関係、健康などについての相談事業」（31.0%）、「『パートナーシップ制度』の導入など、性の多様性に関する理解促進」（20.5%）となっている。

性別にみると、「家庭生活における家事・育児等への男性の参加を促す事業」は女性（43.3%）が男性（35.3%）より8.0ポイント高くなっている。



※『男女平等推進センター』では、「町田市男女平等推進計画」をもとに、男女が平等で、一人ひとりが個性と能力を發揮できるよう、各種講座の開催、情報の提供、市民の活動の場の提供及び相談事業を実施しています。

## 自由記述

最後に、町田市の男女平等についてのご意見やご要望を自由にお書きください。

自由記述欄には271人から311件の貴重な意見・要望が寄せられた。それらを分野別にまとめ、主な意見を抜粋し、性・年代別に掲載したものが下表である。また、分野をまたがった意見・要望は、別々にカウントしているため、総件数（311件）は延べ件数となり、回答者数（271人）とは一致しない。

市の施策・事業・活動について（79件）	性別	年代
町田市は「男女平等参画」を掲げている点がとても素晴らしいと思います。この社会を前にすすめる活動をどうかこれからも続けていってください。	女性	20歳代
“町田市男女平等参画都市宣言”をしていることをアピールすることで、役所にも意識の高い方の意見が集まりやすくなると思います。	女性	20歳代
私には現在未就学児の子供がおります。男女平等はとても大切な事です。出産後、私は子供と一緒にいたかったのですが、お金の問題や、周りのママ友の関係等でしぶしぶ仕事を始めました。ほとんどのママさんが、保育園に入れて仕事をしています。仕事をしていない事にひけめを感じました。「男女平等だから出産育児も男女協力してやる、仕事も女性はやるべき」という流れにならないで欲しい。仕事をしないで子供のそばにいたいという女性もいる事を周りも理解してほしい。	女性	30歳代
町田市がこのような活動をしていることを多くの市民や市内企業に広めてほしい。私自身市内の企業に勤めており、不満・不安に感じる事が多くありますので。	女性	30歳代
男女平等推進センターを初めて知りました。仕事で町田と行き来している様な生活なので、先進的な活動や、試験的な事業はどんどん広報してほしい。	女性	30歳代
何事も、一人で抱えこまず複数人で、互いに苦手を補い合いながら取り組むことが、様々な問題解決の糸口だと本気で思っています。まずは、町田市役所の皆様が、そのような職場環境を作り上げて下さい。	女性	40歳代
“男女平等参画社会”…カタいですよね。申し訳ないですが、何か別の優しい言葉はないのですかね。男女平等を強く訴えてしまうと、圧倒されて中身が入ってこない自分もいます。	女性	40歳代
町田は住みやすいと思いますが、まだまだ男女平等である意識はあまり感じられない。受け身な施策ではなく、もっと1人ひとりを把握できる体制を整えれば良いと思う。	女性	50歳代
どんな活動をされているのか、あまり広報でもみることがなく（これは個人的に見ていないのかもしれませんが）ありません。気軽に考えていけるようなイベントや啓発などして下さいと嬉しいです。	女性	50歳代
時代が動き、常識が変わっていくのには、時間がかかると思う。まず、大きな支柱を建てて、変化が見えるようにしてから、細かい事柄を整えていく方法しかないのでは…。いつの時代でも、同じだと思う。	女性	60歳代
町田市が男女平等参画都市宣言をし、そのために講座（上野千鶴子さんのお話はよかったです！）を開催している事、またこのようなアンケートも実施していることを誇りに思っております。	女性	70歳以上
町田市の男女平等問題や介護、子育て支援等、どこよりも早く住みやすい町にして頂く事を願い、モデルケースとなる様な市を望みます。	女性	70歳以上
他の市区町村がやっていないからやらないのではなく、町田市から新たな社会を作るようになってほしいです。	男性	20歳代

▼市の施策・事業・活動について（つづき）

市の行う政策や活動は退職者などの高齢者にしか情報が届かず、本当に必要な世代に届いていない気がします。SNSの利用方法や、情報の拡散のことについても考えたうえで政策も考えなければ意味がないと思います。10代～20代ぐらいの若い世代の人が男女平等の意識をもって生活を送れるような事業をしてほしいです。	男性	30歳代
町田市が男女平等における取り組みを行っていることは全く知りませんでした。もっと市民にアピールした方が良いかも知れませんね。	男性	40歳代
女性やLGBT（←外国人）など特定のグループを意図的に対象とする政策は好ましくないと思います。あくまで性別・年齢などにこだわらない体制を整えてほしいと思います。特定のグループを対象とすることによって新たな利益や差別が生まれます。	男性	40歳代
最近の世の中の流れで男女平等についての話はよく聞きますが、どうしても肉体的に異なるので「区別」は必要と思います。行きすぎた「平等」にこだわりすぎないように、バランスをとった政策を行って下さい。	男性	40歳代
先ず、男女平等とは何か、しっかりとした考えを共有すべき。市役所内で、この言葉を同じ意味で使い、同じ社会への目標ヴィジョンを共有すべきである。現状あまりにも曖昧で腹が立つ。	男性	50歳代
町田市がリーダー的存在として推進して行ってほしいと思います。	男性	60歳代
男性、女性にかかわらず、平等な市政運営をお願いいたします。	男性	60歳代
諸問題の最初となる窓口は市役所だと思う。体制、取り組みを簡潔に定期的に広報されることを希望します。	男性	70歳以上
男女平等の実質化を求めるならば、様々な分野で具体的な数値目標を示すなどの政策を期待したい。	男性	70歳以上

アンケート調査について（41件）	性別	年代
自分の住んでいる地域でどのような事が行われているのか、私も含めた今の若者は知ろうとすることが無い人が多いと思う。今回はこのアンケートで知ることができて良かったです。	女性	20歳代
このような手間のかかるアンケートを作り、配布し、返送用の用意もあり、おそらくこのあと集計もあると思うと、真剣に回答しなければと思わされました。私の知らない所でこのようにあらゆる工夫をし対策をし、活動なさっている方々がいて、巡り巡って様々な恩恵に授かっているように思えました。	女性	30歳代
このようなアンケートの取り組みはとても良いと思います。回答記入中に小学生の子供に何を書いているかたずねられ、男女平等について話し合う機会になりました。	女性	40歳代
アンケートに正確に答えるために、どういう状況下におけるシチュエーション（場面）なのかを明確にしてもらいたかったです。	女性	40歳代
設問の選択肢の妥当性に感心しました。男女平等推進センターの存在をもっと知りたいと思いました。	女性	40歳代
このようなアンケートも含め、とてもすばらしい取り組みみだと思います。応援しています。	女性	50歳代
アンケートの内容が多すぎる。もう少しシェイプした質問にした方がよい。行政に協力したかったので答えましたが、しんどかったです。問題の中身が男性の言葉です。	女性	50歳代
この様なアンケートを企画して下さる事は、真剣に男女平等を考えて下さっていると見えるので、ありがたい事と思います。女性の地位が少しでも向上する事を念じております。	女性	60歳代

## ▼アンケート調査について（つづき）

紙ではなくWeb、ネットでのアンケートにしてほしかった。用語の解説ページは切り離して手元に残しておけるようになっていっているとよかった。	女性	60歳代
市役所、保健所他公の市民の為の仕事をしている方々の男女比率を公にされていないのでこのアンケートの意味が中途半端だと思います。各役職の男女比率の現在が解らない。	女性	70歳以上
（このアンケートによって）男女平等について、考える時間をいただき良かったと思いました。	女性	70歳以上
ネット上でこのようなアンケートができると楽になります。	男性	20歳代
アンケートはスマホでもできるようにしてほしい。	男性	50歳代
アンケートをする前に町田市は、こんなに男女平等が進んでいることを示していることを示して欲しい。センターを作っても役職者が男性ばかりでは、回答してもムダのように思ってしまう。	男性	50歳代
用語解説（→手もとに取って置くため（写メ取りましたが…））とアンケート用紙は別だと良いと思います。	男性	50歳代
女性＝弱者が前提の質問に少し違和感がありました。	男性	60歳代
結果が見えるようなアンケートが、はたして本当に必要なのかと考えさせられました。	男性	60歳代

男女がともにいきいきと働ける場や機会の提供（22件）	性別	年代
男性も女性も同じように働くことができる環境を整備していくべきだと思う。そのためにはまず女性の管理職を増やす、女性の昇進を積極的に行うなどして、女性も男性と同じように働けることを示していくと良いと思う。	女性	20歳代
町田市に限定したものではありませんが、男女が平等にならないのは、派遣労働の形態で就労している人において女性が多く、そのため賃金も低く、会社の中での立場も安定しないことによる点が大きいです。町田市としても、女性の就労支援をして正社員として男性同様の立場が守られる就労を促すよう、企業側への働きかけをすすめて頂きたい。	女性	50歳代
男女平等とは、型だけで実際、社会、職場、家庭内、常に女性が弱い立場は全く変わらない。特に会社、職場では、仕事内容、賃金が女性では低い立場のまま、能力があっても、賃金待遇は男性より低いままです。	女性	50歳代
女性が非正規ではなく、正規職員として就労でき、経済的に自立できることが既婚、未婚を問わず必要だと感じます。	女性	60歳代
女性活躍推進法など女性の社会進出を応援しているように見える法律や制度はありますが、ジェンダーギャップ指数は、世界で日本は120位です。コロナ禍、雇用における差別があり、特に女性が派遣で突然契約の打ち切り解雇が多々。	女性	70歳以上
男女平等については非常にむずかしいです。町田市だけ取り組んでいても他県が男女平等に対しての差が大きいです。もっと国民全体で考えて行かねばならないと思います。企業は特に考えて欲しいですね。その人が嫌いだから能力はあってもパワハラ的に雇い止めをする、仕向ける（会社をやめる様な）様な企業は沢山あります。	女性	70歳以上
女性専用のハローワークの設置（子育て世代、共働き世代に特化している機能）。働いている女性の比率に合わせて、企業に支援金を出す。	男性	30歳代
育児後、女性が仕事を見付けづらい。特に、今の時代は、失業している人もあるので、再就職は難有り。	男性	40歳代
在宅を含めた働き方改革が必須だと思います。女性を意識して優遇すると文句をいう男性がいると思いますのでwin-winの視点で女性の地位向上に努めてはどうでしょうか。	男性	50歳代

▼男女がともにいきいきと働ける場や機会の提供（つづき）

町田を男女平等で働きやすい町にお願いします。	男性	50歳代
もっともっと女性の働きやすい町田になればと心からおもいます。女性の位置が低いと感じます。	男性	70歳以上

男女平等教育・学習の充実（22件）	性別	年代
今回のアンケートを答えて、知っている用語より、知らない用語の方が多く感じました。私と同じように年齢を問わず知らない人の方が多いのではないかと思います。中には知った方がいいこともあるので、働く前の学校等で知る機会があれば良いのかなって思いました。	女性	30歳代
各種講座の開催や情報紙の発行は興味のある人しか見聞きしないのではないかと懸念があります。学校などの教育現場で子ども達に伝えていくことで、理解ある世代が育っていくことを期待します。	女性	30歳代
教育に力を入れてほしい。排他的ではなく（男女を分けて）、生理や出産など女子の身体のこともしっかり前に知ってほしい。その理解があれば女性の出産・育児についても大きくなってから無知ではなく自然と理解できると思う。あまりに知らない世代が多く、恥ずかしいことのような意識を改めていくようにしてほしい。育児に積極的な世代が増えているのはいいことだと思います。	女性	40歳代
学校教育での意識付けが基本になると思う。ジェンダーやDV等についても学ぶ機会はあるのですか。用語の解説に出ている内容について学校で（小学校から）学び合う事が大事だと思います。	女性	50歳代
教育が一番大事だと思います。男尊女卑の教育で、セクハラ、DV、虐待の中で育ってきて、それしか知らない人は嫌だったと思っていても、切迫した時に同じ事をくり返してしまうのだと思う。一番大切なのは幼少の時から教育だと考えます。多様性を認めあえる人材を育てることこそが町田市の役割では、と要望します。	女性	60歳代
性差別はこれまでの長い歴史の中で培われてきてしまっていて、それによる慣習をなくし、新しい意識を持てるようになる事はやはりそれなりの時間がかかる事でしょう。これからの地道な活動と、特に子供達への正しい教育が必要と思います。	女性	60歳代
市の事業については詳しくありませんが、一番大切なことは教育ではないかと考えます。	女性	60歳代
男女平等は賛成です。でもそれは小さな時から平等を教えていかないと今の日本の様に男性が上に立つような事があたり前になっていると思います。	女性	70歳以上
「男女不平等」が生まれてしまう根本の要因は、あらゆる社会的立場の確立が能力や役割だけでなく性別を通じても行われてしまうことにあると思います。また、この背景には、「男はこうあるべき」「女は普通こうだよ」といった同調圧力があると考えます。この問題を真に解決するためには、個人一人一人がもっと「自分」を強く持ち、「人がこうだからこう」「普通こうだから自分もこう」といった主体性の無い考え方を捨て、柔軟で自由な発想を持てるようになる必要があります。男女関係なく、子供の頃から、大人の責任において教育される必要があると強く思います。	男性	20歳代
大人になってからの教育では浸透しない。小学校から、しかも「教える」ではなく、環境として、自然に取り入れるように出来る事が最良。	男性	70歳以上



男女平等について (19 件)	性別	年代
ニュース等で男女平等についての話題をよく目にしますが、女性は生理や出産などによる体調の変化や、男性との体格の差などがあり、身体づくりが違うので、男女平等でなくてもしょうがない部分があると思います。なんでもかんでも男女差別に結びつける風潮に違和感があります。	女性	30歳代
男女平等という言葉があること自体、差別されているように思う。	女性	50歳代
「男女」のくくりのない社会となりますように。	女性	60歳代
町田市に限らず「男女平等」を推し過ぎて適性や能力の評価よりも男女比率や達成率等の数値目標を優先しすぎるあまりに他者の不利益や男女不平等・女性優先(優遇)の発生を危惧します。実際に女性同士でも不公平感が生じている様です。	男性	50歳代

男女がともに担う子育て・介護の支援の充実 (17 件)	性別	年代
ただ女性の管理職を増やせばよいとは思いません。男性女性関係なくその仕事において優秀な人、適性のある人、働きつづけたい人などが選択肢を持てるようになるべきです。それらの選択肢を持つためには行政と企業からの子育て、介護支援の充実が必須かと思えます。	女性	20歳代
町田市は子育て支援がとても充実していると思います。今年から年収とわず小学生もマル都医療券が使用できるようになり、とてもありがたいです。出産前後の際は家事サービスも使用させて頂きとても助かりました。もっとファミサポなどの周知があがり、使用できるようになってほしいと思います。	女性	30歳代
保育園に入りやすくなるまちにしてほしいです。	女性	30歳代
男女平等社会には行政の「子育て」「介護」のサポートが必要だと実感しています。スピード感を持っての取り組みを要望致します。	女性	50歳代
町田市に限りませんが、女性が家庭で育児、介護を担わされるので、社会での活躍の機会を奪われているのが現状で、育児、介護の施設のより一層の充実は必須。又、問題なのはそれに従事されている方々の待遇(保育・介護職の多くは女性で、その方々の賃金も低くおさえられている)も一般企業と同等まで引き上げ、男性でも就職しやすいレベルに引き上げることが、女性が社会で活躍し続ける為の受け皿側として絶対必要。よろしくをお願いします。	女性	50歳代
保育所の拡充	男性	30歳代
男女平等や子育て、介護といった社会福祉に関するモデル都市となるように多様な政策を実施して欲しい。	男性	40歳代
夜遅くまで預けられる保育施設の増加や、そこで働く保育士への手厚い待遇を設けることが女性の社会進出には不可欠。	男性	40歳代
男女平等や子育て、介護といった社会福祉に関するモデル都市となるように多様な政策を実施して欲しい。	男性	40歳代
児童手当の20歳未満までの延長。医療手当の支給(子供に対する)を希望致します。	男性	50歳代

人権の尊重について (17 件)	性別	年代
男女だけでなく、LGBTQ+コミュニティへの理解を広められたら良いです。	女性	20歳代
性別にかかわらず全ての人が平等で平和に暮らしていける市になればいいなと思っています。	女性	20歳代

▼人権の尊重について（つづき）

最近、子供の悲しい報道を見るたびに男×女の夫婦より、本当に子供を愛して育ててくれる人達に育ててもらえないのかと考えます。自分も、長く子供に恵まれません。今は運よく自分の子を育てていますが、女×女でも、男×男の家庭でも、本当に子供を愛して育ててくれる人達に委ねる事も考えて下さい。	女性	30歳代
LGBTのことも視野に入れているのであれば“男女”という言葉も正しいのでしょうか。まずは、そこから考えてほしい。	女性	40歳代
男女という性差を意識するのは当然だが、いずれもっと個々人を意識し、多様なセクシャリティを認識していくべきだと思う。	女性	50歳代
おそらく、私の知識、認識不足ですが、どれほどの男女格差が今なお存在しているのであろうかと思えます。しかし、大事なのは女性側の底上げではなく、全ての人が尊重されなくてはならないという事だと思います。家庭であれ職場であれ、そこにいる人全てが男性女性関係なく、尊重というベースの元に話し合われた結果に基づいて行動していく事が結果的には平等につながるのではないのでしょうか。	女性	50歳代
このアンケートの記入で災害者に性的マイノリティの方々への配慮も必要だと気付かされました。災害時になってから対応を考えるのではなく、市としての対応のアウトラインだけでも作っておくことが望ましいと思いました。	女性	60歳代
平等、不平等は、性別の問題ではないと思う。	男性	50歳代
種としての範疇は、男女は同じ。個として見れば、雌雄も含めそれぞれの違いがある。すべてを、いっしょに判断するには、無理があると思う。	男性	60歳代

男女平等参画のための意識づくり（15件）	性別	年代
駅や商店などにメッセージ（家事を時給にすると〇〇円や家事、育児、介護は男女平等、親せきづき合い・だんなの実家でも男女平等など）を書いたものをのぼりや掲示したり、放送でくり返し流したりしてはいかがでしょう。	女性	30歳代
町田市に男女平等推進の取り組みがあること自体を初めて知りました。わたしはLGBTQA当事者（L）ですが、パートナーシップ制度ができれば、もう少し暮らしやすくなると思います。社会全体で男性が圧倒的に優遇されているのは日本全体の問題ですが、今現在ある程度以上の社会的立場にある男性こそ意識を変えていく必要があると感じています。	女性	30歳代
「町田市の」ではありませんが、特に高齢の方は男尊女卑の考えが男女ともに根底にあり、その考えを子供、孫に伝える（日常生活などで）ために、若い人でも（古い世代と）意識がそう変わらない事が多いのではないかと思います。高齢の方は、意識を変えるのは難しいので難しい問題だと思います。ただの意見ですが。	女性	40歳代
男性も女性も既成概念にとらわれない、自由で自分らしい生き方ができ、よりよい人生が送れるようになるとよい。男女共にまずは意識改革が重要であると思う。	女性	50歳代
性差・個性等あったとしても、人格は平等であるということが、いちいち取り上げなくても当たり前であるような状態になってほしいです。町田市でもどこでも世の中の大きな意識改革が進むことを望みます。	女性	70歳以上
町田市が「男女平等参画都市」の宣言をしていることをまったく知りませんでした。メディアやSNSからの情報で、男女平等の意識は大切だということは重々承知していますが、実際の日々の会社での仕事や自治会（団地）で行なわれているのは、それとは掛けはなれたことばかり…という実感です。正直申して、私らより上の世代がまだ現役でいる限りは、世のなかそんなに変わっていかないのでは、と思います。	男性	40歳代
若い世代の方が男女平等の意識が高く、年代が高くなるにつれて意識が低いように思います。	男性	50歳代

あらゆる分野への女性の参画推進と男女平等参画の実現（12件）	性別	年代
今の若い人達をみていると、学校でも社会でも、スポーツの世界でも、女性の方が、ノビノビと活躍しているように思います。むしろ、男性の方がウジウジと委縮している感があります。政治や経済の世界では、まだ今の所女性が少ないと感じますが、今後は、女性がもっともっと活躍していくと思います。女性の方が発想力が豊かだと思います。	女性	70歳以上
市役所と関連のある組織全てに女性を参画させることを確実に実行していく。クォーター制が全て良ではないが、現在の市議員市職員に女性を積極的に増やすしくみを作る。	男性	70歳以上

性別にかかわらず個人の能力尊重の促進（12件）	性別	年代
男女の差はあって当たり前、男女と注目する事なく、個人の能力を伸ばす教育を。	女性	60歳代
適材適所、性別ではなく能力で判断すれば男女比などは関係ない。	男性	30歳代
男女関係なく、優秀な方が人の上に立って良くなる様、制度やサービス充実に取り組んでいただけると良いと思います。	男性	30歳代
女性の登用を意識するのではなく、女性一個人としての能力を見た時に登用できるか決める事だと思う。（そこは実力で）数を意識するあまり、能力のない人を登用しても意味がない。あとは、その女性の家族がどう協力していくかだと思う。	男性	50歳代
男性、女性という区別をすべきではなく、その人個人を尊重すべきであろうと思っています。	男性	50歳代
性別は関係なく、能力で選ばれる社会を実現して欲しい。	男性	60歳代

男女平等社会の進展の実感（8件）	性別	年代
今は共働きがあたり前の時代となりご主人が子育てをされている姿を見てはうらやましい限りです。確実に男女平等の時代が来ていると思っています。	女性	60歳代
自分（60代）世代ではあたり前の男女差（夫・婦）（父・母親）がありましたが、子供（30代）世代では少なくとも家庭内（子育て）での役割はほぼ平等となっています。	女性	60歳代
私達が結婚した頃に比べると、女性の職場進出、子育て、進学とずいぶん変わりました。今すぐには男女平等と云う訳にはならないと思いますが、少しずつ近づいているような気がします。	女性	70歳以上
昔より少しは男女平等にはなってきたように思いますが、まだ全体的な男女平等には時間も長くかかると思う。皆様頑張って下さい。	女性	70歳以上

DVや性差別への対策（5件）	性別	年代
アンケートの平等参画社会実現のための施策要望の選択肢で、「女性に対するあらゆる暴力を根絶するように啓発を進める」とあるが、男女平等の視点からみると、違和感がある。男性に対する暴力などもあるのではないか。	女性	40歳代
DVを相談したとしたらどんな支援を受けられるのですか。 ①共有資産（家）の売却、②その後の自立した経済力を身につけ③、子供の居場所と精神的安定確保まで支援してくれるシステムがあるのなら利用したいです。それが無いと思われるので、どこにも相談できません。	女性	50歳代

## 第2章 調査結果の詳細

性の相互理解と尊重（5件）	性別	年代
男女平等で一番違うのはお金ではないでしょうか。働く内容が違うとはいえ離婚した場合一番困るのは生活費です。男性にしか出来ない事、女性にしか出来ない事もあります。お互いに思いやりをもって生きていけば男女平等も余り議論されなくなるのではないのでしょうか。	女性	70歳以上
男と女では、できることが限られるものもある。ただしお互い理解し、協力して、行うことが大切です。	男性	40歳代
男性、女性がお互いに思いやる必要がある。	男性	60歳代

母子家庭へ支援（4件）	性別	年代
離婚されて、シングルマザーになる人も増えてきていると思うので、シングルマザーの仕事のあっせんなどにも力を入れて欲しいと思います。片親の子ども、最低限の教育は受けて、社会人になってもらいたいと思います。そのためには社会の受皿も多い方がいいと思うので、町田市も協力してもらいたいと思います。	男性	40歳代
女性、特に一人親の貧困は大きな問題だと思います。本当に困っている世帯への支援を拡充し、貧困を“子”に連鎖させないことが重要だと思います。全体の底上げ（男女平等参画の啓蒙）と、個別問題の対応（女性ひとり親世帯の支援拡充）の両面の実施を望みます。	男性	40歳代

その他（33件）	性別	年代
自分の日常生活では特に不平等を感じることはないのでお役に立てずすみません。	女性	40歳代
町田市が男女平等であると思ってなかったです。どの辺りが、男女平等なのでしょう。	女性	50歳代
町田市は福祉に力を入れておられるとの事、それは今でもそうなのか。私の望む事は男女平等よりも高齢者介護に関する施策、サービスをもっと充実させてもらいたいと思っている。宜しくお願い致します。	女性	60歳代
男女平等について日ごろかんがえない	女性	70歳以上
現在はコロナの中、人々が、不安な毎日を送っている状況ですね。さまざまな心配事のある時代、少しでも心おだやかに日々を過せる事が皆様の思いでしょう。無事にコロナ脱出を願う毎日です。お役所のお仕事も、どうぞお身体に気をつけられましてお勤め下さいませ。	女性	70歳以上
男女平等むずかしい	男性	30歳代
男女豊かに暮らせれば良いと思います。	男性	30歳代
障がい者の雇用を増やして欲しい。	男性	50歳代
現役時代は、「男は仕事、家は女」と思っていたが、定年後は家事もそこそこ手伝うようにはしている。男女平等の趣旨は理解しようとしているがピンとこない。	男性	70歳以上

## 第 3 章 調査票



## 町田市 男女平等参画に関するアンケート調査

### ご協力のお願い

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
町田市では、「男女平等参画都市」の宣言、「男女平等推進計画」の策定を行い、男女が平等で、一人ひとりの人権を尊重し合い、性別にかかわらず個性と能力を發揮できる「男女平等参画社会」の実現をめざして様々な取り組みを進めています。

このたび、新たに「第5次町田市男女平等推進計画（2022～2026）」を策定するにあたり、市民の皆様のご意見や考えを次期計画に反映させることにも、男女平等に関する意識の変化を確認することを目的として「男女平等参画に関するアンケート調査」を実施させていただきました。

調査の対象として、市内にお住まいの20歳以上の男女3,000人の方を無作為に選ばせていただいた結果、あなた様にご協力をお願いすることになりました。お答えいただいた内容は、統計的な数値として処理しますので、記入者が特定されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮でございますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2021年4月

町田市長 石坂 丈一

ご記入にあたってのお願い

- ◆ 回答は、あてはまる番号を選び、その番号を○で囲んでください。
- ◆ 回答数は、( )内の指示に沿ってください。
- ◆ 「その他」にあてはまる場合は、なるべく具体的にその内容をご記入ください。
- ◆ 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や「ことわりの書き」をよくお読みください。
- ◆ 回答に迷う場合は、あなたのお考えにできるだけ近いものをお選びください。

ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らずに

5月19日(水)までにご投函ください。

ご記入上の不明な点や調査についてのお問い合わせは、下記へお願いいたします。

町田市 市民部市民協働推進課 男女平等推進センター

電話：042-723-2908

### □ 家庭内の役割分担について

問1 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方がありますが、あなたははどう思いますか。  
(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえそうですが
3. どちらともいえない
4. どちらかといえませんが
5. そう思わない

問2 あなたのご家庭での役割分担はどうなっていますか。最も近いものを1つお選びください。  
(○は1つ)

1. 男性は仕事、女性は家事・育児を分担している
2. 男性は仕事、女性は家事・育児に差し支えない範囲で仕事をしている
3. 男女とも仕事をし、家事・育児は主に女性が担当している
4. 男女とも仕事をし、家事・育児も男女で担当している
5. 男性は仕事、女性は家事・育児を分担している
6. その他( )
7. 分担するような相手がいない

### □ 家庭生活と社会生活の両立について

問3 あなたの生活の中で「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度についておたずねします。あなたの希望に最も近いものを1つだけお選びください。  
(○は1つ)

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい

問4 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」について、あなたの現実(現状)に最も近いものを1つだけお選びください。  
(○は1つ)

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している

問5 男性と女性がともに家事、子育て、介護、地域活動を積極的に担うためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 男性が家事や地域活動へ気軽に参加できるよう、啓発や身近な情報・相談窓口の提供をする
2. 男性が家事や子育てなどを担うことに対する評価を高める
3. 男性が仕事中心の考え方を改め、家事などを担うことに対する抵抗感をなくす
4. 女性が、男性が家事などを担うことに対する抵抗感をなくす
5. 男性が子育てや介護、地域活動を活発に行うことができるよう、仲間（ネットワーク）づくりを支援する
6. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる
7. 仕事と家庭の両立を支援するための保育や介護の体制（育児・介護休業制度など）を充実する
8. 企業が、男女ともに家庭と仕事を両立できる職場環境（労働時間の短縮や労働時間を比較的自由に設定できるフレックスタイムの導入、育児休業をとりやすい雰囲気づくり等）を整える
9. 在宅勤務など、多様な働き方を進めることで、仕事以外の時間をより多く持つようになる
10. その他 ( )

□ 子育てや教育について

問6 あなたは、子どもにはどのようなように育てて欲しいと思いますか。以下の(ア)～(サ)について女の子・男の子それぞれあてはまるものすべてをお選びください。(〇はそれぞれいくつでも)

	女の子	男の子
(ア) 思いやりのある人	1	1
(イ) 素直な人	2	2
(ウ) 自分の責任を果たす人	3	3
(エ) 知性豊かな人	4	4
(オ) 人に頼らない人	5	5
(カ) 社会性のある人	6	6
(キ) 社会的地位のある人	7	7
(ク) 生活力のある人	8	8
(ケ) 親を大切にしている人	9	9
(コ) 自分の意志を貫く人	10	10
(サ) その他 ( )	11	11

問7 あなたは、男女が対等に互いに助け合っていく社会をつくるために、学校教育の場では特にならざるを得ないことには、どのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 男女平等の意識を育てる授業をする
2. 日常の活動の中で、男女平等の意識を育てる指導をする
3. 生活指導や進路指導において、男女の区別なく個性や能力をいかせるよう配慮する
4. 教職員への男女平等研修を充実する
5. 校長や副校長などの役職に就く女性を増やしていく
6. 男女がお互いの性と健康に理解を深め、人権を尊重する性教育を充実する
7. その他 ( )
8. 特にない

□ 介護について

問8 あなたの家庭では、介護が必要な家族の方がいらっしゃいますか。(〇は1つ)

1. いる
2. いない

(問8で「1. いる」とお答えの方に)

問8-1 あなたの家庭では、その方の介護は、主にどなたが行っていますか。(〇は1つ) (介護される方から見た順番をお選びください)

1. 配偶者
2. 娘
3. 息子
4. 息子の配偶者
5. その他の家族
6. ホームヘルパーなどの在宅介護サービスを利用している
7. 高齢者向け施設や病院に入所している
8. その他 ( )

問9 あなたご自身が高齢になって介護が必要になったときは、主にどなたに介護をしてほしいと思いますか。または、どうしたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 配偶者
2. 娘
3. 息子
4. 息子の配偶者
5. その他の家族
6. ホームヘルパーなどの在宅介護サービスを利用する
7. 高齢者向け施設や病院で介護をしてもらう
8. その他 ( )
9. わからない



問10 家庭での高齢者や病人の介護は、現実には女性が担いがちですが、あなたははどう思いますか。(〇は1つ)

1. 介護は体力が必要なので男性が積極的に取り組むほうがよい
2. 男性が中心になり女性も手助けするのがよい
3. 男性も女性も同じように分担するのがよい
4. 女性が中心になり男性も手助けするのがよい
5. 介護は女性の役割だと思う
6. その他 ( )
7. わからない

□ 就労・職場について

問11 あなたは現在、収入のある職業に就いていますか。2つ以上の仕事に就いている方は、主なものを1つだけお選びください。(出産休暇や育児・介護休暇中の方も働いていると教えてください。)(〇は1つ)

1. 自営業・自由業・家族従業員
2. 常勤(正社員、フルタイム)
3. 契約社員・派遣社員・パート・アルバイト
4. その他 ( )
5. 職業には就いていない(専業主婦、学生など)

→(問11で「1. 自営業・自由業・家族従業員」「2. 常勤(正社員、フルタイム)」「3. 契約社員・派遣社員・パート・アルバイト」とお答えの方に)  
 問11-1 在宅ワークをしていますか。(〇は1つ)

1. している
2. していない

問11-2 あなたの職場では、次のようなことがあると感じますか。(〇はいくつでも)

1. 募集・採用に男女差がある
2. 賃金に男女差がある
3. 昇進・昇格に男女差がある
4. 職務内容・配置に男女差がある
5. 教育訓練・研修に男女差がある
6. 結婚や出産で退職しなければならぬような雰囲気がある
7. 育児休業がとりにくい
8. 女性も男性と同じように時間外労働や深夜勤務がある
9. その他 ( )
10. 女性と男性で違いはない

問12 あなたは、女性が職業を持つことについてどうお考えですか。(〇は1つ)

1. 女性は職業を持たない方がよい
2. 結婚するまでは職業を持ち、結婚後は家事に専念した方がよい
3. 子どもができてきたら職業を持ち、子どもができてきたら家事・育児に専念した方がよい
4. 子どもができてきたら辞め、子どもに手がつかなくなったら再び職業を持つ方がよい
5. 結婚・出産にかかわらずずっと職業を持つ方がよい
6. その他 ( )
7. わからない

問13 女性が働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 育児・介護休業制度の普及を図る
2. 保育施設や保育時間の延長など保育内容を充実する
3. 地域で子育てを支援する仕組みをつくる
4. 高齢者や病人の世話を支援する制度やサービスを充実する
5. 家族の中での理解を深める
6. 上司や同僚の子育てに対する理解を深める
7. 結婚・出産退職の慣習をなくす
8. 労働時間の短縮等の労働条件を改善する
9. 昇進・賃金・教育訓練などでの男女の不公平な取り扱いをなくす
10. 男性の家事や育児を行う意識や能力を高める
11. その他 ( )
12. わからない

問14 子育てや介護によりいったん離職した女性が再就職や起業にチャレンジするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 気軽に相談できる窓口の充実
2. 育児や介護により退職した職員をもとに会社で再雇用する制度の導入
3. 個別の状況に応じた柔軟な勤務形態(在宅勤務や短時間勤務など)の導入
4. 再就職準備のためのセミナーや能力向上のための学習機会の提供
5. 女性の起業に関する情報提供や相談体制
6. 企業における事業所内の育児施設の整備
7. 地域の保育園、学童保育などの保育サービスの充実
8. 高齢者や病人の世話を支援する制度やサービスの充実
9. 女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力
10. 男性の家事や育児を行う意識や能力を高める
11. その他 ( )
12. わからない

問15 育児や家族介護を行うために、法律に基づき男女ともに育児休業や介護休業を取得できる制度があります。あなたは、自分自身が「育児休業制度」や「介護休業制度」を利用することについてどう思いますか。現在、必要のない方も必要になった場合を想定してお答えください。  
(○は1つ)

育児休業制度について

1. 利用したい 3. 利用したくない  
2. 利用したいが利用できそうにないと思う 4. わからない

介護休業制度について

1. 利用したい 3. 利用したくない  
2. 利用したいが利用できそうにないと思う 4. わからない

問16 男性が育児休業をとることについて、あなたはどよう思いますか。(○は1つ)

1. 男性が育児休業をとる必要はない  
2. 育児休業は取りやすい方がとればよい  
3. 男性も一定期間、育児休業を取るようにした方がよい  
4. その他 ( )

人権について

問17 あなたは、これまでに次のような「セクシュアル・ハラスメント」を受けた経験がありますか。(○はいくつでも)

1. いやがっているのに卑わいな話やわい談を聞かされた  
2. 「女(男)のくせに」「女(男)だから」と差別的な言い方をされた  
3. 身体をさわられた  
4. 宴会などでお酌やアフェュエツトを強要された  
5. 交際を強要された  
6. 性的なうわさをたてられた  
7. 結婚や交際についてしつこく聞かれた  
8. 容姿について傷つくようなことを言われた  
9. 帰宅途中などに後をつけられたり、つきまとわれたりした  
10. プライバシーに関することや性的な内容の手紙や電話を受けた  
11. スード写真や卑わいな雑誌を目につくところに置かれたり、貼られたりした  
12. その他 ( )  
13. 特になし

問17で「1」～「12」のうち1つでもお答えの方に  
問17-1 どのような場所で「セクシュアル・ハラスメント」を受けたことがありますか。(○はいくつでも)

1. 職場 5. インターネット(SNS)  
2. 学校 6. 友人との交流の場  
3. 家庭 7. その他 ( )  
4. 地域

問18 あなたは、次のようなことが配偶者(事実婚や別居、離別を含む)やパートナー・恋人の間で行われた場合、それを暴力だと思えますか。(ア)～(コ)のそれぞれについて、「1」～「3」のうちあなたの考えに近い番号に○をつけてください。  
(それぞれ○は1つずつ)

	どに あんな なる場 と場合 思いう る場合 でも暴 力	も暴 あるそ うにあ 思いう ない場 合も暴 力	思暴 わ力 ない にあ たは ると は
(ア) 命の危険を感じるくらい暴力	1	2	3
(イ) 身体を傷つけられたり、傷つけられる可能性のある行為	1	2	3
(ウ) 何を言っても無視すること	1	2	3
(エ) 「誰のおおかげで食べられるんだ」などと言うこと	1	2	3
(オ) 大声で怒鳴ること	1	2	3
(カ) 大切にしているものをわざと壊したり、捨てたりすること	1	2	3
(キ) 生活費を渡さないこと	1	2	3
(ク) 交友関係や電話、メールなどを細かくチェックすること	1	2	3
(ケ) 望まない性行為の強要	1	2	3
(コ) 避妊に非協力	1	2	3

問19 あなたは、これまでに配偶者(事実婚や別居、離別を含む)やパートナー・恋人などから以下の(ア)～(サ)のような行為を受けたことがありますか。  
(それぞれ○は1つずつ)

	何 度も あつ た	1、 2 度あ つた	ま つ た く く ない
(ア) 命の危険を感じるくらい暴力	1	2	3
(イ) 身体を傷つけられたり、傷つけられる可能性のある行為	1	2	3
(ウ) 何を言っても無視されること	1	2	3
(エ) 「誰のおおかげで食べられるんだ」などと言われること	1	2	3
(オ) 大声で怒鳴られること	1	2	3
(カ) 大切にしているものをわざと壊されたり、捨てられたりすること	1	2	3
(キ) 生活費を渡さないこと	1	2	3
(ク) 交友関係や電話、メールなどを細かくチェックされること	1	2	3
(ケ) 望まない性行為の強要	1	2	3
(コ) 避妊に非協力	1	2	3
(サ) その他 ( )	1	2	3

問19-1ハ

(問19 (ア)～(ウ)のうち1つでも「1. 何度もあった」「2. 1、2度あった」とお答えした方に)  
 問 19-1 あなたはこれまでに相手から受けた行為について誰かに伝えたり、相談したりしましたか。  
 (〇はいくつでも)

1. 相談した	2. 相談しなかった (できなかつた)
---------	---------------------

(問 19-1 で「1. 相談した」とお答えした方に)  
 問 19-1-1 誰 (どこ) に相談しましたか。  
 (〇はいくつでも)

1. 親族 2. 友人・知人 3. 同じような経験をした女性やグループ 4. 民間の支援団体 5. 家庭裁判所、弁護士 6. 警察署 7. 東京ウイメンズプラザや東京都女性相談センター 8. 市役所等の相談窓口・電話相談など 9. 医師、カウンセラーなど 10. その他 ( )
--

(問 19-1 で「2. 相談しなかった (できなかつた)」とお答えした方) ←  
 問 19-1-2 誰にも相談しなかった (できなかつた) 理由は何ですか。  
 (〇はいくつでも)

1. 相談できる人がいなかったから 2. どこに相談してよいかわからなかつたから 3. 相談しても無駄だと思つたから 4. 相談したことがわかると、もっとひどい暴力を受けると思つたから 5. 恥ずかしくて誰にも言えなかつたから 6. 自分さえ我慢すればこのままやっていけると思つたから 7. 他人を巻き込みたくなかつたから 8. 自分にも悪いところがあると思つたから 9. 相談するほどではないと思つたから 10. 相談した相手の言動により、不快な思いを思つたから 11. 子どもにも危害が及ぶと思つたから 12. その他 ( ) 13. 特にない
--

問20 あなたは、「ドメスティック・バイオレンス (DV) (※)」に対する対策や援助として、特になものを実施すべきだと思いますか。  
 (〇はいくつでも)

1. 家庭内であれ、暴力は犯罪となる行為を含む重大な人権侵害である、という意識を啓発する 2. いざという時に駆け込める緊急避難場所 (シェルター) を整備する 3. 相談体制を充実し、理解のある専門スタッフを常駐させる 4. 住居や就労支援、経済的援助など、生活支援を充実する 5. カウンセリングや日常的な相談など、精神的援助を充実する 6. 関連機関の紹介や暴力への対応方法など、ドメスティック・バイオレンスに関する情報提供を充実する 7. 法律による規制の強化や見直しを行う 8. 加害者に対する厳正な対処や更生に関する対応を充実する 9. その他 ( ) 10. わからない
---

(※) ドメスティック・バイオレンス (DV)  
 配偶者や恋人など親密な関係にある、または過去にあった人かららるおられる暴力 (身体的・心理的・性的)、という意味で使われています。

□ 性の多様性について

問21 あなたは、性的マイノリティ (性的少数者) という言葉を知っていますか。  
 (〇は1つ)

1. 内容まで詳しく知っている	3. 言葉は聞いたことがある
2. おおよそ知っている	4. 知らなかつた

問22 あなたは、身近な人から同性愛者やトランスジェンダーなどと打ち明けられた場合、これまでも変わりなく接することができそうですか。  
 (〇は1つ)

1. できそう	3. わからない
2. できないかもしれない	

問23 あなたは、今まで自分の性別や恋愛対象となる性別などについて悩んだことはありますか。  
 (〇は1つ)

1. 悩んだことがある	3. あまり悩んだことはない
2. 多少悩んだことがある	4. 悩んだことはない

□ 地域活動・社会活動について

問24 あなたは、地域活動や社会活動などに参加していますか。(〇はいくつでも)

1. 自治会・町内会・子ども会などの委員をしている
2. 民生委員など国や地方自治体の委員をしている
3. 保護者会やPTAの委員をしている
4. 青少年の健全育成に関わる活動の指導者やリーダーをしている
5. NPO、ボランティア活動をしている
6. 消防団や防犯パトロール隊など、地域の防災・防犯活動に参加している
7. 地域の中で趣味・スポーツ等の会やグループに参加している
8. その他 ( )
9. 参加していない

(問24で「9. 参加していない」とお答えの方に)

問24-1 地域活動や社会活動に参加していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 仕事が忙しくて余裕がない
2. 家事、育児、介護などが忙しくて余裕がない
3. 家族の理解・協力が得られない
4. 参加したい活動が見つからない
5. 参加方法がわからない、きつかけがない
6. 関心がない
7. 人間関係がわずらわしい
8. 健康に自信がない
9. その他 ( )
10. 特になし

問25 災害時に備えた男女双方の視点を取り入れた防災対応として、どのようなことが重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 女性や子どもに対する暴力の防止策を講じたり、プライバシーに配慮した相談窓口を設置する
2. 防災分野の委員会や会議に、より多くの女性が参加できるようにする
3. 災害対応や復興において性別の違いへの配慮など様々な視点で対応できるように、性別にかかわらず地域の防災リーダーを育成する
4. 災害に関する各種対応マニュアルなどに男女平等参画の視点を入れる
5. 消防職員・消防団員・警察員・自衛官などについて、防災現場に女性が十分に配置されるよう、採用・登用段階を含めて留意する
6. 避難施設の設備や備品に女性や性的マイノリティ(性的少数者)等の意見を反映させる
7. その他 ( )
8. わからない

□ 女性活躍について

問26 まちづくりや福祉など、市のこれからの政策や方針を決定する場の一つに審議会があります。町田市では、市で設けている審議会などの女性委員の比率は27.9%です(2020年4月1日現在)。このことについて、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)

1. 今のままでよい
2. もう少し女性が増えた方がよい
3. 男女半々くらいまで女性が増えた方がよい
4. 性別にこだわらなければならない
5. その他 ( )

問27 働く場における女性の管理職への登用など、女性の参画を促すには、どのような支援が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 企業における女性の採用・登用の促進
2. 女性の登用について具体的な目標値の設定
3. 女性のロールモデルの発掘・活躍事例の提供
4. 女性が働き続けていくことのできる相談体制の充実
5. 男女共同参画に積極的に取り組む・企業への支援
6. 女性の管理職への支援
7. 保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと
8. その他 ( )
9. わからない

問28 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと
2. 女性自身がリーダーになることを希望しないこと
3. 上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと
4. 長時間労働の改善が十分ではないこと
5. 企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えること
6. 保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと
7. 保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと
8. 家庭、職場、地域などに性別役割分担、性別意識による慣習があること
9. その他 ( )
10. 特になし
11. わからない

□ 男女平等について

問29 あなたは、次にあげる分野において女性と男性が平等になっているか、(ア)～(ク)について、あなたの感じ方に近いものをお選びください。(ア)～(ク)については、次にあげる分野において女性と男性が平等になっているか、(ア)～(ク)について、あなたの感じ方に近いものをお選びください。

(○はそれぞれ1つずつ)

	男性の 遇が非 常に	男性の 遇がと いへば	平等 である	女性 の遇が と異な る	女性 の遇が と異な る
(ア) 家庭生活	1	2	3	4	6
(イ) 職場	1	2	3	4	6
(ウ) 学校教育の場	1	2	3	4	6
(エ) 自治会やPTAなどの地域活動の場	1	2	3	4	6
(オ) 政治の場	1	2	3	4	6
(カ) 法律や制度の上	1	2	3	4	6
(キ) 社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	6
(ク) 社会全体として	1	2	3	4	6

問30 あなたは、次の(ア)～(サ)の法律や言葉を知っていますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

	知内 容まで 詳しく	い お お よ そ 知 っ て	言 と あ は は る 間 い た こ	知 ら な か つ た
(ア) 男女共同参画社会	1	2	3	4
(イ) 男女雇用機会均等法	1	2	3	4
(ウ) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)	1	2	3	4
(エ) 女性活躍推進法	1	2	3	4
(オ) 育児・介護休業法	1	2	3	4
(カ) ジェンダー	1	2	3	4
(キ) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	1	2	3	4
(ク) ボジティブ・アクション	1	2	3	4
(ケ) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	1	2	3	4
(コ) 町田市男女平等参画都市宣言	1	2	3	4
(サ) パートナーシップ制度	1	2	3	4

問31 あなたは、男女平等参画社会を実現していくために、今後、町田市はどのようなこと  
に力を入れたらよいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 男女平等参画を進めるための意識を啓発する
2. 学校教育を始めとしたあらゆる教育の場における男女平等教育を推進する
3. 政策・方針決定の場などへの女性の積極的な参画を進める
4. 男女がお互いの性と健康を尊重し、理解を深めるための事業を充実する
5. LGB Tなど性の多様性に関する理解促進を行う
6. 防災の現場(避難施設など)において、男女平等参画を推進する
7. 公共の場における性差別を助長する表現やいきすぎた性表現を是正する
8. 子育て支援を充実する
9. 高齢者介護に関する施策・サービスを充実する
10. 男女平等参画団体やNPO(継続的・自発的に社会貢献活動を行う営利を目的とした い団体)との連携を進める
11. 育児・介護休業制度の利用促進や男女均等待遇の徹底など、働く環境を改善する
12. 女性に対するあらゆる暴力を根絶するよう啓発を進める
13. 女性悩みごと相談やLGB T相談など、各種相談事業を充実する
14. 男女平等参画に関する苦情解決のための機関を設置する
15. 「町田市男女平等参画計画」を着実に推進し、計画の定期的な見直しを行う
16. 町田市男女平等参画条例の制定
17. その他( )
18. 特になし

問32 あなたは、町田市男女平等推進センターを知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている
2. 知らない

問33 町田市では、『男女平等推進センター(※)』を中心に以下のような事業展開をしてい  
ます。この中で、今後特に重点的に取り組まなければならない事業はどれでしょうか。  
(○はいくつでも)

1. 家庭生活における家事・育児等への男性の参加を促す事業
2. 女性の就労支援を目的とした事業
3. 男女平等参画に関する意識啓発のための講座の開催や情報紙の発行
4. 男女平等参画を進める市民や市民団体への活動場所の提供
5. 男女ともに自立した生活を送るための料理や工作等の実技講座の開催
6. 家庭、仕事、人間関係、健康などについての相談事業
7. 男女平等参画に関する図書・資料の提供
8. 人権尊重や女性への暴力根絶のための意識を啓発する講演会などの開催
9. 男女平等を推進するボランティアや市民団体への支援
10. まちだ男女平等フェスティバルの開催
11. 「パートナーシップ制度」の導入など、性の多様性に関する理解促進
12. ワーク・ライフ・バランスを推進している事業所を表彰する事業
13. その他( )
14. 特になし

**【用語の解説】**

※問21や問30などで使用されている用語の意味を掲載しています。

- **男女共同参画社会**  
性別や年齢に縛られることなく、すべての人が互いに人権を尊重しつつ責任を分かち合い、家庭で、職場で、学校で、地域で、それぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会のことです。
- **ジェンダー（社会的性別）**  
人間には生まれつきの生物学的性別（セックス/sex）があります。一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的性別」（ジェンダー/gender）といいます。「社会的性別」は、それ自体に良い、悪いの価値を含むものではなく、国際的にも使われています。
- **「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）」**  
配偶者からの暴力に係る通報、相談、保護、自立支援等の体制を整備し、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護を図ることを目的とする法律です。被害者が、多くの場合女性であることから、女性被害者に配慮した内容の前置きが置かれています。
- **「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」**  
働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現することを目的とした法律です。数値目標を盛り込んだ行動計画の策定・公表や、情報の公表が事業主（国や地方公共団体、民間企業等）に義務付けられました。
- **リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）**  
いつ何人子どもを生むか生むまいかを運ぶ自由や、安全で満足いく性生活、安全な妊娠・出産、子どもが健康に生まれ育つことなどを含む重要な人権として認識されています。
- **ポジティブ・アクション（積極的改善措置）**  
様々な分野において、活動に参画する機会の男女間の格差を改善するため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、活動に参画する機会を積極的に提供するものであり、個々の状況に応じて実施していくものです。
- **ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）**  
国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる状態のことです。
- **町田市男女平等参画都市宣言**  
町田市は、男女が平等で一人ひとりの人権を尊重し、個性と能力を十分に発揮しながら、自立して生きることのできる社会をめざして、2001年2月1日に「男女平等都市宣言」を行いました。
- **性的マイノリティ（性的少数者）**  
「出生時に判定された性別（身体の性）と性自認（自分が認識している自分自身の性別）が一致し、かつ、性的指向（どのような性別の人を好きになるか）は異性」というパターンに当てはまらない人たちのことをいいます（LGBTなど）。
- **パートナーシップ制度**  
一方または双方が性的マイノリティ（性的少数者）である二人の関係を自治体がパートナーとして承認する制度のことをいいます。法的効力はありませんが、性的マイノリティ（性的少数者）の方の生きづらさの軽減、差別や偏見の解消、社会的な理解の促進につながることで期待されます。

(※) **男女平等推進センター**  
『男女平等推進センター』では、「町田市男女平等推進計画」をもとに、男女が平等で、一人ひとりが個性と能力を発揮できるよう、各種講座の開催、情報の提供、市民の活動の場の提供及び相談事業を実施しています。

**□ あなたご自身のことについて**

F 1 あなたの性別は

1. 女性	2. 男性	3. その他
-------	-------	--------

F 2 あなたの年齢は

1. 20 歳代	4. 50 歳代
2. 30 歳代	5. 60 歳代
3. 40 歳代	6. 70 歳以上

F 3 あなたは結婚していますか

1. している（事実婚を含む）	<b>F 3-1 夫婦の働き方</b> 1. 共働き 2. 夫だけ働いている 3. 妻だけ働いている 4. 夫婦とも無職
2. していない（離別・死別など）	
3. していない（未婚）	
4. 夫と子ども共働き	

F 4 あなたの世帯は、次のどれにあてはまりますか。ご自分の立場（自分が親、子ども）にかかわらず、世帯構成をお答えください。

1. ひとり暮らし	4. 親と子ども夫婦（二世帯家族）
2. 夫婦のみ（一世帯家族）	5. 親と子どもと孫（三世帯家族）
3. 親と未婚の子ども（核家族）	6. その他（ ）

最後に、町田市の男女平等についてのご意見やご要望を自由にお書きください。

最後までご協力いただきましてありがとうございます。ご協力ください。

※ 同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、5月19日（水）までにご投函ください。

## 第4章 集計表





【1 ご自身のことについて】

■ F 1 性別

	調査数	女性	男性	その他	無回答	
全体	1286 100.0	758 58.9	516 40.1	3 0.2	9 0.7	
性・年齢別	女性	758 100.0	-	-	-	
	20歳代	52 100.0	-	-	-	
	30歳代	85 100.0	-	-	-	
	40歳代	133 100.0	-	-	-	
	50歳代	186 100.0	-	-	-	
	60歳代	135 100.0	-	-	-	
	70歳以上	165 100.0	-	-	-	
	男性	516 100.0	-	516 100.0	-	-
	20歳代	40 100.0	-	40 100.0	-	-
	30歳代	51 100.0	-	51 100.0	-	-
	40歳代	88 100.0	-	88 100.0	-	-
	50歳代	118 100.0	-	118 100.0	-	-
	60歳代	91 100.0	-	91 100.0	-	-
	70歳以上	124 100.0	-	124 100.0	-	-

■ F 2 年齢

	調査数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	
全体	1286 100.0	92 7.2	137 10.7	223 17.3	306 23.8	226 17.6	290 22.6	12 0.9	
性・年齢別	女性	758 100.0	52 6.9	85 11.2	133 17.5	186 24.5	135 17.8	165 21.8	2 0.3
	20歳代	52 100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
	30歳代	85 100.0	-	100.0	-	-	-	-	-
	40歳代	133 100.0	-	-	100.0	-	-	-	-
	50歳代	186 100.0	-	-	-	100.0	-	-	-
	60歳代	135 100.0	-	-	-	-	100.0	-	-
	70歳以上	165 100.0	-	-	-	-	-	100.0	-
	男性	516 100.0	40 7.8	51 9.9	88 17.1	118 22.9	91 17.6	124 24.0	4 0.8
	20歳代	40 100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
	30歳代	51 100.0	-	100.0	-	-	-	-	-
	40歳代	88 100.0	-	-	100.0	-	-	-	-
	50歳代	118 100.0	-	-	-	100.0	-	-	-
	60歳代	91 100.0	-	-	-	-	100.0	-	-
	70歳以上	124 100.0	-	-	-	-	-	100.0	-

■ F 3 婚姻の有無

	調査数	(事実婚を含む) している	(離別・死別など) していない	(未婚) していない	無回答	
全体	1286 100.0	906 70.5	146 11.4	219 17.0	15 1.2	
性・年齢別	女性	758 100.0	534 70.4	113 14.9	107 14.1	4 0.5
	20歳代	52 100.0	9 17.3	1 1.9	42 80.8	-
	30歳代	85 100.0	63 74.1	4 4.7	18 21.2	-
	40歳代	133 100.0	104 78.2	13 9.8	16 12.0	-
	50歳代	186 100.0	148 79.6	21 11.3	16 8.6	1 0.5
	60歳代	135 100.0	94 69.6	32 23.7	9 6.7	-
	70歳以上	165 100.0	115 69.7	42 25.5	6 3.6	2 1.2
	男性	516 100.0	370 71.7	33 6.4	111 21.5	2 0.4
	20歳代	40 100.0	4 10.0	1 2.5	35 87.5	-
	30歳代	51 100.0	33 64.7	-	18 35.3	-
	40歳代	88 100.0	61 69.3	5 5.7	21 23.9	1 1.1
	50歳代	118 100.0	91 77.1	6 5.1	21 17.8	-
	60歳代	91 100.0	72 79.1	9 9.9	10 11.0	-
	70歳以上	124 100.0	106 85.5	12 9.7	6 4.8	-

■ F 3-1 夫婦の働き方

	調査数	共働き	働夫 だけ ている	働妻 だけ ている	夫婦とも 無職	無回答	
全体	906 100.0	450 49.7	253 27.9	30 3.3	156 17.2	17 1.9	
性・年齢別	女性	534 100.0	280 52.4	132 24.7	22 4.1	87 16.3	13 2.4
	20歳代	9 100.0	7 77.8	2 22.2	-	-	-
	30歳代	63 100.0	46 73.0	16 25.4	-	-	1 1.6
	40歳代	104 100.0	76 73.1	26 25.0	1 1.0	-	1 1.0
	50歳代	148 100.0	113 76.4	31 20.9	2 1.4	-	2 1.4
	60歳代	94 100.0	26 27.7	41 43.6	10 10.6	13 13.8	4 4.3
	70歳以上	115 100.0	12 10.4	15 13.0	9 7.8	74 64.3	5 4.3
	男性	370 100.0	169 45.7	121 32.7	7 1.9	69 18.6	4 1.1
	20歳代	4 100.0	3 75.0	1 25.0	-	-	-
	30歳代	33 100.0	19 57.6	14 42.4	-	-	-
	40歳代	61 100.0	40 65.6	20 32.8	-	1 1.6	-
	50歳代	91 100.0	55 60.4	36 39.6	-	-	-
	60歳代	72 100.0	36 50.0	27 37.5	1 1.4	7 9.7	1 1.4
	70歳以上	106 100.0	14 13.2	23 21.7	6 5.7	61 57.5	2 1.9

第4章 集計表

■ F 4 世帯構成

	調査数	ひとり暮らし	夫婦のみ (一世帯家族)	親と未婚の子ども (核家族)	親と子ども夫婦 (二世帯家族)	親と子どもと孫 (三世帯家族)	その他	無回答	
全体	1286 100.0	155 12.1	335 26.0	551 42.8	128 10.0	70 5.4	32 2.5	15 1.2	
性・年齢別	女性	758 100.0	94 12.4	192 25.3	338 44.6	69 9.1	44 5.8	17 2.2	4 0.5
	20歳代	52 100.0	5 9.6	3 5.8	37 71.2	2 3.8	2 3.8	3 5.8	-
	30歳代	85 100.0	10 11.8	13 15.3	42 49.4	13 15.3	6 7.1	1 1.2	-
	40歳代	133 100.0	9 6.8	11 8.3	86 64.7	20 15.0	7 5.3	-	-
	50歳代	186 100.0	10 5.4	38 20.4	97 52.2	22 11.8	14 7.5	4 2.2	1 0.5
	60歳代	135 100.0	28 20.7	54 40.0	38 28.1	4 3.0	6 4.4	4 3.0	1 0.7
	70歳以上	165 100.0	32 19.4	72 43.6	38 23.0	8 4.8	9 5.5	5 3.0	1 0.6
	男性	516 100.0	61 11.8	143 27.7	209 40.5	59 11.4	26 5.0	15 2.9	3 0.6
	20歳代	40 100.0	4 10.0	2 5.0	21 52.5	8 20.0	3 7.5	2 5.0	-
	30歳代	51 100.0	10 19.6	7 13.7	21 41.2	9 17.6	2 3.9	2 3.9	-
	40歳代	88 100.0	4 4.5	12 13.6	48 54.5	13 14.8	4 4.5	6 6.8	1 1.1
	50歳代	118 100.0	17 14.4	22 18.6	57 48.3	13 11.0	7 5.9	2 1.7	-
	60歳代	91 100.0	11 12.1	36 39.6	30 33.0	9 9.9	4 4.4	1 1.1	-
	70歳以上	124 100.0	15 12.1	64 51.6	30 24.2	6 4.8	6 4.8	2 1.6	1 0.8

【2 家庭内の役割分担について】

■ 問1 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についての意識

	調査数	そう思う	どちらかといえ ば	どちらともい えない	どちらかとい え	そう思わ ない	無 回 答	
全体	1286 100.0	45 3.5	192 14.9	292 22.7	227 17.7	523 40.7	7 0.5	
性・年齢別	女性	758 100.0	28 3.7	112 14.8	170 22.4	141 18.6	306 40.4	1 0.1
	20歳代	52 100.0	-	6 11.5	5 9.6	9 17.3	32 61.5	-
	30歳代	85 100.0	5 5.9	11 12.9	18 21.2	17 20.0	34 40.0	-
	40歳代	133 100.0	6 4.5	26 19.5	35 26.3	22 16.5	44 33.1	-
	50歳代	186 100.0	5 2.7	25 13.4	45 24.2	26 14.0	85 45.7	-
	60歳代	135 100.0	1 0.7	13 9.6	33 24.4	29 21.5	58 43.0	1 0.7
	70歳以上	165 100.0	11 6.7	31 18.8	33 20.0	38 23.0	52 31.5	-
	男性	516 100.0	17 3.3	78 15.1	119 23.1	85 16.5	212 41.1	5 1.0
	20歳代	40 100.0	4 10.0	3 7.5	5 12.5	9 22.5	19 47.5	-
	30歳代	51 100.0	2 3.9	8 15.7	8 15.7	6 11.8	27 52.9	-
	40歳代	88 100.0	3 3.4	10 11.4	27 30.7	13 14.8	34 38.6	1 1.1
	50歳代	118 100.0	1 0.8	16 13.6	26 22.0	21 17.8	54 45.8	-
	60歳代	91 100.0	2 2.2	17 18.7	19 20.9	17 18.7	36 39.6	-
	70歳以上	124 100.0	5 4.0	24 19.4	34 27.4	19 15.3	38 30.6	4 3.2

■問2 家庭での役割分担

	調査数	男性は仕事・女性家事・育児を分担している	男性は仕事・女性家事・育児を分担している	男女とも仕事をし、家事・育児は主に女性が分担している	男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担している	女性は仕事、男性は家事・育児を分担している	その他	分担するような相手がいない	無回答	
全体	1286 100.0	229 17.8	220 17.1	234 18.2	225 17.5	8 0.6	124 9.6	231 18.0	15 1.2	
性・年齢別	女性	758 100.0	124 16.4	129 17.0	164 21.6	121 16.0	5 0.7	66 8.7	140 18.5	9 1.2
	20歳代	52 100.0	6 11.5	7 13.5	14 26.9	15 28.8	-	1 1.9	9 17.3	-
	30歳代	85 100.0	10 11.8	15 17.6	17 20.0	23 27.1	-	5 5.9	15 17.6	-
	40歳代	133 100.0	18.8 14.5	19.5 17.7	26.3 20.0	18.0 13.2	-	3.8 5.4	13.5 14.5	-
	50歳代	186 100.0	27 14.5	33 17.7	49 26.3	37 19.9	2 1.1	10 5.4	27 14.5	1 0.5
	60歳代	135 100.0	30 22.2	24 17.8	20 14.8	13 9.6	2 1.5	12 8.9	31 23.0	3 2.2
	70歳以上	165 100.0	26 15.8	24 14.5	29 17.6	9 5.5	1 0.6	31 18.8	40 24.2	5 3.0
	男性	516 100.0	104 20.2	90 17.4	68 13.2	100 19.4	3 0.6	57 11.0	89 17.2	5 1.0
	20歳代	40 100.0	9 22.5	4 10.0	5 22.5	5 12.5	-	2 2.5	12 30.0	-
	30歳代	51 100.0	10 19.6	5 9.8	7 13.7	12 23.5	-	3 5.9	14 27.5	-
	40歳代	88 100.0	17 19.3	15 17.0	10 11.4	20 22.7	-	7 8.0	18 20.5	1 1.1
	50歳代	118 100.0	25 21.2	27 22.9	21 17.8	22 18.6	-	4 3.4	19 16.1	-
	60歳代	91 100.0	20 22.0	20 22.0	12 13.2	16 17.6	2 2.2	6 6.6	14 15.4	1 1.1
	70歳以上	124 100.0	22 17.7	19 15.3	9 7.3	23 18.5	1 0.8	36 29.0	11 8.9	3 2.4

【3 家庭生活と社会生活の両立について】

■問3 生活の中での優先度（希望）

	調査数	「仕事」を優先したい	「家庭生活」を優先したい	「地域・個人の生活」を優先したい	「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	無回答		
全体	1286 100.0	55 4.3	276 21.5	53 4.1	408 31.7	45 3.5	161 12.5	276 21.5	12 0.9	
性・年齢別	女性	758 100.0	20 2.6	180 23.7	31 4.1	223 29.4	26 3.4	108 14.2	163 21.5	7 0.9
	20歳代	52 100.0	-	14 26.9	3 5.8	15 28.8	2 3.8	10 19.2	8 15.4	-
	30歳代	85 100.0	3 3.5	23 27.1	3 3.5	27 31.8	2 2.4	15 17.6	12 14.1	-
	40歳代	133 100.0	2 1.5	37 27.8	6 4.5	42 31.6	7 5.3	10 7.5	27 20.3	2 1.5
	50歳代	186 100.0	7 3.8	41 22.0	7 3.8	59 31.7	5 2.7	16 8.6	51 27.4	-
	60歳代	135 100.0	3 2.2	24 17.8	6 4.4	39 28.9	3 2.2	19 14.1	39 28.9	2 1.5
	70歳以上	165 100.0	5 3.0	41 24.8	6 3.6	39 23.6	7 4.2	38 23.0	26 15.8	3 1.8
	男性	516 100.0	34 6.6	95 18.4	22 4.3	181 35.1	18 3.5	52 10.1	110 21.3	4 0.8
	20歳代	40 100.0	1 2.5	6 15.0	3 7.5	16 40.0	5 12.5	4 10.0	5 12.5	-
	30歳代	51 100.0	4 7.8	8 15.7	3 5.9	23 45.1	1 2.0	2 3.9	10 19.6	-
	40歳代	88 100.0	6 6.8	20 22.7	5 5.7	40 45.5	2 2.3	6 6.8	8 9.1	1 1.1
	50歳代	118 100.0	7 5.9	21 17.8	3 2.5	38 32.2	5 4.2	6 5.1	38 32.2	-
	60歳代	91 100.0	9 9.9	19 20.9	6 6.6	25 27.5	3 3.3	6 6.6	22 24.2	1 1.1
	70歳以上	124 100.0	7 5.6	21 16.9	2 1.6	37 29.8	2 1.6	28 22.6	25 20.2	2 1.6

第4章 集計表

■問4 生活の中での優先度（現実）

	調査数	「仕事」を優先している	「家庭生活」を優先している	「地域・個人の生活」を優先している	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「仕事」と「地域・個人の生活」と「家庭生活」をともに優先している	無回答	
全体	1286 100.0	275 21.4	334 26.0	43 3.3	371 28.8	37 2.9	117 9.1	94 7.3	15 1.2	
性・年齢別	女性	758 100.0	126 16.6	257 33.9	17 2.2	208 27.4	16 2.1	77 10.2	50 6.6	7 0.9
	20歳代	52 100.0	21 40.4	10 19.2	2 3.8	8 15.4	1 1.9	4 7.7	6 11.5	-
	30歳代	85 100.0	19 22.4	29 34.1	-	25 29.4	2 2.4	5 5.9	5 5.9	-
	40歳代	133 100.0	24 18.0	49 36.8	1 0.8	40 30.1	5 3.8	4 3.0	10 7.5	-
	50歳代	186 100.0	35 18.8	64 34.4	4 2.2	58 31.2	3 1.6	8 4.3	14 7.5	-
	60歳代	135 100.0	13 9.6	43 31.9	4 3.0	42 31.1	3 2.2	20 14.8	7 5.2	3 2.2
	70歳以上	165 100.0	13 7.9	62 37.6	6 3.6	34 20.6	2 1.2	36 21.8	8 4.8	4 2.4
	男性	516 100.0	147 28.5	75 14.5	26 5.0	159 30.8	21 4.1	39 7.6	42 8.1	7 1.4
	20歳代	40 100.0	12 30.0	7 17.5	5 12.5	9 22.5	5 12.5	-	1 2.5	1 2.5
	30歳代	51 100.0	22 43.1	2 3.9	1 2.0	20 39.2	1 2.0	1 2.0	4 7.8	-
	40歳代	88 100.0	36 40.9	9 10.2	4 4.5	32 36.4	1 1.1	1 1.1	3 3.4	2 2.3
	50歳代	118 100.0	46 39.0	11 9.3	6 5.1	41 34.7	2 1.7	2 1.7	10 8.5	-
	60歳代	91 100.0	23 25.3	16 17.6	8 8.8	22 24.2	3 3.3	5 5.5	13 14.3	1 1.1
	70歳以上	124 100.0	8 6.5	30 24.2	2 1.6	34 27.4	7 5.6	30 24.2	10 8.1	3 2.4

■問5 男女が家事等を積極的に担うために必要なこと

	調査数	男性が家事や子育てを積極的に担うこと	女性が家事や子育てを積極的に担うこと	男性が仕事中心の考え方を改め、家事などを担うことに対する抵抗感をなくす	女性が子育てや介護、地域活動を活発に行うことができるような仲間（ネットワーク）づくりを支援すること	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる	仕事と家庭の両立を支援するための保育や休業制度などを充実させる	企業が、男女ともに家庭と仕事を両立できる職場環境を整える	在宅勤務など、多様な働き方を進めることで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする	その他	無回答		
全体	1286 100.0	179 13.9	267 20.8	492 38.3	199 15.5	217 16.9	658 51.2	578 44.9	792 61.6	495 38.5	62 4.8	15 1.2	
性・年齢別	女性	758 100.0	106 14.0	176 23.2	334 44.1	146 19.3	146 19.3	399 52.6	372 49.1	490 64.6	285 37.6	34 4.5	10 1.3
	20歳代	52 100.0	5 9.6	13 25.0	30 57.7	8 15.4	8 15.4	27 51.9	26 50.0	38 73.1	26 50.0	-	2 3.8
	30歳代	85 100.0	10 11.8	34 40.0	38 44.7	16 18.8	14 16.5	52 61.2	54 63.5	60 70.6	42 49.4	9 10.6	-
	40歳代	133 100.0	12 9.0	24 18.0	53 39.8	14 10.5	18 13.5	63 47.4	59 44.4	85 63.9	45 33.8	10 7.5	-
	50歳代	186 100.0	28 15.1	49 26.3	91 48.9	43 23.1	37 19.9	93 50.0	90 48.4	126 67.7	80 43.0	4 2.2	-
	60歳代	135 100.0	20 14.8	24 17.8	54 40.0	26 19.3	26 19.3	77 57.0	68 50.4	90 66.7	45 33.3	8 5.9	4 3.0
	70歳以上	165 100.0	31 18.8	32 19.4	68 41.2	39 23.6	43 26.1	86 52.1	75 45.5	90 54.5	47 28.5	3 1.8	4 2.4
	男性	516 100.0	71 13.8	90 17.4	155 30.0	52 10.1	71 13.8	252 48.8	201 39.0	297 57.6	206 39.9	28 5.4	4 0.8
	20歳代	40 100.0	4 10.0	9 22.5	16 40.0	4 10.0	4 10.0	21 52.5	16 40.0	25 62.5	22 55.0	2 5.0	-
	30歳代	51 100.0	4 7.8	15 29.4	16 31.4	8 15.7	5 9.8	24 47.1	21 41.2	37 72.5	29 56.9	1 2.0	-
	40歳代	88 100.0	8 9.1	21 23.9	19 21.6	7 8.0	8 9.1	42 47.7	29 33.0	50 56.8	39 44.3	8 9.1	1 1.1
	50歳代	118 100.0	13 11.0	19 16.1	33 28.0	12 10.2	16 13.6	53 44.9	41 34.7	69 58.5	43 36.4	8 6.8	-
	60歳代	91 100.0	19 20.9	8 8.8	33 36.3	8 8.8	11 12.1	42 46.2	44 48.4	52 57.1	26 28.6	4 4.4	-
	70歳以上	124 100.0	22 17.7	17 13.7	37 29.8	13 10.5	13 21.8	69 55.6	50 40.3	63 50.8	45 36.3	4 3.2	2 1.6

【4 子育てや教育について】

■問6（1）女の子にどのように育ってほしいか

	調査数	あ 思 い や り の	素 直 な 人	果 た す 自 分 の 責 任 を	知 性 豊 か な 人	人 に 頼 ら ない 人	社 会 性 の あ る 人	あ る 社 会 的 地 位 の	生 活 力 の あ る 人	す 親 を 大 切 に	貫 自 分 の 意 志 を	そ の 他	無 回 答	
全 体	1286 100.0	1120 87.1	846 65.8	861 67.0	704 54.7	294 22.9	855 66.5	109 8.5	771 60.0	765 59.5	491 38.2	78 6.1	100 7.8	
性・年齢別	女性	758 100.0	680 89.7	516 68.1	531 70.1	429 56.6	177 23.4	515 67.9	65 8.6	481 63.5	460 60.7	295 38.9	52 6.9	51 6.7
	20歳代	52 100.0	49 94.2	42 80.8	39 75.0	38 73.1	8 15.4	38 73.1	5 9.6	37 71.2	38 73.1	31 59.6	3 5.8	-
	30歳代	85 100.0	75 88.2	58 68.2	57 67.1	46 54.1	11 12.9	54 63.5	10 11.8	59 69.4	43 50.6	32 37.6	12 14.1	6 7.1
	40歳代	133 100.0	118 88.7	95 71.4	90 67.7	64 48.1	21 15.8	90 67.7	12 9.0	80 60.2	77 57.9	55 41.4	10 7.5	11 8.3
	50歳代	186 100.0	169 90.9	136 73.1	133 71.5	111 59.7	48 25.8	140 75.3	16 8.6	132 71.0	118 63.4	69 37.1	8 4.3	11 5.9
	60歳代	135 100.0	124 91.9	80 59.3	98 72.6	83 61.5	28 20.7	90 66.7	9 6.7	88 65.2	76 56.3	43 31.9	11 8.1	7 5.2
	70歳以上	165 100.0	143 86.7	103 62.4	112 67.9	86 52.1	60 36.4	101 61.2	13 7.9	83 50.3	106 64.2	64 38.8	8 4.8	16 9.7
	男性	516 100.0	433 83.9	325 63.0	326 63.2	269 52.1	115 22.3	336 65.1	44 8.5	286 55.4	300 58.1	195 37.8	25 4.8	46 8.9
	20歳代	40 100.0	34 85.0	32 80.0	29 72.5	23 57.5	3 7.5	31 77.5	8 20.0	26 65.0	27 67.5	28 70.0	1 2.5	1 2.5
	30歳代	51 100.0	46 90.2	39 76.5	30 58.8	31 60.8	7 13.7	40 78.4	7 13.7	36 70.6	28 54.9	24 47.1	5 9.8	3 5.9
	40歳代	88 100.0	68 77.3	54 61.4	54 61.4	45 51.1	16 18.2	58 65.9	7 8.0	50 56.8	47 53.4	27 30.7	6 6.8	11 12.5
	50歳代	118 100.0	102 86.4	80 67.8	79 66.9	61 51.7	24 20.3	75 63.6	7 5.9	71 60.2	69 58.5	38 32.2	6 5.1	7 5.9
	60歳代	91 100.0	79 86.8	48 52.7	55 60.4	49 53.8	24 26.4	56 61.5	8 8.8	48 52.7	44 48.4	33 36.3	1 1.1	10 11.0
	70歳以上	124 100.0	100 80.6	68 54.8	75 60.5	57 46.0	40 32.3	73 58.9	7 5.6	51 41.1	81 65.3	44 35.5	6 4.8	14 11.3

■問6（2）男の子にどのように育ってほしいか

	調査数	あ 思 い や り の	素 直 な 人	果 た す 自 分 の 責 任 を	知 性 豊 か な 人	人 に 頼 ら ない 人	社 会 性 の あ る 人	あ る 社 会 的 地 位 の	生 活 力 の あ る 人	す 親 を 大 切 に	貫 自 分 の 意 志 を	そ の 他	無 回 答	
全 体	1286 100.0	1113 86.5	808 62.8	970 75.4	724 56.3	352 27.4	900 70.0	182 14.2	911 70.8	756 58.8	543 42.2	75 5.8	85 6.6	
性・年齢別	女性	758 100.0	676 89.2	487 64.2	576 76.0	439 57.9	202 26.6	547 72.2	108 14.2	554 73.1	458 60.4	309 40.8	49 6.5	47 6.2
	20歳代	52 100.0	48 92.3	40 76.9	42 80.8	39 75.0	11 21.2	38 73.1	9 17.3	38 73.1	38 73.1	33 63.5	3 5.8	-
	30歳代	85 100.0	77 90.6	60 70.6	61 71.8	47 55.3	9 10.6	57 67.1	11 12.9	62 72.9	45 52.9	32 37.6	11 12.9	4 4.7
	40歳代	133 100.0	111 83.5	88 66.2	94 70.7	64 48.1	23 17.3	86 64.7	19 14.3	89 66.9	72 54.1	51 38.3	9 6.8	16 12.0
	50歳代	186 100.0	167 89.8	122 65.6	141 75.8	111 59.7	55 29.6	145 78.0	29 15.6	147 79.0	119 64.0	74 39.8	8 4.3	12 6.5
	60歳代	135 100.0	128 94.8	81 60.0	109 80.7	85 63.0	34 25.2	100 74.1	18 13.3	104 77.0	81 60.0	48 35.6	11 8.1	3 2.2
	70歳以上	165 100.0	143 86.7	94 57.0	127 77.0	92 55.8	69 41.8	119 72.1	21 12.7	112 67.9	101 61.2	70 42.4	7 4.2	12 7.3
	男性	516 100.0	430 83.3	317 61.4	388 75.2	278 53.9	148 28.7	348 67.4	73 14.1	351 68.0	294 57.0	232 45.0	25 4.8	36 7.0
	20歳代	40 100.0	34 85.0	31 77.5	31 77.5	25 62.5	7 17.5	31 77.5	14 35.0	27 67.5	25 62.5	29 72.5	1 2.5	1 2.5
	30歳代	51 100.0	49 96.1	38 74.5	38 74.5	34 66.7	12 23.5	38 74.5	9 17.6	42 82.4	29 56.9	31 60.8	5 9.8	-
	40歳代	88 100.0	68 77.3	54 61.4	66 75.0	49 55.7	17 19.3	62 70.5	10 11.4	63 71.6	47 53.4	33 37.5	6 6.8	8 9.1
	50歳代	118 100.0	101 85.6	77 65.3	87 73.7	60 50.8	33 28.0	78 66.1	11 9.3	79 66.9	66 55.9	43 36.4	5 4.2	9 7.6
	60歳代	91 100.0	79 86.8	51 56.0	69 75.8	52 57.1	29 31.9	61 67.0	9 9.9	62 68.1	46 50.5	40 44.0	2 2.2	5 5.5
	70歳以上	124 100.0	95 76.6	62 50.0	93 75.0	55 44.4	49 39.5	75 60.5	19 15.3	74 59.7	77 62.1	55 44.4	6 4.8	13 10.5

第4章 集計表

■問7 学校教育で特に力を入れるべきこと

	調査数	育男女平等の意識を	育男女平等の意識を	日常生活指導や進路指導に個性や能力をいかせるよう配慮する	生活指導や進路指導に個性や能力をいかせるよう配慮する	研修職員への男女平等	増やしていく女性を	校長や副校長などの	性教育を充実する	健康に理解を深める	男女が互いの性と	その他	特にな	無回答
全体	1286 100.0	520 40.4	673 52.3	822 63.9	353 27.4	359 27.9	608 47.3	63 4.9	32 2.5	16 1.2				
性・年齢別	女性	758 100.0	300 39.6	404 53.3	520 68.6	217 28.6	228 30.1	394 52.0	37 4.9	16 2.1	11 1.5			
	20歳代	52 100.0	25 48.1	22 42.3	37 71.2	14 26.9	29 55.8	30 57.7	2 3.8	-	-			
	30歳代	85 100.0	31 36.5	39 45.9	60 70.6	24 28.2	29 34.1	57 67.1	5 5.9	1 1.2	-			
	40歳代	133 100.0	35 26.3	71 53.4	80 60.2	26 19.5	39 29.3	58 43.6	8 6.0	4 3.0	1 0.8			
	50歳代	186 100.0	72 38.7	108 58.1	122 65.6	58 31.2	56 30.1	90 48.4	12 6.5	4 2.2	2 1.1			
	60歳代	135 100.0	57 42.2	77 57.0	96 71.1	47 34.8	38 28.1	71 52.6	4 3.0	5 3.7	3 2.2			
	70歳以上	165 100.0	80 48.5	85 51.5	125 75.8	47 28.5	36 21.8	88 53.3	6 3.6	2 1.2	5 3.0			
	男性	516 100.0	215 41.7	265 51.4	295 57.2	131 25.4	129 25.0	207 40.1	26 5.0	15 2.9	5 1.0			
	20歳代	40 100.0	14 35.0	17 42.5	23 57.5	5 12.5	10 25.0	17 42.5	-	-	-			
	30歳代	51 100.0	19 37.3	21 41.2	23 45.1	10 19.6	11 21.6	23 45.1	3 5.9	5 9.8	-			
	40歳代	88 100.0	25 28.4	40 45.5	41 46.6	18 20.5	17 19.3	31 35.2	9 10.2	2 2.3	4 4.5			
	50歳代	118 100.0	53 44.9	60 50.8	73 61.9	31 26.3	32 27.1	41 34.7	4 3.4	4 3.4	-			
	60歳代	91 100.0	40 44.0	52 57.1	52 57.1	27 29.7	24 26.4	36 39.6	3 3.3	2 2.2	-			
	70歳以上	124 100.0	63 50.8	73 58.9	81 65.3	40 32.3	32 25.8	57 46.0	6 4.8	2 1.6	1 0.8			

【5 介護について】

■問8 介護が必要な家族の有無

	調査数	いる	いない	無回答	
全体	1286 100.0	176 13.7	1098 85.4	12 0.9	
性・年齢別	女性	758 100.0	104 13.7	644 85.0	10 1.3
	20歳代	52 100.0	3 5.8	49 94.2	-
	30歳代	85 100.0	5 5.9	79 92.9	1 1.2
	40歳代	133 100.0	12 9.0	121 91.0	-
	50歳代	186 100.0	40 21.5	144 77.4	2 1.1
	60歳代	135 100.0	22 16.3	111 82.2	2 1.5
	70歳以上	165 100.0	22 13.3	138 83.6	5 3.0
	男性	516 100.0	70 13.6	444 86.0	2 0.4
	20歳代	40 100.0	2 5.0	38 95.0	-
	30歳代	51 100.0	2 3.9	49 96.1	-
	40歳代	88 100.0	8 9.1	80 90.9	-
	50歳代	118 100.0	24 20.3	94 79.7	-
	60歳代	91 100.0	15 16.5	76 83.5	-
	70歳以上	124 100.0	18 14.5	104 83.9	2 1.6

■問8-1 家庭内で主に介護を行っている人

	調査数	配偶者	娘	息子	息子の配偶者	その他の家族	ホームヘルパーなどを利用している	高齢者向け施設や病院に在所して設ける	その他	無回答	
全体	176 100.0	48 27.3	30 17.0	15 8.5	5 2.8	16 9.1	11 6.3	47 26.7	3 1.7	1 0.6	
性・年齢別	女性	104 100.0	26 25.0	23 22.1	5 4.8	4 3.8	9 8.7	4 3.8	30 28.8	3 2.9	-
	20歳代	3 100.0	-	-	-	-	2 66.7	-	1 33.3	-	-
	30歳代	5 100.0	1 20.0	1 20.0	-	-	1 20.0	-	2 40.0	-	-
	40歳代	12 100.0	4 33.3	2 16.7	-	-	3 25.0	1 8.3	2 16.7	-	-
	50歳代	40 100.0	6 15.0	11 27.5	1 2.5	3 7.5	2 5.0	2 5.0	15 37.5	-	-
	60歳代	22 100.0	6 27.3	5 22.7	1 4.5	1 4.5	-	1 4.5	7 31.8	1 4.5	-
	70歳以上	22 100.0	9 40.9	4 18.2	3 13.6	-	1 4.5	-	3 13.6	2 9.1	-
	男性	70 100.0	21 30.0	7 10.0	10 14.3	1 1.4	7 10.0	7 10.0	17 24.3	-	-
	20歳代	2 100.0	-	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	-	-
	30歳代	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-
	40歳代	8 100.0	1 12.5	-	2 25.0	-	2 25.0	-	3 37.5	-	-
	50歳代	24 100.0	7 29.2	4 16.7	5 20.8	-	2 8.3	3 12.5	3 12.5	-	-
	60歳代	15 100.0	4 26.7	-	3 20.0	-	-	3 20.0	5 33.3	-	-
	70歳以上	18 100.0	7 38.9	2 11.1	-	1 5.6	3 16.7	-	5 27.8	-	-

■問9 自身が高齢になった時に介護をしてほしい人

	調査数	配偶者	娘	息子	息子の配偶者	その他の家族	ホームヘルパーなどの在宅介護サービスを利用する	高齢者向け施設や病院で介護をしてもらう	その他	わからない	無回答	
全体	1286 100.0	197 15.3	67 5.2	25 1.9	2 0.2	5 0.4	394 30.6	367 28.5	22 1.7	164 12.8	43 3.3	
性・年齢別	女性	758 100.0	75 9.9	52 6.9	10 1.3	1 0.1	4 0.5	258 34.0	232 30.6	13 1.7	87 11.5	26 3.4
	20歳代	52 100.0	5 9.6	7 13.5	1 1.9	-	-	14 26.9	12 23.1	-	10 19.2	3 5.8
	30歳代	85 100.0	9 10.6	3 3.5	-	-	-	20 23.5	31 36.5	1 1.2	17 20.0	4 4.7
	40歳代	133 100.0	12 9.0	7 5.3	-	-	2 1.5	41 30.8	46 34.6	1 0.8	19 14.3	5 3.8
	50歳代	186 100.0	13 7.0	15 8.1	2 1.1	-	-	65 34.9	56 30.1	5 2.7	19 10.2	11 5.9
	60歳代	135 100.0	10 7.4	8 5.9	4 3.0	-	1 0.7	49 36.3	46 34.1	2 1.5	14 10.4	1 0.7
	70歳以上	165 100.0	26 15.8	12 7.3	3 1.8	1 0.6	-	68 41.2	41 24.8	4 2.4	8 4.8	2 1.2
	男性	516 100.0	121 23.4	15 2.9	15 2.9	1 0.2	1 0.2	130 25.2	133 25.8	9 1.7	75 14.5	16 3.1
	20歳代	40 100.0	5 12.5	1 2.5	2 5.0	-	-	7 17.5	8 20.0	2 5.0	11 27.5	4 10.0
	30歳代	51 100.0	6 11.8	-	4 7.8	-	1 2.0	8 15.7	19 37.3	1 2.0	10 19.6	2 3.9
	40歳代	88 100.0	14 15.9	-	3 3.4	1 1.1	-	24 27.3	28 31.8	1 1.1	15 17.0	2 2.3
	50歳代	118 100.0	26 22.0	5 4.2	1 0.8	-	-	35 29.7	29 24.6	3 2.5	18 15.3	1 0.8
	60歳代	91 100.0	23 25.3	3 3.3	1 1.1	-	-	28 30.8	22 24.2	2 2.2	9 9.9	3 3.3
	70歳以上	124 100.0	46 37.1	6 4.8	4 3.2	-	-	27 21.8	27 21.8	-	11 8.9	3 2.4

■問10 家庭内での介護は女性が担いがちであることに対する考え

	調査数	介護は女性が主体的に必要ならむ	女性が中心になりやすい	男性も女性も同じ	女性が中心になりやすい	だと思はう女性の役割	その他	わからない	無回答	
全体	1286 100.0	131 10.2	60 4.7	781 60.7	147 11.4	4 0.3	93 7.2	43 3.3	27 2.1	
性・年齢別	女性	758 100.0	76 10.0	25 3.3	476 62.8	91 12.0	2 0.3	57 7.5	14 1.8	17 2.2
	20歳代	52 100.0	7 13.5	5 9.6	35 67.3	1 1.9	-	2 3.8	1 1.9	1 1.9
	30歳代	85 100.0	3 3.5	4 4.7	50 58.8	8 9.4	-	14 16.5	3 3.5	3 3.5
	40歳代	133 100.0	11 8.3	6 4.5	83 62.4	15 11.3	-	13 9.8	3 2.3	2 1.5
	50歳代	186 100.0	27 14.5	3 1.6	115 61.8	19 10.2	-	16 8.6	1 0.5	5 2.7
	60歳代	135 100.0	10 7.4	5 3.7	90 66.7	16 11.9	-	8 5.9	4 3.0	2 1.5
	70歳以上	165 100.0	17 10.3	2 1.2	103 62.4	32 19.4	2 1.2	3 1.8	2 1.2	4 2.4
	男性	516 100.0	55 10.7	35 6.8	298 57.8	55 10.7	2 0.4	34 6.6	28 5.4	9 1.7
	20歳代	40 100.0	4 10.0	5 12.5	24 60.0	3 7.5	-	-	2 5.0	2 5.0
	30歳代	51 100.0	4 7.8	4 7.8	28 54.9	4 7.8	-	4 7.8	5 9.8	2 3.9
	40歳代	88 100.0	6 6.8	5 5.7	52 59.1	4 4.5	1 1.1	13 14.8	6 6.8	1 1.1
	50歳代	118 100.0	12 10.2	7 5.9	78 66.1	10 8.5	-	6 5.1	4 3.4	1 0.8
	60歳代	91 100.0	13 14.3	5 5.5	49 53.8	13 14.3	-	7 7.7	3 3.3	1 1.1
	70歳以上	124 100.0	16 12.9	9 7.3	63 50.8	21 16.9	1 0.8	4 3.2	8 6.5	2 1.6

第4章 集計表

【6 就労・職場について】

■問11 現在の職業

	調査数	家族従業員・自由業・ 自営業	常勤(正社員、 フルタイム)	パート社員・アルバイ ト	その他	職業には就いていない (専業主婦、学生など)	無回答
全体	1286 100.0	111 8.6	428 33.3	308 24.0	22 1.7	348 27.1	69 5.4
女性	758 100.0	50 6.6	182 24.0	228 30.1	9 1.2	246 32.5	43 5.7
20歳代	52 100.0	2 3.8	30 57.7	10 19.2	-	10 19.2	-
30歳代	85 100.0	7 8.2	42 49.4	21 24.7	-	15 17.6	-
40歳代	133 100.0	5 3.8	47 35.3	54 40.6	1 0.8	24 18.0	2 1.5
50歳代	186 100.0	18 9.7	53 28.5	74 39.8	2 1.1	33 17.7	6 3.2
60歳代	135 100.0	9 6.7	7 5.2	45 33.3	4 3.0	63 46.7	7 5.2
70歳以上	165 100.0	9 5.5	3 1.8	23 13.9	2 1.2	100 60.6	28 17.0
男性	516 100.0	60 11.6	242 46.9	77 14.9	13 2.5	100 19.4	24 4.7
20歳代	40 100.0	-	17 42.5	11 27.5	-	12 30.0	-
30歳代	51 100.0	5 9.8	37 72.5	4 7.8	2 3.9	1 2.0	2 3.9
40歳代	88 100.0	8 9.1	70 79.5	3 3.4	2 2.3	4 4.5	1 1.1
50歳代	118 100.0	12 10.2	89 75.4	5 4.2	2 1.7	5 4.2	5 4.2
60歳代	91 100.0	16 17.6	27 29.7	31 34.1	2 2.2	14 15.4	1 1.1
70歳以上	124 100.0	17 13.7	1 0.8	23 18.5	5 4.0	63 50.8	15 12.1

■問11-1 在宅ワークの有無

	調査数	している	していない	無回答
全体	847 100.0	221 26.1	602 71.1	24 2.8
女性	460 100.0	93 20.2	361 78.5	6 1.3
20歳代	42 100.0	10 23.8	32 76.2	-
30歳代	70 100.0	18 25.7	52 74.3	-
40歳代	106 100.0	20 18.9	85 80.2	1 0.9
50歳代	145 100.0	31 21.4	113 77.9	1 0.7
60歳代	61 100.0	8 13.1	51 83.6	2 3.3
70歳以上	35 100.0	6 17.1	27 77.1	2 5.7
男性	379 100.0	126 33.2	235 62.0	18 4.7
20歳代	28 100.0	5 17.9	22 78.6	1 3.6
30歳代	46 100.0	12 26.1	33 71.7	1 2.2
40歳代	81 100.0	34 42.0	43 53.1	4 4.9
50歳代	106 100.0	47 44.3	55 51.9	4 3.8
60歳代	74 100.0	20 27.0	50 67.6	4 5.4
70歳以上	41 100.0	6 14.6	32 78.0	3 7.3

■問11-2 職場での男女差

	調査数	募集・採用に 男女差がある	賃金に男女差がある	昇進・昇格に 男女差がある	職務内容・配置に 男女差がある	教育訓練・研修に 男女差がある	育児休業がとりにくい 雰囲気がある	結婚や出産で退職しな ければならないような 雰囲気がある	深夜勤務が男性と女性 に異なる	その他	女性と男性で 異なる	無回答
全体	847 100.0	112 13.2	89 10.5	113 13.3	178 21.0	17 2.0	20 2.4	82 9.7	185 21.8	44 5.2	385 45.5	54 6.4
女性	460 100.0	52 11.3	50 10.9	63 13.7	78 17.0	9 2.0	14 3.0	41 8.9	83 18.0	34 7.4	218 47.4	27 5.9
20歳代	42 100.0	4 9.5	1 2.4	6 14.3	7 16.7	-	-	7 16.7	9 21.4	1 2.4	27 64.3	-
30歳代	70 100.0	9 12.9	8 11.4	18 25.7	16 22.9	1 1.4	4 5.7	10 14.3	25 35.7	5 7.1	26 37.1	3 4.3
40歳代	106 100.0	10 9.4	13 12.3	17 16.0	15 14.2	2 1.9	4 3.8	11 10.4	17 16.0	9 8.5	46 43.4	6 5.7
50歳代	145 100.0	21 14.5	18 12.4	16 11.0	25 17.2	4 2.8	3 2.1	9 6.2	22 15.2	12 8.3	69 47.6	9 6.2
60歳代	61 100.0	5 8.2	7 11.5	4 6.6	10 16.4	1 1.6	2 3.3	3 4.9	6 9.8	4 6.6	32 52.5	4 6.6
70歳以上	35 100.0	3 8.6	3 8.6	2 5.7	5 14.3	1 2.9	1 2.9	1 2.9	4 11.4	3 8.6	17 48.6	5 14.3
男性	379 100.0	58 15.3	39 10.3	50 13.2	99 26.1	8 2.1	6 1.6	41 10.8	101 26.6	10 2.6	162 42.7	26 6.9
20歳代	28 100.0	5 17.9	1 3.6	2 7.1	6 21.4	2 7.1	1 3.6	1 3.6	7 25.0	-	13 46.4	2 7.1
30歳代	46 100.0	11 23.9	2 4.3	7 15.2	17 37.0	-	-	13 28.3	18 39.1	1 2.2	8 17.4	1 2.2
40歳代	81 100.0	15 18.5	10 12.3	7 8.6	24 29.6	2 2.5	2 2.5	17 21.0	22 27.2	1 1.2	33 40.7	5 6.2
50歳代	106 100.0	15 14.2	10 9.4	21 19.8	29 27.4	1 0.9	1 0.9	6 5.7	35 33.0	3 2.8	47 44.3	6 5.7
60歳代	74 100.0	11 14.9	13 17.6	12 16.2	17 23.0	2 2.7	-	4 21.6	16 21.6	2 2.7	36 48.6	5 6.8
70歳以上	41 100.0	1 2.4	3 7.3	1 2.4	5 12.2	1 2.4	1 2.4	1 2.4	3 7.3	3 7.3	24 58.5	6 14.6



■問12 女性が職業を持つことについての考え方

性・年齢別	調査数	女性がよい	女性がよい	女性がよい	女性がよい	女性がよい	女性がよい	女性がよい	女性がよい	女性がよい	女性がよい	女性がよい	女性がよい
		女性がよい	女性がよい	女性がよい	女性がよい	女性がよい	女性がよい	女性がよい	女性がよい	女性がよい	女性がよい	女性がよい	女性がよい
全体	1286 100.0	9 0.7	24 1.9	53 4.1	305 23.7	693 53.9	130 10.1	61 4.7	11 0.9				
女性	758 100.0	2 0.3	17 2.2	29 3.8	172 22.7	418 55.1	83 10.9	31 4.1	6 0.8				
20歳代	52 100.0	-	-	-	12 23.1	31 59.6	7 13.5	2 3.8	-				
30歳代	85 100.0	-	1 1.2	1 1.2	10 11.8	47 55.3	20 23.5	6 7.1	-				
40歳代	133 100.0	1 0.8	1 0.8	4 3.0	30 22.6	68 51.1	20 15.0	8 6.0	1 0.8				
50歳代	186 100.0	1 0.5	2 1.1	7 3.8	7 44	102 54.8	24 12.9	5 2.7	1 0.5				
60歳代	135 100.0	-	4 3.0	7 5.2	34 25.2	80 59.3	6 4.4	3 2.2	1 0.7				
70歳以上	165 100.0	-	9 5.5	10 6.1	42 25.5	88 53.3	6 3.6	7 4.2	3 1.8				
男性	516 100.0	7 1.4	7 1.4	24 4.7	129 25.0	272 52.7	47 9.1	27 5.2	3 0.6				
20歳代	40 100.0	1 2.5	2 5.0	4 10.0	11 27.5	18 45.0	2 5.0	2 5.0	-				
30歳代	51 100.0	2 3.9	-	-	10 19.6	21 41.2	11 21.6	7 13.7	-				
40歳代	88 100.0	1 1.1	-	5 5.7	16 18.2	49 55.7	10 11.4	7 8.0	-				
50歳代	118 100.0	-	1 0.8	1 0.8	29 24.6	69 58.5	13 11.0	4 3.4	1 0.8				
60歳代	91 100.0	2 2.2	-	3 3.3	20 22.0	58 63.7	5 5.5	3 3.3	-				
70歳以上	124 100.0	1 0.8	4 3.2	10 8.1	42 33.9	55 44.4	6 4.8	4 3.2	2 1.6				

■問13 女性が働き続けるために必要なこと

性・年齢別	調査数	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	
		普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る	普及を図る
全体	1286 100.0	833 64.8	802 62.4	434 33.7	594 46.2	582 45.3	578 44.9	413 32.1	617 48.0	488 37.9	638 49.6	37 2.9	16 1.2	4 0.3					
女性	758 100.0	517 68.2	478 63.1	257 33.9	398 52.5	387 51.1	364 48.0	241 31.8	401 52.9	299 39.4	443 58.4	24 3.2	7 0.9	-					
20歳代	52 100.0	38 73.1	32 61.5	21 40.4	17 32.7	26 50.0	27 51.9	19 36.5	34 65.4	22 42.3	36 69.2	1 1.9	-	-					
30歳代	85 100.0	55 64.7	53 62.4	34 40.0	35 41.2	46 54.1	57 67.1	24 28.2	61 71.8	38 44.7	58 68.2	8 9.4	-	-					
40歳代	133 100.0	86 64.7	75 56.4	35 26.3	58 43.6	68 51.1	75 56.4	39 29.3	63 47.4	48 36.1	69 51.9	5 3.8	1 0.8	-					
50歳代	186 100.0	142 76.3	129 69.4	67 36.0	118 63.4	105 56.5	91 48.9	66 35.5	94 50.5	66 35.5	115 61.8	8 4.3	-	-					
60歳代	135 100.0	94 69.6	89 65.9	50 37.0	71 52.6	65 48.1	56 41.5	40 29.6	76 56.3	52 38.5	76 56.3	1 0.7	5 3.7	-					
70歳以上	165 100.0	100 60.6	99 60.0	49 29.7	98 59.4	76 46.1	58 35.2	52 31.5	72 43.6	72 43.6	88 53.3	1 0.6	1 0.6	-					
男性	516 100.0	310 60.1	320 62.0	173 33.5	192 37.2	211 40.9	211 40.9	171 33.1	212 41.1	185 35.9	191 37.0	13 2.5	8 1.6	3 0.6					
20歳代	40 100.0	29 72.5	24 60.0	11 27.5	13 32.5	18 45.0	25 62.5	20 50.0	16 40.0	16 40.0	19 47.5	1 2.5	1 2.5	-					
30歳代	51 100.0	29 56.9	29 56.9	14 27.5	13 25.5	18 35.3	23 45.1	17 33.3	22 43.1	12 23.5	21 41.2	1 2.0	2 3.9	-					
40歳代	88 100.0	51 58.0	44 50.0	25 28.4	23 26.1	26 29.5	37 42.0	29 33.0	34 38.6	31 35.2	30 34.1	4 4.5	2 2.3	-					
50歳代	118 100.0	74 62.7	79 66.9	47 39.8	44 37.3	53 44.9	53 44.9	41 34.7	51 43.2	37 31.4	39 33.1	4 3.4	1 0.8	-					
60歳代	91 100.0	52 57.1	66 72.5	31 34.1	38 41.8	28 30.8	29 31.9	23 25.3	37 40.7	37 40.7	35 38.5	-	1 1.1	1 1.1					
70歳以上	124 100.0	72 58.1	75 60.5	44 35.5	60 48.4	47 37.9	42 33.9	39 31.5	50 40.3	50 40.3	45 36.3	3 2.4	1 0.8	1 0.8					

第4章 集計表

■問14 女性が再就職や起業にチャレンジするために必要なこと

	調査数	気軽に相談できる窓口の充実	育児や介護などの制度の導入	育児や介護により退職した職員の再雇用	個別の状況に応じた柔軟な勤務形態(在宅勤務や短時間勤務など)の導入	再就職準備のための学習機会の提供	再就職準備のためのセミナーや能力向上のための学習機会の提供	女性の起業に関する情報提供や相談体制	託児施設を整備	企業における事業所内の託児施設	地域の保育園・学童保育などの保育サービスの実施	高齢者や病人の世話を支援する制度やサービスの充実	女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力を促す	男性の家事や育児を行う意識や能力を高める	その他	わからない	無回答
全体	1286 100.0	507 39.4	754 58.6	786 61.1	308 24.0	200 15.6	541 42.1	751 58.4	601 46.7	586 45.6	523 40.7	32 2.5	24 1.9	4 0.3			
性・年齢別	女性	758 100.0	307 40.5	464 61.2	480 63.3	186 24.5	319 42.1	453 59.8	401 52.9	383 50.5	357 47.1	17 2.2	12 1.6	1 0.1			
	20歳代	52 100.0	19 36.5	37 71.2	40 76.9	6 11.5	8 15.4	23 44.2	31 59.6	19 36.5	28 53.8	29 55.8	1 1.9	-	-		
	30歳代	85 100.0	44 51.8	47 55.3	56 65.9	15 17.6	17 20.0	39 45.9	58 68.2	35 41.2	51 60.0	48 56.5	6 7.1	1 1.2	-		
	40歳代	133 100.0	42 31.6	83 62.4	79 59.4	22 16.5	8 6.0	43 32.3	73 54.9	59 44.4	63 47.4	65 48.9	5 3.8	2 1.5	-		
	50歳代	186 100.0	75 40.3	122 65.6	129 69.4	48 25.8	29 15.6	73 39.2	117 62.9	107 57.5	93 50.0	93 50.0	5 2.7	1 0.5	-		
	60歳代	135 100.0	52 38.5	79 58.5	86 63.7	45 33.3	23 17.0	68 50.4	78 57.8	82 60.7	65 48.1	55 40.7	-	5 3.7	-		
	70歳以上	165 100.0	75 45.5	96 58.2	90 54.5	49 29.7	39 23.6	72 43.6	95 57.6	97 58.8	82 49.7	67 40.6	-	3 1.8	1 0.6		
	男性	516 100.0	198 38.4	286 55.4	298 57.8	121 23.4	75 14.5	220 42.6	295 57.2	195 37.8	200 38.8	163 31.6	15 2.9	11 2.1	2 0.4		
	20歳代	40 100.0	16 40.0	23 57.5	29 72.5	9 22.5	8 20.0	14 35.0	18 45.0	15 37.5	19 47.5	14 35.0	1 2.5	-	-		
	30歳代	51 100.0	17 33.3	29 56.9	31 60.8	7 13.7	8 15.7	27 52.9	28 54.9	13 25.5	15 29.4	16 31.4	-	5 9.8	-		
	40歳代	88 100.0	27 30.7	50 56.8	53 60.2	22 25.0	6 6.8	35 39.8	45 51.1	25 28.4	28 31.8	28 31.8	5 5.7	3 3.4	-		
	50歳代	118 100.0	49 41.5	62 52.5	71 60.2	27 22.9	18 15.3	48 40.7	77 65.3	50 42.4	50 42.4	36 30.5	4 3.4	2 1.7	-		
	60歳代	91 100.0	34 37.4	58 63.7	43 47.3	21 23.1	14 15.4	40 44.0	56 61.5	40 44.0	34 37.4	24 26.4	2 2.2	1 1.1	-		
	70歳以上	124 100.0	52 41.9	62 50.0	69 55.6	34 27.4	20 16.1	54 43.5	70 56.5	50 40.3	51 41.1	43 34.7	3 2.4	-	2 1.6		

■問15(1) 育児休業制度を利用することへの意識

	調査数	利用したい	そ利用しないが利用でき	利用したくない	わからない	無回答	
全体	1286 100.0	840 65.3	211 16.4	29 2.3	160 12.4	46 3.6	
性・年齢別	女性	758 100.0	559 73.7	83 10.9	10 1.3	77 10.2	29 3.8
	20歳代	52 100.0	47 90.4	3 5.8	-	2 3.8	-
	30歳代	85 100.0	65 76.5	9 10.6	1 1.2	9 10.6	1 1.2
	40歳代	133 100.0	100 75.2	20 15.0	1 0.8	10 7.5	2 1.5
	50歳代	186 100.0	126 67.7	23 12.4	2 1.1	29 15.6	6 3.2
	60歳代	135 100.0	104 77.0	10 7.4	2 1.5	12 8.9	7 5.2
	70歳以上	165 100.0	115 69.7	18 10.9	4 2.4	15 9.1	13 7.9
	男性	516 100.0	275 53.3	125 24.2	19 3.7	82 15.9	15 2.9
	20歳代	40 100.0	28 70.0	5 12.5	2 5.0	5 12.5	-
	30歳代	51 100.0	24 47.1	17 33.3	4 7.8	6 11.8	-
40歳代	88 100.0	42 47.7	26 29.5	5 5.7	14 15.9	1 1.1	
50歳代	118 100.0	58 49.2	39 33.1	2 1.7	18 15.3	1 0.8	
60歳代	91 100.0	49 53.8	18 19.8	4 4.4	18 19.8	2 2.2	
70歳以上	124 100.0	72 58.1	19 15.3	2 1.6	21 16.9	10 8.1	

(2) 介護休業制度を利用することへの意識

	調査数	利用したい	そ利用しないが利用でき	利用したくない	わからない	無回答	
全体	1286 100.0	872 67.8	223 17.3	22 1.7	137 10.7	32 2.5	
性・年齢別	女性	758 100.0	562 74.1	106 14.0	6 0.8	65 8.6	19 2.5
	20歳代	52 100.0	41 78.8	5 9.6	-	6 11.5	-
	30歳代	85 100.0	62 72.9	7 8.2	1 1.2	14 16.5	1 1.2
	40歳代	133 100.0	96 72.2	25 18.8	1 0.8	10 7.5	1 0.8
	50歳代	186 100.0	142 76.3	31 16.7	1 0.5	10 5.4	2 1.1
	60歳代	135 100.0	105 77.8	14 10.4	1 0.7	10 7.4	5 3.7
	70歳以上	165 100.0	114 69.1	24 14.5	2 1.2	15 9.1	10 6.1
	男性	516 100.0	304 58.9	114 22.1	15 2.9	71 13.8	12 2.3
	20歳代	40 100.0	26 65.0	4 10.0	1 2.5	9 22.5	-
	30歳代	51 100.0	25 49.0	14 27.5	3 5.9	9 17.6	-
40歳代	88 100.0	53 60.2	23 26.1	4 4.5	7 8.0	1 1.1	
50歳代	118 100.0	67 56.8	37 31.4	1 0.8	13 11.0	-	
60歳代	91 100.0	55 60.4	15 16.5	5 5.5	14 15.4	2 2.2	
70歳以上	124 100.0	76 61.3	20 16.1	1 0.8	19 15.3	8 6.5	

■問16 男性が育児休業を取得することへの意識

	調査数	男性が育児休業を必要としない	男性が育児休業をとりやすい方がよい	男性も一定期間育児休業を取るようにした方がよい	その他	無回答	
全体	1286 100.0	34 2.6	414 32.2	780 60.7	43 3.3	15 1.2	
性・年齢別	女性	758 100.0	20 2.6	242 31.9	456 60.2	29 3.8	11 1.5
	20歳代	52 100.0	-	7 13.5	43 82.7	2 3.8	-
	30歳代	85 100.0	1 1.2	17 20.0	59 69.4	8 9.4	-
	40歳代	133 100.0	5 3.8	48 36.1	69 51.9	11 8.3	-
	50歳代	186 100.0	4 2.2	73 39.2	105 56.5	4 2.2	-
	60歳代	135 100.0	5 3.7	46 34.1	78 57.8	3 2.2	3 2.2
	70歳以上	165 100.0	5 3.0	50 30.3	101 61.2	1 0.6	8 4.8
	男性	516 100.0	13 2.5	170 32.9	316 61.2	14 2.7	3 0.6
	20歳代	40 100.0	1 2.5	13 32.5	26 65.0	-	-
	30歳代	51 100.0	3 5.9	15 29.4	29 56.9	4 7.8	-
	40歳代	88 100.0	4 4.5	25 28.4	55 62.5	4 4.5	-
	50歳代	118 100.0	2 1.7	46 39.0	69 58.5	1 0.8	-
	60歳代	91 100.0	1 1.1	38 41.8	49 53.8	3 3.3	-
	70歳以上	124 100.0	2 1.6	33 26.6	85 68.5	2 1.6	2 1.6

【7 人権について】

■問17 「セクシュアル・ハラスメント」を受けた経験

	調査数	聞かされた	聞かされたが、聞いていない	「女(男)差別の言動をされた」と「女(男)だから」と	身体をさわられた	宴会などでお酌やデユエントを強要された	交際を強要された	性的なうわさをたてられた	結婚や交際についてしつこく聞かれた	容姿について言われた	したたりつきまわられたり	帰宅中などに後をつけられたり	や性的な内容の手紙や電話を受けた	たり、貼られたりした	その他	特にな	無回答	
全体	1286 100.0	121 9.4	255 19.8	200 15.6	148 11.5	25 1.9	27 2.1	91 7.1	142 11.0	84 6.5	40 3.1	17 1.3	22 1.7	691 53.7	81 6.3			
性・年齢別	女性	758 100.0	95 12.5	199 26.3	186 24.5	131 17.3	20 2.6	18 2.4	73 9.6	110 14.5	76 10.0	37 4.9	14 1.8	19 2.5	315 41.6	31 4.1		
	20歳代	52 100.0	8 15.4	18 34.6	18 34.6	2 3.8	1 1.9	3 5.8	9 17.3	8 15.4	11 21.2	2 3.8	-	-	22 42.3	1 1.9		
	30歳代	85 100.0	19 22.4	23 27.1	25 29.4	15 17.6	3 3.5	5 5.9	19 22.4	22 25.9	18 21.2	7 8.2	3 3.5	1 1.2	31 36.5	1 1.2		
	40歳代	133 100.0	10 7.5	24 18.0	28 21.1	19 14.3	2 1.5	3 2.3	15 11.3	31 23.3	10 7.5	9 6.8	1 0.8	4 3.0	64 48.1	2 1.5		
	50歳代	186 100.0	21 11.3	50 26.9	54 29.0	42 22.6	8 4.3	3 1.6	18 9.7	28 15.1	12 6.5	8 4.3	3 1.6	6 3.2	79 42.5	7 3.8		
	60歳代	135 100.0	25 18.5	47 34.8	36 26.7	32 23.7	2 1.5	3 2.2	9 6.7	12 8.9	5 3.7	5 3.7	3 2.2	5 3.7	45 33.3	5 3.7		
	70歳以上	165 100.0	11 6.7	37 22.4	25 15.2	21 12.7	4 2.4	1 0.6	2 1.2	9 5.5	13 7.9	6 3.6	3 1.8	3 1.8	73 44.2	15 9.1		
	男性	516 100.0	22 4.3	52 10.1	13 2.5	16 3.1	4 0.8	9 1.7	15 2.9	30 5.8	8 1.6	8 0.4	2 0.6	3 0.4	372 72.1	49 9.5		
	20歳代	40 100.0	5 12.5	7 17.5	2 5.0	2 5.0	-	-	3 7.5	4 10.0	3 7.5	2 5.0	-	1 2.5	24 60.0	2 5.0		
	30歳代	51 100.0	4 7.8	6 11.8	3 5.9	1 2.0	2 3.9	3 5.9	2 3.9	2 3.9	1 2.0	4 7.8	-	-	37 72.5	1 2.0		
	40歳代	88 100.0	4 4.5	15 17.0	3 3.4	4 4.5	1 1.1	2 2.3	3 3.4	3 13.6	1 1.1	1 1.1	-	1 1.1	60 68.2	3 3.4		
	50歳代	118 100.0	5 4.2	9 7.6	3 2.5	4 3.4	4 -	1 0.8	6 5.1	6 5.1	1 0.8	1 0.8	2 1.7	-	90 76.3	9 7.6		
	60歳代	91 100.0	1 1.1	8 8.8	1 1.1	1 1.1	-	-	-	4 4.4	-	1 1.1	-	1 1.1	67 73.6	12 13.2		
	70歳以上	124 100.0	1 0.8	6 4.8	-	2 1.6	1 0.8	-	3 2.4	3 2.4	-	-	-	-	93 75.0	21 16.9		

第4章 集計表

■問 17-1 「セクシュアル・ハラスメント」を受けた場所

	調査数	職場	学校	家庭	地域	(SNS) ネット	友人との交流の場	その他	無回答	
全体	514 100.0	384 74.7	101 19.6	67 13.0	99 19.3	12 2.3	62 12.1	39 7.6	9 1.8	
性・年齢別	女性	412 100.0	311 75.5	71 17.2	58 14.1	88 21.4	8 1.9	43 10.4	37 9.0	8 1.9
	20歳代	29 100.0	16 55.2	13 44.8	4 13.8	6 20.7	2 6.9	6 20.7	2 6.9	1 3.4
	30歳代	53 100.0	44 83.0	12 22.6	6 11.3	16 30.2	2 3.8	15 28.3	3 5.7	-
	40歳代	67 100.0	56 83.6	15 22.4	9 13.4	15 22.4	2 3.0	7 10.4	3 4.5	-
	50歳代	100 100.0	83 83.0	19 19.0	14 14.0	18 18.0	1 1.0	6 6.0	10 10.0	2 2.0
	60歳代	85 100.0	67 78.8	6 7.1	15 17.6	19 22.4	-	5 5.9	8 9.4	1 1.2
	70歳以上	77 100.0	44 57.1	6 7.8	10 13.0	14 18.2	-	4 5.2	11 14.3	4 5.2
	男性	95 100.0	70 73.7	28 29.5	7 7.4	10 10.5	4 4.2	17 17.9	2 2.1	1 1.1
	20歳代	14 100.0	6 42.9	8 57.1	2 14.3	1 7.1	-	4 28.6	-	-
	30歳代	13 100.0	11 84.6	3 23.1	-	1 7.7	1 7.7	3 23.1	-	-
	40歳代	25 100.0	20 80.0	9 36.0	1 4.0	2 8.0	2 8.0	4 16.0	1 4.0	-
	50歳代	19 100.0	16 84.2	4 21.1	2 10.5	2 10.5	1 5.3	3 15.8	-	-
	60歳代	12 100.0	10 83.3	2 16.7	2 16.7	1 8.3	-	1 8.3	-	-
	70歳以上	10 100.0	5 50.0	-	-	3 30.0	-	2 20.0	-	1 10.0

■問 18 暴力に対する考え方

(ア) 命の危険を感じるくらいの暴力

(イ) 身体を傷つけられたり、傷つけられる可能性のある行為

	調査数	あんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答	
全体	1286 100.0	1212 94.2	21 1.6	7 0.5	46 3.6	
性・年齢別	女性	758 100.0	715 94.3	10 1.3	7 0.9	26 3.4
	20歳代	52 100.0	52 100.0	-	-	-
	30歳代	85 100.0	83 97.6	1 1.2	1 1.2	-
	40歳代	133 100.0	132 99.2	-	-	1 0.8
	50歳代	186 100.0	181 97.3	1 0.5	2 1.1	2 1.1
	60歳代	135 100.0	127 94.1	5 3.7	-	3 2.2
	70歳以上	165 100.0	138 83.6	3 1.8	4 2.4	20 12.1
	男性	516 100.0	488 94.6	11 2.1	-	17 3.3
	20歳代	40 100.0	40 100.0	-	-	-
	30歳代	51 100.0	50 98.0	1 2.0	-	-
	40歳代	88 100.0	87 98.9	1 1.1	-	-
	50歳代	118 100.0	113 95.8	2 1.7	-	3 2.5
	60歳代	91 100.0	85 93.4	3 3.3	-	3 3.3
	70歳以上	124 100.0	110 88.7	4 3.2	-	10 8.1

	調査数	あんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答	
全体	1286 100.0	1151 89.5	79 6.1	8 0.6	48 3.7	
性・年齢別	女性	758 100.0	689 90.9	36 4.7	7 0.9	26 3.4
	20歳代	52 100.0	51 98.1	1 1.9	-	-
	30歳代	85 100.0	78 91.8	6 7.1	1 1.2	-
	40歳代	133 100.0	127 95.5	5 3.8	-	1 0.8
	50歳代	186 100.0	174 93.5	8 4.3	2 1.1	2 1.1
	60歳代	135 100.0	126 93.3	7 5.2	-	2 1.5
	70歳以上	165 100.0	131 79.4	9 5.5	4 2.4	21 12.7
	男性	516 100.0	454 88.0	43 8.3	1 0.2	18 3.5
	20歳代	40 100.0	33 82.5	7 17.5	-	-
	30歳代	51 100.0	45 88.2	6 11.8	-	-
	40歳代	88 100.0	83 94.3	5 5.7	-	-
	50歳代	118 100.0	109 92.4	6 5.1	-	3 2.5
	60歳代	91 100.0	82 90.1	5 5.5	-	4 4.4
	70歳以上	124 100.0	99 79.8	14 11.3	1 0.8	10 8.1

(ウ) 何を言っても無視をすること

		調査数	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合もあると思う そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体		1286 100.0	514 40.0	614 47.7	104 8.1	54 4.2
性・年齢別	女性	758 100.0	322 42.5	348 45.9	57 7.5	31 4.1
	20歳代	52 100.0	24 46.2	27 51.9	1 1.9	-
	30歳代	85 100.0	38 44.7	40 47.1	7 8.2	-
	40歳代	133 100.0	58 43.6	67 50.4	7 5.3	1 0.8
	50歳代	186 100.0	85 45.7	86 46.2	13 7.0	2 1.1
	60歳代	135 100.0	59 43.7	60 44.4	13 9.6	3 2.2
	70歳以上	165 100.0	57 34.5	67 40.6	16 9.7	25 15.2
	男性	516 100.0	189 36.6	262 50.8	46 8.9	19 3.7
	20歳代	40 100.0	16 40.0	19 47.5	4 10.0	1 2.5
	30歳代	51 100.0	22 43.1	22 43.1	7 13.7	-
	40歳代	88 100.0	30 34.1	53 60.2	5 5.7	-
	50歳代	118 100.0	51 43.2	56 47.5	8 6.8	3 2.5
	60歳代	91 100.0	35 38.5	45 49.5	7 7.7	4 4.4
	70歳以上	124 100.0	34 27.4	66 53.2	14 11.3	10 8.1

(エ) 「誰のおかげで食べられるんだ」などと言うこと

		調査数	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合もあると思う そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体		1286 100.0	807 62.8	370 28.8	60 4.7	49 3.8
性・年齢別	女性	758 100.0	505 66.6	191 25.2	32 4.2	30 4.0
	20歳代	52 100.0	43 82.7	8 15.4	1 1.9	-
	30歳代	85 100.0	66 77.6	15 17.6	4 4.7	-
	40歳代	133 100.0	84 63.2	42 31.6	6 4.5	1 0.8
	50歳代	186 100.0	126 67.7	52 28.0	6 3.2	2 1.1
	60歳代	135 100.0	92 68.1	37 27.4	4 3.0	2 1.5
	70歳以上	165 100.0	93 56.4	36 21.8	11 6.7	25 15.2
	男性	516 100.0	297 57.6	176 34.1	27 5.2	16 3.1
	20歳代	40 100.0	24 60.0	12 30.0	3 7.5	1 2.5
	30歳代	51 100.0	33 64.7	11 21.6	7 13.7	-
	40歳代	88 100.0	47 53.4	35 39.8	6 6.8	-
	50歳代	118 100.0	70 59.3	41 34.7	5 4.2	2 1.7
	60歳代	91 100.0	53 58.2	33 36.3	2 2.2	3 3.3
	70歳以上	124 100.0	67 54.0	44 35.5	4 3.2	9 7.3

(オ) 大声で怒鳴ること

		調査数	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合もあると思う そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体		1286 100.0	673 52.3	498 38.7	67 5.2	48 3.7
性・年齢別	女性	758 100.0	433 57.1	272 35.9	26 3.4	27 3.6
	20歳代	52 100.0	36 69.2	15 28.8	1 1.9	-
	30歳代	85 100.0	47 55.3	34 40.0	4 4.7	-
	40歳代	133 100.0	67 50.4	61 45.9	4 3.0	1 0.8
	50歳代	186 100.0	118 63.4	61 32.8	5 2.7	2 1.1
	60歳代	135 100.0	91 67.4	40 29.6	3 2.2	1 0.7
	70歳以上	165 100.0	73 44.2	60 36.4	9 5.5	23 13.9
	男性	516 100.0	235 45.5	223 43.2	40 7.8	18 3.5
	20歳代	40 100.0	23 57.5	14 35.0	2 5.0	1 2.5
	30歳代	51 100.0	24 47.1	20 39.2	7 13.7	-
	40歳代	88 100.0	32 36.4	45 51.1	11 12.5	-
	50歳代	118 100.0	62 52.5	47 39.8	6 5.1	3 2.5
	60歳代	91 100.0	43 47.3	40 44.0	5 5.5	3 3.3
	70歳以上	124 100.0	49 39.5	56 45.2	9 7.3	10 8.1

(カ) 大切にしているものをわざと壊したり、捨てたりすること

		調査数	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合もあると思う そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体		1286 100.0	920 71.5	280 21.8	31 2.4	55 4.3
性・年齢別	女性	758 100.0	547 72.2	157 20.7	21 2.8	33 4.4
	20歳代	52 100.0	45 86.5	5 9.6	2 3.8	-
	30歳代	85 100.0	67 78.8	17 20.0	1 1.2	-
	40歳代	133 100.0	97 72.9	34 25.6	1 0.8	1 0.8
	50歳代	186 100.0	142 76.3	35 18.8	7 3.8	2 1.1
	60歳代	135 100.0	99 73.3	31 23.0	2 1.5	3 2.2
	70歳以上	165 100.0	95 57.6	35 21.2	8 4.8	27 16.4
	男性	516 100.0	367 71.1	121 23.4	10 1.9	18 3.5
	20歳代	40 100.0	27 67.5	11 27.5	2 5.0	-
	30歳代	51 100.0	40 78.4	9 17.6	2 3.9	-
	40歳代	88 100.0	63 71.6	23 26.1	2 2.3	-
	50歳代	118 100.0	90 76.3	25 21.2	-	3 2.5
	60歳代	91 100.0	67 73.6	20 22.0	1 1.1	3 3.3
	70歳以上	124 100.0	77 62.1	33 26.6	3 2.4	11 8.9

第4章 集計表

(キ) 生活費を渡さないこと

		調査数	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体		1286 100.0	931 72.4	264 20.5	42 3.3	49 3.8
性・年齢別	女性	758 100.0	570 75.2	136 17.9	25 3.3	27 3.6
	20歳代	52 100.0	40 76.9	10 19.2	2 3.8	-
	30歳代	85 100.0	66 77.6	18 21.2	1 1.2	-
	40歳代	133 100.0	97 72.9	31 23.3	4 3.0	1 0.8
	50歳代	186 100.0	155 83.3	25 13.4	4 2.2	2 1.1
	60歳代	135 100.0	108 80.0	23 17.0	3 2.2	1 0.7
	70歳以上	165 100.0	102 61.8	29 17.6	11 6.7	23 13.9
	男性	516 100.0	357 69.2	125 24.2	16 3.1	18 3.5
	20歳代	40 100.0	28 70.0	12 30.0	-	-
	30歳代	51 100.0	31 60.8	17 33.3	3 5.9	-
	40歳代	88 100.0	61 69.3	23 26.1	3 3.4	1 1.1
	50歳代	118 100.0	89 75.4	22 18.6	4 3.4	3 2.5
	60歳代	91 100.0	64 70.3	20 22.0	4 4.4	3 3.3
	70歳以上	124 100.0	82 66.1	30 24.2	2 1.6	10 8.1

(ク) 交友関係や電話、メールなどを細かくチェックすること

		調査数	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体		1286 100.0	672 52.3	463 36.0	96 7.5	55 4.3
性・年齢別	女性	758 100.0	421 55.5	256 33.8	50 6.6	31 4.1
	20歳代	52 100.0	29 55.8	20 38.5	3 5.8	-
	30歳代	85 100.0	47 55.3	31 36.5	7 8.2	-
	40歳代	133 100.0	62 46.6	63 47.4	7 5.3	1 0.8
	50歳代	186 100.0	111 59.7	65 34.9	8 4.3	2 1.1
	60歳代	135 100.0	86 63.7	39 28.9	7 5.2	3 2.2
	70歳以上	165 100.0	84 50.9	38 23.0	18 10.9	25 15.2
	男性	516 100.0	246 47.7	205 39.7	45 8.7	20 3.9
	20歳代	40 100.0	14 35.0	20 50.0	5 12.5	1 2.5
	30歳代	51 100.0	28 54.9	15 29.4	7 13.7	1 2.0
	40歳代	88 100.0	44 50.0	37 42.0	7 8.0	-
	50歳代	118 100.0	60 50.8	44 37.3	11 9.3	3 2.5
	60歳代	91 100.0	41 45.1	42 46.2	4 4.4	4 4.4
	70歳以上	124 100.0	56 45.2	47 37.9	11 8.9	10 8.1

(ケ) 望まない性行為の強要

		調査数	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体		1286 100.0	1034 80.4	189 14.7	11 0.9	52 4.0
性・年齢別	女性	758 100.0	617 81.4	103 13.6	8 1.1	30 4.0
	20歳代	52 100.0	50 96.2	2 3.8	-	-
	30歳代	85 100.0	76 89.4	8 9.4	1 1.2	-
	40歳代	133 100.0	112 84.2	20 15.0	-	1 0.8
	50歳代	186 100.0	157 84.4	25 13.4	2 1.1	2 1.1
	60歳代	135 100.0	114 84.4	17 12.6	1 0.7	3 2.2
	70歳以上	165 100.0	106 64.2	31 18.8	4 2.4	24 14.5
	男性	516 100.0	410 79.5	85 16.5	3 0.6	18 3.5
	20歳代	40 100.0	38 95.0	2 5.0	-	-
	30歳代	51 100.0	43 84.3	7 13.7	-	1 2.0
	40歳代	88 100.0	71 80.7	15 17.0	2 2.3	-
	50歳代	118 100.0	99 83.9	16 13.6	-	3 2.5
	60歳代	91 100.0	68 74.7	20 22.0	-	3 3.3
	70歳以上	124 100.0	88 71.0	25 20.2	1 0.8	10 8.1

(コ) 避妊に非協力

		調査数	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体		1286 100.0	922 71.7	272 21.2	39 3.0	53 4.1
性・年齢別	女性	758 100.0	556 73.4	153 20.2	17 2.2	32 4.2
	20歳代	52 100.0	47 90.4	4 7.7	1 1.9	-
	30歳代	85 100.0	68 80.0	15 17.6	2 2.4	-
	40歳代	133 100.0	104 78.2	28 21.1	-	1 0.8
	50歳代	186 100.0	143 76.9	38 20.4	3 1.6	2 1.1
	60歳代	135 100.0	102 75.6	24 17.8	5 3.7	4 3.0
	70歳以上	165 100.0	91 55.2	43 26.1	6 3.6	25 15.2
	男性	516 100.0	360 69.8	117 22.7	22 4.3	17 3.3
	20歳代	40 100.0	34 85.0	6 15.0	-	-
	30歳代	51 100.0	41 80.4	7 13.7	3 5.9	-
	40歳代	88 100.0	60 68.2	23 26.1	5 5.7	-
	50歳代	118 100.0	93 78.8	18 15.3	4 3.4	3 2.5
	60歳代	91 100.0	58 63.7	27 29.7	3 3.3	3 3.3
	70歳以上	124 100.0	71 57.3	36 29.0	7 5.6	10 8.1

■問19 暴力を受けた経験

(ア) 命の危険を感じるくらいの暴力

	調査数	何度もあった	1、2度あった	まったくくない	無回答	
全体	1286 100.0	8 0.6	56 4.4	1154 89.7	68 5.3	
性・年齢別	女性	758 100.0	5 0.7	46 6.1	671 88.5	36 4.7
	20歳代	52 100.0	-	2 3.8	49 94.2	1 1.9
	30歳代	85 100.0	1 1.2	5 5.9	79 92.9	-
	40歳代	133 100.0	-	6 4.5	125 94.0	2 1.5
	50歳代	186 100.0	2 1.1	17 9.1	164 88.2	3 1.6
	60歳代	135 100.0	2 1.5	7 5.2	120 88.9	6 4.4
	70歳以上	165 100.0	-	8 4.8	133 80.6	24 14.5
	男性	516 100.0	3 0.6	9 1.7	475 92.1	29 5.6
	20歳代	40 100.0	-	1 2.5	38 95.0	1 2.5
	30歳代	51 100.0	-	1 2.0	49 96.1	1 2.0
	40歳代	88 100.0	2 2.3	1 1.1	82 93.2	3 3.4
	50歳代	118 100.0	1 0.8	3 2.5	109 92.4	5 4.2
	60歳代	91 100.0	-	1 1.1	86 94.5	4 4.4
	70歳以上	124 100.0	-	2 1.6	109 87.9	13 10.5

(イ) 身体を傷つけられたり、傷つけられる可能性のある行為

	調査数	何度もあった	1、2度あった	まったくくない	無回答	
全体	1286 100.0	26 2.0	112 8.7	1077 83.7	71 5.5	
性・年齢別	女性	758 100.0	20 2.6	82 10.8	617 81.4	39 5.1
	20歳代	52 100.0	1 1.9	3 5.8	47 90.4	1 1.9
	30歳代	85 100.0	4 4.7	10 11.8	71 83.5	-
	40歳代	133 100.0	1 0.8	15 11.3	115 86.5	2 1.5
	50歳代	186 100.0	6 3.2	26 14.0	151 81.2	3 1.6
	60歳代	135 100.0	4 3.0	19 14.1	104 77.0	8 5.9
	70歳以上	165 100.0	4 2.4	8 4.8	128 77.6	25 15.2
	男性	516 100.0	6 1.2	28 5.4	453 87.8	29 5.6
	20歳代	40 100.0	-	3 7.5	36 90.0	1 2.5
	30歳代	51 100.0	1 2.0	6 11.8	43 84.3	1 2.0
	40歳代	88 100.0	2 2.3	4 4.5	79 89.8	3 3.4
	50歳代	118 100.0	3 2.5	3 2.5	107 90.7	5 4.2
	60歳代	91 100.0	-	7 7.7	80 87.9	4 4.4
	70歳以上	124 100.0	-	5 4.0	106 85.5	13 10.5

(ウ) 何を言っても無視されること

	調査数	何度もあった	1、2度あった	まったくくない	無回答	
全体	1286 100.0	77 6.0	231 18.0	906 70.5	72 5.6	
性・年齢別	女性	758 100.0	53 7.0	134 17.7	532 70.2	39 5.1
	20歳代	52 100.0	2 3.8	4 7.7	45 86.5	1 1.9
	30歳代	85 100.0	3 3.5	13 15.3	69 81.2	-
	40歳代	133 100.0	10 7.5	27 20.3	95 71.4	1 0.8
	50歳代	186 100.0	16 8.6	41 22.0	126 67.7	3 1.6
	60歳代	135 100.0	16 11.9	21 15.6	91 67.4	7 5.2
	70歳以上	165 100.0	6 3.6	28 17.0	104 63.0	27 16.4
	男性	516 100.0	24 4.7	95 18.4	367 71.1	30 5.8
	20歳代	40 100.0	-	5 12.5	34 85.0	1 2.5
	30歳代	51 100.0	2 3.9	9 17.6	39 76.5	1 2.0
	40歳代	88 100.0	5 5.7	16 18.2	64 72.7	3 3.4
	50歳代	118 100.0	8 6.8	21 17.8	84 71.2	5 4.2
	60歳代	91 100.0	4 4.4	21 23.1	61 67.0	5 5.5
	70歳以上	124 100.0	5 4.0	22 17.7	84 67.7	13 10.5

(エ) 「誰のおかげで食べられるんだ」などと言われること

	調査数	何度もあった	1、2度あった	まったくくない	無回答	
全体	1286 100.0	61 4.7	107 8.3	1053 81.9	65 5.1	
性・年齢別	女性	758 100.0	51 6.7	91 12.0	583 76.9	33 4.4
	20歳代	52 100.0	-	2 3.8	49 94.2	1 1.9
	30歳代	85 100.0	4 4.7	4 4.7	77 90.6	-
	40歳代	133 100.0	12 9.0	13 9.8	107 80.5	1 0.8
	50歳代	186 100.0	17 9.1	30 16.1	136 73.1	3 1.6
	60歳代	135 100.0	12 8.9	22 16.3	97 71.9	4 3.0
	70歳以上	165 100.0	6 3.6	20 12.1	115 69.7	24 14.5
	男性	516 100.0	9 1.7	16 3.1	461 89.3	30 5.8
	20歳代	40 100.0	1 2.5	2 5.0	36 90.0	1 2.5
	30歳代	51 100.0	-	2 3.9	48 94.1	1 2.0
	40歳代	88 100.0	3 3.4	2 2.3	79 89.8	4 4.5
	50歳代	118 100.0	2 1.7	4 3.4	107 90.7	5 4.2
	60歳代	91 100.0	2 2.2	2 2.2	83 91.2	4 4.4
	70歳以上	124 100.0	1 0.8	4 3.2	106 85.5	13 10.5

第4章 集計表

(オ) 大声で怒鳴られること

	調査数	何度もあった	1、2度あった	まったくない	無回答	
全体	1286 100.0	145 11.3	292 22.7	783 60.9	66 5.1	
性・年齢別	女性	758 100.0	110 14.5	195 25.7	418 55.1	35 4.6
	20歳代	52 100.0	2 3.8	7 13.5	42 80.8	1 1.9
	30歳代	85 100.0	10 11.8	14 16.5	61 71.8	-
	40歳代	133 100.0	25 18.8	29 21.8	78 58.6	1 0.8
	50歳代	186 100.0	31 16.7	59 31.7	93 50.0	3 1.6
	60歳代	135 100.0	23 17.0	49 36.3	57 42.2	6 4.4
	70歳以上	165 100.0	19 11.5	35 21.2	87 52.7	24 14.5
	男性	516 100.0	32 6.2	94 18.2	361 70.0	29 5.6
	20歳代	40 100.0	1 2.5	3 7.5	35 87.5	1 2.5
	30歳代	51 100.0	5 9.8	9 17.6	36 70.6	1 2.0
	40歳代	88 100.0	8 9.1	16 18.2	61 69.3	3 3.4
	50歳代	118 100.0	10 8.5	19 16.1	84 71.2	5 4.2
	60歳代	91 100.0	5 5.5	17 18.7	64 70.3	5 5.5
	70歳以上	124 100.0	3 2.4	28 22.6	81 65.3	12 9.7

(カ) 大切にしているものをわざと壊されたり、捨てられたりすること

	調査数	何度もあった	1、2度あった	まったくない	無回答	
全体	1286 100.0	36 2.8	87 6.8	1092 84.9	71 5.5	
性・年齢別	女性	758 100.0	21 2.8	57 7.5	641 84.6	39 5.1
	20歳代	52 100.0	-	1 1.9	50 96.2	1 1.9
	30歳代	85 100.0	1 1.2	5 5.9	78 91.8	1 1.2
	40歳代	133 100.0	5 3.8	8 6.0	119 89.5	1 0.8
	50歳代	186 100.0	6 3.2	17 9.1	159 85.5	4 2.2
	60歳代	135 100.0	5 3.7	17 12.6	106 78.5	7 5.2
	70歳以上	165 100.0	4 2.4	9 5.5	127 77.0	25 15.2
	男性	516 100.0	15 2.9	29 5.6	443 85.9	29 5.6
	20歳代	40 100.0	2 5.0	1 2.5	36 90.0	1 2.5
	30歳代	51 100.0	-	2 3.9	48 94.1	1 2.0
	40歳代	88 100.0	4 4.5	5 5.7	76 86.4	3 3.4
	50歳代	118 100.0	5 4.2	6 5.1	102 86.4	5 4.2
	60歳代	91 100.0	2 2.2	8 8.8	77 84.6	4 4.4
	70歳以上	124 100.0	2 1.6	7 5.6	102 82.3	13 10.5

(キ) 生活費を渡されないこと

	調査数	何度もあった	1、2度あった	まったくない	無回答	
全体	1286 100.0	49 3.8	51 4.0	1117 86.9	69 5.4	
性・年齢別	女性	758 100.0	44 5.8	35 4.6	642 84.7	37 4.9
	20歳代	52 100.0	-	1 1.9	50 96.2	1 1.9
	30歳代	85 100.0	4 4.7	2 2.4	78 91.8	1 1.2
	40歳代	133 100.0	4 3.0	9 6.8	119 89.5	1 0.8
	50歳代	186 100.0	15 8.1	6 3.2	162 87.1	3 1.6
	60歳代	135 100.0	13 9.6	11 8.1	105 77.8	6 4.4
	70歳以上	165 100.0	8 4.8	6 3.6	126 76.4	25 15.2
	男性	516 100.0	4 0.8	16 3.1	467 90.5	29 5.6
	20歳代	40 100.0	-	1 2.5	38 95.0	1 2.5
	30歳代	51 100.0	-	2 3.9	48 94.1	1 2.0
	40歳代	88 100.0	1 1.1	3 3.4	81 92.0	3 3.4
	50歳代	118 100.0	1 0.8	5 4.2	107 90.7	5 4.2
	60歳代	91 100.0	-	3 3.3	84 92.3	4 4.4
	70歳以上	124 100.0	2 1.6	2 1.6	107 86.3	13 10.5

(ク) 交友関係や電話、メールなどを細かくチェックされること

	調査数	何度もあった	1、2度あった	まったくない	無回答	
全体	1286 100.0	37 2.9	75 5.8	1103 85.8	71 5.5	
性・年齢別	女性	758 100.0	26 3.4	45 5.9	648 85.5	39 5.1
	20歳代	52 100.0	4 7.7	3 5.8	44 84.6	1 1.9
	30歳代	85 100.0	1 1.2	4 4.7	79 92.9	1 1.2
	40歳代	133 100.0	3 2.3	13 9.8	115 86.5	2 1.5
	50歳代	186 100.0	9 4.8	11 5.9	163 87.6	3 1.6
	60歳代	135 100.0	6 4.4	6 4.4	117 86.7	6 4.4
	70歳以上	165 100.0	3 1.8	8 4.8	128 77.6	26 15.8
	男性	516 100.0	10 1.9	30 5.8	447 86.6	29 5.6
	20歳代	40 100.0	-	2 5.0	37 92.5	1 2.5
	30歳代	51 100.0	1 2.0	8 15.7	41 80.4	1 2.0
	40歳代	88 100.0	3 3.4	6 6.8	76 86.4	3 3.4
	50歳代	118 100.0	2 1.7	4 3.4	107 90.7	5 4.2
	60歳代	91 100.0	4 4.4	6 6.6	77 84.6	4 4.4
	70歳以上	124 100.0	-	4 3.2	107 86.3	13 10.5



(ケ) 望まない性行為の強要

		調査数	何度もあつた	1、2度あつた	まったくくない	無回答
全体		1286 100.0	50 3.9	125 9.7	1042 81.0	69 5.4
性・年齢別	女性	758 100.0	45 5.9	107 14.1	569 75.1	37 4.9
	20歳代	52 100.0	2 3.8	7 13.5	42 80.8	1 1.9
	30歳代	85 100.0	2 2.4	11 12.9	71 83.5	1 1.2
	40歳代	133 100.0	4 3.0	19 14.3	109 82.0	1 0.8
	50歳代	186 100.0	16 8.6	22 11.8	145 78.0	3 1.6
	60歳代	135 100.0	11 8.1	24 17.8	94 69.6	6 4.4
	70歳以上	165 100.0	10 6.1	24 14.5	106 64.2	25 15.2
	男性	516 100.0	4 0.8	18 3.5	465 90.1	29 5.6
	20歳代	40 100.0	-	-	39 97.5	1 2.5
	30歳代	51 100.0	-	3 5.9	47 92.2	1 2.0
	40歳代	88 100.0	2 2.3	3 3.4	80 90.9	3 3.4
	50歳代	118 100.0	-	4 3.4	109 92.4	5 4.2
	60歳代	91 100.0	1 1.1	4 4.4	82 90.1	4 4.4
	70歳以上	124 100.0	1 0.8	4 3.2	106 85.5	13 10.5

(コ) 避妊に非協力

		調査数	何度もあつた	1、2度あつた	まったくくない	無回答
全体		1286 100.0	39 3.0	68 5.3	1106 86.0	73 5.7
性・年齢別	女性	758 100.0	36 4.7	55 7.3	629 83.0	38 5.0
	20歳代	52 100.0	3 5.8	8 15.4	40 76.9	1 1.9
	30歳代	85 100.0	3 3.5	8 9.4	74 87.1	-
	40歳代	133 100.0	5 3.8	8 6.0	119 89.5	1 0.8
	50歳代	186 100.0	10 5.4	13 7.0	160 86.0	3 1.6
	60歳代	135 100.0	9 6.7	7 5.2	113 83.7	6 4.4
	70歳以上	165 100.0	6 3.6	11 6.7	121 73.3	27 16.4
	男性	516 100.0	3 0.6	12 2.3	469 90.9	32 6.2
	20歳代	40 100.0	-	-	39 97.5	1 2.5
	30歳代	51 100.0	-	2 3.9	48 94.1	1 2.0
	40歳代	88 100.0	2 2.3	4 4.5	79 89.8	3 3.4
	50歳代	118 100.0	-	2 1.7	110 93.2	6 5.1
	60歳代	91 100.0	-	3 3.3	83 91.2	5 5.5
	70歳以上	124 100.0	1 0.8	1 0.8	108 87.1	14 11.3

(サ) その他

		調査数	何度もあつた	1、2度あつた	まったくくない	無回答
全体		1286 100.0	13 1.0	7 0.5	385 29.9	881 68.5
性・年齢別	女性	758 100.0	10 1.3	6 0.8	197 26.0	545 71.9
	20歳代	52 100.0	-	-	20 38.5	32 61.5
	30歳代	85 100.0	3 3.5	-	29 34.1	53 62.4
	40歳代	133 100.0	1 0.8	1 0.8	47 35.3	84 63.2
	50歳代	186 100.0	3 1.6	2 1.1	50 26.9	131 70.4
	60歳代	135 100.0	2 1.5	2 1.5	31 23.0	100 74.1
	70歳以上	165 100.0	1 0.6	1 0.6	19 11.5	144 87.3
	男性	516 100.0	3 0.6	1 0.2	185 35.9	327 63.4
	20歳代	40 100.0	1 2.5	-	21 52.5	18 45.0
	30歳代	51 100.0	1 2.0	-	24 47.1	26 51.0
	40歳代	88 100.0	1 1.1	1 1.1	36 40.9	50 56.8
	50歳代	118 100.0	-	-	46 39.0	72 61.0
	60歳代	91 100.0	-	-	27 29.7	64 70.3
	70歳以上	124 100.0	-	-	30 24.2	94 75.8

第4章 集計表

■問 19-1 被害の相談の有無

	調査数	相談した	相談しなかった (できなかつた)	無回答	
全体	581 100.0	161 27.7	406 69.9	14 2.4	
性・年齢別	女性	392 100.0	136 34.7	247 63.0	9 2.3
	20歳代	18 100.0	4 22.2	14 77.8	-
	30歳代	36 100.0	17 47.2	18 50.0	1 2.8
	40歳代	67 100.0	27 40.3	40 59.7	-
	50歳代	100 100.0	39 39.0	59 59.0	2 2.0
	60歳代	89 100.0	28 31.5	57 64.0	4 4.5
	70歳以上	80 100.0	19 23.8	59 73.8	2 2.5
	男性	183 100.0	23 12.6	155 84.7	5 2.7
	20歳代	8 100.0	4 50.0	4 50.0	-
	30歳代	20 100.0	5 25.0	15 75.0	-
	40歳代	32 100.0	6 18.8	25 78.1	1 3.1
	50歳代	41 100.0	5 12.2	36 87.8	-
	60歳代	38 100.0	1 2.6	36 94.7	1 2.6
	70歳以上	42 100.0	2 4.8	37 88.1	3 7.1

■問 19-1-1 相談先

	調査数	親族	友人・知人	女性やグループ 同じような経験をした	民間の支援団体	家庭裁判所 弁護士	警察署	東京都女性相談センター セトラヤ	東京都女性相談センター セトラヤ	市役所等の相談窓口・ 電話相談など	医師 カウンセラーなど	その他
全体	161 100.0	87 54.0	99 61.5	4 2.5	2 1.2	14 8.7	4 2.5	4 2.5	12 7.5	15 9.3	2 1.2	
性・年齢別	女性	136 100.0	75 55.1	80 58.8	4 2.9	14 10.3	4 2.9	4 2.9	11 8.1	12 8.8	2 1.5	
	20歳代	4 100.0	2 50.0	3 75.0	1 25.0	-	-	-	-	-	-	
	30歳代	17 100.0	6 35.3	10 58.8	-	-	1 5.9	-	1 5.9	2 11.8	1 5.9	
	40歳代	27 100.0	18 66.7	19 70.4	2 7.4	3 11.1	3 11.1	1 3.7	-	3 11.1	4 14.8	
	50歳代	39 100.0	22 56.4	26 66.7	-	-	2 5.1	-	2 5.1	7 17.7	2 5.1	
	60歳代	28 100.0	14 50.0	13 46.4	-	1 3.6	7 25.0	3 10.7	1 3.6	1 3.6	3 10.7	
	70歳以上	19 100.0	13 68.4	7 36.8	1 5.3	-	1 5.3	-	-	2 10.5	2 10.5	
	男性	23 100.0	11 47.8	18 78.3	-	-	-	-	-	4 17.4	13 56.5	
	20歳代	4 100.0	3 75.0	2 50.0	-	-	-	-	-	-	-	
	30歳代	5 100.0	-	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	
	40歳代	6 100.0	3 50.0	5 83.3	-	-	-	-	-	-	1 16.7	
	50歳代	5 100.0	3 60.0	3 60.0	-	-	-	-	-	1 20.0	2 40.0	
	60歳代	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	
	70歳以上	2 100.0	1 50.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	

■問 19-1-2 相談しなかった理由

	調査数	相談できる人が いなかったから	わからなかつたから	どこに相談してよいか	相談したから 思つたから 思つても無駄だと	相談したことがわかる と思つたから	言えなかつたから	恥ずかしくて誰にも 言えなかつたから	自分さえ我慢すればこのまま やつていけると思つたから	他人を巻き込みたく なかつたから	自分にも悪いところ あると思つたから	相談するほどのことでは ないと思つたから	不快な思いをされると思つたから	相談した相手の言動により、 思つたから	子どもに危害が及ぶと 思つたから	その他	特にな い	無回答
全体	406 100.0	65 16.0	35 8.6	112 27.6	9 2.2	48 11.8	81 20.0	40 9.9	142 35.0	205 50.5	17 4.2	8 2.0	21 5.2	18 4.4	3 0.7			
性・年齢別	女性	247 100.0	36 14.6	21 8.5	78 31.6	5 2.0	35 14.2	57 23.1	27 10.9	78 31.6	118 47.8	14 5.7	7 2.8	17 6.9	7 2.8	2 0.8		
	20歳代	14 100.0	1 7.1	2 14.3	2 14.3	2 14.3	1 7.1	2 14.3	5 35.7	-	5 35.7	-	-	2 14.3	1 7.1	-		
	30歳代	18 100.0	3 16.7	3 16.7	5 27.8	-	5 27.8	1 5.6	3 16.7	7 38.9	7 38.9	-	-	1 5.6	-	-		
	40歳代	40 100.0	4 10.0	4 10.0	11 27.5	1 2.5	3 7.5	12 30.0	4 10.0	12 30.0	15 37.5	3 7.5	3 7.5	5 12.5	4 10.0	-		
	50歳代	59 100.0	11 18.6	7 11.9	24 40.7	1 1.7	9 15.3	17 28.8	8 13.6	18 30.5	29 49.2	2 3.4	3 5.1	3 5.1	1 1.7	-		
	60歳代	57 100.0	7 12.3	4 7.0	16 28.1	-	10 17.5	10 17.5	8 14.0	8 14.0	18 31.6	27 47.4	3 5.3	3 5.3	1 1.8	2 3.5		
	70歳以上	59 100.0	10 16.9	1 1.7	20 33.9	2 3.4	6 10.2	12 20.3	4 6.8	12 20.3	18 30.5	35 59.3	6 10.2	1 1.7	3 5.1	-		
	男性	155 100.0	29 18.7	14 9.0	33 21.3	4 2.6	13 8.4	23 14.8	12 7.7	12 7.7	62 40.0	85 54.8	3 1.9	1 0.6	3 1.9	11 7.1	1 0.6	
	20歳代	4 100.0	-	-	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	3 75.0	2 50.0	-	-	-	-	-	
	30歳代	15 100.0	1 6.7	-	2 13.3	-	1 6.7	1 6.7	-	8 53.3	11 73.3	1 6.7	-	-	-	-		
	40歳代	25 100.0	7 28.0	3 12.0	9 36.0	-	3 12.0	7 28.0	-	8 32.0	10 40.0	1 4.0	-	1 4.0	1 4.0	-		
	50歳代	36 100.0	1 2.8	4 11.1	2 5.6	1 2.8	1 2.8	3 8.3	4 11.1	15 41.7	23 63.9	-	2 5.6	2 5.6	2 5.6	1 2.8		
	60歳代	36 100.0	12 33.3	5 13.9	7 19.4	2 5.6	5 13.9	6 16.7	4 11.1	10 27.8	16 44.4	1 2.8	-	1 13.9	5 13.9	-		
	70歳以上	37 100.0	7 18.9	2 5.4	11 29.7	1 2.7	3 8.1	5 13.5	3 8.1	3 8.1	17 45.9	22 59.5	-	1 2.7	3 8.1	-		

■問20 DVに対する支援や援助で充実するべきもの

	調査数	家庭内であれ、暴力は犯罪となる、行為を含む重大な人権侵害である、という意識を啓発する	場所（シエルト）を整備する	いざという時に駆け込める緊急避難	相談体制を充実し、理解のある専門スタッフを常駐させる	生活支援を充実する	住居や就労斡旋、経済的援助など、	カウンセリングや日常的な相談など、精神的援助を充実する	スに関する情報提供を充実する	関連機関の紹介や暴力への対応方法など、ドメスティック・バイオレンスに関する情報提供を充実する	見直しを行う	法律による規制の強化や	加害者に対する厳正な対応や更生に関する対応を充実する	その他	わからない	無回答
全体	1286 100.0	833 64.8	870 67.7	582 45.3	590 45.9	560 43.5	390 30.3	626 48.7	635 49.4	24 1.9	46 3.6	33 2.6				
性・年齢別	女性	758 100.0	504 66.5	540 71.2	339 44.7	373 49.2	348 45.9	228 30.1	364 48.0	17 2.2	26 3.4	18 2.4				
	20歳代	52 100.0	33 63.5	42 80.8	23 44.2	25 48.1	17 50.0	29 32.7	26 55.8	5 50.0	-	-				
	30歳代	85 100.0	54 63.5	63 74.1	43 50.6	44 51.8	39 45.9	25 29.4	55 64.7	51 60.0	5 5.9	2 2.4				
	40歳代	133 100.0	90 67.7	97 72.9	57 42.9	64 48.1	62 46.6	40 30.1	60 45.1	64 48.1	2 1.5	6 4.5				
	50歳代	186 100.0	128 68.8	142 76.3	89 47.8	100 53.8	93 50.0	60 32.3	100 53.8	101 54.3	3 1.6	4 2.2				
	60歳代	135 100.0	93 68.9	98 72.6	61 45.2	75 55.6	55 40.7	40 29.6	62 45.9	68 50.4	3 2.2	6 4.4				
	70歳以上	165 100.0	104 63.0	96 58.2	65 39.4	63 38.2	72 43.6	45 27.3	56 33.9	68 41.2	3 1.8	8 4.8				
	男性	516 100.0	321 62.2	323 62.6	240 46.5	215 41.7	209 40.5	161 31.2	261 50.6	251 48.6	7 1.4	19 3.7				
	20歳代	40 100.0	25 62.5	30 75.0	14 35.0	16 40.0	14 35.0	11 27.5	26 65.0	25 62.5	-	-				
	30歳代	51 100.0	27 52.9	34 66.7	18 35.3	22 43.1	19 37.3	13 25.5	25 49.0	25 49.0	2 3.9	3 5.9				
	40歳代	88 100.0	45 51.1	62 70.5	31 35.2	31 35.2	33 37.5	22 25.0	49 55.7	48 54.5	3 3.4	3 3.4				
	50歳代	118 100.0	80 67.8	77 65.3	69 58.5	51 43.2	57 48.3	38 32.2	63 53.4	57 48.3	1 0.8	3 2.5				
	60歳代	91 100.0	55 60.4	55 60.4	48 52.7	44 48.4	42 46.2	28 30.8	43 47.3	45 49.5	1 1.1	1 1.1				
	70歳以上	124 100.0	87 70.2	61 49.2	56 45.2	49 39.5	42 33.9	47 37.9	54 43.5	49 39.5	-	9 7.3				

【8 性の多様性について】

■問21 性的マイノリティ（性的少数者）という言葉の認知状況

	調査数	知っている内容まで詳しく	おおよそ知っている	言葉は聞いたことがある	知らなかった	無回答
全体	1286 100.0	241 18.7	601 46.7	287 22.3	142 11.0	15 1.2
性・年齢別	女性	758 100.0	126 16.6	361 47.6	178 23.5	84 11.1
	20歳代	52 100.0	18 34.6	22 42.3	7 13.5	5 9.6
	30歳代	85 100.0	18 21.2	47 55.3	14 16.5	6 7.1
	40歳代	133 100.0	24 18.0	61 45.9	34 25.6	14 10.5
	50歳代	186 100.0	30 16.1	96 51.6	50 26.9	8 4.3
	60歳代	135 100.0	21 15.6	72 53.3	26 19.3	14 10.4
	70歳以上	165 100.0	15 9.1	63 38.2	45 27.3	37 22.4
	男性	516 100.0	113 21.9	236 45.7	107 20.7	55 10.7
	20歳代	40 100.0	11 27.5	11 27.5	14 35.0	4 10.0
	30歳代	51 100.0	15 29.4	19 37.3	7 13.7	10 19.6
	40歳代	88 100.0	27 30.7	37 42.0	18 20.5	6 6.8
	50歳代	118 100.0	29 24.6	64 54.2	20 16.9	4 3.4
	60歳代	91 100.0	21 23.1	49 53.8	11 12.1	9 9.9
	70歳以上	124 100.0	10 8.1	54 43.5	37 29.8	20 16.1

第4章 集計表

■問22 身近な人から同性愛者等であると打ち明けられた場合の接し方

		調査数	できそう	できないかもしれない	わからない	無回答
全体		1286 100.0	671 52.2	120 9.3	480 37.3	15 1.2
性・年齢別	女性	758 100.0	426 56.2	53 7.0	270 35.6	9 1.2
	20歳代	52 100.0	40 76.9	1 1.9	11 21.2	-
	30歳代	85 100.0	61 71.8	6 7.1	18 21.2	-
	40歳代	133 100.0	88 66.2	7 5.3	38 28.6	-
	50歳代	186 100.0	111 59.7	10 5.4	63 33.9	2 1.1
	60歳代	135 100.0	63 46.7	11 8.1	58 43.0	3 2.2
	70歳以上	165 100.0	62 37.6	18 10.9	81 49.1	4 2.4
	男性	516 100.0	237 45.9	66 12.8	208 40.3	5 1.0
	20歳代	40 100.0	22 55.0	5 12.5	13 32.5	-
	30歳代	51 100.0	27 52.9	8 15.7	16 31.4	-
	40歳代	88 100.0	46 52.3	10 11.4	32 36.4	-
	50歳代	118 100.0	70 59.3	6 5.1	41 34.7	1 0.8
	60歳代	91 100.0	37 40.7	11 12.1	42 46.2	1 1.1
	70歳以上	124 100.0	33 26.6	25 20.2	63 50.8	3 2.4

■問23 自分の性別や恋愛対象となる性別について悩んだ経験

		調査数	悩んだことがある	多少悩んだことがある	あまり悩んだことはない	悩んだことはない	無回答
全体		1286 100.0	15 1.2	29 2.3	128 10.0	1099 85.5	15 1.2
性・年齢別	女性	758 100.0	9 1.2	17 2.2	77 10.2	646 85.2	9 1.2
	20歳代	52 100.0	2 3.8	6 11.5	10 19.2	34 65.4	-
	30歳代	85 100.0	3 3.5	5 5.9	14 16.5	63 74.1	-
	40歳代	133 100.0	-	2 1.5	11 8.3	119 89.5	1 0.8
	50歳代	186 100.0	2 1.1	1 0.5	17 9.1	164 88.2	2 1.1
	60歳代	135 100.0	2 1.5	2 1.5	13 9.6	115 85.2	3 2.2
	70歳以上	165 100.0	-	1 0.6	12 7.3	149 90.3	3 1.8
	男性	516 100.0	6 1.2	10 1.9	50 9.7	445 86.2	5 1.0
	20歳代	40 100.0	-	4 10.0	5 12.5	31 77.5	-
	30歳代	51 100.0	2 3.9	1 2.0	3 5.9	45 88.2	-
	40歳代	88 100.0	2 2.3	3 3.4	8 9.1	75 85.2	-
	50歳代	118 100.0	2 1.7	1 0.8	6 5.1	108 91.5	1 0.8
	60歳代	91 100.0	-	-	13 14.3	77 84.6	1 1.1
	70歳以上	124 100.0	-	1 0.8	14 11.3	106 85.5	3 2.4

【9 地域活動・社会活動について】

■問24 地域活動や社会活動への参加状況

		調査数	自治会・町内会・子ども会などの委員をしている	民生委員など国や地方自治体の委員をしている	保護者やPTAの委員をしている	青少年の健全育成に関わる活動の指導者やリーダーをしている	NPO、ボランティア活動をしている	消防団や防犯パトロール隊などに参加している	地域のグループ・スポーツなどに参加している	その他	参加していない	無回答	
全体		1286 100.0	254 19.8	7 0.5	128 10.0	6 0.5	80 6.2	49 3.8	177 13.8	21 1.6	755 58.7	15 1.2	
性・年齢別	女性	758 100.0	159 21.0	2 0.3	115 15.2	1 0.1	48 6.3	23 3.0	118 15.6	15 2.0	415 54.7	8 1.1	
	20歳代	52 100.0	1 1.9	-	3 5.8	-	1 1.9	1 1.9	-	-	46 88.5	1 1.9	
	30歳代	85 100.0	6 7.1	-	15 17.6	-	1 1.2	-	5 5.9	-	62 72.9	-	
	40歳代	133 100.0	28 21.1	-	43 32.3	-	5 3.8	2 1.5	8 6.0	1 0.8	72 54.1	-	
	50歳代	186 100.0	49 26.3	-	38 20.4	-	12 6.5	7 3.8	23 12.4	4 2.2	95 51.1	2 1.1	
	60歳代	135 100.0	35 25.9	-	11 8.1	-	8 5.9	4 3.0	29 21.5	8 5.9	60 44.4	2 1.5	
	70歳以上	165 100.0	39 23.6	2 1.2	5 3.0	0.6	21 12.7	9 5.5	53 32.1	2 1.2	79 47.9	3 1.8	
	男性	516 100.0	94 18.2	5 1.0	13 2.5	5 1.0	31 6.0	24 4.7	56 10.9	5 1.0	335 64.9	6 1.2	
	20歳代	40 100.0	-	-	-	-	1 2.5	4 10.0	1 2.5	1 2.5	-	34 85.0	-
	30歳代	51 100.0	3 5.9	-	1 2.0	-	1 2.0	-	1 2.0	-	45 88.2	-	
	40歳代	88 100.0	11 12.5	-	4 4.5	-	6 6.8	3 3.4	5 5.7	2 2.3	65 73.9	-	
	50歳代	118 100.0	16 13.6	1 0.8	4 3.4	1 0.8	3 2.5	4 3.4	8 6.8	2 1.7	83 70.3	2 1.7	
	60歳代	91 100.0	20 22.0	2 2.2	-	1 1.1	7 7.7	6 6.6	14 15.4	1 1.1	54 59.3	-	
	70歳以上	124 100.0	42 33.9	2 1.6	3 2.4	2 1.6	10 8.1	9 7.3	26 21.0	-	52 41.9	4 3.2	

■問24-1 参加していない理由

	調査数	仕事がない 余裕がなくて	仕事、育児、 介護などが 忙しくて余裕がない	家族の理解・協力が 得られない	参加したい活動が みつからない	参加方法がわからない、 きっかけがない	関心がない	人間関係がわずらわしい	健康に自信がない	その他	特にな い	無回 答	
全体	755 100.0	278 36.8	88 11.7	3 0.4	133 17.6	160 21.2	162 21.5	210 27.8	88 11.7	54 7.2	73 9.7	15 2.0	
性・年齢別	女性	415 100.0	129 31.1	61 14.7	-	76 18.3	86 20.7	75 18.1	125 30.1	61 14.7	38 9.2	40 9.6	11 2.7
	20歳代	46 100.0	20 43.5	2 4.3	-	11 23.9	25 54.3	12 26.1	10 21.7	2 4.3	-	5 10.9	-
	30歳代	62 100.0	28 45.2	18 29.0	-	12 19.4	22 35.5	15 24.2	19 30.6	4 6.5	5 8.1	2 3.2	1 1.6
	40歳代	72 100.0	29 40.3	19 26.4	-	11 15.3	7 9.7	15 20.8	24 33.3	4 5.6	4 5.6	7 9.7	1 1.4
	50歳代	95 100.0	34 35.8	15 15.8	-	15 15.8	17 17.9	14 14.7	27 28.4	10 10.5	18 18.9	6 6.3	3 3.2
	60歳代	60 100.0	12 20.0	3 5.0	-	13 21.7	7 11.7	8 13.3	18 30.0	17 28.3	5 8.3	7 11.7	4 6.7
	70歳以上	79 100.0	5 6.3	4 5.1	-	14 17.7	8 10.1	11 13.9	27 34.2	24 30.4	6 7.6	13 16.5	2 2.5
	男性	335 100.0	148 44.2	27 8.1	3 0.9	56 16.7	73 21.8	86 25.7	82 24.5	27 8.1	16 4.8	32 9.6	4 1.2
	20歳代	34 100.0	14 41.2	3 8.8	1 2.9	4 11.8	9 26.5	14 41.2	8 23.5	1 2.9	-	1 2.9	-
	30歳代	45 100.0	25 55.6	9 20.0	-	8 17.8	15 33.3	18 40.0	12 26.7	2 4.4	1 2.2	3 6.7	-
	40歳代	65 100.0	39 60.0	7 10.8	-	9 13.8	12 18.5	16 24.6	19 29.2	4 6.2	5 7.7	6 9.2	1 1.5
	50歳代	83 100.0	46 55.4	5 6.0	-	13 15.7	15 18.1	16 19.3	22 26.5	7 8.4	2 2.4	6 7.2	2 2.4
	60歳代	54 100.0	19 35.2	2 3.7	2 3.7	12 22.2	11 20.4	10 18.5	12 22.2	4 7.4	5 9.3	5 9.3	-
	70歳以上	52 100.0	5 9.6	1 1.9	-	10 19.2	11 21.2	12 23.1	8 15.4	7 13.5	3 5.8	11 21.2	1 1.9

■問25 災害時に備えた男女双方の視点を取り入れた防災対策で重要なこと

	調査数	被災女性や子どもに 対する配慮 （避難所での 生活支援、 相談窓口の 設置など）	防災分野の 委員会の 開催など、 より多くの 女性に 参加できる ようにする	地域での 防災訓練 や、性別 を問わず の参加を 促すこと	災害に 関する各 種対応の 視点を 入れる	災害に 関する各 種対応の 視点を 入れる	探検・冒 険活動に 参加する 機会を 提供する	自治体 職員・防 災関係者 の意見に 対して、 女性や 子どもに 対する 配慮を 反映させ る	その他	わ か ら な い	無回 答
全体	1286 100.0	597 46.4	448 34.8	534 41.5	450 35.0	508 39.5	622 48.4	17 1.3	130 10.1	21 1.6	
性・年齢別	女性	758 100.0	362 47.8	258 34.0	322 42.5	251 33.1	291 38.4	385 50.8	8 1.1	80 10.6	10 1.3
	20歳代	52 100.0	25 48.1	19 36.5	21 40.4	19 36.5	15 28.8	31 59.6	1 1.9	2 3.8	-
	30歳代	85 100.0	39 45.9	29 34.1	35 41.2	29 34.1	35 41.2	58 68.2	2 2.4	9 10.6	-
	40歳代	133 100.0	51 38.3	33 24.8	44 33.1	34 25.6	45 33.8	69 51.9	1 0.8	19 14.3	2 1.5
	50歳代	186 100.0	100 53.8	60 32.3	85 45.7	56 30.1	64 34.4	93 50.0	4 2.2	20 10.8	2 1.1
	60歳代	135 100.0	72 53.3	56 41.5	58 43.0	59 43.7	61 45.2	72 53.3	-	11 8.1	2 1.5
	70歳以上	165 100.0	74 44.8	60 36.4	78 47.3	53 32.1	70 42.4	62 37.6	-	18 10.9	4 2.4
	男性	516 100.0	232 45.0	188 36.4	207 40.1	198 38.4	214 41.5	230 44.6	9 1.7	48 9.3	10 1.9
	20歳代	40 100.0	22 55.0	10 25.0	14 35.0	16 40.0	12 30.0	19 47.5	-	2 5.0	-
	30歳代	51 100.0	20 39.2	13 25.5	21 41.2	19 37.3	24 47.1	23 45.1	1 2.0	6 11.8	-
	40歳代	88 100.0	40 45.5	27 30.7	32 36.4	28 31.8	28 31.8	45 51.1	4 4.5	7 8.0	-
	50歳代	118 100.0	57 48.3	48 40.7	46 39.0	51 43.2	54 45.8	58 49.2	3 2.5	9 7.6	2 1.7
	60歳代	91 100.0	38 41.8	38 41.8	37 40.7	38 41.8	32 35.2	36 39.6	1 1.1	11 12.1	-
	70歳以上	124 100.0	52 41.9	49 39.5	55 44.4	43 34.7	62 50.0	46 37.1	-	13 10.5	7 5.6

第4章 集計表

【10 女性活躍について】

■問26 女性の委員比率の考え

	調査数	今のままでよい	もう少し女性が 増えた方がよい	男女半々くらいまで 女性が 増えた方がよい	性別に 必要はない かわる	その他	無回答	
全体	1286 100.0	39 3.0	376 29.2	449 34.9	392 30.5	17 1.3	13 1.0	
性・年齢別	女性	758 100.0	19 2.5	249 32.8	274 36.1	197 26.0	12 1.6	7 0.9
	20歳代	52 100.0	1 1.9	14 26.9	19 36.5	15 28.8	3 5.8	-
	30歳代	85 100.0	2 2.4	24 28.2	31 36.5	28 32.9	-	-
	40歳代	133 100.0	7 5.3	37 27.8	45 33.8	40 30.1	4 3.0	-
	50歳代	186 100.0	4 2.2	68 36.6	63 33.9	48 25.8	2 1.1	1 0.5
	60歳代	135 100.0	-	47 34.8	55 40.7	32 23.7	1 0.7	-
	70歳以上	165 100.0	5 3.0	58 35.2	61 37.0	33 20.0	2 1.2	6 3.6
	男性	516 100.0	19 3.7	125 24.2	172 33.3	191 37.0	5 1.0	4 0.8
	20歳代	40 100.0	1 2.5	11 27.5	10 25.0	17 42.5	-	1 2.5
	30歳代	51 100.0	1 2.0	13 25.5	12 23.5	25 49.0	-	-
	40歳代	88 100.0	5 5.7	17 19.3	23 26.1	41 46.6	2 2.3	-
	50歳代	118 100.0	1 0.8	32 27.1	42 35.6	41 34.7	2 1.7	-
	60歳代	91 100.0	6 6.6	24 26.4	31 34.1	27 29.7	-	3 3.3
	70歳以上	124 100.0	5 4.0	27 21.8	53 42.7	38 30.6	1 0.8	-

■問27 女性の参画を促すのに必要な支援

	調査数	採用・登用における女性の促進	女性の具体的な登用目標の設定	女性の活躍事例の提供	女性が働き続けたいこと	取り組む企業への積極的支援	女性の管理職への支援	公的・介護の支援などのサービス	その他	わからない	無回答	
全体	1286 100.0	518 40.3	210 16.3	187 14.5	511 39.7	429 33.4	291 22.6	473 36.8	53 4.1	103 8.0	18 1.4	
性・年齢別	女性	758 100.0	307 40.5	116 15.3	102 13.5	330 43.5	252 33.2	179 23.6	301 39.7	22 2.9	63 8.3	8 1.1
	20歳代	52 100.0	26 50.0	11 21.2	8 15.4	24 46.2	19 36.5	20 38.5	15 28.8	1 1.9	-	-
	30歳代	85 100.0	31 36.5	13 15.3	18 21.2	39 45.9	29 34.1	20 23.5	32 37.6	4 4.7	7 8.2	-
	40歳代	133 100.0	51 38.3	20 15.0	22 16.5	51 38.3	38 28.6	33 24.8	50 37.6	6 4.5	14 10.5	-
	50歳代	186 100.0	69 37.1	28 15.1	21 11.3	75 40.3	52 28.0	52 28.0	78 41.9	6 3.2	20 10.8	-
	60歳代	135 100.0	64 47.4	24 17.8	16 11.9	54 40.0	50 37.0	21 15.6	66 48.9	5 3.7	9 6.7	2 1.5
	70歳以上	165 100.0	65 39.4	19 11.5	17 10.3	86 52.1	64 38.8	33 20.0	60 36.4	-	12 7.3	6 3.6
	男性	516 100.0	208 40.3	92 17.8	85 16.5	176 34.1	175 33.9	110 21.3	171 33.1	31 6.0	37 7.2	8 1.6
	20歳代	40 100.0	18 45.0	8 20.0	10 25.0	15 37.5	7 25.0	7 17.5	11 27.5	1 2.5	2 5.0	1 2.5
	30歳代	51 100.0	12 23.5	7 13.7	16 31.4	19 37.3	16 31.4	7 13.7	14 27.5	4 7.8	5 9.8	-
	40歳代	88 100.0	29 33.0	12 13.6	13 14.8	29 33.0	27 30.7	22 25.0	31 35.2	8 9.1	9 10.2	-
	50歳代	118 100.0	48 40.7	19 16.1	20 16.9	42 35.6	33 28.0	21 17.8	44 37.3	9 7.6	14 11.9	1 0.8
	60歳代	91 100.0	32 35.2	16 17.6	11 12.1	26 28.6	30 33.0	19 20.9	33 36.3	8 8.8	3 3.3	4 4.4
	70歳以上	124 100.0	68 54.8	28 22.6	14 11.3	44 35.5	59 47.6	33 26.6	38 30.6	1 0.8	4 3.2	1 0.8

■問 28 女性リーダーを増やす際の障害

	調査数	少ないこと	経験などを持つ女性が必要知識や	現時点では必要な知識や	女性自身がリーダーになることを希望しないこと	上司・同僚が部下となることを希望しないこと	男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと	十分ではないこと	長時間労働の改善が	広域異動が増えること	企業などにおいては、管理職になると	おける夫などの家族のサポートが十分ではないこと	保育・介護・家事などにおけるサービスの不足	公的サービスの不足	意識による慣習があること	性別役割分担、地域などに	家庭、職場、地域などに	その他	特にな	わから	無回
全 体	1286	301	328	512	502	302	607	615	520	41	38	56	18								
女性	758	179	183	377	318	178	406	384	331	25	11	36	8								
20歳代	52	7	11	28	23	8	33	31	28	2	-	3	1								
30歳代	85	19	26	40	37	19	45	38	41	7	1	4	-								
40歳代	133	33	39	72	59	23	69	63	56	5	3	-	-								
50歳代	186	41	43	96	71	52	99	98	89	5	2	10	-								
60歳代	135	39	29	71	53	34	79	71	52	5	-	8	2								
70歳以上	165	40	35	69	74	41	80	82	64	1	5	10	5								
男性	516	122	144	131	182	124	198	229	185	16	27	17	8								
20歳代	40	2	8	18	18	8	20	18	16	2	2	2	1								
30歳代	51	11	16	9	19	7	20	19	15	4	1	4	-								
40歳代	88	24	23	21	25	21	30	39	32	7	5	2	-								
50歳代	118	28	40	27	43	29	47	58	49	2	9	6	-								
60歳代	91	28	26	22	23	25	31	40	25	-	4	2	3								
70歳以上	124	28	29	32	52	33	49	53	47	1	6	1	2								

【11 男女平等について】

■問 29 男女の平等感

(ア) 家庭生活

	調査数	優遇されている方に比べて男性に	どちらかといえば男性に	平等である	どちらかといえば女性に	優遇されている方に比べて女性に	わからない	無回答
全 体	1286	98	535	382	92	29	109	41
女性	758	80	346	174	49	14	71	24
20歳代	52	3	24	13	6	2	4	-
30歳代	85	6	32	25	11	3	9	2
40歳代	133	18	56	31	7	2	16	3
50歳代	186	22	82	41	13	3	23	2
60歳代	135	13	66	35	7	-	9	5
70歳以上	165	18	86	30	7	4	8	12
男性	516	18	185	205	42	14	38	14
20歳代	40	1	11	17	3	2	4	2
30歳代	51	2	11	16	8	4	10	-
40歳代	88	3	26	32	13	4	8	2
50歳代	118	4	44	50	8	2	6	4
60歳代	91	1	32	48	4	-	3	3
70歳以上	124	7	60	39	6	2	7	3

(イ) 職場

	調査数	優遇されている方に比べて男性に	どちらかといえば男性に	平等である	どちらかといえば女性に	優遇されている方に比べて女性に	わからない	無回答
全 体	1286	208	570	308	57	14	97	32
女性	758	145	352	149	22	4	65	21
20歳代	52	7	27	12	3	-	3	-
30歳代	85	9	39	21	5	2	8	1
40歳代	133	24	62	37	3	1	4	2
50歳代	186	29	88	43	6	1	19	-
60歳代	135	34	58	27	4	-	9	3
70歳以上	165	42	78	8	1	-	21	15
男性	516	25	47	4	8	0	12	9
20歳代	40	6	13	15	3	-	2	1
30歳代	51	7	17	12	7	1	7	-
40歳代	88	6	35	29	6	7	5	-
50歳代	118	10	45	46	10	1	6	-
60歳代	91	8	38	31	3	1	5	1
70歳以上	124	24	60	22	5	1	9	4

第4章 集計表

(ウ) 学校教育の場

性別・年齢別	調査数	優遇されている方が非常に	どちらが優遇されているか	平等である	どちらが優遇されているか	優遇されている方が非常に	わからない	無回答
全体	1286	30	256	612	42	9	283	54
女性	758	19	176	332	23	3	171	34
20歳代	52	-	14	26	2	1	9	-
30歳代	85	1	13	34	3	-	33	1
40歳代	133	7	21	69	5	2	23	6
50歳代	186	4	47	79	4	-	50	2
60歳代	135	3	40	57	6	-	24	5
70歳以上	165	4	40	67	3	-	31	20
男性	516	11	78	278	17	6	109	17
20歳代	40	-	7	22	3	2	5	1
30歳代	51	-	6	21	5	-	18	1
40歳代	88	3	11	47	5	3	19	-
50歳代	118	5	12	73	2	1	22	3
60歳代	91	2	2	52	-	0	17	5
70歳以上	124	1	27	61	2	-	27	6

(オ) 政治の場

性別・年齢別	調査数	優遇されている方が非常に	どちらが優遇されているか	平等である	どちらが優遇されているか	優遇されている方が非常に	わからない	無回答
全体	1286	628	426	76	5	6	115	30
女性	758	423	220	22	2	-	73	18
20歳代	52	32	15	-	-	-	5	-
30歳代	85	53	15	4	-	-	12	1
40歳代	133	62	47	4	-	-	14	1
50歳代	186	60	27	3	0	-	7	1
60歳代	135	78	37	5	-	-	13	2
70歳以上	165	79	51	4	1	-	17	13
男性	516	202	202	53	2	6	42	9
20歳代	40	15	39	10	3	-	10	2
30歳代	51	18	18	6	1	-	8	0
40歳代	88	33	34	6	1	4	10	3
50歳代	118	49	42	15	-	-	12	-
60歳代	91	44	29	12	-	-	10	3
70歳以上	124	41	63	8	-	-	3	3

(キ) 社会通念・慣習・しきたりなど

性別・年齢別	調査数	優遇されている方が非常に	どちらが優遇されているか	平等である	どちらが優遇されているか	優遇されている方が非常に	わからない	無回答
全体	1286	388	646	103	15	3	99	32
女性	758	270	355	45	7	1	63	17
20歳代	52	18	30	1	-	-	3	-
30歳代	85	36	27	3	1	-	5	1
40歳代	133	53	46	8	2	1	6	1
50歳代	186	66	93	11	2	-	7	5
60歳代	135	51	66	5	1	-	10	2
70歳以上	165	46	76	17	1	-	12	13
男性	516	117	287	55	8	2	35	12
20歳代	40	13	10	1	0	-	5	1
30歳代	51	7	27	8	2	-	7	2
40歳代	88	17	48	11	4	1	13	7
50歳代	118	27	72	11	-	-	7	1
60歳代	91	25	53	5	-	-	2	5
70歳以上	124	28	75	8	1	-	7	5

(エ) 自治会やPTAなどの地域活動の場

性別・年齢別	調査数	優遇されている方が非常に	どちらが優遇されているか	平等である	どちらが優遇されているか	優遇されている方が非常に	わからない	無回答
全体	1286	74	302	373	120	27	336	54
女性	758	56	206	202	60	15	188	31
20歳代	52	4	10	8	4	1	24	1
30歳代	85	5	12	18	7	1	39	1
40歳代	133	16	40	37	7	4	26	3
50歳代	186	16	55	47	15	4	48	1
60歳代	135	7	50	34	12	2	26	6
70歳以上	165	5	37	25	8	-	19	4
男性	516	18	95	169	58	12	143	21
20歳代	40	1	4	12	4	1	16	2
30歳代	51	-	6	7	5	3	30	-
40歳代	88	4	11	31	12	3	27	-
50歳代	118	6	22	38	15	1	31	5
60歳代	91	3	18	40	10	1	13	6
70歳以上	124	4	33	40	11	1	25	7

(カ) 法律や制度の上

性別・年齢別	調査数	優遇されている方が非常に	どちらが優遇されているか	平等である	どちらが優遇されているか	優遇されている方が非常に	わからない	無回答
全体	1286	253	430	292	31	11	224	45
女性	758	195	274	98	2	4	154	28
20歳代	52	13	17	6	-	-	16	-
30歳代	85	26	26	6	3	-	23	1
40歳代	133	30	30	7	3	-	27	1
50歳代	186	33	45	38	16	3	27	4
60歳代	135	43	27	31	11	-	35	-
70歳以上	165	23	42	22	14	1	15	6
男性	516	56	154	191	21	11	69	14
20歳代	40	10	29	37	4	2	13	2
30歳代	51	7	15	10	4	0	22	1
40歳代	88	9	21	30	11	3	11	1
50歳代	118	15	38	42	2	-	19	2
60歳代	91	12	32	35	2	-	7	3
70歳以上	124	13	45	45	1	1	14	5

(ク) 社会全体として

性別・年齢別	調査数	優遇されている方が非常に	どちらが優遇されているか	平等である	どちらが優遇されているか	優遇されている方が非常に	わからない	無回答
全体	1286	257	753	120	26	9	94	27
女性	758	185	443	38	12	1	62	17
20歳代	52	13	32	3	-	-	4	-
30歳代	85	27	38	3	3	-	13	1
40歳代	133	27	88	6	2	-	8	2
50歳代	186	50	107	11	2	-	15	5
60歳代	135	31	81	6	3	1	11	2
70歳以上	165	37	96	9	2	-	9	12
男性	516	72	305	80	12	8	32	7
20歳代	40	8	16	10	-	2	3	1
30歳代	51	1	29	11	2	-	8	-
40歳代	88	7	59	21	6	4	15	7
50歳代	118	20	63	24	3	1	7	-
60歳代	91	15	62	9	-	1	1	3
70歳以上	124	21	83	11	1	-	5	3



■問30 男女平等に関する法律や用語の認知度

(ア) 男女共同参画社会

	調査数	知内 容まで 詳しく 知っている	知お つてい よそ る	こ言 葉は聞 いた ことがある	知ら なかつ た	無回 答
全体	1286 100.0	76 5.9	501 39.0	433 33.7	236 18.4	40 3.1
女性	758 100.0	27 3.6	263 34.7	127 16.6	165 21.8	25 3.3
20歳代	52 100.0	3 5.8	30 57.7	12 23.1	7 13.5	-
30歳代	85 100.0	2 2.4	28 32.9	31 36.5	22 25.9	2 2.4
40歳代	133 100.0	3 2.3	34 25.6	53 39.8	42 31.6	1 0.8
50歳代	186 100.0	7 3.8	63 33.9	70 37.6	45 24.2	1 0.5
60歳代	135 100.0	5 3.7	54 40.0	52 38.5	21 15.6	3 2.2
70歳以上	165 100.0	7 4.2	54 32.7	60 36.4	26 15.8	18 10.9
男性	516 100.0	48 9.3	236 45.7	150 29.1	69 13.4	13 2.5
20歳代	40 100.0	8 20.0	16 40.0	11 27.5	4 10.0	1 2.5
30歳代	51 100.0	3 5.9	20 39.2	14 27.5	12 23.5	2 3.9
40歳代	88 100.0	11 12.5	27 30.7	33 37.5	16 18.2	1 1.1
50歳代	118 100.0	12 10.2	54 45.8	35 29.7	16 13.6	1 0.8
60歳代	91 100.0	8 8.8	47 51.6	23 25.3	8 8.8	5 5.5
70歳以上	124 100.0	6 4.8	70 56.5	32 25.8	13 10.5	3 2.4

(ウ) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）

	調査数	知内 容まで 詳しく 知っている	知お つてい よそ る	こ言 葉は聞 いた ことがある	知ら なかつ た	無回 答
全体	1286 100.0	106 8.2	694 54.0	386 30.0	75 5.8	25 1.9
女性	758 100.0	51 6.7	429 56.6	219 28.9	45 5.9	14 1.8
20歳代	52 100.0	2 3.8	30 57.7	15 28.8	5 9.6	-
30歳代	85 100.0	7 8.2	43 50.6	25 29.4	9 10.6	1 1.2
40歳代	133 100.0	7 5.3	71 53.4	44 33.1	10 7.5	1 0.8
50歳代	186 100.0	15 8.1	111 59.7	56 30.1	4 2.2	-
60歳代	135 100.0	8 5.9	80 59.3	39 28.9	7 5.2	1 0.7
70歳以上	165 100.0	12 7.3	92 55.8	40 24.2	10 6.1	11 6.7
男性	516 100.0	54 10.5	259 50.2	166 32.2	28 5.4	9 1.7
20歳代	40 100.0	10 25.0	11 27.5	10 25.0	8 20.0	1 2.5
30歳代	51 100.0	2 3.9	20 39.2	25 49.0	4 7.8	-
40歳代	88 100.0	10 11.4	43 48.9	31 35.2	3 3.4	1 1.1
50歳代	118 100.0	13 11.0	63 53.4	33 28.0	8 6.8	1 0.8
60歳代	91 100.0	12 13.2	48 52.7	25 27.5	3 3.3	3 3.3
70歳以上	124 100.0	7 5.6	72 58.1	40 32.3	2 1.6	3 2.4

(オ) 育児・介護休業法

	調査数	知内 容まで 詳しく 知っている	知お つてい よそ る	こ言 葉は聞 いた ことがある	知ら なかつ た	無回 答
全体	1286 100.0	133 10.3	669 52.0	353 27.4	103 8.0	28 2.2
女性	758 100.0	77 10.2	408 53.8	194 25.6	64 8.4	15 2.0
20歳代	52 100.0	6 11.5	34 65.4	9 17.3	3 5.8	-
30歳代	85 100.0	19 22.4	39 45.9	20 23.5	6 7.1	1 1.2
40歳代	133 100.0	14 10.5	69 51.9	30 22.6	19 14.3	1 0.8
50歳代	186 100.0	19 10.2	106 57.0	49 26.3	12 6.5	-
60歳代	135 100.0	6 4.4	71 52.6	45 33.3	12 8.9	1 0.7
70歳以上	165 100.0	13 7.9	88 53.3	41 24.8	11 6.7	12 7.3
男性	516 100.0	55 10.7	256 49.6	157 30.4	37 7.2	11 2.1
20歳代	40 100.0	9 22.5	10 25.0	14 35.0	6 15.0	1 2.5
30歳代	51 100.0	5 9.8	23 45.1	20 39.2	3 5.9	-
40歳代	88 100.0	11 12.5	44 50.0	24 27.3	9 10.2	-
50歳代	118 100.0	15 12.7	65 55.1	31 26.3	5 4.2	2 1.7
60歳代	91 100.0	7 7.7	49 53.8	24 26.4	7 7.7	4 4.4
70歳以上	124 100.0	8 6.5	64 51.6	42 33.9	7 5.6	3 2.4

(イ) 男女雇用機会均等法

	調査数	知内 容まで 詳しく 知っている	知お つてい よそ る	こ言 葉は聞 いた ことがある	知ら なかつ た	無回 答
全体	1286 100.0	181 14.1	743 57.8	260 20.2	78 6.1	24 1.9
女性	758 100.0	80 10.6	446 58.8	163 21.5	55 7.3	14 1.8
20歳代	52 100.0	6 11.5	32 61.5	8 15.4	6 11.5	-
30歳代	85 100.0	10 11.8	48 56.5	19 22.4	7 8.2	1 1.2
40歳代	133 100.0	12 9.0	80 60.2	33 24.8	7 5.3	1 0.8
50歳代	186 100.0	24 12.9	118 63.4	36 19.4	7 3.8	1 0.5
60歳代	135 100.0	14 10.4	77 57.0	35 25.9	7 5.2	2 1.5
70歳以上	165 100.0	14 8.5	89 53.9	32 19.4	21 12.7	9 5.8
男性	516 100.0	100 19.4	291 56.4	96 18.6	22 4.3	7 1.4
20歳代	40 100.0	12 30.0	16 40.0	8 20.0	5 7.5	1 2.5
30歳代	51 100.0	9 17.6	29 56.9	9 17.6	4 7.8	-
40歳代	88 100.0	22 25.0	47 53.4	15 17.0	4 4.5	-
50歳代	118 100.0	25 21.2	67 56.8	23 19.5	3 2.5	-
60歳代	91 100.0	17 18.7	53 58.2	14 15.4	2 2.2	5 5.5
70歳以上	124 100.0	15 12.1	77 62.1	25 20.2	6 4.8	1 0.8

(エ) 女性活躍推進法

	調査数	知内 容まで 詳しく 知っている	知お つてい よそ る	こ言 葉は聞 いた ことがある	知ら なかつ た	無回 答
全体	1286 100.0	40 3.1	335 26.0	532 41.4	347 27.0	32 2.5
女性	758 100.0	14 1.8	185 24.4	317 41.8	223 29.4	19 2.5
20歳代	52 100.0	1 1.9	24 46.2	13 25.0	14 26.9	-
30歳代	85 100.0	3 3.5	21 24.7	27 31.8	33 38.8	1 1.2
40歳代	133 100.0	1 0.8	25 18.8	54 40.6	52 39.1	1 0.8
50歳代	186 100.0	3 1.6	45 24.2	79 42.5	58 31.2	1 0.5
60歳代	135 100.0	1 0.7	26 19.3	76 56.3	28 20.7	4 3.0
70歳以上	165 100.0	5 3.0	44 26.7	68 41.2	36 21.8	12 7.3
男性	516 100.0	26 5.0	148 28.7	213 41.3	120 23.3	9 1.7
20歳代	40 100.0	7 17.5	6 15.0	16 40.0	10 25.0	1 2.5
30歳代	51 100.0	1 2.0	13 25.5	23 45.1	14 27.5	-
40歳代	88 100.0	6 6.8	20 22.7	37 42.0	25 28.4	-
50歳代	118 100.0	7 5.9	40 33.9	42 35.6	27 22.9	2 1.7
60歳代	91 100.0	3 3.3	30 33.0	36 39.6	18 19.8	4 4.4
70歳以上	124 100.0	2 1.6	37 29.8	57 46.0	26 21.0	2 1.6

(カ) ジェンダー

	調査数	知内 容まで 詳しく 知っている	知お つてい よそ る	こ言 葉は聞 いた ことがある	知ら なかつ た	無回 答
全体	1286 100.0	168 13.1	626 48.7	321 25.0	138 10.7	33 2.6
女性	758 100.0	92 12.1	379 50.0	187 24.7	84 11.1	16 2.1
20歳代	52 100.0	11 21.2	34 65.4	5 9.6	1 1.9	1 1.9
30歳代	85 100.0	21 24.7	36 42.4	18 21.2	9 10.6	1 1.2
40歳代	133 100.0	15 11.3	67 50.4	38 28.6	12 9.0	1 0.8
50歳代	186 100.0	20 10.8	112 60.2	45 24.2	9 4.8	-
60歳代	135 100.0	15 11.1	69 51.1	34 25.2	16 11.9	1 0.7
70歳以上	165 100.0	10 6.1	61 37.0	45 27.3	37 22.4	12 7.3
男性	516 100.0	75 14.5	244 47.3	131 25.4	52 10.1	14 2.7
20歳代	40 100.0	13 32.5	16 40.0	7 17.5	3 7.5	1 2.5
30歳代	51 100.0	9 17.6	27 52.9	11 21.6	4 7.8	-
40歳代	88 100.0	20 22.7	40 45.5	22 25.0	6 6.8	-
50歳代	118 100.0	14 11.9	65 55.1	27 22.9	8 6.8	4 3.4
60歳代	91 100.0	10 11.0	44 48.4	25 27.5	7 7.7	5 5.5
70歳以上	124 100.0	8 6.5	51 41.1	38 30.6	24 19.4	3 2.4

第4章 集計表

(キ) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ

	調査数	知内容まで詳しく	知おおよそ	言葉は聞いた	知らなかった	無回答
全体	1286 100.0	21 1.6	65 5.1	185 14.4	983 76.4	32 2.5
女性	758 100.0	13 1.7	36 4.7	100 13.2	592 78.1	17 2.2
20歳代	52 100.0	3 5.8	4 7.7	10 19.2	35 67.3	-
30歳代	85 100.0	2 2.4	8 9.4	11 12.9	63 74.1	1 1.2
40歳代	133 100.0	3 2.3	1 0.8	12 9.0	116 87.2	1 0.8
50歳代	186 100.0	4 2.2	10 5.4	25 13.4	147 79.0	-
60歳代	135 100.0	1 0.7	5 3.7	19 14.1	109 80.7	1 0.7
70歳以上	165 100.0	-	8 4.8	23 13.9	120 72.7	14 8.5
男性	516 100.0	8 1.6	28 5.4	84 16.3	383 74.2	13 2.5
20歳代	40 100.0	1 2.5	2 5.0	4 10.0	32 80.0	1 2.5
30歳代	51 100.0	2 3.9	-	4 7.8	45 88.2	-
40歳代	88 100.0	2 2.3	4 4.5	12 13.6	70 79.5	-
50歳代	118 100.0	1 0.8	10 8.5	22 18.6	83 70.3	2 1.7
60歳代	91 100.0	2 2.2	4 4.4	17 18.7	63 69.2	5 5.5
70歳以上	124 100.0	-	8 6.5	23 18.5	89 71.8	4 3.2

(ク) ポジティブ・アクション

	調査数	知内容まで詳しく	知おおよそ	言葉は聞いた	知らなかった	無回答
全体	1286 100.0	22 1.7	129 10.0	328 25.5	770 59.9	37 2.9
女性	758 100.0	11 1.5	68 9.0	198 26.1	460 60.7	21 2.8
20歳代	52 100.0	2 3.8	3 5.8	16 30.8	31 59.6	-
30歳代	85 100.0	1 1.2	4 4.7	21 24.7	58 68.2	1 1.2
40歳代	133 100.0	2 1.5	8 6.0	21 15.8	101 75.9	1 0.8
50歳代	186 100.0	3 1.6	21 11.3	49 26.3	113 60.8	-
60歳代	135 100.0	1 0.7	11 8.1	37 27.4	81 60.0	5 3.7
70歳以上	165 100.0	2 1.2	21 12.7	54 32.7	74 44.8	14 8.5
男性	516 100.0	11 2.1	60 11.6	128 24.8	303 58.7	14 2.7
20歳代	40 100.0	5 12.5	3 7.5	8 20.0	26 65.0	1 2.5
30歳代	51 100.0	1 2.0	2 3.9	10 19.6	37 72.5	1 2.0
40歳代	88 100.0	2 2.3	9 10.2	13 14.8	64 72.7	-
50歳代	118 100.0	3 2.5	19 16.1	28 23.7	66 55.9	2 1.7
60歳代	91 100.0	2 2.2	14 15.4	27 29.7	44 48.4	4 4.4
70歳以上	124 100.0	1 0.8	12 9.7	42 33.9	64 51.6	5 4.0

(ケ) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)

	調査数	知内容まで詳しく	知おおよそ	言葉は聞いた	知らなかった	無回答
全体	1286 100.0	183 14.2	358 27.8	377 29.3	331 25.7	37 2.9
女性	758 100.0	84 11.1	199 26.3	238 31.4	216 28.5	21 2.8
20歳代	52 100.0	16 30.8	20 38.5	8 15.4	7 13.5	1 1.9
30歳代	85 100.0	14 16.5	30 35.3	22 25.9	18 21.2	1 1.2
40歳代	133 100.0	19 14.3	37 27.8	38 28.6	38 28.6	1 0.8
50歳代	186 100.0	20 10.8	52 28.0	53 28.5	61 32.8	-
60歳代	135 100.0	9 6.7	30 22.2	50 37.0	44 32.6	2 1.5
70歳以上	165 100.0	6 3.6	30 18.2	66 40.0	47 28.5	16 9.7
男性	516 100.0	98 19.0	157 30.4	137 26.6	110 21.3	14 2.7
20歳代	40 100.0	13 32.5	14 35.0	5 12.5	7 17.5	1 2.5
30歳代	51 100.0	16 31.4	10 19.6	14 27.5	11 21.6	-
40歳代	88 100.0	23 26.1	30 34.1	18 20.5	16 18.2	1 1.1
50歳代	118 100.0	24 20.3	42 35.6	25 21.2	18 15.3	3 3.4
60歳代	91 100.0	9 9.9	27 29.7	32 35.2	19 20.9	4 4.4
70歳以上	124 100.0	7 5.6	33 26.6	43 34.7	38 30.6	3 2.4

(コ) 町田市男女平等参画都市宣言

	調査数	知内容まで詳しく	知おおよそ	言葉は聞いた	知らなかった	無回答
全体	1286 100.0	13 1.0	133 10.3	364 28.3	745 57.9	31 2.4
女性	758 100.0	6 0.8	75 9.9	216 28.5	444 58.6	17 2.2
20歳代	52 100.0	1 1.9	3 5.8	13 25.0	34 65.4	1 1.9
30歳代	85 100.0	1 1.2	4 4.7	17 20.0	62 72.9	1 1.2
40歳代	133 100.0	-	5 3.8	37 27.8	89 66.9	2 1.5
50歳代	186 100.0	2 1.1	22 11.8	48 25.8	114 61.3	-
60歳代	135 100.0	1 0.7	16 11.9	48 35.6	69 51.1	1 0.7
70歳以上	165 100.0	1 0.6	25 15.2	52 31.5	75 45.5	12 7.3
男性	516 100.0	7 1.4	56 10.9	146 28.3	295 57.2	12 2.3
20歳代	40 100.0	-	4 10.0	6 15.0	29 72.5	1 2.5
30歳代	51 100.0	1 2.0	4 7.8	6 11.8	40 78.4	-
40歳代	88 100.0	1 1.1	9 10.2	15 17.0	62 70.5	1 1.1
50歳代	118 100.0	1 0.8	14 11.9	39 33.1	64 54.2	-
60歳代	91 100.0	1 1.1	6 6.6	32 35.2	47 51.6	5 5.5
70歳以上	124 100.0	3 2.4	19 15.3	47 37.9	51 41.1	4 3.2

(サ) パートナーシップ制度

	調査数	知内容まで詳しく	知おおよそ	言葉は聞いた	知らなかった	無回答
全体	1286 100.0	60 4.7	273 21.2	589 45.8	334 26.0	30 2.3
女性	758 100.0	34 4.5	164 21.6	354 46.7	189 24.9	17 2.2
20歳代	52 100.0	9 17.3	18 34.6	19 36.5	6 11.5	-
30歳代	85 100.0	10 11.8	18 21.2	34 40.0	22 25.9	1 1.2
40歳代	133 100.0	5 3.8	30 22.6	58 43.6	38 28.6	2 1.5
50歳代	186 100.0	7 3.8	40 21.5	96 51.6	43 23.1	-
60歳代	135 100.0	2 1.5	30 22.2	66 48.9	36 26.7	1 0.7
70歳以上	165 100.0	1 0.6	28 17.0	80 48.5	43 26.1	13 7.9
男性	516 100.0	25 4.8	109 21.1	230 44.6	141 27.3	11 2.1
20歳代	40 100.0	7 17.5	6 15.0	19 47.5	7 17.5	1 2.5
30歳代	51 100.0	4 7.8	10 19.6	26 51.0	11 21.6	-
40歳代	88 100.0	6 6.8	14 15.9	43 48.9	25 28.4	-
50歳代	118 100.0	4 3.4	31 26.3	49 41.5	32 27.1	2 1.7
60歳代	91 100.0	4 4.4	15 16.5	36 39.6	33 36.3	3 3.3
70歳以上	124 100.0	-	32 25.8	56 45.2	32 25.8	4 3.2

■問31 男女平等参画に向けて町田市が力を入れるべきこと

	調査数	男女平等参画を意図するための啓蒙を推進する	学校教育を始めとしたあらゆる教育の場における男女平等教育を推進する	政策・方針決定の場などへの女性の積極的な参画を進める	健康を尊重し、性と性に関する理解を深めるための事業を充実させる	男女がお互いの性と健康を尊重し、理解を深めるための事業を充実させる	多様な性に関する理解を促進を行う	LGBTなど性の多様性に関する理解を促進を行う	防災の現場（避難施設など）において、男女平等参画を推進する	公共の場における性差別を助長する表現やいきすぎた性表現を是正する	子育て支援を充実する	高齢者介護に関する施策・サービスを充実する	活動を行う・自発的団体やNPOなどの連携を進めるとし社会貢献的な	男女平等推進団体やNPO
全体	1286 100.0	441 34.3	643 50.0	491 38.2	380 29.5	380 29.5	315 24.5	356 27.7	771 60.0	656 51.0	218 17.0			
性・年齢別	女性	758 100.0	263 34.7	388 51.2	292 38.5	231 30.5	224 29.6	194 25.6	229 30.2	452 59.6	397 52.4	140 18.5		
	20歳代	52 100.0	15 28.8	26 50.0	19 36.5	18 34.6	27 51.9	14 26.9	16 30.8	47 90.4	22 42.3	9 17.3		
	30歳代	85 100.0	22 25.9	43 50.6	31 36.5	31 36.5	37 43.5	30 35.3	20 23.5	65 76.5	43 50.6	15 17.6		
	40歳代	133 100.0	35 26.3	62 46.6	40 30.1	36 27.1	27 20.3	26 19.5	30 22.6	88 66.2	64 48.1	15 11.3		
	50歳代	186 100.0	71 38.2	84 45.2	68 36.6	54 29.0	65 34.9	45 24.2	61 32.8	104 55.9	102 54.8	30 16.1		
	60歳代	135 100.0	52 38.5	83 61.5	61 45.2	42 31.1	38 28.1	35 25.9	52 38.5	75 55.6	74 54.8	29 21.5		
	70歳以上	165 100.0	67 40.6	89 53.9	72 43.6	49 29.7	29 17.6	43 26.1	49 29.7	91 43.6	55.2 41.7	41 24.8		
	男性	516 100.0	177 34.3	253 49.0	198 38.4	148 28.7	154 29.8	121 23.4	124 24.0	316 61.2	255 49.4	78 15.1		
	20歳代	40 100.0	12 30.0	21 52.5	14 35.0	15 37.5	19 47.5	10 25.0	10 25.0	27 67.5	18 45.0	4 10.0		
	30歳代	51 100.0	11 21.6	23 45.1	14 27.5	12 23.5	15 29.4	9 17.6	10 19.6	36 70.6	18 35.3	5 9.8		
	40歳代	88 100.0	22 25.0	38 43.2	24 27.3	19 21.6	29 33.0	21 23.9	18 20.5	56 63.6	39 44.3	13 14.8		
	50歳代	118 100.0	42 35.6	58 49.2	48 40.7	38 32.2	43 36.4	29 24.6	27 22.9	72 61.0	61 51.7	18 15.3		
	60歳代	91 100.0	30 33.0	38 41.8	36 39.6	28 30.8	21 23.1	17 18.7	19 20.9	53 58.2	47 51.6	17 18.7		
	70歳以上	124 100.0	59 47.6	73 58.9	61 49.2	35 28.2	26 21.0	34 27.4	38 30.6	71 57.3	71 57.3	20 16.1		

	調査数	環境を改善する	育児・介護休業制度の促進や男女労働環境の改善など	根絶するよう啓蒙を進める	女性に対するあらゆる暴力を根絶するよう啓蒙を進める	充実するなど、各種相談や事業を	女性性悩みごと相談やLGBT	女性性に関する悩みごと相談やLGBT	苦情解決するための機関を	男女平等参画に関する計画を	定期的な見直しを行う	町田市男女平等参画条例の制定	その他	特になし	無回答
全体	1286 100.0	707 55.0	350 27.2	315 24.5	204 15.9	350 27.2	174 13.5	30 2.3	52 4.0	28 2.2					
性・年齢別	女性	758 100.0	453 59.8	224 29.6	203 26.8	121 16.0	199 26.3	108 14.2	28 3.7	16 2.1					
	20歳代	52 100.0	35 67.3	17 32.7	17 32.7	7 13.5	12 23.1	7 13.5	-	1 1.9					
	30歳代	85 100.0	56 65.9	33 38.8	30 35.3	12 14.1	16 18.8	8 9.4	4 4.7	1 1.2	3 3.5				
	40歳代	133 100.0	80 60.2	32 24.1	18 13.5	13 9.8	25 18.8	8 6.0	3 2.3	7 5.3	1 0.8				
	50歳代	186 100.0	110 59.1	43 23.1	53 28.5	32 17.2	45 24.2	30 16.1	3 1.6	7 3.8	3 1.6				
	60歳代	135 100.0	85 63.0	47 34.8	46 34.1	28 20.7	48 35.6	25 18.5	-	4 3.0	3 2.2				
	70歳以上	165 100.0	87 52.7	52 31.5	38 23.0	29 17.6	53 32.1	30 18.2	2 1.2	8 4.8	5 3.0				
	男性	516 100.0	254 49.2	125 24.2	112 21.7	83 16.1	148 28.7	66 12.8	18 3.5	24 4.7	6 1.2				
	20歳代	40 100.0	20 50.0	11 27.5	10 25.0	8 20.0	15 37.5	6 15.0	1 2.5	-	-				
	30歳代	51 100.0	31 60.8	7 13.7	12 23.5	5 9.8	9 17.6	4 7.8	3 5.9	4 7.8	-				
	40歳代	88 100.0	41 46.6	22 25.0	21 23.9	12 13.6	11 12.5	4 4.5	3 3.4	4 4.5	-				
	50歳代	118 100.0	52 44.1	35 29.7	31 26.3	24 20.3	33 28.0	15 12.7	5 4.2	6 5.1	2 1.7				
	60歳代	91 100.0	39 42.9	16 17.6	14 15.4	14 15.4	26 28.6	15 16.5	4 4.4	6 6.6	2 2.2				
	70歳以上	124 100.0	70 56.5	33 26.6	24 19.4	20 16.1	53 42.7	22 17.7	2 1.6	3 2.4	1 0.8				

第4章 集計表

■問 32 町田市男女平等推進センターの認知度

		調査数	知っている	知らない	無回答
全体		1286 100.0	112 8.7	1110 86.3	64 5.0
性・年齢別	女性	758 100.0	75 9.9	652 86.0	31 4.1
	20歳代	52 100.0	3 5.8	49 94.2	-
	30歳代	85 100.0	2 2.4	82 96.5	1 1.2
	40歳代	133 100.0	7 5.3	124 93.2	2 1.5
	50歳代	186 100.0	21 11.3	162 87.1	3 1.6
	60歳代	135 100.0	18 13.3	110 81.5	7 5.2
	70歳以上	165 100.0	24 14.5	123 74.5	18 10.9
	男性	516 100.0	37 7.2	453 87.8	26 5.0
	20歳代	40 100.0	-	40 100.0	-
	30歳代	51 100.0	1 2.0	48 94.1	2 3.9
	40歳代	88 100.0	7 8.0	81 92.0	-
	50歳代	118 100.0	8 6.8	100 84.7	10 8.5
	60歳代	91 100.0	3 3.3	84 92.3	4 4.4
	70歳以上	124 100.0	18 14.5	97 78.2	9 7.3

■問 33 町田市男女平等推進センターで今後重点的に力を入れるべき事業

		調査数	家庭・生活における男性・女性の参加を促す事業	家庭・生活における女性の就業支援を目的とした事業	男女平等等参画に関する啓発や情報紙の発行	男女平等等参画に関する活動場所の提供	市民や市民団体への働きかけ	男女とも自立した生活を送るための講座の開催	健康・福祉・子育て、人間関係などについて	図書・資料の提供	男女平等等参画に関する啓発の開催	暴力根絶のための啓発	人権尊重や女性への支援	ボランティアや市民団体への支援	男女平等を推進するフェスティバルの開催	理解促進	「パワードラス」の導入など、性の多様性に関する	ワーク・ライフ・バランスを推進している事業所を表彰する	その他	特になし	無回答
全体		1286 100.0	511 39.7	589 45.8	246 19.1	262 20.4	253 19.7	399 31.0	107 8.3	215 16.7	246 19.1	105 8.2	263 20.5	211 16.4	27 2.1	134 10.4	47 3.7				
性・年齢別	女性	758 100.0	328 43.3	350 46.2	154 20.3	164 21.6	159 21.0	243 32.1	71 9.4	142 18.7	155 20.4	65 8.6	172 22.7	116 15.3	16 2.1	72 9.5	27 3.6				
	20歳代	52 100.0	28 53.8	25 48.1	5 9.6	6 11.5	11 21.2	19 36.5	4 7.7	6 11.5	8 15.4	1 1.9	23 44.2	14 26.9	2 3.8	4 7.7	2 3.8				
	30歳代	85 100.0	40 47.1	40 47.1	13 15.3	14 16.5	21 24.7	25 29.4	5 5.9	14 16.5	11 12.9	8 9.4	29 34.1	22 25.9	5 5.9	6 7.1	1 1.2				
	40歳代	133 100.0	58 43.6	63 47.4	16 12.0	21 15.8	22 16.5	39 29.3	8 6.0	11 8.3	19 14.3	10 7.5	24 18.0	22 16.5	6 4.5	12 9.0	6 4.5				
	50歳代	186 100.0	80 43.0	98 52.7	35 18.8	39 21.0	39 21.0	58 31.2	14 7.5	29 15.6	14 7.5	14 7.5	29 15.6	12 6.5	41 22.0	28 15.1	2 1.1	18 9.7	3 1.6		
	60歳代	135 100.0	54 40.0	60 44.4	39 28.9	36 26.7	36 26.7	44 32.6	16 11.9	38 28.1	31 23.0	17 12.6	34 25.2	17 12.6	34 25.2	17 12.6	1 0.6	14 10.3	4 3.0		
	70歳以上	165 100.0	67 40.6	63 38.2	45 27.3	47 28.5	47 28.5	57 34.5	23 13.9	43 26.1	23 14.1	43 26.1	50 30.3	16 9.7	21 12.7	13 7.9	1 0.6	17 10.3	11 6.7		
	男性	516 100.0	182 35.3	238 46.1	92 17.8	98 19.0	93 18.0	155 30.0	36 7.0	73 14.1	36 7.0	73 14.1	90 17.4	40 7.8	90 17.4	93 18.0	11 2.1	60 11.6	14 2.7		
	20歳代	40 100.0	20 50.0	21 52.5	4 10.0	6 15.0	5 12.5	15 37.5	3 7.5	5 12.5	3 7.5	5 12.5	3 7.5	4 10.0	9 22.5	13 32.5	2 5.0	1 2.5			
	30歳代	51 100.0	17 33.3	19 37.3	4 7.8	7 13.7	10 19.6	14 27.5	2 3.9	4 7.8	3 5.9	4 7.8	3 5.9	3 7.8	10 19.6	14 27.5	1 2.0	10 19.6			
	40歳代	88 100.0	32 36.4	47 53.4	10 11.4	12 13.6	13 14.8	23 26.1	3 3.4	7 8.0	13 14.8	7 8.0	13 14.8	9 10.2	19 21.6	21 23.9	4 4.5	9 10.2	1 1.1		
	50歳代	118 100.0	40 33.9	49 41.5	22 18.6	19 16.1	21 17.8	43 36.4	9 7.6	14 11.9	18 15.3	14 11.9	18 15.3	10 8.5	25 21.2	18 15.3	1 0.8	13 11.0	2 1.7		
	60歳代	91 100.0	27 29.7	46 50.5	20 22.0	19 20.9	12 13.2	25 27.5	3 3.3	16 17.6	20 22.0	6 6.6	12 13.2	7 7.7	12 13.2	7 7.7	4 4.4	13 14.3	4 4.4		
	70歳以上	124 100.0	44 35.5	55 44.4	31 25.0	34 27.4	32 25.8	35 28.2	16 12.9	27 21.8	33 26.6	8 6.5	15 12.1	20 16.1	15 12.1	1 0.8	13 10.5	4 3.2			

---

## 町田市男女平等参画に関する アンケート調査報告書

発行日 2022年3月  
発行者 町田市  
編集 町田市市民部市民協働推進課男女平等推進センター  
〒194-0013  
町田市原町田4-9-8  
TEL 042(723)2908  
刊行物番号 21-84

---

この冊子は、企画を外部に委託しており、100部作成し、1部あたりの単価1,129円です。  
(職員人件費を含みます。)